TM-C3400
詳細取扱説明書

製品概要

製品の特徴および仕様について説明します。

セットアップ

製品および周辺機器の設置・設定作業について説明します。

アプリケーション開発情報

本プリンタの制御方法と、アプリケーションを開発する際に必要な情報について説明します。

製品の取り扱い

製品の基本的な取り扱い方法について説明します。

TM-C3400 の管理

管理者向けに、ドライバの配布やプリンタの追加/交換など、システムの中でTM-C3400を管理するために必要な情報を説明します。

M00007709
Rev.J

ご注意

- **本書の内容の一部または全部を無断で転載、複写、複製、改ざんすることは固くお断りします。**
- **本書の内容については、予告なしに変更することがあります。最新の情報はお問い合わせください。**
- **本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。**
- **運用した結果の影響については、上項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。**
- **本製品がお客様により不適切に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたことなどに起因して生じた損害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。**
- **エプソン純正品およびエプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。**

商標について

EPSON はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server、Win32、Visual Basic、Visual C++ および Visual C# は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。

著作権について

本製品のイーサネットインタフェースモデルには、カリフォルニア大学バークレイ校とその貢献者によって開発されたソフトウェアが含まれています。

安全のために

記号の意味

本書では以下の記号が使われています。それぞれの記号の意味をよく理解してから製品を取り扱ってください。

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、次のような被害が想定される内容を示しています。 • 人が傷害を負う可能性 • 物的損害を起こす可能性 • データなどの情報損失を起こす可能性
注意	ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や動作不良の原因になる可能性があります。
参考	補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

警告事項

 警告

- **必ず指定されている電源 (EPSON PS-180, 型番 : M159A) をお使いください。**
  他の電源を使うと、火災のおそれがあります。
- **電源ケーブルは安全規格取得品で電源システム接地 (PE) 端子の付いたものを使用し、接地を確実に実施してください。**
  感電のおそれがあります。
- **感電の危険を避けるため、雷が発生している間は、本製品の設置およびケーブル類の取り付け作業を行わないでください。**
- **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。**
  感電のおそれがあります。
- **電源コードの取り扱いには注意してください。**
  誤った取り扱いをすると火災・感電のおそれがあります。
  ＊ **電源コードを加工しない。**
  ＊ 電源コードの上に重いものを乗せない。
  ＊ 無理に曲げたり、ネジったり、引っ張ったりしない。
  ＊ 熱器具の近くに配線しない。
  ＊ 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
  ＊ 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。
- **電源コードのたこ足配線はしないでください。**
  火災のおそれがあります。電源は家庭用電源コンセント（交流 100 ボルト）から直接取ってください。
- **煙が出たり、変な臭いや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。**
  そのまま使用すると、火災の原因となります。すぐに電源ケーブルを抜いて、販売店またはサービスセンターにご相談ください。

- お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 分解や改造はしないでください。
  けがや火災のおそれがあります。
- 本製品の内部に異物を入れたり、落としたりしないでください。
  火災・感電のおそれがあります。
- 万一、水などの液体が内部に入った場合は、電源ケーブルを抜き、販売店またはサービスセンターにご相談ください。
  そのまま使用すると、火災の原因となります。
- ディップスイッチカバーを開けたら、設定後必ず閉じ、ネジを締めてください。
  開けたままで使用すると、火災や感電の原因となるおそれがあります。

注意事項

- 本書で指示した以外の機器を接続しないでください。
  故障・火災等を起こすおそれがあります。
- 各種ケーブルは、本書で指示されている以外の配線はしないでください。
  故障・火災等を起こすおそれがあります。
- 不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。
  落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。
  故障や火災・感電のおそれがあります。
- 本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。
  倒れたり、壊れたりしてけがをするおそれがあります。
- 本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。
  ガスが滞留して引火による火災などの原因となるおそれがあります。
- シロキサンを含むシリコン系ガス（シリコン接着剤、シリコンオイル、シリコンパウダー等）、および、悪性ガス（硝酸、硫化水素、アンモニア、塩素等）の雰囲気中では使用しないでください。
  短時間で製品が故障する場合があります。
- 本製品を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 輸送時は、本製品からインクカートリッジを取り外さないでください。

使用制限

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を起こすことがあります。本マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

本書について

本書の目的

本書は、システムの開発、設計、設置、またはプリンタアプリケーションの開発、設計に必要なすべての情報を開発技術者に提供することを、その目的としています。

本書の構成

本書は次のように構成されています。

もくじ

製品概要

本章では、製品の特徴および仕様について説明しています。

特徴

TM-C3400 は、オンデマンドラベル印刷に求められる処理速度、操作性、信頼性を備える 3 色カラーインクジェットラベルプリンタです。

印刷

- 高速印刷
  - ＊ 92 mm/s (印刷幅 56 mm、360 dpi×180 dpi、双方向印刷)
  - ＊ 47 mm/s (印刷幅 56 mm、360 dpi×360 dpi、双方向印刷)

参考　印刷速度は、解像度、印刷幅によって変わります。

- カラー印刷
  - ＊ CMY 3 色インクカラー印刷
  - ＊ 解像度：普通紙 360 dpi×180 dpi、360 dpi×360 dpi
    ：その他 360 dpi×360 dpi、720 dpi×360 dpi
    (dpi：25.4 mm あたりのドット数 (dots per inch))
  - ＊ 各ドット 4 階調表現
- 多種多様な用紙に対応
  - ＊ ロール紙、ファンフォールド紙
  - ＊ レシート、ブラックマークレシート、全面ラベル、ダイカットラベル、ブラックマークダイカットラベル
    (ラベルギャップ、ブラックマーク位置検出に対応)
  - ＊ 普通紙、普通紙ラベル、ファイン紙、PET フィルム、合成紙ラベルに対応
  - ＊ リストバンド (オプションのリストバンド専用アタッチメントが必要です。)
    ファームウェアとプリンタドライバのバージョンが以下の場合に対応しています。
    ファームウェア：　Ver.WSN00170 以降
    プリンタドライバ：Ver.1.2.0.0 以降
- ダイカットラベルの台紙などの印字領域外に、インクが付着しにくいシステム
- ドット抜けによる誤読、誤色の印刷物が発生しにくいシステム

操作性

- プリンタ前面部の操作だけでロール紙交換、インクカートリッジ交換が可能
- ロール紙を投げ込むだけで簡単に紙セットが可能
- 排紙トレイに印刷物を複数枚保持できます。ロール紙の場合、複数枚保持できません。

信頼性

- 耐光性、耐水性に優れた顔料インクを使用
- 自動ノズルチェックシステム搭載し、ドット抜け印刷の発生しにくい高信頼性システム

ソフトウェア

- Windows® ドライバでの印刷
- プリンタドライバにバーコードフォントを内蔵、.NET 環境のアプリケーションからも使用可能
- 再印刷機能により、紙なしや紙ジャムエラーの解消後に、印刷できなかったページから印刷可能
- EpsonNet SDK for Windows (以降 EpsonNet SDK) により､ネットワーク環境でのプリンタ状態を取得可能 (EpsonNet SDK は API であり、プリンタの状態を取得するアプリケーションを作成できます)
- EpsonNet SDK を使った専用サンプルプログラム (言語：VB.NET、C++、VB6.0、C#)

その他

- ブラックマーク、用紙間ギャップ (ダイカットラベル) を検出
- オートカッタを標準装備
- ブザーを標準装備

製品構成

インタフェース

- USB インタフェースモデル (USB 2.0 ハイスピード)
- イーサネットインタフェースモデル (100 Base-TX/10 Base-T)

カラー

ホワイト

アクセサリ

同梱品

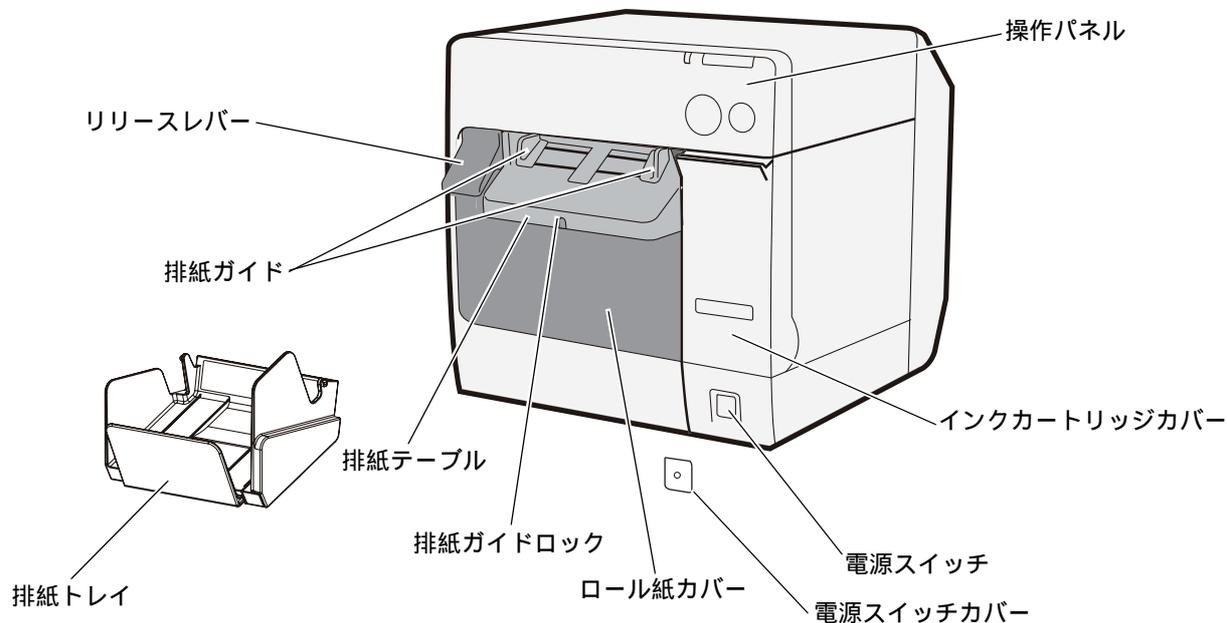
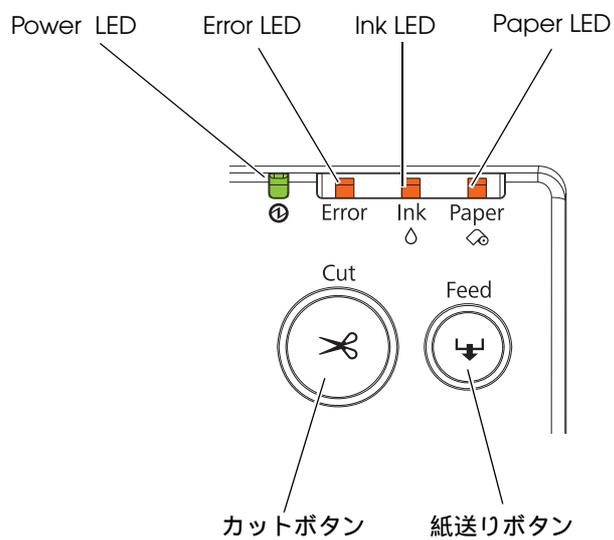
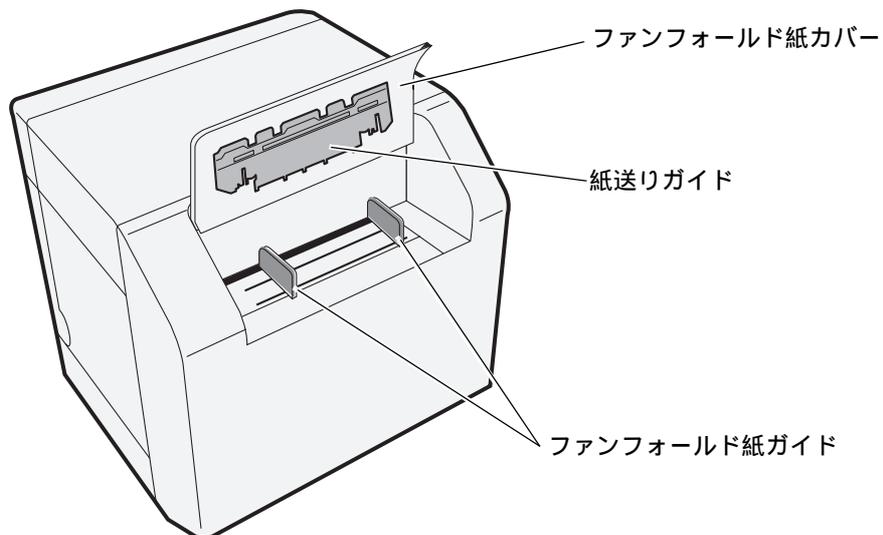
- ロール紙 (初期動作確認用)
- インクカートリッジ (型番：SJIC15P)
- 排紙トレイ
- スイッチカバー
- 紙送りガイド（ファンフォールド紙用：ファンフォールド紙カバー裏に取り付け）
- 専用 AC アダプタ (型番：PS-180、プリンタに内蔵されています)
- AC ケーブル
- USB ケーブル (USB モデルのみ)
- 取扱説明シート
- ユーザーズマニュアル (本体用、AC アダプタ用)

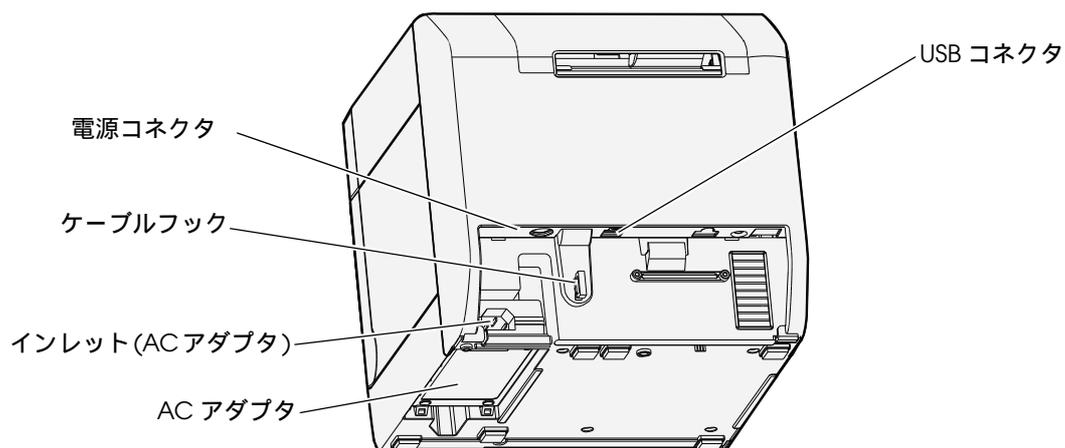
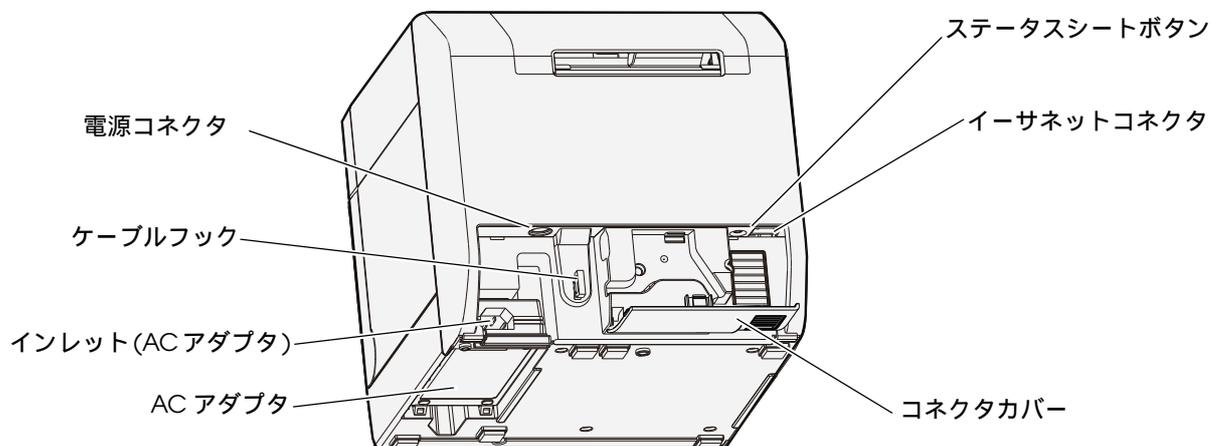
注意	本製品にはプリンタドライバ、ユーティリティ、製品取扱説明書は含まれていません。弊社ホームページよりダウンロードし入手をお願いいたします。 http://www.epson.jp/support/sd/

オプション

- リストバンド専用アタッチメント (OT-WA34)
  リストバンド (WB-S/M/L シリーズ) 使用時に使用します。

各部の名称と働き

製品前面

操作パネル

製品背面

コネクタ部（背面下部）

USB インタフェースモデル

イーサネットインタフェースモデル

電源スイッチ

 注意 プリンタの電源は、AC アダプタの電源が接続されていることを確認してからオンにしてください。

- ディップスイッチ 1 が OFF の場合、電源がオフの状態で電源スイッチを押すと、電源のオンを行います。
- ディップスイッチ 1 が OFF の場合、電源がオンの状態で電源スイッチを約 3 秒継続して押すと、電源のオフを行います。
- ディップスイッチ 1 が ON の場合、電源スイッチを約 3 秒継続して押すと、プリンタのリセットを行います。

参考 ディップスイッチの設定については、72 ページ「ディップスイッチの設定」を参照してください。

電源スイッチカバー

電源スイッチカバーを取り付けると、電源スイッチの誤操作を防止できます。

* 電源スイッチを操作させない場合
  電源スイッチカバーをそのまま取り付ける。
* 先の細いものを差し込んで、電源スイッチを操作する場合
  電源スイッチカバーの穴を抜いてから取り付ける。

参考 電源スイッチカバーの取り付けの詳細は、96 ページ「電源スイッチカバーの取り付け」を参照してください。

電源スイッチカバーを取り付ける場合、ディップスイッチ 1 の設定をオンにしてください。(73 ページ「ディップスイッチの機能」を参照)AC 入力で電源のオン / オフを行えるようになり、分電盤などで電源を制御できます。その場合、電源スイッチはリセット機能になります。

警告 電源スイッチカバーを装着した状態で故障が発生したときは、すぐに AC ケーブルを抜いてください。そのまま使用すると、火災の原因となります。

ボタン

紙送りボタン

- 用紙位置検出設定が「位置検出なし」の場合、連続して用紙を送ります。
  - ＊ ボタンを 1 度押すと、用紙が 15 mm 送られます。
  - ＊ ボタンを押し続けると、ボタンを離すまで用紙が送られます。(最大約 6 秒)
- 用紙位置検出設定が「ブラックマーク検出 / ラベル間ギャップ検出」の場合、用紙の頭出し動作を行います。

カットボタン

- 用紙位置検出設定が「位置検出なし」の場合、次ページ先頭のオートカット位置まで用紙を送ってカットします。
- 用紙位置検出設定が「ブラックマーク検出 / ラベル間ギャップ検出」の場合、ブラックマーク、またはラベル間ギャップのオートカット位置まで用紙を送ってカットします。

ステータスシートボタン (イーサネットインタフェースモデルのみ)

ステータスシートの印刷を行います。
ステータスシートの印刷は、幅 108 mm の普通ロール紙を推奨します。

参考
- 用紙位置検出設定は、プリンタドライバのプリンタユーティリティタブで行います。
- ステータスシートについては、181 ページ「ステータスシートの印刷 (Ethernet インタフェース仕様のみ)」を参照してください。

LED

Power (電源) LED:緑

- 電源が入っているときは、点灯します。
- 電源が切れているときは、消灯します。
- プリンタの動作 (初期化、インク充てん、ヘッドクリーニング、ロール紙カバークローズ、印刷) 中は、点滅します。

Error (エラー) LED:赤

- プリンタが印字できない状態のときは、点灯または点滅します。
- 通常時 (オンライン中) は、消灯します。

Ink (インク) LED:赤

- インクの残量が少ないとき、またはインクカートリッジ内の廃液が満杯に近くなると、点滅します。
- インクカートリッジの交換時期、インクカートリッジの未装着 / 装着不良時、インクカートリッジ内の廃液が満杯になると、点灯します。
- インクが十分に残っているときは、消灯します。

Paper (紙なし) LED:赤

- 用紙がセットされていないとき、または正しくセットされていないときは、点灯します。
- 用紙が正しくセットされているときは、消灯します。

参考
- プリンタドライバの [プリンタユーティリティ] タブの [通知設定] で、インク残量少 LED 通知設定が点灯しない設定の場合は、インクの残量が少ないときでもインク LED は点滅しません。
- LED の点灯 / 点滅の組み合わせによっても、プリンタの状態が表示されます。詳細は、17 ページ「ステータス / エラー表示」を参照してください。

コネクタ

ケーブルはすべて、プリンタ背面下部に接続します。

- 電源コネクタ：　AC アダプタのケーブルを接続します。AC アダプタ本体は、工場出荷時に取り付けられています。
- USB/ インタフェースコネクタ：　各インタフェースにより、ホストコンピュータとプリンタを接続します。
- インレット (AC アダプタ)：　AC ケーブルを接続します。

参考	インタフェースと電源コネクタの接続方法については、63 ページ「ホストコンピュータとの接続」を参照してください。

排紙トレイ

排紙トレイを取り付けると、印刷された用紙を排紙トレイに一時的にためておくことができます。

参考	• 排紙トレイの取り付けの詳細は、94ページ「排紙トレイの取り付け/調整」を参照してください。 • 排紙トレイへの排紙可能枚数は、49 ページ「排紙トレイ」を参照してください。

注意	用紙のカールや長さによって、排紙トレイから用紙が落ちる場合があります。

ステータス / エラー表示

LED の点灯 / 点滅の組み合わせによって、プリンタの状態が表示されます。
エラー発生時には、LED の表示からエラー原因と対処方法を知ることができます。

● / ●：点灯　✳ / ✳：点滅　○：消灯　―：変化なし

<table>
<tr><th colspan="4">LED</th><th rowspan="2">状態</th><th rowspan="2">対処</th></tr>
<tr><th>Power</th><th>Error</th><th>Ink</th><th>Paper</th></tr>
<tr><td>●</td><td>―</td><td>―</td><td>―</td><td>電源オン</td><td>―</td></tr>
<tr><td>✳</td><td>―</td><td>―</td><td>―</td><td>電源オフ処理実行中
インク充てん動作中
ロール紙カバークローズ動作中
データ保持時または印刷中</td><td>―</td></tr>
<tr><td>●</td><td>✳</td><td>✳</td><td>✳</td><td>AID 温度エラー</td><td>環境温度が低すぎるか、高すぎる状態で使用しています。環境温度を 10 ～ 35 ℃にし、プリンタの電源をオフ / オンします。(51 ページ「環境仕様」参照)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">●</td><td rowspan="2">✳</td><td rowspan="2">✳</td><td rowspan="2">○</td><td>メンテナンス要求時</td><td>修理が必要です。</td></tr>
<tr><td>復帰不可能なノズル詰まりエラー
(ドット抜け許容印刷モード)</td><td>復帰不可能なノズル詰まりが発生してフェータルエラーになり、その後プリンタの電源をオンにした状態です。ドットが 1 ドット抜けても印刷するモードです。修理が必要です。(21 ページ「復帰不可能なドット抜けが発生した場合」参照)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">●</td><td rowspan="2">✳</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">✳</td><td>フェータルエラー</td><td>1. 電源をオフにします。
2. ロール紙カバーを開け、紙詰まりがあれば、取り除きます。(144 ページ「紙が詰まったときは」参照)
3. 電源をオンにします。
それでもエラーが発生する場合は、修理が必要です。</td></tr>
<tr><td>カッタエラー</td><td>―</td></tr>
</table>

●/●：点灯　●/●：点滅　○：消灯　—：変化なし

LED				状態	対処
Power	Error	Ink	Paper		
●（点灯）	●（点灯）	—	●（点灯）	用紙サイズエラー	正しい用紙をセットしてください。(74 ページ「用紙のセット」参照) 正しい用紙が手元にない場合、スプーラーから印刷ジョブをキャンセルしてください。正しい用紙が手元になく、スプーラーに印刷ジョブもない場合、プリンタの電源をオフ / オンしてエラーを解除してください。
				用紙経路エラー	ディップスイッチ 3 の設定と、プリンタドライバの給紙方法を一致させてください。(73 ページ「ディップスイッチの機能」参照)
				紙ジャムエラー	紙詰まりを取り除いてください。(144 ページ「紙が詰まったときは」参照)
●（点灯）	●（点灯）	—	●（点滅）	用紙種類エラー	正しい用紙をセットしてください。(74 ページ「用紙のセット」参照)
●（点灯）	—	●（点灯）	—	インクカートリッジ交換時期 インクカートリッジ廃液満杯	新しいインクカートリッジに交換してください。(137 ページ「インクカートリッジの交換」参照)
				インクカートリッジ未装着 インクカートリッジ装着不良	インクカートリッジを正しくセットしてください。(137 ページ「インクカートリッジの交換」参照)
				インクカートリッジカバーオープン	インクカートリッジカバーを閉じてください。
●（点灯）	—	●（点滅）	—	インク残量少 インクカートリッジ廃液フル間近	インクの交換時期が近づいています。新しいインクカートリッジを用意してください。
●（点灯）	—	—	●（点灯）	用紙なし 用紙なしエラー	用紙をセットしてください。(139 ページ「用紙の交換」参照)
				ロール紙カバーオープン	ロール紙カバーを閉じてください。
●（点灯）	—	—	●（点滅）	用紙除去エラー	残ったファンフォールド紙を取り除いてください。(145 ページ「ファンフォールド紙の場合」参照)

印刷動作モード

本プリンタは自動ノズルチェックシステムでドット抜けを定期的に監視し、ドット抜けが発生するとオートヘッドクリーニングを行います。6 つのモードがありますので、必要とされる印刷品質と動作の中から選択してください。

これはプリンタドライバの [プリンタユーティリティ] - [印刷動作モードの設定] で設定します。

きわめて高い信頼性、安全性が要求される場合、プリンタドライバの設定と併用して、アプリケーションからもドット抜けを検出してください。詳細は 136 ページ「きわめて高い信頼性、安全性が要求される場合」を参照してください。プリンタの印刷動作モードは、セルフテストで確認できます。詳細は 179 ページ「セルフテスト」を参照してください。

- 高信頼性モード（無効（Void）画像印刷）
  各ページ印刷終了後にドット抜けチェックを行い、直前のページにドット抜けがないことを確認します。ドット抜けが検出された場合には、直前のページ下部に無効（Void）印刷を行います。またオートヘッドクリーニングをしてドット抜け解消後に、該当のページから再印刷を実施します。
  無効印刷の初期値は黒ベタ印刷ですが、別の画像ファイルを登録することも可能です。無効印刷された印刷物はドット抜けが発生しているので、破棄などしてください。

- 高信頼性モード（再印刷実行選択）
  各ページ印刷終了後にドット抜けチェックを行い、直前のページにドット抜けがないことを確認します。
  ドット抜けが検出された場合、以下のEPSONプリンタウィンドウ!3が表示され、次の動作をお客様が選択します。選択できる動作は、[印刷再開](次のデータを印刷) と [再印刷](オートヘッドクリーニングしてドット抜け解消後に再印刷) です。
  なお、この印刷動作モードを選択する場合、[ドライバユーティリティ] タブの [ドライバの動作設定] - [EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する] をチェックする必要があります。

- エコノミーモード（無効 (Void) 画像印刷）
  定期的に行うクリーニングを廃止し、各ページ印刷終了後にドット抜けチェックを行います。
  隣接 2 ドット以上の抜けが検出された場合、直前のページ下部に無効（Void）印刷を行います。また、オートヘッドクリーニングをしてドット抜け解消後に、該当のページから再印刷を実施します。
  デフォルトの無効印刷は黒ベタ印刷ですが、別の画像ファイルを登録することも可能です。

- エコノミーモード（再印刷実行選択）
  定期的に行うクリーニングを廃止し、各ページ印刷終了後にドット抜けチェックを行います。
  隣接 2 ドット以上の抜けが検出された場合、EPSON プリンタウィンドウ !3 が表示され、次の動作をお客様が選択します。選択できる動作は、[印刷再開]（次のデータを印刷）と [再印刷]（オートヘッドクリーニングしてドット抜け解消後に再印刷）です。
  なお、この印刷動作モードを選択する場合、[ドライバユーティリティ] タブの [ドライバの動作設定] - [EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する] をチェックする必要があります。

- 誤読なしモード
  各ページ印刷終了後のドット抜けチェックは行いませんが、プリンタ休止時にドット抜けチェックを行います。

- 誤色なしモード
  各ページ印刷終了後のドット抜けチェックは行いませんが、プリンタ休止時にドット抜けチェックを行います。
  ドット抜けによる誤色を防止する状態は、ファームウェアのバージョンによって以下のように異なります。

  Ver.AAExxxxx 以外：上下に隣接した 2 ドット抜け、または全ノズルのうち 3 ドット抜けがない状態にして、ドット抜けによる誤色を防止します。つまり、隣接しない 2 ドットまでのドット抜けは、ヘッドクリーニングを行いません。

  Ver.AAExxxxx: 上下に隣接した 3 ドット抜け、または全ノズルのうち 10 ドット抜けがない状態にして、ドット抜けによる誤色を防止します。

  ＊：Ver.AAExxxxx の「x」は、任意の英数字 1 文字を表します。

参考

高信頼性モードまたはエコノミーモードは、各ページ印刷終了後にドット抜けチェックするため、印刷完了に時間がかかります。
エコノミーモードは、プリンタのファームウェアが Ver.WSN00180 以降に追加されました。ファームウェアのバージョンは、セルフテストで確認できます。（179 ページ「セルフテスト」）
プリンタドライバが Ver.1.3.0.0 より以前の場合は、エコノミーモードに変更したり、エコノミーモードから別のモードに変更することができません。

注意

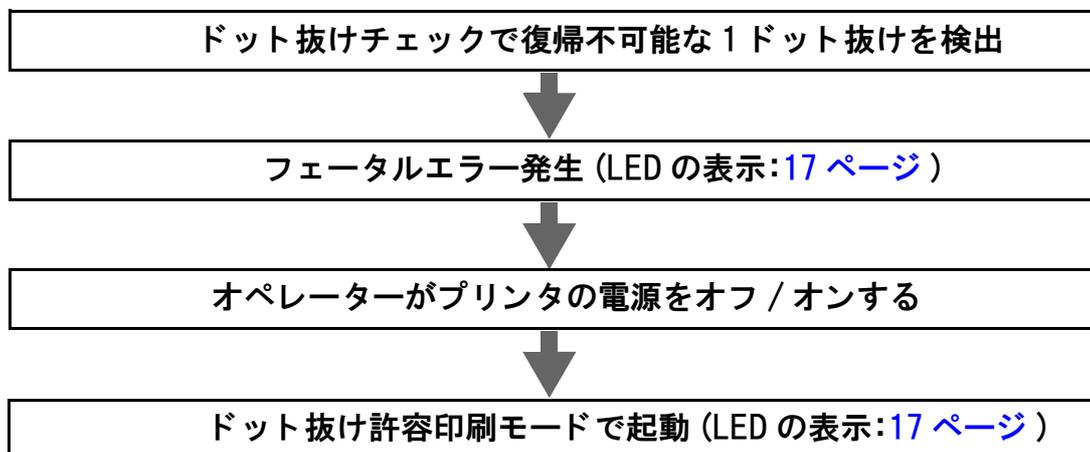
- 本機能は、100%ドット抜け防止を保証するものではありません。
- ノズル詰まり検出に微量のインクを使います。
- ノズル詰まり検知後にオートヘッドクリーニングが実行されます。クリーニング実行時には、インクが消費されます。
- ノズル詰まり検出は無効にできません。
- [高信頼性モード(再印刷実行選択)]または[エコノミーモード(再印刷実行選択)]を選択する場合、[ドライバユーティリティ]タブの[ドライバの動作設定]－[EPSON プリンタウィンドウ!3 を使用する]のチェックを外さないでください。

復帰不可能なドット抜けが発生した場合、各モードごとにプリンタの動作が異なります。以下のとおりです。

印刷動作モードの設定	高信頼性モード／誤読なしモード／エコノミーモード		誤色なしモード	
復帰不可能なドット抜け数	1 ドット	2 ドット以上	Ver.AAExxxxx 以外 • 1 ドット • 隣接除く 2 ドット	Ver.AAExxxxx 以外 • 隣接 2 ドット • 3 ドット以上
			Ver.AAExxxxx • 隣接 2 ドット • 9 ドット以下	Ver.AAExxxxx • 隣接 3 ドット • 10 ドット以上
LED 表示	フェータルエラー	メンテナンス要求	エラーなし（電源オン）	メンテナンス要求
プリンタ使用の可否	○（ドット抜け許容印刷モード *）	×（修理が必要）	○	×（修理が必要）

＊：ドット抜け許容印刷モードについての詳細は 21 ページ「復帰不可能なドット抜けが発生した場合」を参照してください。

復帰不可能なドット抜けが発生した場合

プリンタドライバの印刷動作モードの設定が、高信頼性モード / エコノミーモード / 誤読なしモードで、復帰不可能なドット抜けを 1 ドット検出した場合、プリンタはフェータルエラーの状態になります。プリンタの電源をオフ / オンし、ドット抜け許容印刷モードに変更すると、印刷を継続できます。

ドット抜け許容印刷モードは、各ページの印刷終了後にドット抜けチェックをするため、印刷完了に時間がかかります。ドット抜けが解消されない限り、以下の EPSON プリンタウインドウ !3 が印刷の度に表示されます。(プリンタドライバのバージョンによっては表示されません。)

参考

- ドット抜け許容印刷モードは、お使いのプリンタドライバのバージョンによって確認方法が異なります。以下を参考にしてください。
  - ＊ プリンタドライバ Ver1.1.0.0 以前
    EPSON プリンタウインドウ !3 は表示されません。LED の表示でご確認ください。(17 ページ「復帰不可能なノズル詰まりエラー (ドット抜け許容印刷モード)」)
  - ＊ プリンタドライバ Ver1.2.0.0 以降
    EPSON プリンタウインドウ !3 で表示されます。
- ドット抜け許容印刷モード時の EPSON プリンタウインドウ !3 の表示は、[ドライバユーティリティ] タブの [ドライバの動作設定] - [EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する] のチェックが外れていた場合でも表示されます。
- ドット抜け許容印刷モードで復帰不可能なドット抜けを 2 ドット以上検出した場合、メンテナンス要求になり、プリンタの修理が必要です。

ソフトウェア

システム管理者、アプリケーション開発者向けに、各種ユーティリティを用意しています。
ソフトウェアの入手方法の詳細は、128 ページ「ダウンロード」を参照してください。

用途	名称	内容
プリンタドライバのインストール	プリンタドライバ	プリンタドライバのインストールとポート設定を行います。
	簡単セットアップ	プリンタドライバのインストールと、ポート設定、プリンタのネットワーク設定を行います。
プリンタの監視	EPSONプリンタウィンドウ!3	印刷時に画面上にポップアップし、プリンタの状態を表示します。プリンタドライバと一緒にインストールされ、有効 / 無効を設定できます。 (インストール時の設定 : 無効)
プリンタドライバの配布・設定	Install Assistant	プリンタドライバのインストールと設定、ポート設定用のインストールパッケージファイルを作成します。 パッケージファイルを起動したコンピュータでは、自動的にプリンタドライバのインストール / プリンタドライバの設定 / ポート設定ができます。プリンタの設定は行われません。 ネットワークプリンタの場合、プリンタ 1 台ごとにインストールパッケージを作成します。
	Printer Setting	プリンタの設定を行います。設定用ファイルを作成し、それを複数のプリンタに一度に設定することができます。 Printer Setting は、プリンタドライバがインストールされていないコンピュータでは使用できません。
USB モデルの置き換え	USB プリンタークラスデバイス置き換えサービス	コンピュータに常駐させるサービスです。 TM-C3400 を修理などのために置き換えた場合、プリンタ接続を検知してプリンタドライバの出力するプリンタを自動的に変更します。 アプリケーション側の設定を変更しないでもプリンタを置き換えられます。(アプリケーションの出力先をポートに指定している場合は置き換えられません。プリンタドライバを指定している場合に置き換えられます。) TM-C3400 の USB シリアルナンバーを事前に書き換える必要がありません。

用途	名称	内容
ネットワークプリンタの管理	EpsonNet Simple Viewer	ネットワーク上のEPSONプリンタのステータスを確認できます。設定はできません。
	EpsonNet Config	ネットワークプリンタの設定 / 確認ができます。 一度に複数のプリンタの設定ができます。
	WebConfig 機能 (プリンタ本体の機能)	Web ブラウザのアドレスバーに、プリンタの IP アドレスを入力して、プリンタのネットワーク情報の設定 / 確認ができます。 プリンタ 1 台の設定 / 確認ができます。 プリンタが初期状態では、IP アドレスが設定されていないため使えません。
アプリケーション開発	EpsonNet SDK for Windows	ネットワークの監視用の開発用パックです。
	サンプルプログラム	TM-C3400を活用するためのサンプルプログラム集です。(全プログラムを VB.NET、C++ で用意。一部のプログラムは VB 6.0、C# でも用意。)

製品仕様

項目		仕様
印刷方式		シリアルインクジェットドットマトリクス 3 色仕様カラー印刷
紙送り方式		フリクションフィードによる正逆方向送り
オートカッタ	カット方式	刃分離型ハサミ方式
	カット形態	フルカット
画像解像度		360 dpi × 180 dpi, 360 dpi × 360 dpi, 720 dpi × 360 dpi
印字速度		• 92 mm/s (印刷幅 56 mm、360 dpi × 180 dpi) • 82 mm/s (印刷幅 72 mm、360 dpi × 180 dpi) 印刷速度は、解像度、印刷幅によって変わります。
用紙 (詳細は 26 ページ「用紙仕様」 を参照)	種類	普通紙、普通紙ラベル、ファイン紙、ファイン紙ラベル、 PET フィルム、合成紙ラベル、リストバンド
	タイプ	レシート、ブラックマークレシート、全面ラベル、 ダイカットラベル、ブラックマークダイカットラベル
	形状	ロール紙、ファンフォールド紙
インクカートリッジ (詳細は 49 ページ「インクカートリッジ」を参照)		3 色インク一体型専用インクカートリッジ (型番 : SJIC15P)
インタフェース	USB モデル	USB 2.0 ハイスピード
	イーサネットモデル	イーサネット (100 Base-TX/10 Base-T) USB 2.0 ハイスピード (イーサネットモデルは、USB 接続でも使用できます。 イーサネット接続と USB 接続を同時に行うことはできません。)
バーコード / 2 次元コード印刷	バーコード バーコード識別率 ANSI ランク D (弊社基準による)	UPC-A、UPC-E、JAN 8 (EAN 8)、JAN 13 (EAN 13)、Code 39、 ITF、Codabar、Code 93、Code 128、GS1-128、 GS1 DataBar Omnidirectional、GS1 DataBar Truncated、 GS1 DataBar Limited、GS1 DataBar Expanded
	2 次元コード	PDF417、QR コード、Maxi Code、GS1 DataBar Stacked、 GS1 DataBar Stacked Omnidirectional、 GS1 DataBar Expanded Stacked、DataMatrix、Aztec Code
電源		AC100V (専用 AC アダプタ PS-180 による電源供給)
温度・湿度 (詳細は 51 ページ「環境仕様」 を参照)	印刷時	10 ～ 35 ℃、20 ～ 80%RH 非結露
	保管時	出荷梱包状態:-20～60℃、5～85%RH 非結露(インク非充てん) -20 ℃または 60 ℃の場合 : 120H 以内 インク充てん状態 : -20 ～ 40 ℃ -20 ℃の場合 : 120H 以内 0 ～ 30 ℃の場合 : 6ヶ月以内 40 ℃の場合 : 1ヶ月以内
外形寸法 (H×W×D)		261 × 255 × 275 mm (突起部を除く)
質量		約 10.0 kg (インクカートリッジ、ロール紙、排紙トレイは含みません。)

動作環境

OS		Microsoft Windows 7 SP1 (32 bit/ 64 bit) Microsoft Windows Vista SP2 (32 bit/ 64 bit) Microsoft Windows XP SP3 (32 bit) Microsoft Windows XP SP2 (64 bit) Microsoft Windows 2000 SP4 (32 bit) Microsoft Windows Server 2008 R2 SP1 Microsoft Windows Server 2008 SP2 (32 bit/ 64 bit) Microsoft Windows Server 2003 R2 SP2 (32 bit/ 64 bit)
コンピュータ		上記 OS が動作する以下のコンピュータをサポートしていること。 • PC/AT 互換機
CPU		1GHz 以上のプロセッサ搭載 PC を推奨 Intel Pentium/Celeron 系列、AMD Athlon/Duron ファミリ、またはこれらと互換のプロセッサを推奨
Memory	Windows 2000	256MB 以上を推奨
	Windows XP/Vista/7 /Server 2003 /Server 2008	512MB 以上を推奨
HDD		空き容量 250MB 以上

注意

- 上記システムの最低条件は、OS の最小システム要件を満たしていない場合があります。その場合、OS の最小システム要件を満たしてください。
- ネットワークのプリンタは最大 64 台までサポートしています。その場合、上記システムの最低条件では、プリンタの機能を十分発揮できないことがあります。

印刷仕様

印刷領域	ロール紙	最小幅 26 mm、最大幅 104 mm
	ファンフォールド紙	最小幅 46 mm、最大幅 104 mm
印刷速度	360 × 180 dpi (横 × 縦)	印刷幅 56 mm : 92 mm/s、72 mm : 82 mm/s、104 mm : 68 mm/s
	360 × 360 dpi (横 × 縦)	印刷幅 56 mm : 47 mm/s、72 mm : 42 mm/s、104 mm : 35 mm/s
	720 × 360 dpi (横 × 縦)	印刷幅 56 mm : 23 mm/s、72 mm : 21 mm/s、104 mm : 17 mm/s

dpi：1 インチ (24.4 mm) あたりのドット数 (dots per inch)

用紙仕様

本プリンタで使用可能な用紙は以下のとおりです。

注意

- 指定紙以外の用紙を使用する場合、紙送り精度／バーコード認識率／印刷品質の低下、紙ジャムが発生することがあります。
- 合成紙ラベルのブラックマークダイカットラベルは、「左右端のみカス取りされている用紙」を使用してください。
- 合成紙ラベルと紙台紙を組み合わせたラベル紙を使用しないでください。合成紙ラベルと紙台紙の温度や湿度による伸縮率が異なるため用紙のカールが発生します。カールした用紙を使用すると、印刷ヘッドとの擦れによる汚れ、紙ジャムが発生する場合があります。

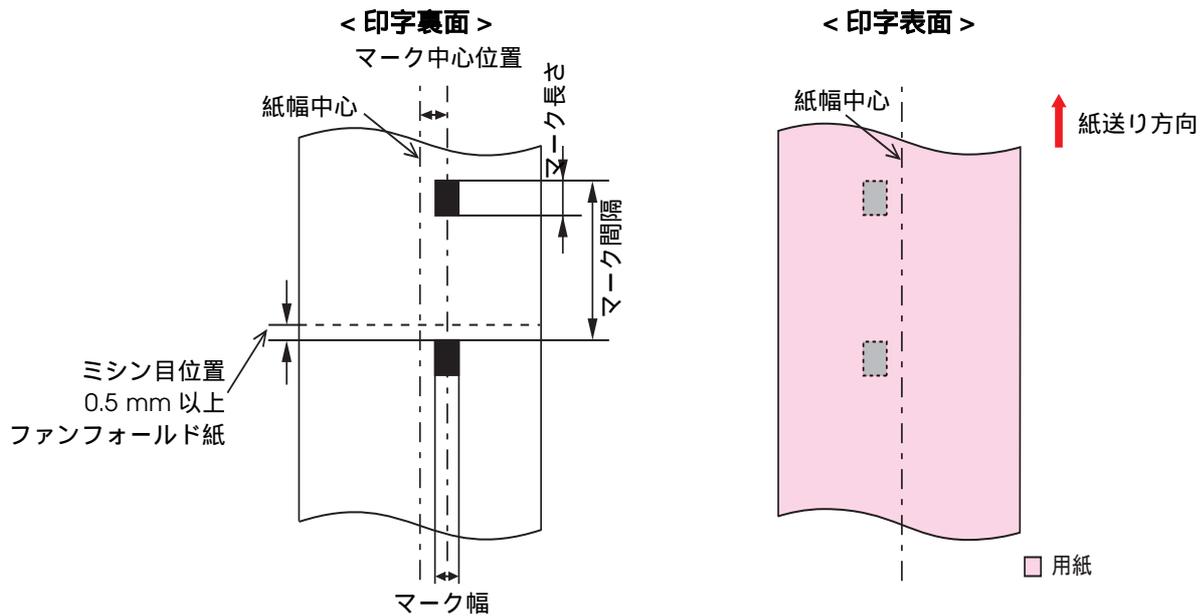
用紙タイプ	用紙種類	給紙方法 (形状)	幅
レシート (連続紙)	普通紙 ファイン紙 PET フィルム	ロール紙	30 ～ 108 mm (用紙幅)
ブラックマークレシート (ブラックマーク付き連続紙)	普通紙 ファイン紙 PET フィルム	ロール紙	30 ～ 108 mm (用紙幅)
ブラックマークレシート (ブラックマーク付き連続紙)	普通紙 ファイン紙 PET フィルム	ファンフォールド紙	50 ～ 108 mm (用紙幅)
全面ラベル	普通紙ラベル ファイン紙ラベル 合成紙ラベル	ロール紙	25.4 ～ 108 mm (ラベル幅)
ダイカットラベル	普通紙ラベル ファイン紙ラベル 合成紙ラベル	ロール紙	25.4 ～ 108 mm (ラベル幅)
ブラックマークダイカットラベル (ブラックマーク付きダイカットラベル)	普通紙ラベル ファイン紙ラベル 合成紙ラベル	ロール紙	25.4 ～ 108 mm (ラベル幅)
ブラックマークダイカットラベル (ブラックマーク付きダイカットラベル)	普通紙ラベル ファイン紙ラベル	ファンフォールド紙	46 ～ 108 mm (ラベル幅)
ブラックマークレシート (ブラックマーク付き連続紙)	リストバンド	ロール紙	36 mm (用紙幅)

レシート

連続紙です。

用紙種類	普通紙、ファイン紙、PET フィルム
形状	ロール紙
紙幅	30 ～ 108 mm
レシート長さ	15 ～ 1117.6 mm
紙厚	0.085 ～ 0.151 mm
巻芯	外径：44.1 mm
外径	最大 101.6 mm
巻き方向	印字面が外側

注意　穴、切り欠きのある用紙は使用できません。

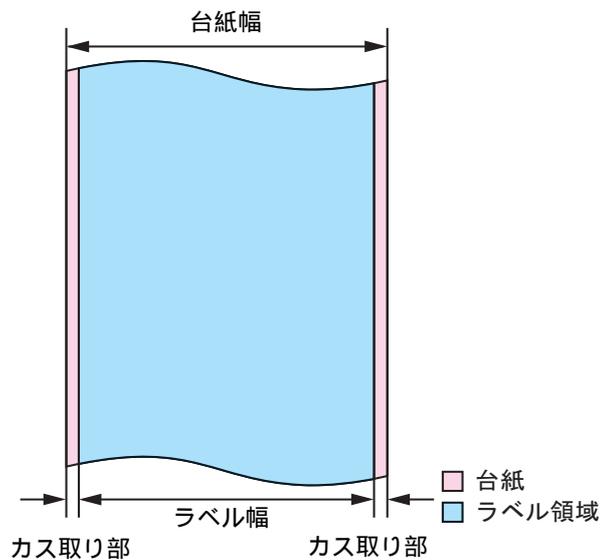
ブラックマークレシート

用紙種類	普通紙、ファイン紙、PET フィルム
形状	ロール紙
紙幅	30 ～ 108 mm
レシート長さ	15 ～ 1117.6 mm
ブラックマーク幅	13 mm 以上
ブラックマーク長さ	5 mm 以上
ブラックマーク中心位置	8.5 ± 1 mm
ブラックマーク間隔	15 mm ～ 1117.6 mm
紙厚	0.085 ～ 0.151 mm
巻芯	外径：44.1 mm 以上
外径	最大 101.6 mm
巻き方向	印字面が外側

注意 穴、切り欠きのある用紙は使用できません。

用紙種類	普通紙、ファイン紙、PET フィルム
形状	ファンフォールド紙
紙幅	50 ～ 108 mm
レシート長さ	15 ～ 304.8 mm
ブラックマーク幅	13 mm 以上
ブラックマーク長さ	5 mm 以上
ブラックマーク中心位置	8.5 ± 1 mm
ブラックマーク間隔	15 mm ～ 304.8 mm
紙厚	0.119 ～ 0.151 mm
ミシン目間隔	203.2 ～ 304.8 mm
ミシン目形状	普通紙　: 1 mm アンカット、5 mm カット ファイン紙　: 1 mm アンカット、5 mm カット PET フィルム　: 0.6 mm アンカット、8.4 mm カット
折り数	500 折り以下

注意

- 穴、切り欠きのある用紙は使用できません。
- ファンフォールド紙は、ブラックマークがミシン目から0.5 mm以上離れているものを使用してください。
- 用紙を逆方向から挿入しても使用できるようにするには、どちらの方向から挿入しても、ブラックマークがミシン目に対して同じ位置にくるように（ブラックマークセンサで検出できる位置に）してください。

全面ラベル

用紙種類	普通紙ラベル、ファイン紙ラベル、合成紙ラベル
形状	ロール紙
台紙幅	30 ～ 112 mm
ラベル幅	25.4 ～ 108 mm
ラベル長さ	15 ～ 1117.6 mm
左右カス取り部	2 ± 0.5 mm
紙厚	0.128 ～ 0.195 mm
巻芯	外径：44.1 mm 以上
外径	最大 101.6 mm
巻き方向	印字面が外側

注意 穴、切り欠きのある用紙は使用できません。

ダイカットラベル

用紙種類	普通紙ラベル
形状	ロール紙
台紙幅	30 ～ 112 mm
ラベル幅	25.4 ～ 108 mm
ラベル長さ	25.4 ～ 1117.6 mm (ラベル長さが 25.4 mm 未満のラベルを使用したい場合、ブラックマークダイカットラベルを参照してください。)
ラベル間ギャップ	3 ～ 6 mm
左右カス取り部	2 ± 0.5 mm
ラベル角 R	2 mm 以下
紙厚	0.128 mm
巻芯	外径：44.1 mm 以上
外径	最大 101.6 mm
巻き方向	印字面が外側

注意　穴、切り欠きのある用紙は使用できません。

用紙種類	ファイン紙ラベル
形状	ロール紙
台紙幅	30 ～ 112 mm
ラベル幅	25.4 ～ 108 mm
ラベル長さ	25.4 ～ 1117.6 mm (ラベル長さが 25.4 mm 未満のラベルを使用したい場合、ブラックマークダイカットラベルを参照してください。)
ラベル間ギャップ	3 ～ 6 mm
左右カス取り部	2 ± 0.5 mm
ラベル角 R	2 mm 以下
紙厚	0.145 mm
巻芯	外径：56.8 mm 以上
外径	最大 101.6 mm
巻き方向	印字面が外側

注意 穴、切り欠きのある用紙は使用できません。

用紙種類	合成紙ラベル
形状	ロール紙
台紙幅	30 ～ 112 mm
ラベル幅	25.4 ～ 108 mm
ラベル長さ	巻芯が 44.1 mm 以上の場合：50.8 ～ 1117.6 mm 巻芯が 56.8 mm 以上の場合：32 ～ 1117.6 mm (上記未満のラベル長さのラベルを使用したい場合、ブラックマークダイカットラベルを参照してください。)
ラベル間ギャップ	3 ～ 6 mm
左右カス取り部	2 ± 0.5 mm
ラベル角 R	2 mm 以下
紙厚	0.195 mm
巻芯	外径：44.1 mm 以上
外径	最大 101.6 mm
巻き方向	印字面が外側

注意 穴、切り欠きのある用紙は使用できません。

ブラックマークダイカットラベル

用紙種類	普通紙ラベル
形状	ロール紙
台紙幅	30 〜 112 mm
ラベル幅	25.4 〜 108 mm
ラベル長さ	25.4 〜 1117.6 mm (ラベル長さが 15 〜 25.4 mm 未満の場合、「左右端のみカス取りされている用紙」を使用してください。)
ラベル間ギャップ	3 〜 6 mm
左右カス取り部	2 ± 0.5 mm
ラベル角 R	2 mm 以下
ブラックマーク幅	13 mm 以上
ブラックマーク長さ	5 mm 以上
ブラックマーク中心位置	8.5 ± 1 mm
ブラックマーク間隔	15 mm 〜 1117.6 mm
紙厚	0.128 mm
巻芯	外径：44.1 mm 以上
外径	最大 101.6 mm
巻き方向	印字面が外側

注意

- 穴、切り欠きのある用紙は使用できません。
- ダイカットラベルへのブラックマーク位置はラベル先端とブラックマーク先端を合わせてください。

用紙種類	ファイン紙ラベル
形状	ロール紙
台紙幅	30 ～ 112 mm
ラベル幅	25.4 ～ 108 mm
ラベル長さ	25.4 ～ 1117.6 mm (ラベル長さが 15 ～ 25.4 mm 未満の場合、「左右端のみカス取りされている用紙」を使用してください。)
ラベル間ギャップ	3 ～ 6 mm
左右カス取り部	2 ± 0.5 mm
ラベル角 R	2 mm 以下
ブラックマーク幅	13 mm 以上
ブラックマーク長さ	5 mm 以上
ブラックマーク中心位置	8.5 ± 1 mm
ブラックマーク間隔	15 mm ～ 1117.6 mm
紙厚	0.145 mm
巻芯	外径：56.8 mm 以上
外径	最大 101.6 mm
巻き方向	印字面が外側

注意

- 穴、切り欠きのある用紙は使用できません。
- ダイカットラベルへのブラックマーク位置はラベル先端とブラックマーク先端を合わせてください。

用紙種類	合成紙ラベル
形状	ロール紙
台紙幅	30 ～ 112 mm
ラベル幅	25.4 ～ 108 mm
ラベル長さ	ブラックマークダイカットラベルのみです。 最小 15 ～最大 1117.6 mm は、「左右端のみカス取りされている用紙」を使用してください。
ラベル間ギャップ	3 ～ 6 mm
左右カス取り部	2 ± 0.5 mm
ラベル角 R	2 mm 以下
ブラックマーク幅	13 mm 以上
ブラックマーク長さ	5 mm 以上
ブラックマーク中心位置	8.5 ± 1 mm
ブラックマーク間隔	15 mm ～ 1117.6 mm
紙厚	0.195 mm
巻芯	外径：44.1 mm 以上
外径	最大 101.6 mm
巻き方向	印字面が外側

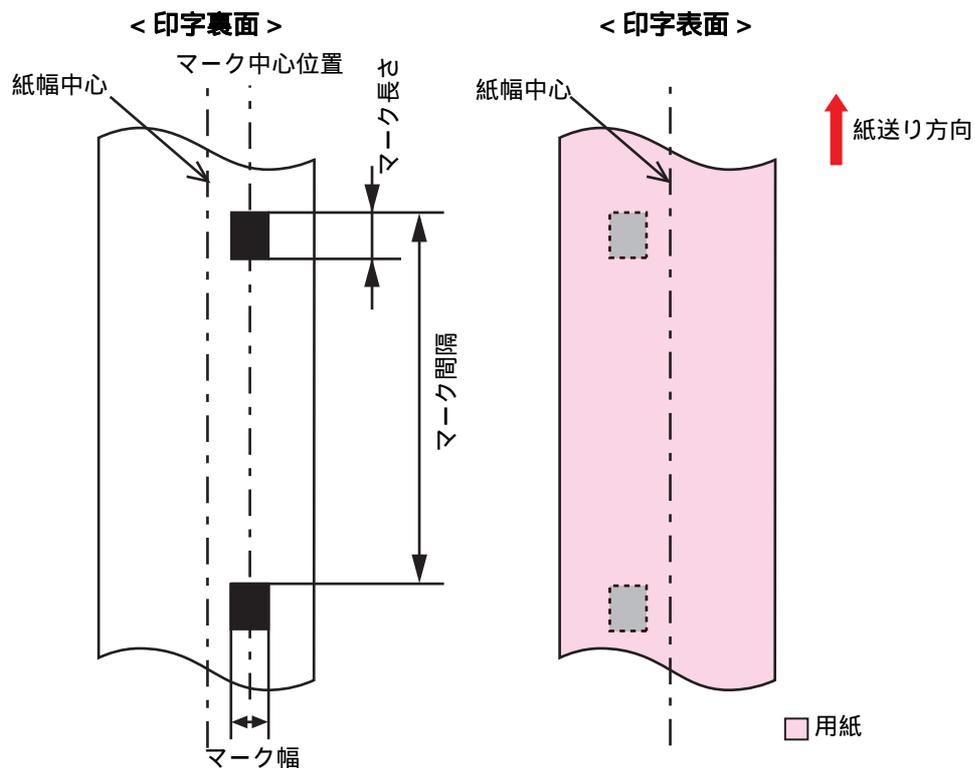
注意

- 穴、切り欠きのある用紙は使用できません。
- ダイカットラベルへのブラックマーク位置はラベル先端とブラックマーク先端を合わせてください。

用紙種類	普通紙ラベル、ファイン紙ラベル
形状	ファンフォールド紙
台紙幅	50 ～ 112 mm
ラベル幅	46 ～ 108 mm
ラベル長さ	15 ～ 301.8 mm
ラベル間ギャップ	3 ～ 6 mm
左右カス取り部	2 ± 0.5 mm
ラベル角 R	2 mm 以下
ブラックマーク幅	13 mm 以上
ブラックマーク長さ	5 mm 以上
ブラックマーク中心位置	8.5 ± 1 mm
ブラックマーク間隔	15 mm ～ 304.8 mm
紙厚	0.145 ～ 0.161 mm
ミシン目間隔	203.2 ～ 304.8 mm
ミシン目形状	普通紙ラベル　　: 1 mm アンカット、5 mm カット ファイン紙ラベル : 1 mm アンカット、5 mm カット
折り数	500 折り以下

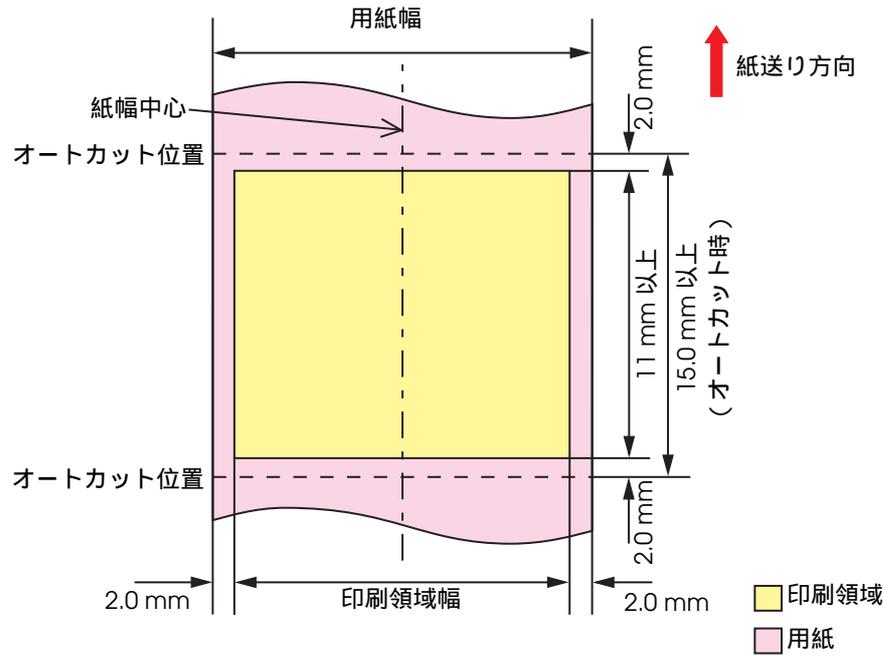
注意

- 穴、切り欠きのある用紙は使用できません。
- ダイカットラベルへのブラックマーク位置はラベル先端とブラックマーク先端を合わせてください。
- ファンフォールド紙は、ブラックマークがミシン目から 2 mm 以上離れているものを使用してください。
- 用紙を逆方向から挿入しても使用できるようにするには、どちらの方向から挿入しても、ブラックマークがミシン目に対して同じ位置にくるように（ブラックマークセンサで検出できる位置に）してください

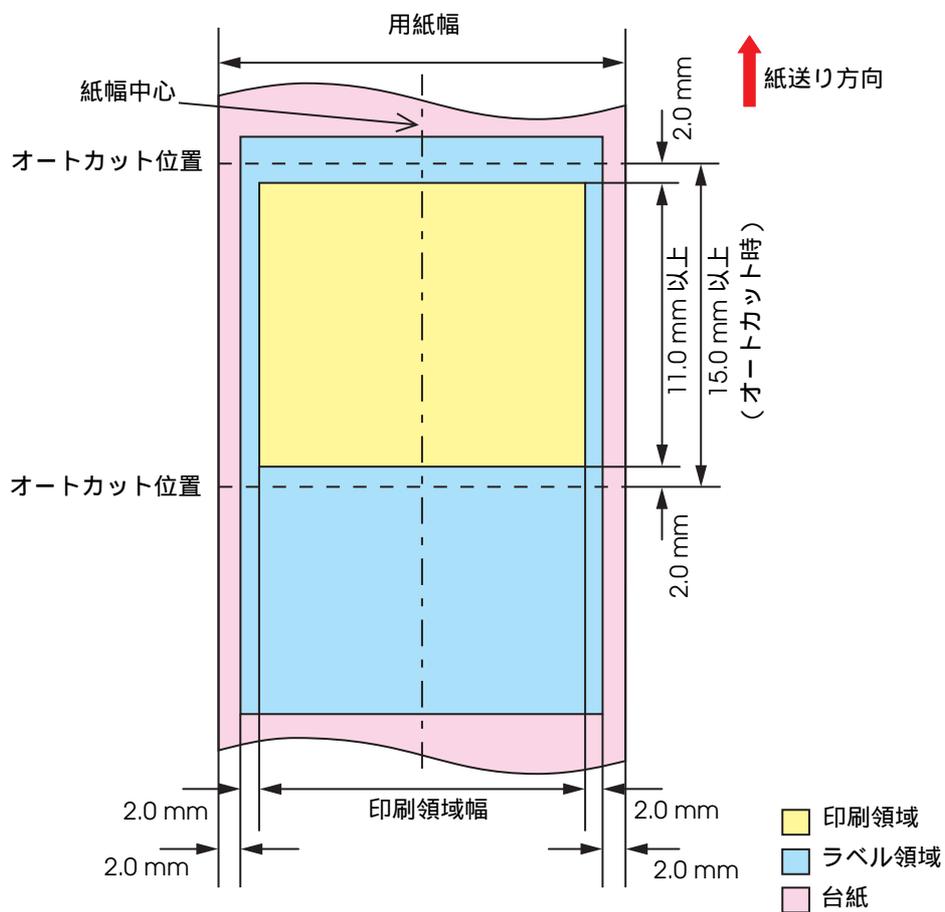
リストバンド

用紙種類		リストバンド
指定専用紙		WB-S シリーズ、WB-M シリーズ、WB-L シリーズ
形状		ロール紙
紙幅		36 mm
ブラックマーク幅		13 mm 以上
ブラックマーク長さ		5 mm 以上
ブラックマーク中心位置		8.5 ± 1 mm
ブラックマーク間隔	WB-S シリーズ	184.1 mm
	WB-M シリーズ	292.1 mm
	WB-L シリーズ	292.1 mm
紙厚		0.2 mm
巻芯		外径：56.8 mm 以上
外径		最大 101.6 mm
巻き方向		印字面が外側
穴、切り欠き		穴径：2.5 mm 以下

印刷位置とカット位置

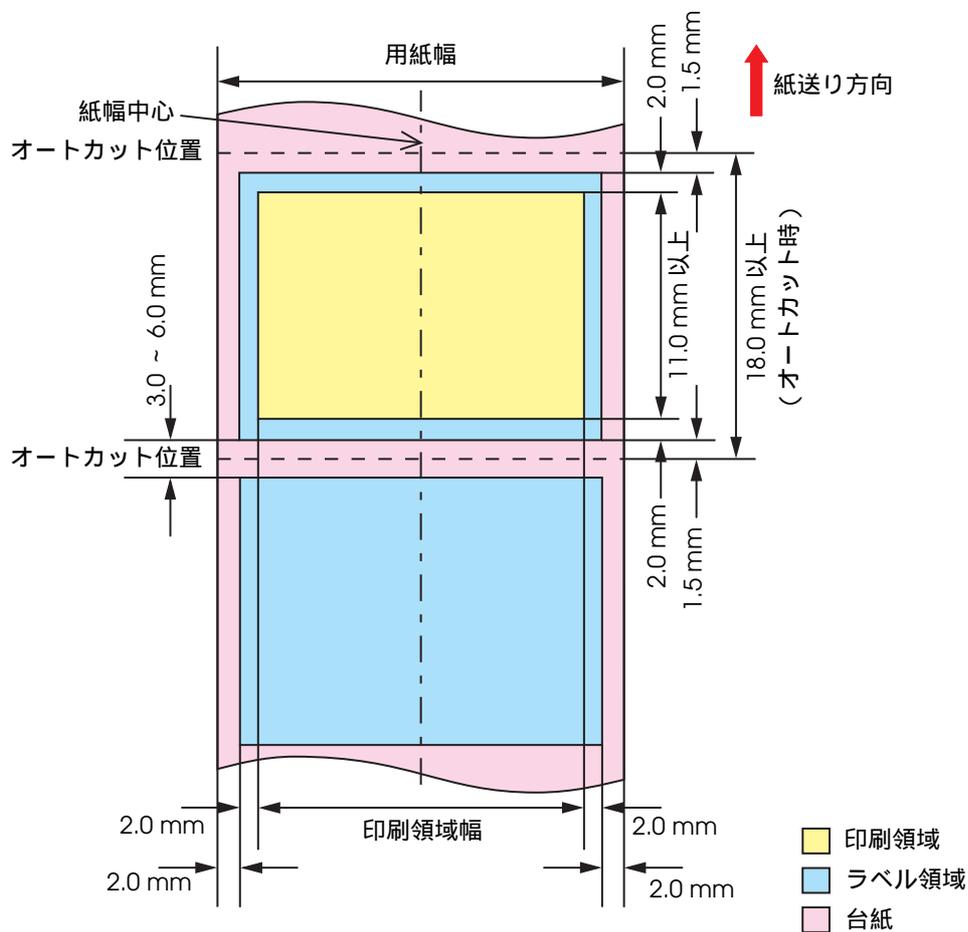
レシート・ロール紙

上余白：　2.0 mm（中心値）
左右余白：2.0 mm（中心値）
下端余白：2.0 mm（中心値）

注意	ロール紙オプションが長尺モードの場合、印刷ジョブの最初のページに上余白が設けられますが、ページ間には余白は存在しません。印刷ジョブの最終ページに下余白が設けられます。

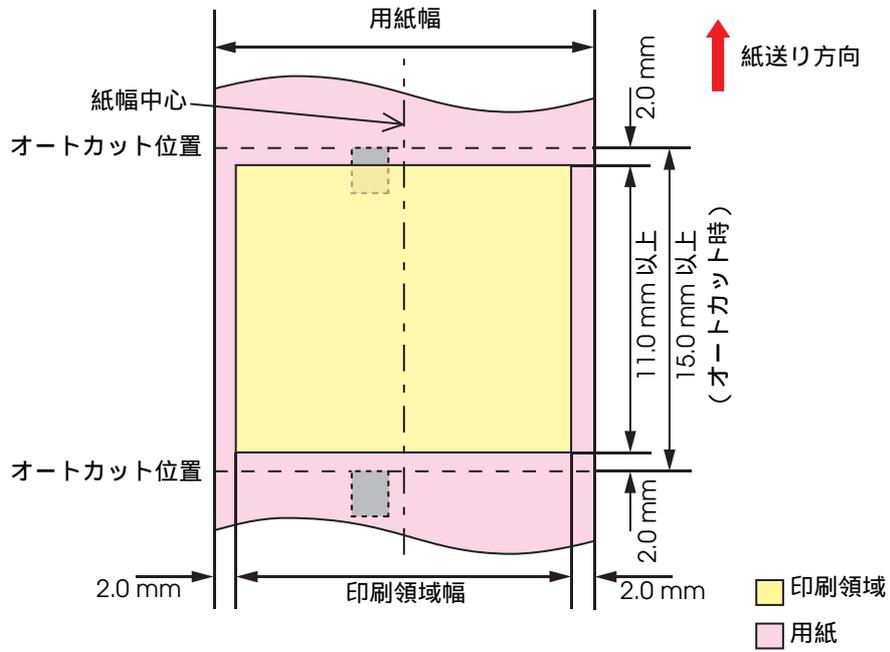
全面ラベル・ロール紙

上余白（ラベル内）： 2.0 mm（中心値）
左右余白（ラベル内）：2.0 mm（中心値）
下端余白（ラベル内）：2.0 mm（中心値）

注意	ロール紙オプションが長尺モードの場合、印刷ジョブの最初のページに上余白が設けられますが、ページ間には余白は存在しません。印刷ジョブの最終ページに下余白が設けられます。

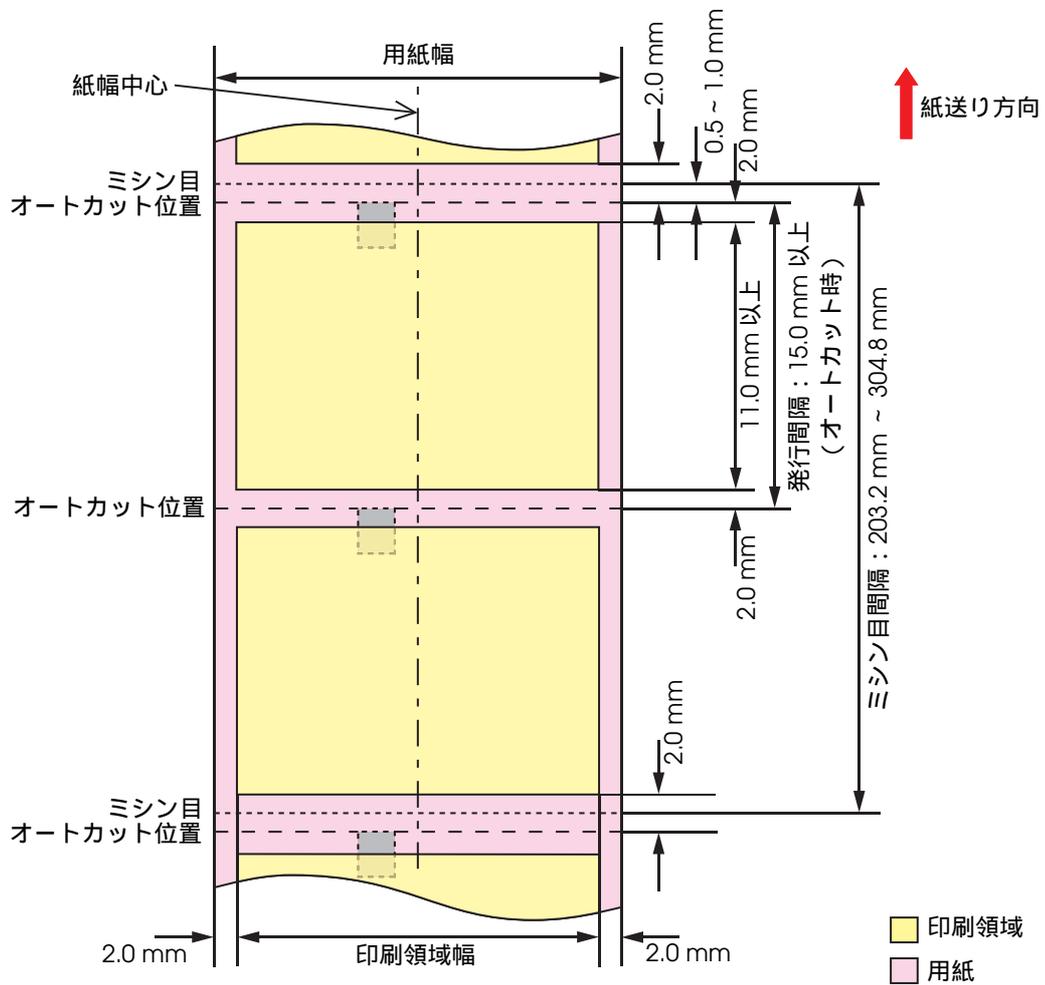
ダイカットラベル・ロール紙

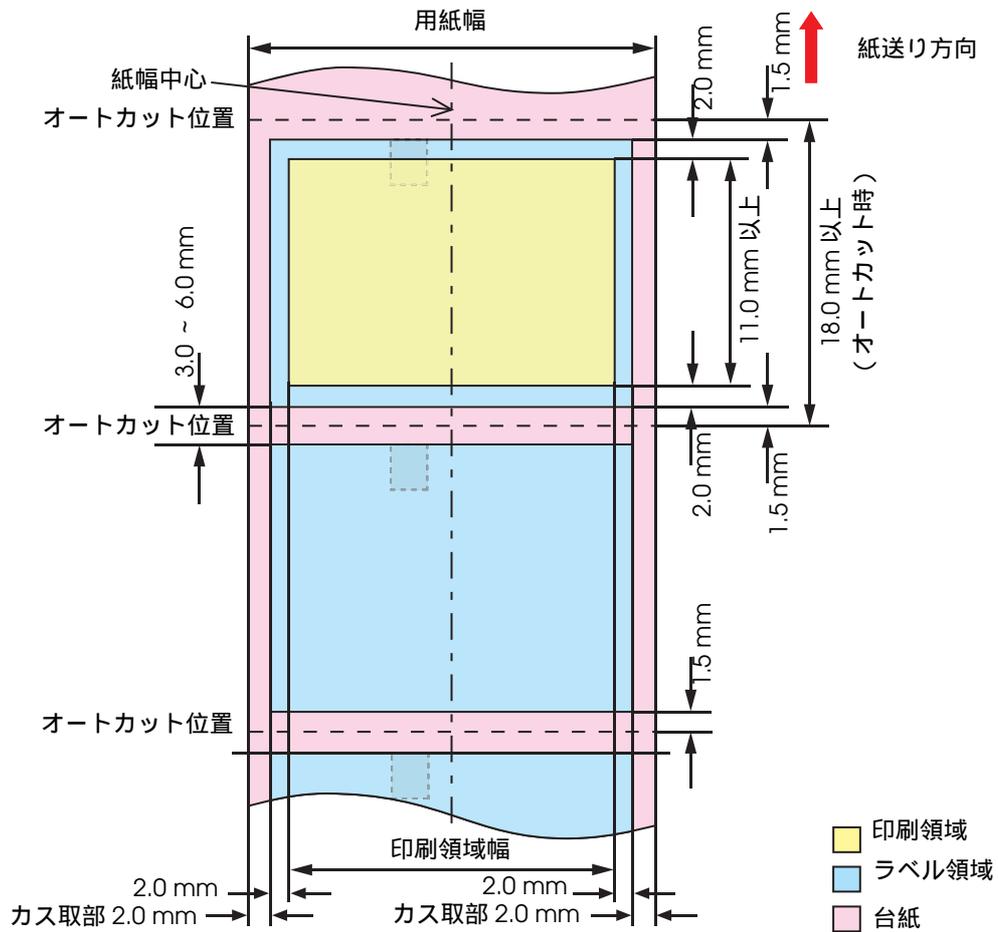
上余白（ラベル内）：　2.0 mm（中心値）
左右余白（ラベル内）：2.0 mm（中心値）
下端余白（ラベル内）：2.0 mm（中心値）

ブラックマークレシート・ロール紙

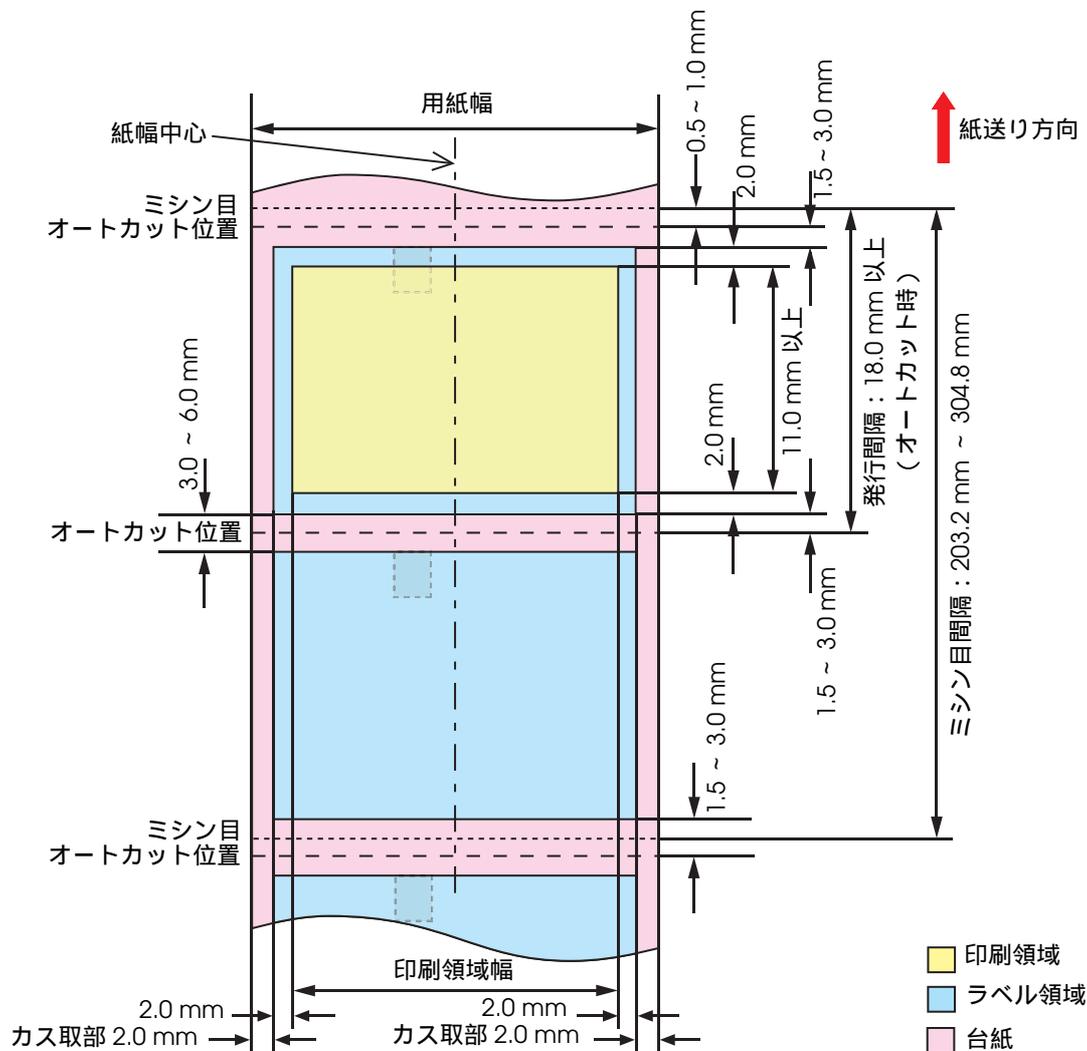
上余白：　2.0 mm（中心値）

左右余白：2.0 mm（中心値）

下端余白：2.0 mm（中心値）

ブラックマークレシート・ファンフォールド紙

上余白：　2.0 mm（中心値）
左右余白：2.0 mm（中心値）
下端余白：2.0 mm（中心値）

ブラックマークダイカットラベル・ロール紙

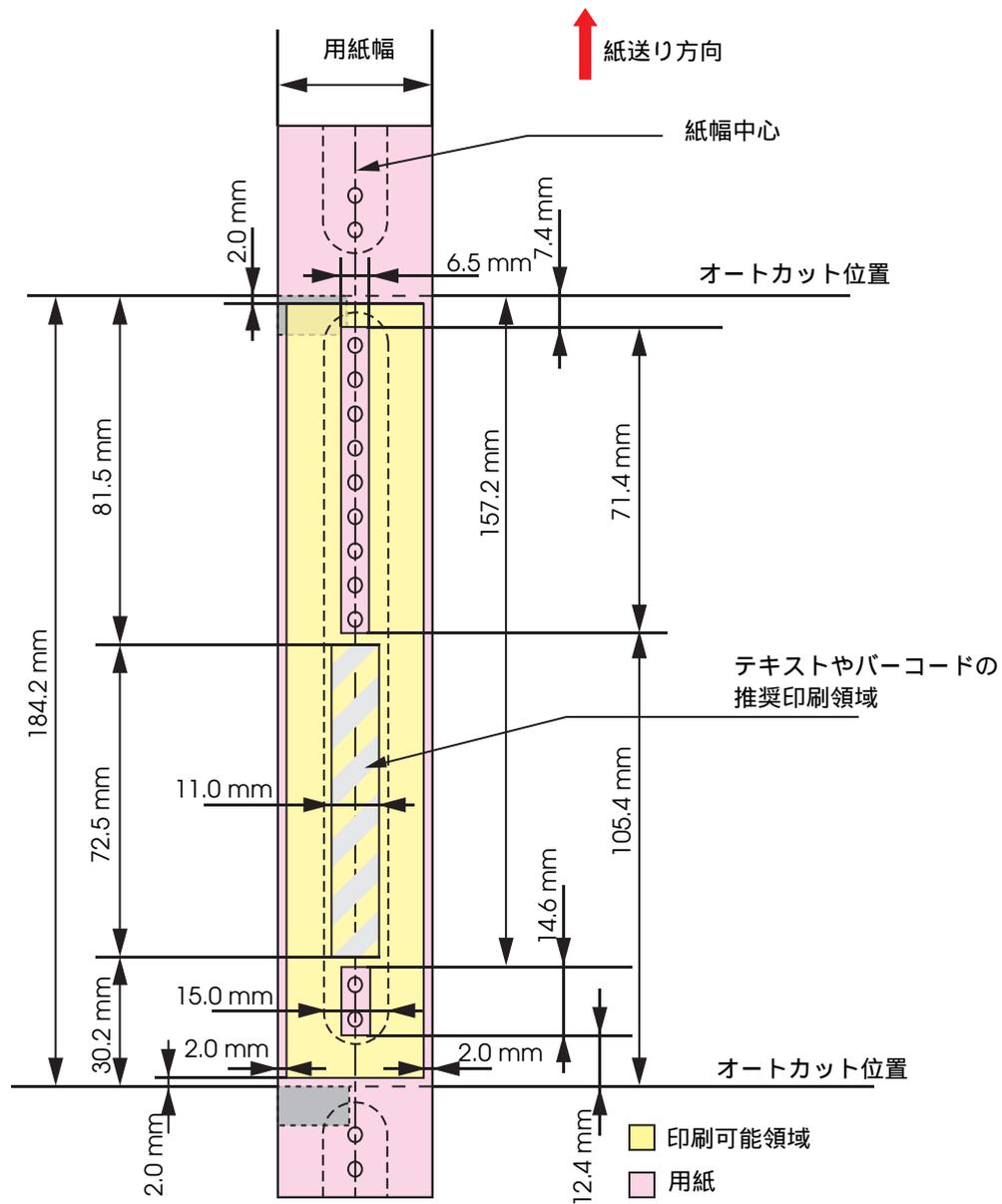
上余白（ラベル内）：　2.0 mm（中心値）
左右余白（ラベル内）：2.0 mm（中心値）
下端余白（ラベル内）：2.0 mm（中心値）

ブラックマークダイカットラベル・ファンフォールド紙

上余白（ラベル内）：　2.0 mm（中心値）
左右余白（ラベル内）：2.0 mm（中心値）
下端余白（ラベル内）：2.0 mm（中心値）

注意

- ミシン目間隔は、発行間隔の整数倍になるようにしてください。
- ミシン目と印字領域の重なりによる印字の乱れ、またはミシン目とオートカッタ位置の重なりによるカッタ寿命の低下を防ぐため、裏面にブラックマークのある用紙を使用し、用紙の位置合わせを行ってください。

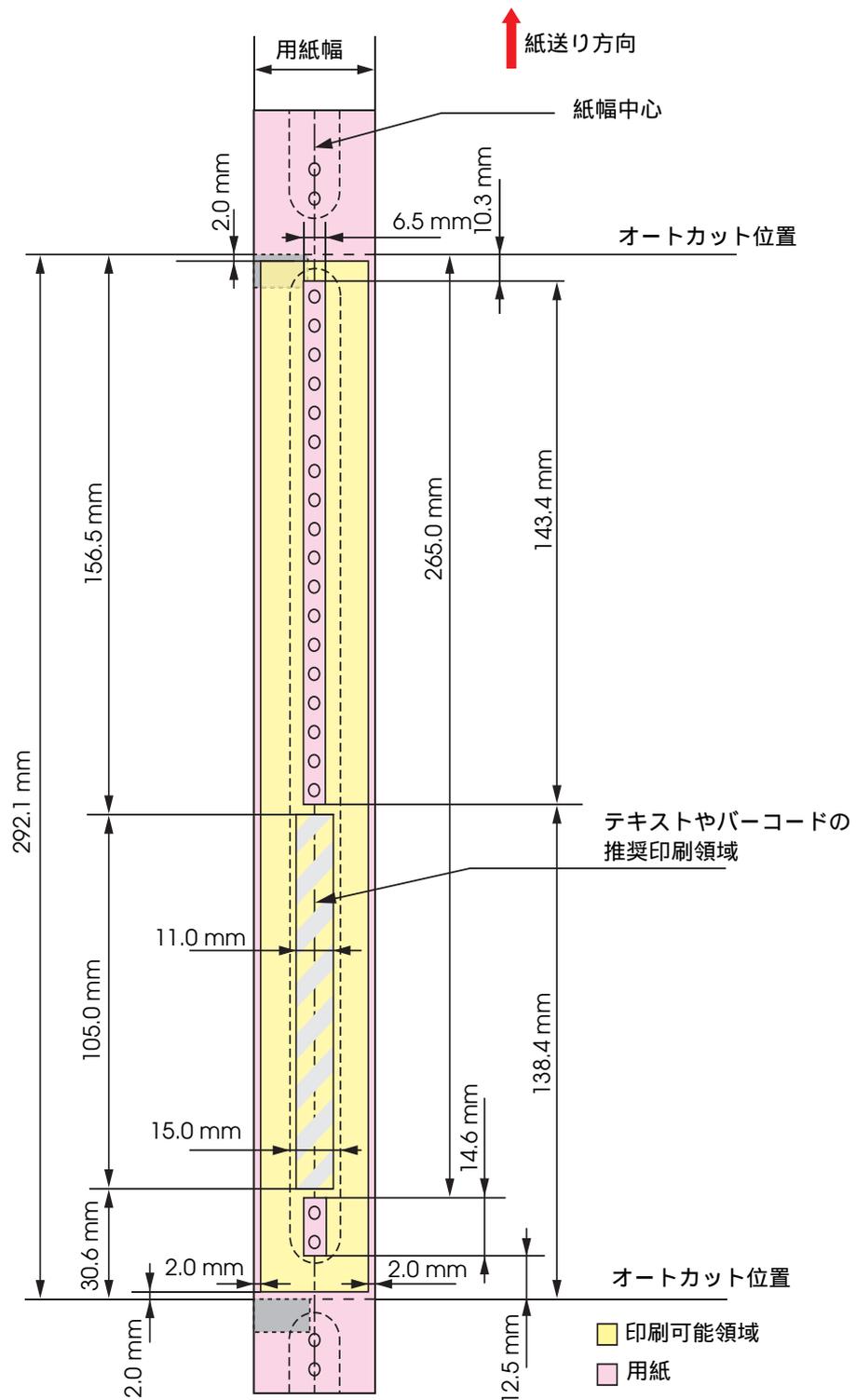
リストバンド・ロール紙（WB-S シリーズ）

上余白：　2.0 mm（中心値）
左右余白：2.0 mm（中心値）
下端余白：2.0 mm（中心値）

注意

スナップ取り付け用の穴の上と、穴の近傍 2 mm は印刷しないでください。

リストバンド・ロール紙（WB-M シリーズ）

上余白：　2.0 mm（中心値）

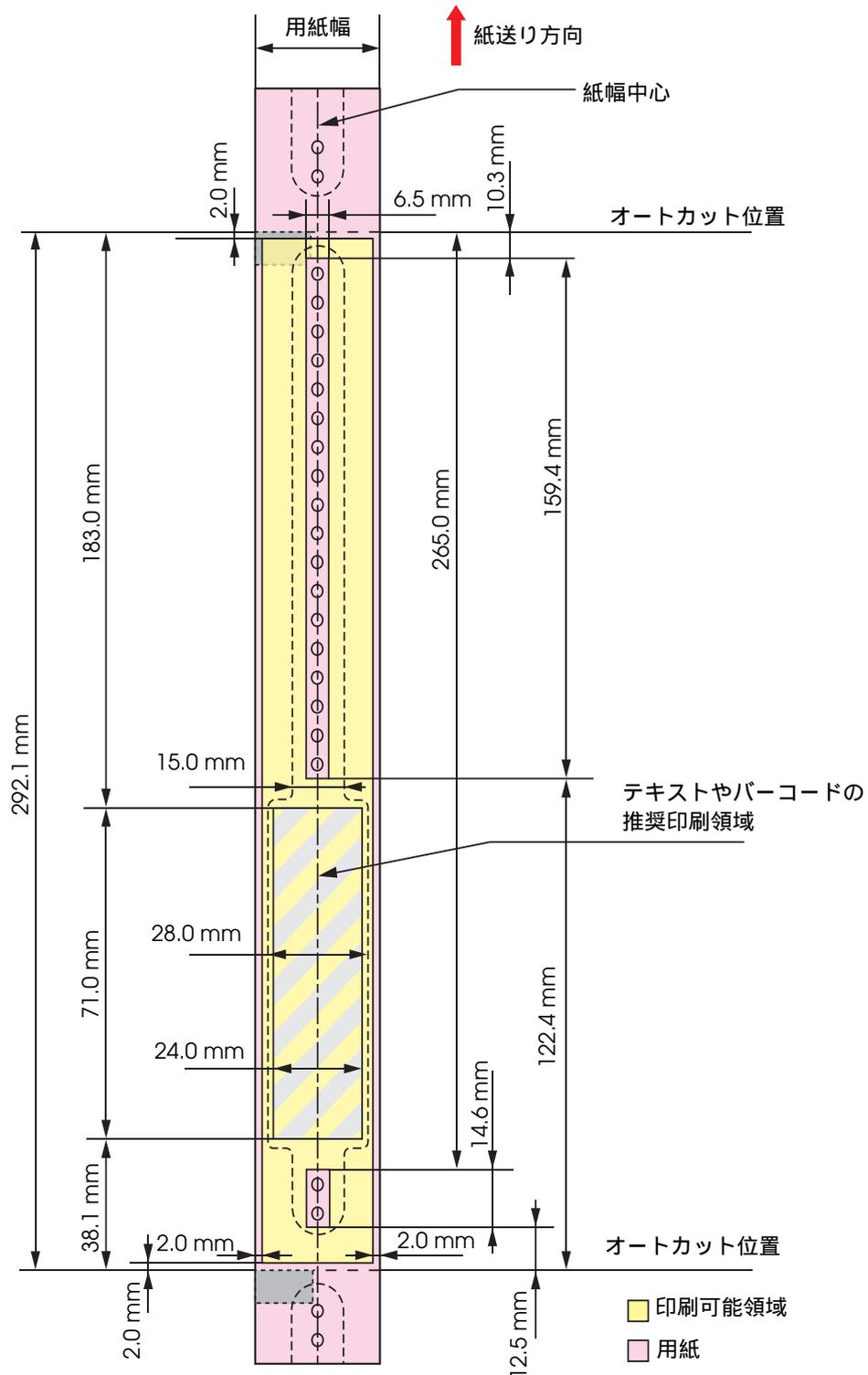
左右余白：2.0 mm（中心値）

下端余白：2.0 mm（中心値）

注意　スナップ取り付け用の穴の上と、穴の近傍 2 mm は印刷しないでください。

リストバンド・ロール紙（WB-L シリーズ）

上余白：　2.0 mm（中心値）

左右余白：2.0 mm（中心値）

下端余白：2.0 mm（中心値）

注意　スナップ取り付け用の穴の上と、穴の近傍 2 mm は印刷しないでください。

排紙トレイ

ブラックマーク レシート	用紙種類	普通紙、ファイン紙、PET フィルム
	用紙形状	ファンフォールド紙
	用紙サイズ	幅 76 ～ 105 mm× 長さ 54 ～ 148 mm
	紙厚	0.119 ～ 0.151 mm
ブラックマーク ダイカットラベル	用紙種類	普通紙、ファイン紙
	用紙形状	ファンフォールド紙
	用紙サイズ	幅 76 ～ 105 mm× 長さ 54 ～ 148 mm
	紙厚	0.145 ～ 0.161 mm

注意
- ロール紙の場合、複数枚保持できません。
- 用紙や印刷の状態により，完全には用紙を保持できない場合があります。

インクカートリッジ

型番		SJIC15P
形態		3 色インク一体型専用インクカートリッジ
インク色		シアン、マゼンタ、イエロー
インク種		顔料インク
有効期限		プリンタ装着後 6ヶ月、使用期間を含め製造日から 2 年
保存温度	個体輸送時	-20 ～ 60 ℃ (60 ℃の場合、5 日以内)
	個装保存時	-20 ～ 40 ℃ (40 ℃の場合、1ヶ月以内)
	本体装着時	-20 ～ 40 ℃ (40 ℃の場合、1ヶ月以内)

電気的仕様

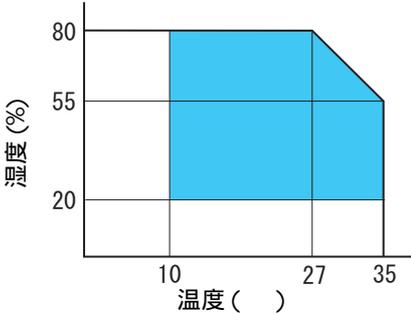
電源供給		専用 AC アダプタ (PS-180) による電源供給
入力電圧 (定格)		AC 100 ～ 125V (同梱品の AC ケーブル使用時)
周波数 (定格)		50 Hz ～ 60 Hz
消費電力	動作時	平均 約 26W
	待機時	平均 約 5W
	電源 OFF 時	平均 約 0.5W

注意
- 同梱されている専用 AC アダプタを使用してください。
- イーサネットケーブルには、カテゴリー 5 以上のシールドされているケーブルを使用してください。

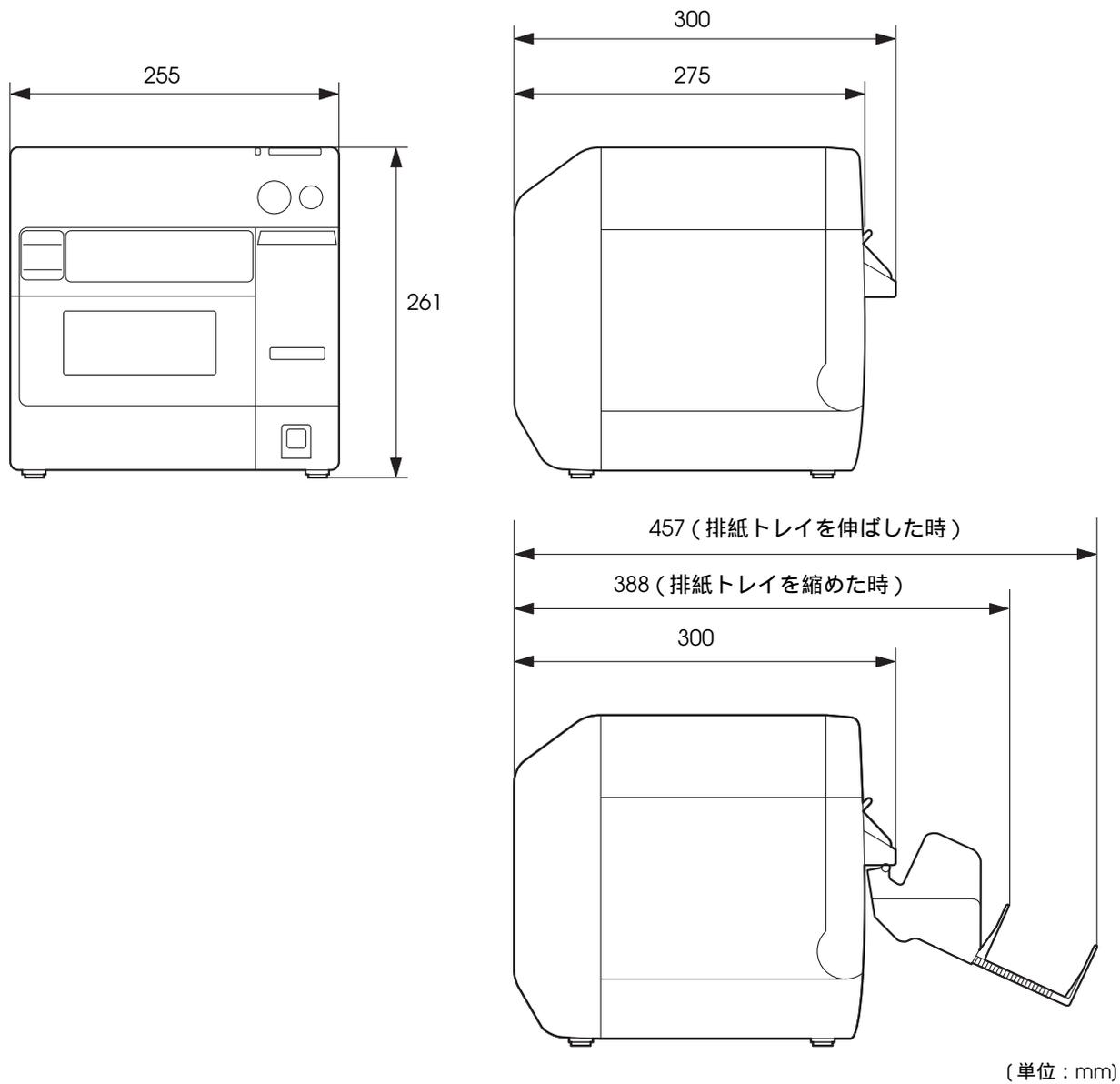
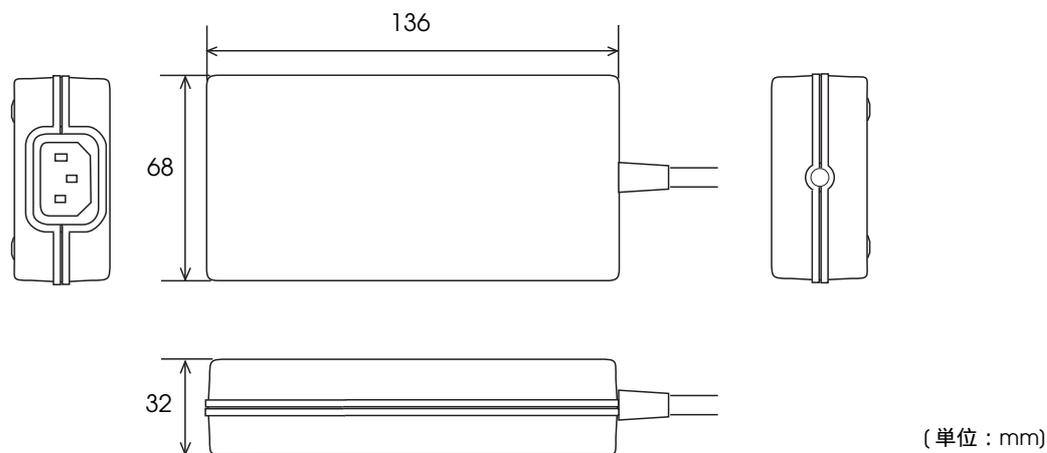
信頼性

寿命	印刷ヘッド	60 億ショット / ノズル
	紙送り機構	150 万ページまたは以下の紙送り長さに達するまでのページ数 • 普通紙：150 km • ファイン紙：75 km • PET フィルム：50 km • 普通紙全面ラベル：100 km • ファイン紙全面ラベル：50 km • 合成紙全面ラベル：10 km • 普通紙ダイカットラベル：150 km • ファイン紙ダイカットラベル：150 km • 合成紙ダイカットラベル：50 km • リストバンド (WB-S/M/L シリーズ)：30km
	オートカッタ機構	• 普通紙：150 万カット • ファイン紙：75 万カット • PET フィルム：50 万カット • 普通紙全面ラベル:75万カット(カッタ固定刃クリーニングで+25万カット) • ファイン紙全面ラベル：50 万カット • 合成紙全面ラベル：10 万カット • 普通紙ダイカットラベル台紙：150 万カット • ファイン紙ダイカットラベル台紙：150 万カット • 合成紙ダイカットラベル台紙：50 万カット • リストバンド (WB-S/M/L シリーズ)：20 万カット
	キャリッジ機構	600 万パス (キャリッジ 300 万往復) 2000 万パスでメンテナンスを要求（プリンタ停止） (メンテナンス要求時の LED の点灯 / 点滅のパターンの詳細は 17 ページ「ステータス / エラー表示」を参照してください。)
MTBF		75000 時間
MCBF		980 万パス

環境仕様

項目		仕様
温度／湿度	印刷時	10 ～ 35°C、20 ～ 80%RH 非結露
	バーコード印刷時	15 ～ 35°C、20 ～ 80%RH 非結露
	保管時	出荷梱包状態 (インク非充てん)：-20 ～ 60°C、5 ～ 85%RH 非結露 -20°C または 60°C の場合 120 時間以内 インク充てん状態：-20 ～ 40°C -20°C の場合 120 時間以内 0 ～ 30°C の場合 6ヶ月以内 40°C の場合 1ヶ月以内
気圧 (標高)	使用時	700 ～ 1060 hPa (標高 0 ～ 2500 m 相当)
	非使用時 (輸送を含む)	700 ～ 1060 hPa (標高 0 ～ 2500 m 相当)
騒音	動作時 (オートカット動作を含む)	約 54 dB (ANSI Bystander position) 弊社評価条件によります。

外形寸法

- 高さ： 261 mm
- 幅： 255 mm
- 奥行き： 275 mm

（単位：mm）

AC アダプタ (PS-180)

電気的特性	入力条件	入力電圧 (定格) : AC100 ～ 240V
		周波数 (定格) : 50/60 Hz±3 Hz
		消費電力 (定格) : 100VA
	出力条件	出力電圧 (定格) : DC24V±5%
		出力電流 (定格) : 2.0A
		出力電力 (定格) : 48VA
		出力ピーク電流 : 4.5A
ケース仕様	寸法 (H×W×D)	68×136×32 mm (突起部を除く)
	質量	約 0.4 kg (AC ケーブルを除く)
	色	黒 (マット)

適合規格

電気用品安全法

材質

臭素処理された PBBE, PBB のような材質は使用していません。

AC ケーブル

同梱品の AC ケーブルを使用してください。

アース接続

安全のためにアース線を使用してください。

制限事項

プリンタ環境

- 弊社が提供する TM プリンタ用ドライバ (APD、OPOS) は、本プリンタで使用できません。
  APD や OPOS がインストールされているコンピュータに、TM-C3400 プリンタドライバをインストールして使用することはできます。

プリンタドライバのインストール環境

- USB モデルが接続された状態で、イーサネットモデルのプリンタドライバはインストールできません。この場合、USB モデルの電源をオフしてから、イーサネットモデルのプリンタドライバをインストールしてください。
- ポイントアンドプリントでプリンタドライバをインストールした場合、印刷はできますが、プリンタステータスは取得できません。
- ポイントアンドプリントの環境でプリンタドライバの設定する場合、 ネットワーク経由でサーバにアクセスして設定することがあります。設定する場合、必ずプリンタが接続されている状態で設定してください。
- 共有プリンタとローカルプリンタを1つのクライアントコンピュータで使用する場合、最初にローカルプリンタ用のプリンタドライバをインストールし、次に共有プリンタ用のプリンタドライバをインストールしてください。
- 本プリンタをAPD Ver.4.03より前のバージョンのAPDと同じ環境で使用する場合、先にAPDをインストールしてから本プリンタのプリンタドライバをインストールしてください。

プリンタドライバのインストールパッケージ

- USBモデルのインストールパッケージでプリンタドライバをインストールし、このプリンタを共有設定した場合、ネットワークの他のコンピュータからは、ステータスを取得できません。EPSON プリンタウィンドウ !3 およびお客様のアプリケーションからのステータス取得ができません。印刷は可能です。これを回避するには、インストールパッケージを使わずに、プリンタドライバをインストールして設定を行ってください。
- インストールパッケージに、「ドライバユーティリティ」タブの「モニタリング機能の設定」は反映されません。EPSON プリンタウィンドウ !3 のエラー表示が、初期設定になります。（印刷不可およびメンテナンスコールの場合に通知します）。設定を変更する場合、インストールした環境ごとに設定してください。
- Windows 2000 の環境で、インストールパッケージを実行してもプリンタドライバがインストールできない場合、プリンタが「不明なデバイス」として登録されていることが考えられます。「不明なデバイス」を削除してから、インストールパッケージを実行してください。
  （197 ページの「Windows 2000 で、プリンタドライバがインストールできない場合」を参照）
- Windows 2000 の環境で、すでに TM-C3400 のプリンタドライバがインストールされている場合、インストールパッケージのプリンタドライバとバージョンが異なると、既存プリンタドライバの設定が変更される可能性があります。（TM-C3400 以外のプリンタドライバには影響ありません。）
  既存の設定を保持したい場合、事前に設定を保存し、インストールパッケージを実行後、設定を戻す必要があります。（197 ページの「Windows 2000 で、すでにプリンタドライバがインストールされている場合」を参照）

用紙

- 全面ラベルを使用する場合、印刷が終了するたびに出力された用紙を取り除いてください。用紙が取り除かれない場合、出力された用紙の一部が切り取られたり、カッタエラーが発生したりします。
  （17 ページの「ステータス / エラー表示」を参照）
- 全面ラベル紙をカットすると、カッタ刃に粘着物が付着して切れ味が鈍くなる場合があります。その場合、カッタ刃をクリーニングしてください。詳細は、184 ページ「オートカッタのクリーニング」を参照してください。

電源スイッチのオン / オフ

- 電源スイッチを使用せずにプリンタの電源を切った場合、プリントヘッドが待機位置以外の場所で放置されることがあります。この場合、オートヘッドクリーニングによりインクの消費量が極端に増えますのでご注意ください。

印刷

- インターフェースがUSBの場合､印刷した後にプリンタの電源をオフ / オンすると､次の印刷までに時間がかかることがあります。
- インクカートリッジは 3 色のインクで構成されています｡特定の色を指定して印刷を行った場合でも､印刷動作やプリントヘッドを良好な状態に保つためにすべてのインクを使用します。1 色でもインク残量値が限界に達するとプリンタは印字を停止します。
- インク充てん後にプリンタを傾けて衝撃を与えると、印刷色がおかしくなることがあります。インク充てん後のプリンタを移動した場合、テスト印刷等で印刷色を確認してください。
  印刷色が正常でない場合、ヘッドクリーニングを実行してください。ヘッドクリーニング方法は、182 ページ「マニュアルヘッドクリーニング」を参照してください。
- 画像等の印刷をした場合、印刷結果に約 1 インチ間隔の白スジ（白く見える線）または黒スジ（画像の重なり）が発生する場合があります。「プリンタユーティリティ」タブの「ギャップ調整」-「紙送り調整」で軽減できますが、完全に目立たなくすることはできません。
- 画像等の印刷をした場合、印刷結果に約 1 インチ間隔で色調の変化が現れることがあります。

セットアップ

本章では、製品を使用する前に必要な、製品および周辺機器の設置・設定作業について説明しています。

本プリンタを初めてお使いになる場合

注意	プリンタドライバのインストールが完了するまで、プリンタの電源をオンにしないでください。

本プリンタを初めてお使いになる場合、インクの充てんとプリンタの用紙位置検出の設定が必要です。
以下の手順に従って操作してください。

1 ロール紙をセットします。
詳細は、74 ページ「ロール紙のセット」を参照してください。

2 プリンタの電源をオンします。

3 新しいインクカートリッジをセットします。
詳細は、61 ページ「インクカートリッジの取り付け」を参照してください。

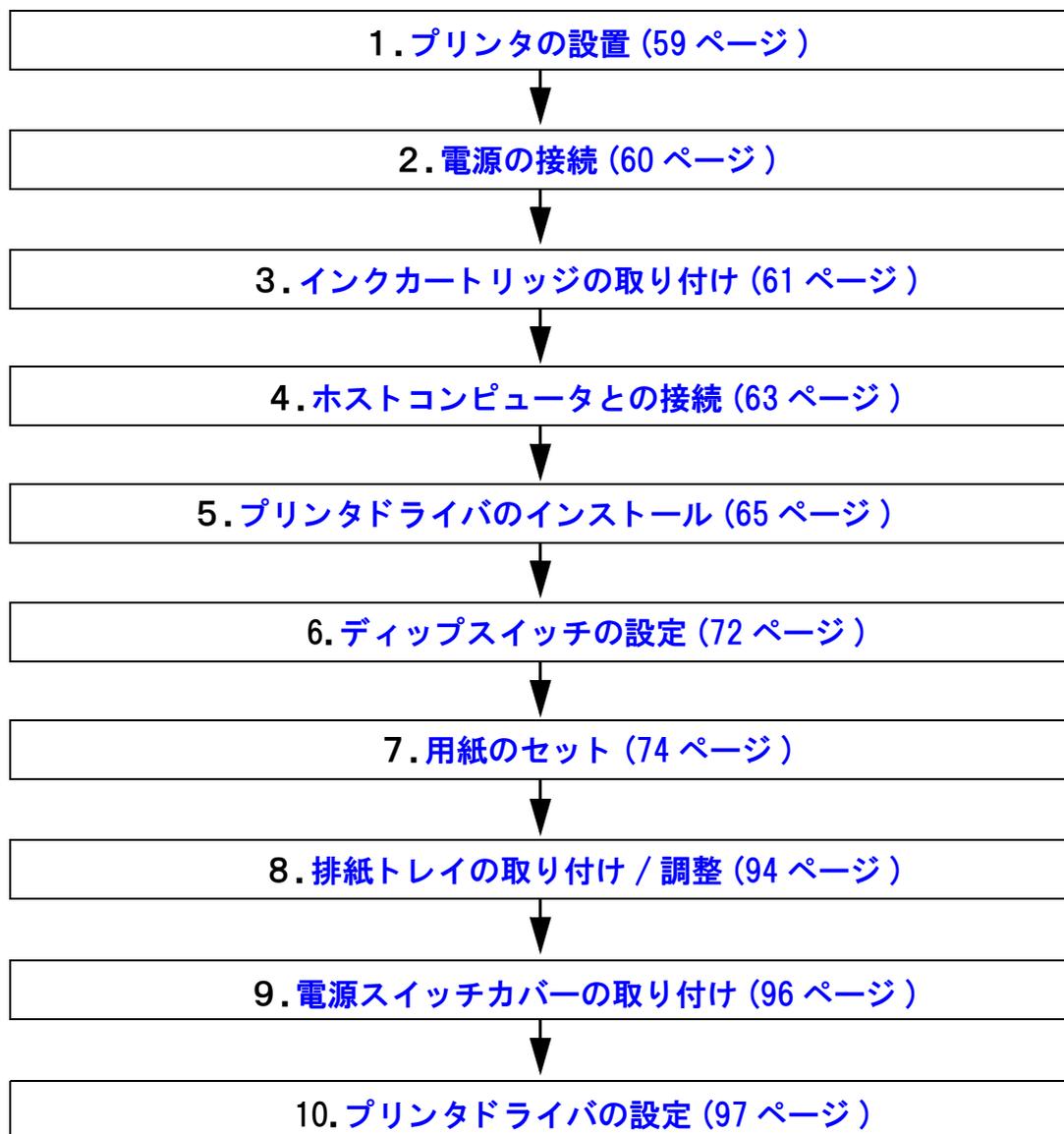
- インクカートリッジカバーを閉めると、インクの充てんが始まります。
- プリンタに初めてインクカートリッジを取り付けたときは、インクの充てんに約８分かかります。
  充てん中は電源 LED が点滅します。インク充てん中は、電源をオフしたり、ロール紙カバーやインクカートリッジカバーを開けたりしないでください。インク充てん中に、電源をオフしたり、ロール紙カバーやインクカートリッジカバーを開けた場合、再度最初からインク充填を行ため、インクを極端に消費します。
- インクの充てんが完了すると、電源 LED が点滅から点灯に変わります。

4 お客様が使う用紙に合わせて、プリンタの用紙位置検出を変更してください。
詳細は、76 ページ「② 用紙位置検出の設定」を参照してください。

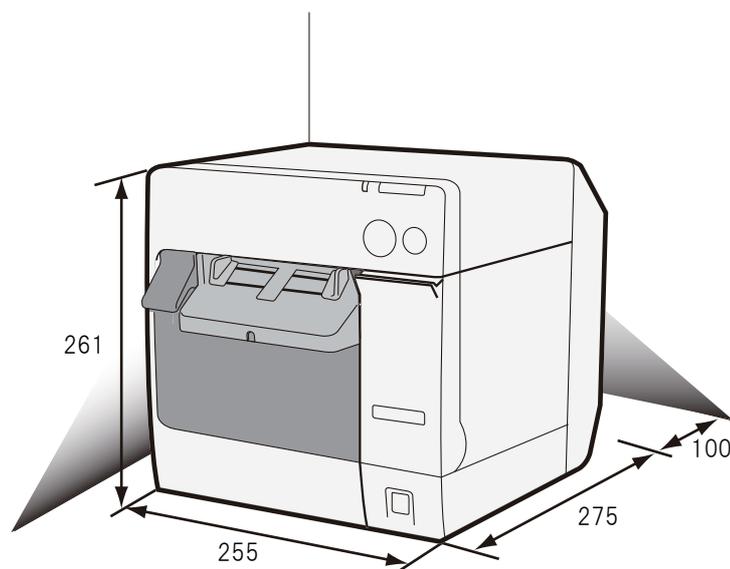
注意

- インク充てん後にプリンタを傾けて衝撃を与えると、印刷色がおかしくなることがあります。インク充てん後のプリンタを移動した場合、テスト印刷等で印刷色を確認してください。
- 印刷色が正常でない場合、ヘッドクリーニングを実行してください。詳細は、182 ページ「ヘッドクリーニング」を参照してください。
- 電源スイッチを使用せずにプリンタの電源を切った場合、プリントヘッドが待機位置以外の場所で放置されることがあります。次に電源をオンにしたとき、オートヘッドクリーニングが実行され、インクの消費量が極端に増えますのでご注意ください。

セットアップの流れ

本章は、本製品および周辺機器のセットアップの流れに沿って、次のような構成となっています。

プリンタの設置

設置に適した場所に十分なスペースを確保して設置します。

設置上の注意

(単位：mm)

- プリンタは水平に設置してください。
- プリンタ正面に、インクカートリッジカバーとロール紙カバーを開ける十分なスペースを確保してください。
- ホコリや塵の多い場所には設置しないでください。
- 操作時に強い衝撃をプリンタに与えないでください。印字不良を起こす可能性があります。
- プリンタ底面に、コードや異物などを挟み込まないでください。
- プリンタは背面から 100 mm 空けて設置してください。
- プリンタの上に重いもの (10 kg 以上) や、振動するものを載せないでください。

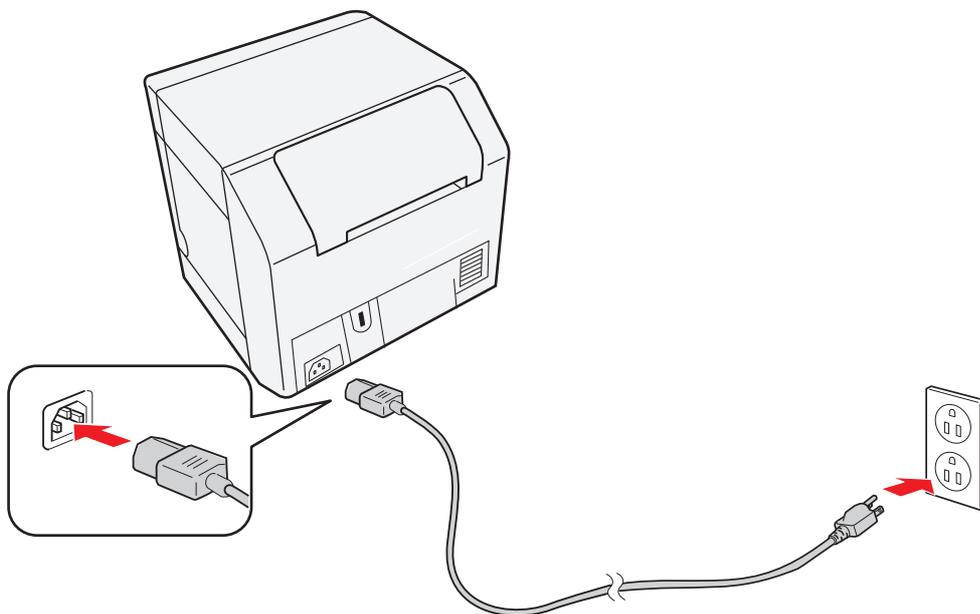
電源の接続

AC アダプタ (PS-180) は、プリンタに内蔵されています。

- 必ず、EPSON PS-180 をご使用ください。
  規格外の電源ユニットを使用すると、火災や感電を起こすおそれがあります。
- EPSON PS-180 を使用した場合でも、異常が確認されたときは、すぐにプリンタの電源をオフにし、電源ユニットの電源コードを壁のコンセントから外してください。

AC ケーブルは、同梱品を使用してください。

AC ケーブルの接続手順

1. プリンタの電源がオフになっていることを確認します。
2. DC ケーブルのコネクタを、電源コネクタに接続します。
3. AC アダプタの AC インレットに AC ケーブルのコネクタを差し込みます。
4. AC ケーブルの電源プラグをコンセントに差し込みます。

- AC アダプタをプリンタに接続するとき、または取り外すときは、AC ケーブルをコンセントから外してください。
  AC アダプタやプリンタが破損することがあります。
- AC アダプタの定格電圧と、壁のコンセントの電圧が適合しない場合、AC ケーブルを壁のコンセントに接続しないでください。
  AC アダプタやプリンタが破損することがあります。

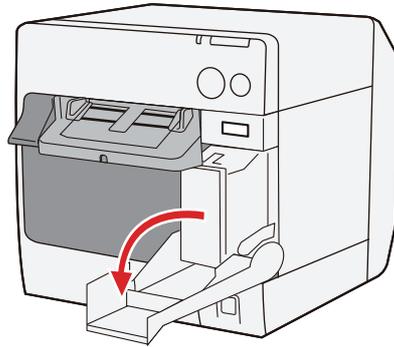
注意

EPSON PS-180 の DC ケーブルコネクタを取り外すときは、AC ケーブルが接続されていないことを確認し、コネクタの矢印の部分を持ちながら、まっすぐに引き抜きます。

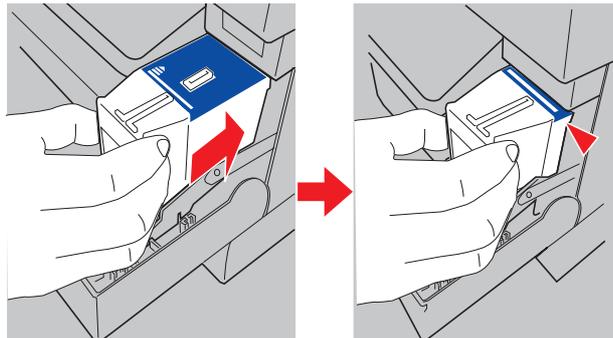
インクカートリッジの取り付け

> **注意**
> - 初めてインクカートリッジを取り付ける場合、必ずロール紙をセットし、電源をオンにしてからインクカートリッジを取り付けてください。ロール紙のセット方法は（74 ページ「用紙のセット」）を参照してください。
> - インクカートリッジは、必ず SJIC15P を使用してください。
> - インクカートリッジは、プリンタへの取り付け直前まで開封しないでください。

1 ロール紙をセットします。
用紙のセット（74 ページ）を参照してください。

2 インクカートリッジカバーを手前に引いて開けます。

3 使用済みのインクカートリッジがある場合、引き抜きます。

4 新しいインクカートリッジを４～５回振ってから、袋から取り出します。

5 インクカートリッジを下図の位置まで、静かに押し込みます。
矢印を上にしてセットしてください。

6 インクカートリッジカバーを閉じます。

プリンタに初めてインクカートリッジを取り付ける場合、インクの充てんに約 8 分かかります。その間、プリンタのロール紙カバーやインクカバーを開けたり、電源スイッチ / 紙送りボタンを押したりしないでください。
インク LED (赤色) が消灯します。
インクの充てんが始まると、電源 LED (緑色) が点滅します。充てんが完了すると電源 LED(緑色) が点滅から点灯に変わります。

参考	・初めてインクカートリッジを取り付けたときは、プリンタ内へのインク充てんによりインクが消費されるので、インクカートリッジの交換時期は通常より早くなります。 ・インクの消費量は、プリンタの使用環境および使用状況により異なります。 ・プリントヘッドの品質を維持するため、カートリッジ内のインクが完全になくなる前に、インク LED が点灯します。

7 プリンタの電源をオンにします。

注意	電源スイッチを使用せずにプリンタの電源を切った場合、プリントヘッドが待機位置以外の場所で放置されることがあります。この場合、オートヘッドクリーニングによりインクが大量に消費されるのでご注意ください。

ホストコンピュータとの接続

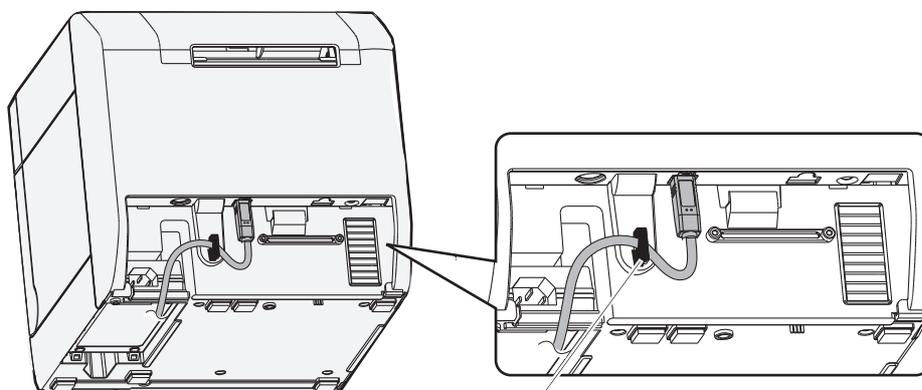
USB インタフェースモデルの場合

ホストコンピュータと本プリンタを USB ケーブルで接続します。

注意

- プリンタドライバのインストールが完了するまで、プリンタの電源をオンにしないでください。
- 必ず、製品に添付された USB ケーブルを使用してください。

プリンタ背面の USB コネクタに USB ケーブルを差し込み、下図のように配線します。

USB ケーブルを図のようにケーブルフックに引っ掛けることにより、ケーブルが抜け落ちるのを防げます。

ケーブルフック：ケーブルが抜け落ちるのを防げます。

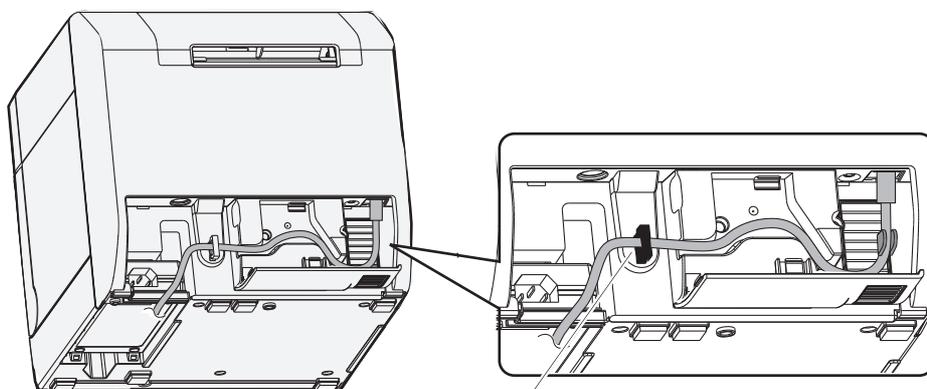
イーサネットインタフェースモデルの場合

イーサネットケーブルを使用して、本プリンタをハブ経由でネットワークに接続します。

注意
- 屋外に架空配線されたイーサネットケーブルは、必ず他のサージ対策の施された機器を経由してから接続してください。
  誘導雷によって機器が故障するおそれがあります。
- 10/100Base-T LAN コネクタには、決して一般公衆回線を差し込まないでください。

1 プリンタ背面のコネクタカバーを開きます。

2 イーサネットコネクタにイーサネットケーブルを〝カチッ〟という音がするまで差し込み、以下のように配線します。

イーサネットケーブルを図のようにケーブルフックに引っ掛けることにより、ケーブルが抜け落ちるのを防げます。

ケーブルフック：ケーブルが抜け落ちるのを防げます。

3 コネクタカバーを閉めます。

プリンタドライバのインストール

プリンタドライバのインストールは 2 つの方法があります。
入手方法の詳細は、128 ページ「ダウンロード」を参照してください。

- 簡単セットアップでインストール
  本書で説明しているインストール方法です。
- プリンタドライバファイルからインストール
  本書では説明していません。プリンタドライバのインストーラから画面の手順に従ってインストールしてください。
  イーサネットモデルで工場出荷状態 (ネットワーク設定が初期値) のプリンタの場合、IP 通信ができるようにEpsonNet Config で IP アドレスなどを設定してください。

注意	プリンタドライバをバージョンアップする場合、既存の設定を BSF ファイルに保存し、プリンタドライバのバージョンアップ後、保存した BSF ファイルを取り込んでください。

簡単セットアップでインストール

「簡単セットアップ」を使用すると、プリンタドライバのインストールとネットワークの設定 (イーサネットインタフェースモデルのみ) が簡単に行えます。

注意

- インストールは、Administrator のユーザー権限でログオンしてください。
- インストール前に、ソフトウェアの動作環境を確認してください。(25 ページ「動作環境」参照)
- 「簡単セットアップ」は、複数の TM-C3400 のセットアップを同時にできません。ネットワーク上に複数の TM-C3400 をセットアップする場合、「EpsonNet Config」を使用してください。
- USB モデルが接続された状態で、イーサネットモデルのプリンタドライバはインストールできません。この場合、USB モデルの電源をオフしてから、イーサネットモデルのプリンタドライバをインストールしてください。

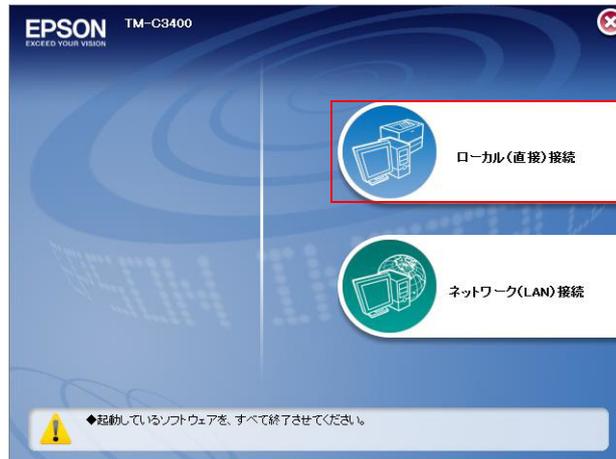
USB インタフェースモデルとイーサネットインタフェースモデルでは、インストールの手順が異なります。

- USB インタフェースモデルの場合（66 ページ参照）
- イーサネットインタフェースモデルの場合（68 ページ参照）

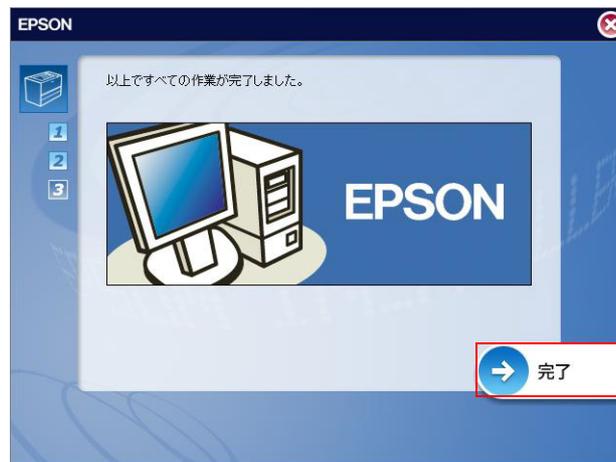
USB インタフェースモデルの場合

以下の手順でプリンタドライバをインストールします。

1 EPSetup.exe のアイコンをダブルクリックします。

2 [ローカル (直接) 接続] をクリックします。

3 [インストール] をクリックします。

4 次の画面が表示されたら、コンピュータとの接続を確認し、プリンタの電源をオンにします。

5 ［完了］をクリックします。

以上で、プリンタドライバのインストールは終了です。

イーサネットインタフェースモデルの場合

注意	TM-C3400 に IP アドレスなどのネットワーク設定がなされている場合、その設定を使用します。別の設定に変更することはできません。

以下の手順でプリンタドライバのインストールと、ネットワークの設定をします。

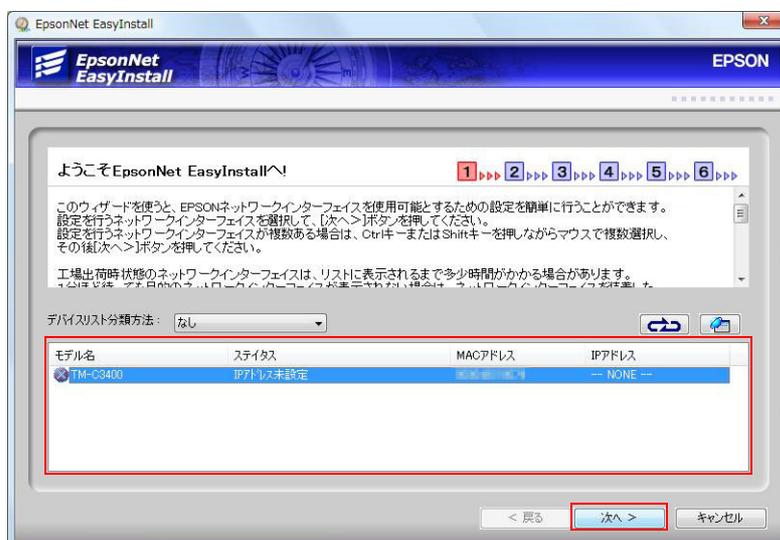
1 プリンタの電源をオンにします。

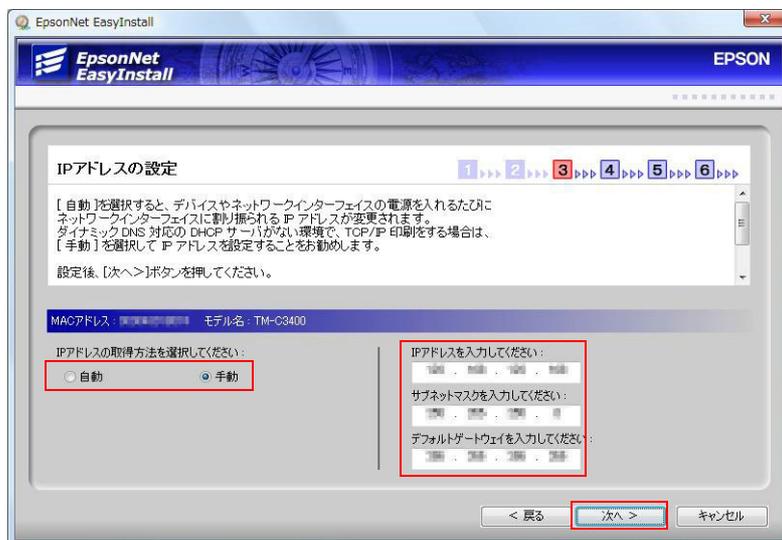
2 EPSetup.exe のアイコンをダブルクリックします。

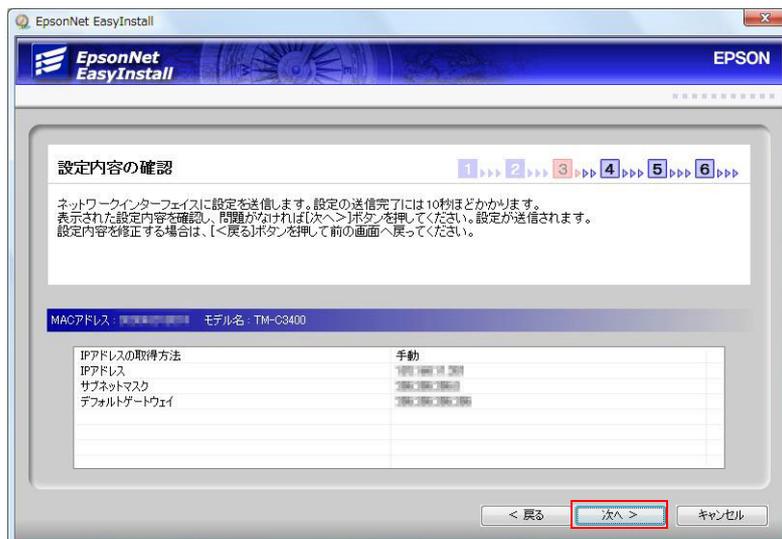
3 ［ネットワーク (LAN) 接続］をクリックします。

4 ［インストール］をクリックします。

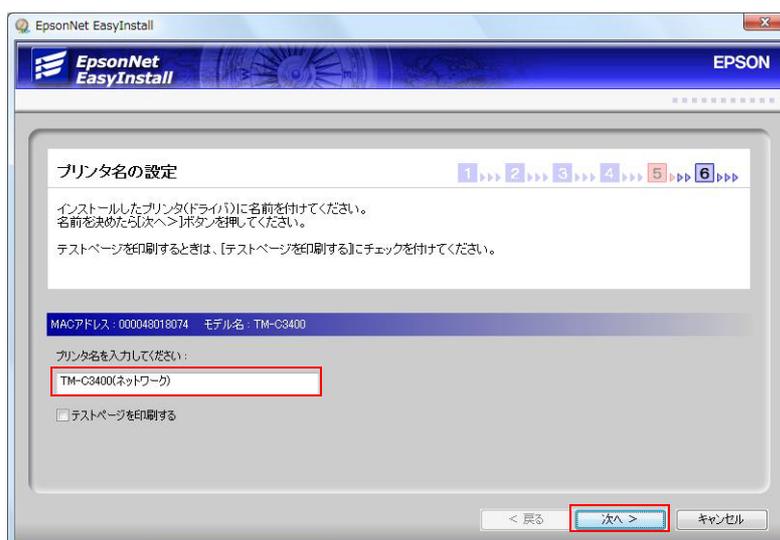
5 接続可能なプリンタがリストに表示されます。インストールするプリンタを選択し、［次へ］をクリックします。

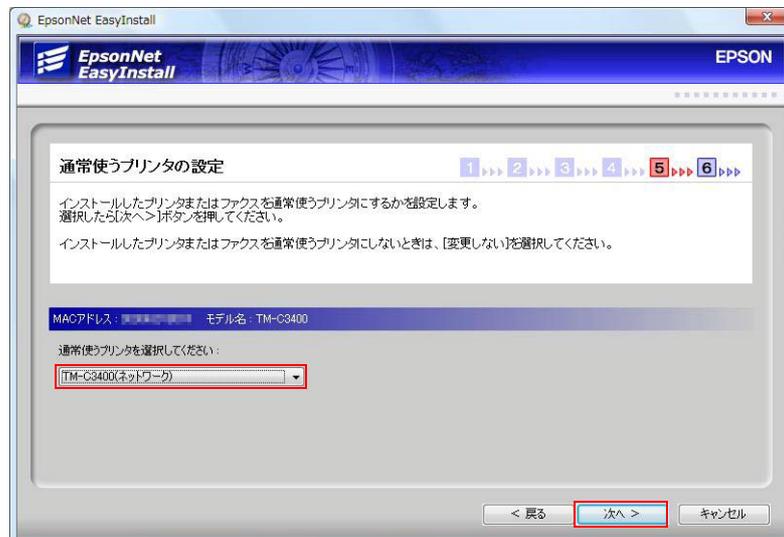
すでにプリンタに IP アドレスが設定されている場合、手順 9 に進みます。

6 IP アドレスの取得方法が表示されます。IP アドレスの取得方法を選択し、[次へ] をクリックします。

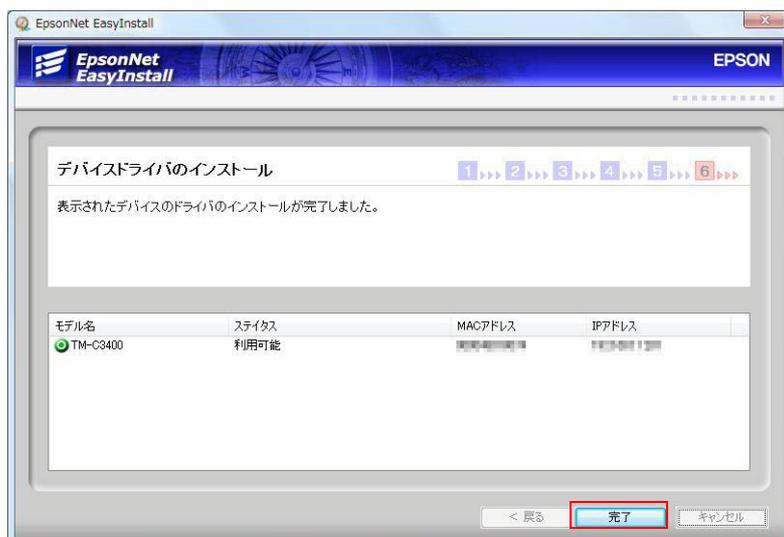
手動を選択した場合、IP アドレスを入力してください。

7 設定内容の確認が表示されます。設定内容に問題がない場合、[次へ] をクリックします。

IP アドレスの設定をやり直す場合、[戻る] をクリックしてください。

8 通信設定完了が表示されます。[次へ] をクリックします。

9 プリンタ名を入力し、[次へ] をクリックします。

[テストページを印刷する] のチェックは、外してください。

10 インストールするプリンタドライバを通常使うプリンタにするか選択し、[次へ] をクリックします。

[次へ] をクリックするとプリンタドライバがインストールされます。

11 [完了] をクリックします。

「EpsonNet EasyInstall」が終了します。

12 [完了] をクリックします。

以上で、プリンタドライバのインストールとネットワークの設定は終了です。

2

ディップスイッチの設定

以下の場合にディップスイッチを設定します。

- 電源スイッチカバーを取り付けて、電源スイッチを操作させないとき
- ロール紙とファンフォールド紙を切り替えるとき (初期設定はロール紙)
- ブザーの音量を変更するとき

設定手順

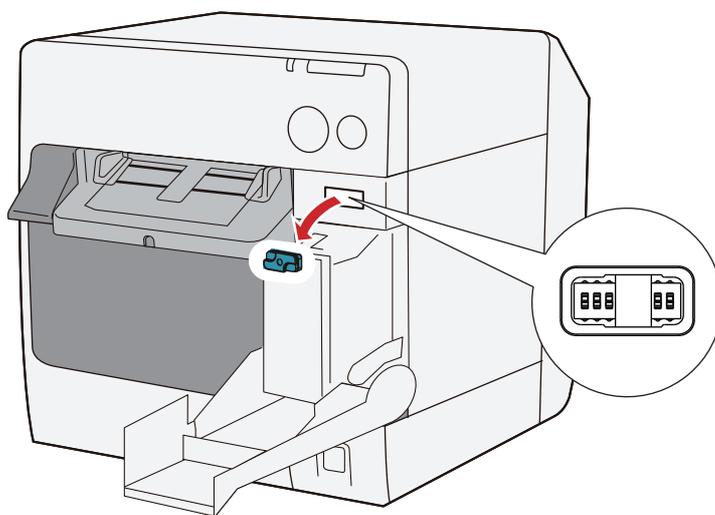
ディップスイッチの設定方法は、以下のとおりです。

ディップスイッチのフタを外すときは、プリンタの電源をオフにしてください。
電源をオンにした状態で外した場合、ショートしてプリンタが故障するおそれがあります。

注意

ディップスイッチの設定は、電源投入時およびインタフェースによるリセット後に有効になります。

1 プリンタの電源がオフであることを確認します。

2 インクカートリッジカバーを開き、ディップスイッチのカバーを外します。

3 先の細いものを使って、ディップスイッチの設定をします。

4 ディップスイッチのフタを取り付け、インクカートリッジカバーを閉じます。

ディップスイッチの機能

SW	機能	ON	OFF	工場出荷時の設定
1	電源スイッチの動作	リセット	電源 ON/OFF	OFF
2	内部使用	OFF 固定 (変更しないでください。)		OFF
3	用紙の選択	ファンフォールド紙	ロール紙	OFF
7	内部使用	OFF 固定 (変更しないでください。)		OFF
8	**ブザー音量**	**大**	**小**	OFF

注意　電源スイッチカバーを取り付けて電源スイッチを操作しない場合、ディップスイッチ 1 を ON にしてください。

用紙のセット

用紙を初めてプリンタにセットする場合、用紙の形状 (ロール紙 / ファンフォールド紙) や種類を変更する場合、用紙を交換する場合は以下の手順で用紙をセットしてください。

用紙のセット方法は、用紙の形状 (ロール紙 / ファンフォールド紙) によって異なります。

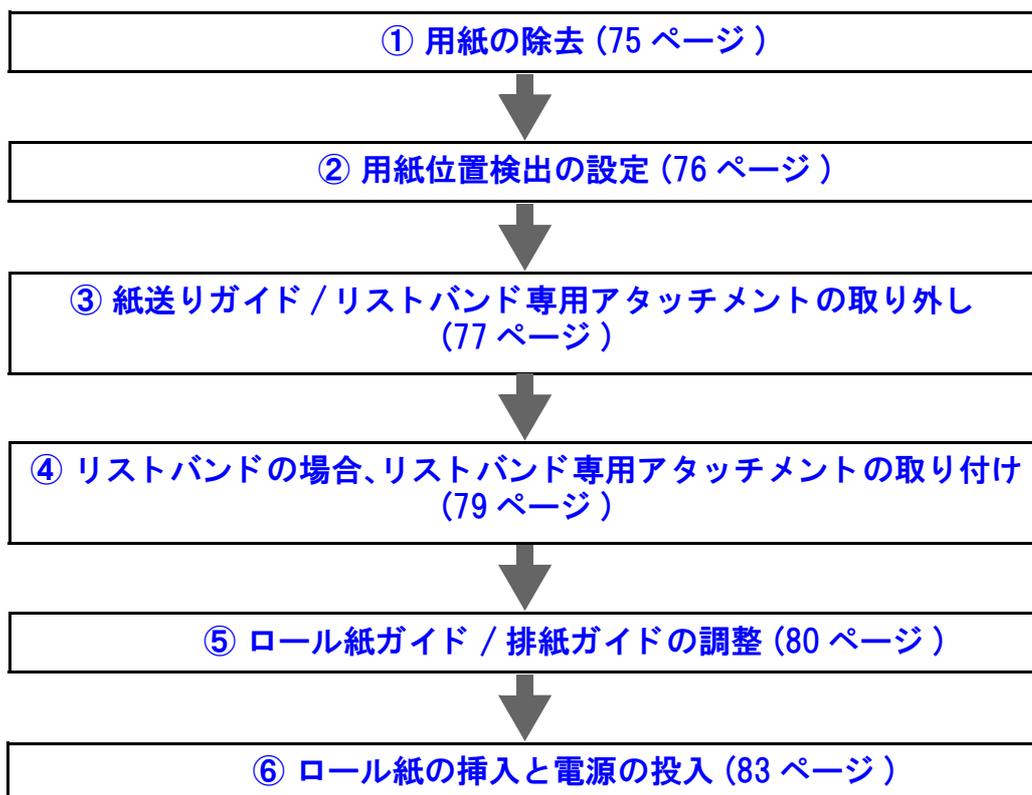
- ロール紙 / リストバンドの場合 (74 ページ「ロール紙のセット」を参照してください)
- ファンフォールド紙の場合 (84 ページ「ファンフォールド紙のセット」を参照してください)

参考

- 用紙はプリンタの仕様にあったものを使用してください。用紙仕様の詳細は、26 ページ「用紙仕様」を参照してください。
- 用紙の形状、用紙位置の検出設定、用紙幅を変えずに用紙を交換する場合、139 ページ「用紙の交換」を参照してください。

ロール紙のセット

ロール紙 / リストバンドをセットする場合、以下の流れでセットします。

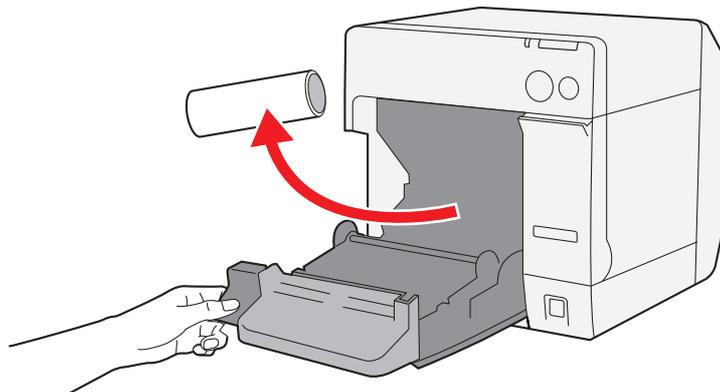
- 初めて用紙をセットする場合：②～⑥
- 用紙を使い切った場合（同じ用紙をセットする）：①、⑥
- 用紙の形状や種類を変更する場合：①～⑥

注意

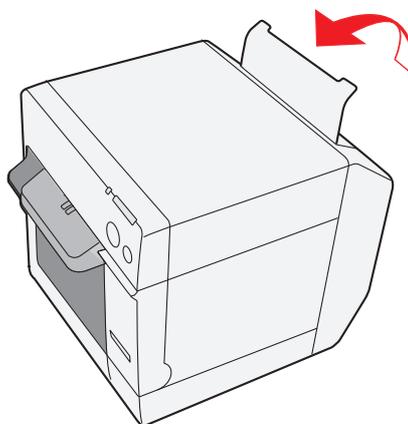
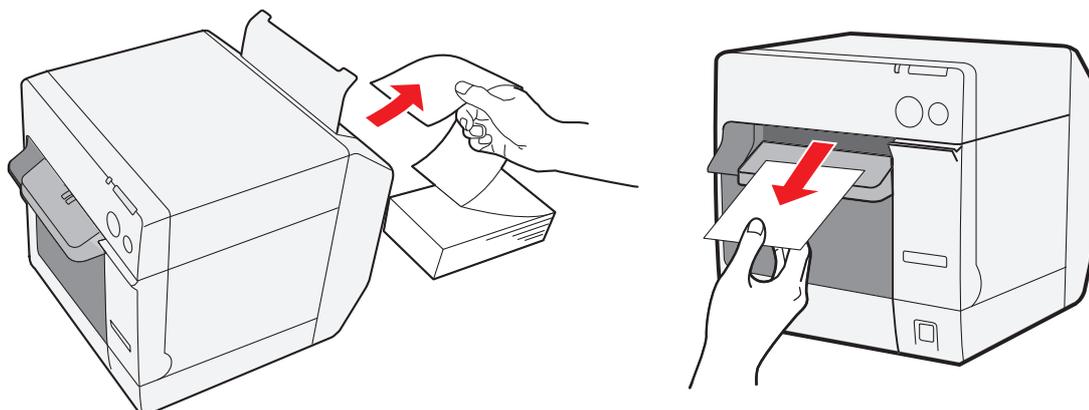
ロール紙のセットを行う前に、必ずディップスイッチ 3 (用紙の選択) が、OFF (ロール紙) に設定されていることを確認してください。ディップスイッチ設定の詳細は、72 ページ「ディップスイッチの設定」を参照してください。

① 用紙の除去

用紙を初めてプリンタにセットする場合、本作業は必要ありません。

ロール紙の場合

1　リリースレバーを手前に引き、ロール紙カバーを開けます。
ロール紙またはロール芯があれば、取り出します。

2　ロール紙カバーを閉めます。

ファンフォールド紙の場合

1　ファンフォールド紙カバーを開けます。

2　残っている紙を取り除きます。

② 用紙位置検出の設定

用紙位置検出設定に変更がない場合、本設定は必要ありません。

> **注意** プリンタ内に用紙が残っていると、用紙位置検出の設定が行えません。
> プリンタの電源をオンにする前に、必ずプリンタ内から用紙を取り除いてください。

1 プリンタの電源をオンにします。

2 プリンタ内の用紙を取り除きます。

3 プリンタドライバを表示させせます。（プリンタドライバの表示方法は、147 ページ「プリンタドライバの表示方法」参照）

4 ［**プリンタユーティリティ**］タブの［**用紙位置検出設定**］を、使用する用紙に合わせて変更します。

お客様が使用する用紙	用紙位置検出設定
レシート / 全面ラベル / 透明台紙全面ラベル	位置検出しない
ブラックマークダイカットラベル	ダイカットラベルのブラックマークを検出する
ブラックマークレシート / リストバンド	レシートのブラックマークを検出する
ダイカットラベル / ブラックマークダイカットラベル / 透明台紙ダイカットラベル	ラベル間ギャップを検出する

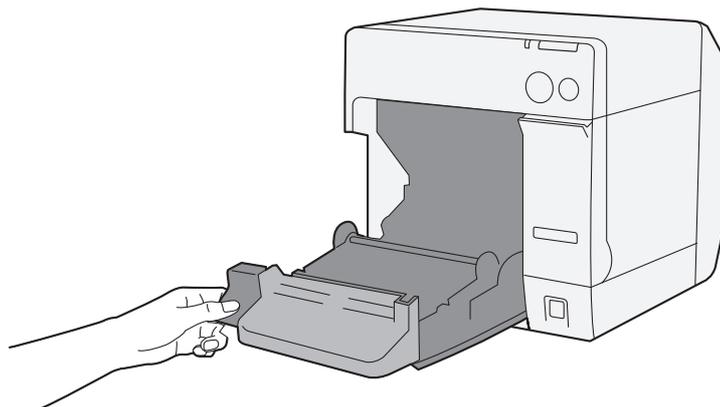
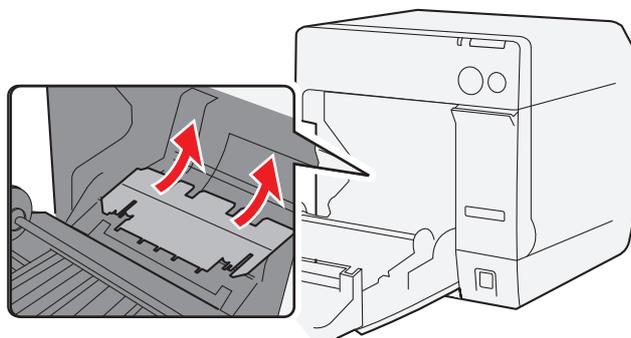
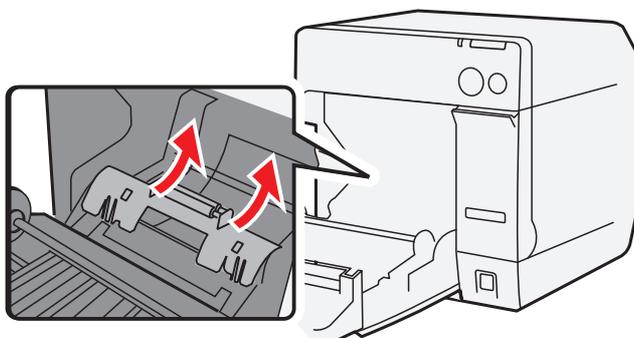
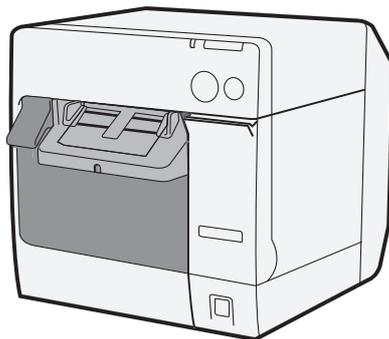
5 プリンタの電源をオフにします。

> **注意** 用紙位置検出設定の変更内容は、プリンタの電源をオフしたときにプリンタの内部メモリに保存されます。設定を有効にするため、必ずプリンタの電源をオフにしてください。

③ 紙送りガイド / リストバンド専用アタッチメントの取り外し

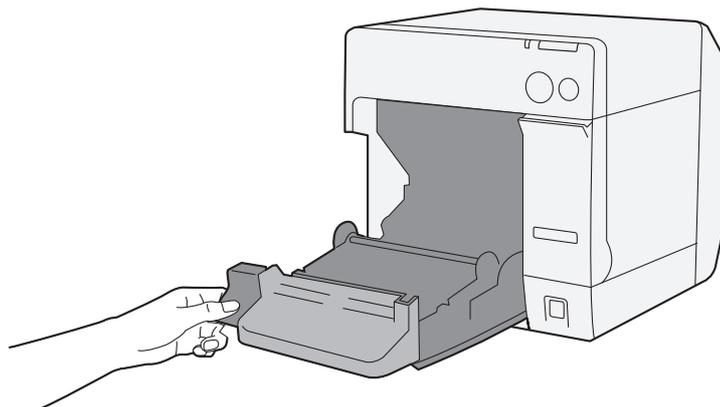
用紙を初めてプリンタにセットするとき、または用紙の形状（ロール紙 / リストバンド / ファンフォールド紙）に変更がない場合、本作業は必要ありません。

> **注意**　紙送りガイドは、ファンフォールド紙を使用する場合のみ、プリンタに取り付けます。ロール紙を使用する場合、必ず取り外してください。

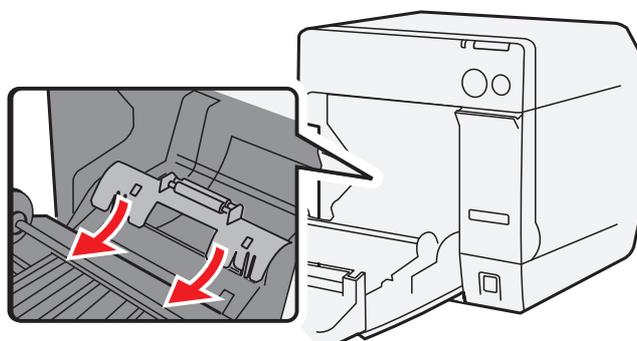
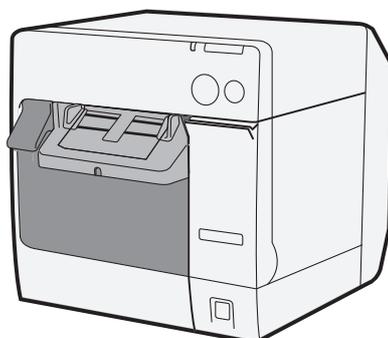
1　リリースレバーを手前に引き、ロール紙カバーを開けます。

2　ロール紙カバー内側の溝に紙送りガイドが取り付けられている場合、取り外します。

3　ロール紙カバー内側の溝にリストバンド専用アタッチメント (OT-WA34) が取り付けられている場合、取り外します。

4 ロール紙カバーを閉めます。

④ リストバンドの場合、リストバンド専用アタッチメントの取り付け

リストバンド（WB-S/M/L シリーズ）を使用する場合、リストバンド専用アタッチメント（OT-WA34）を取り付けます。その他の用紙を使用する場合、本作業は必要ありません。

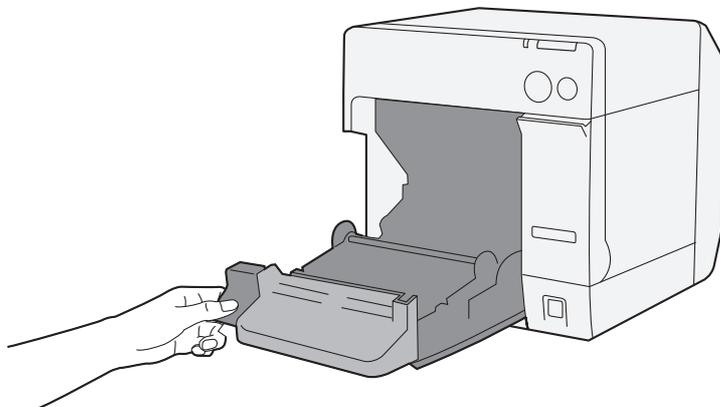
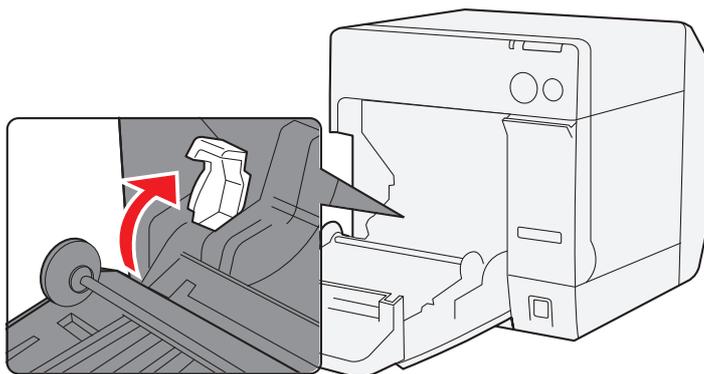
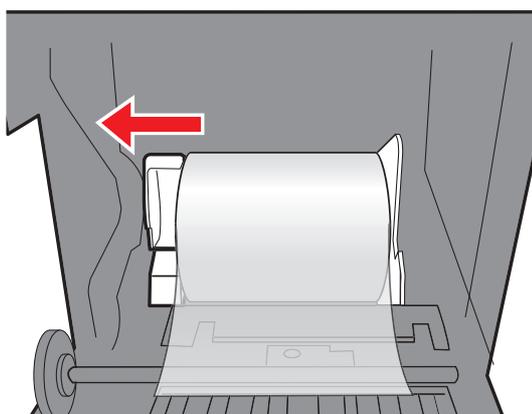
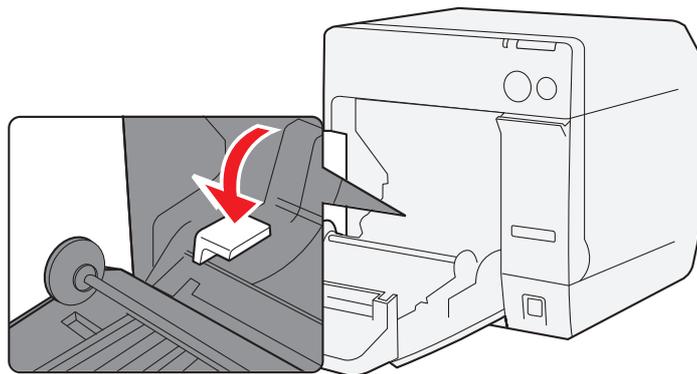
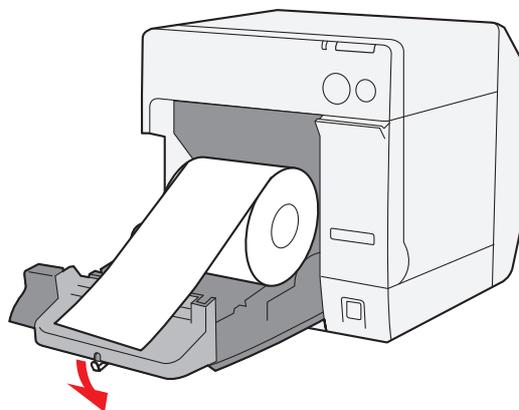
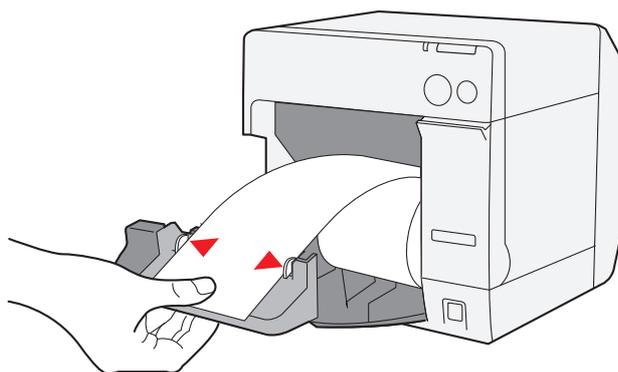
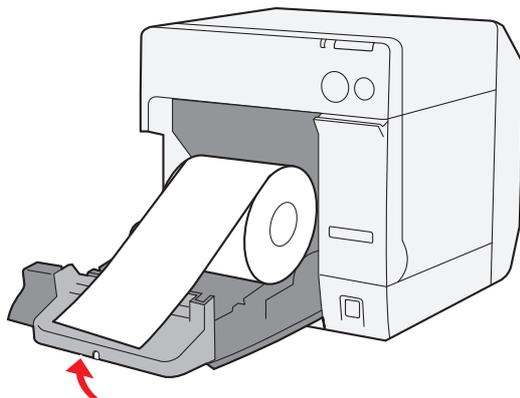
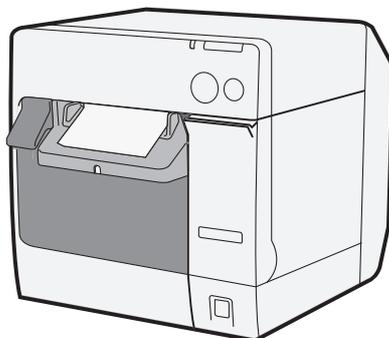
注意	リストバンド専用アタッチメントは、本製品（ファームウェア：Ver. WSN00170 以降、プリンタドライバ：Ver.1.2.0.0 以降）専用オプションです。

1 リリースレバーを手前に引き、ロール紙カバーを開けます。

2 リストバンド専用アタッチメントを、ロール紙カバーの内側の溝に差し込んで取り付けます。

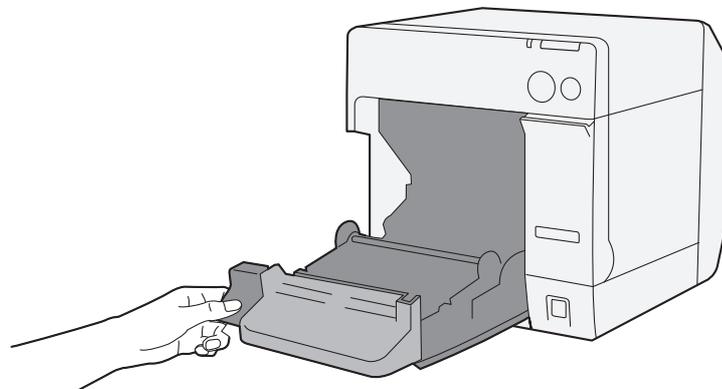
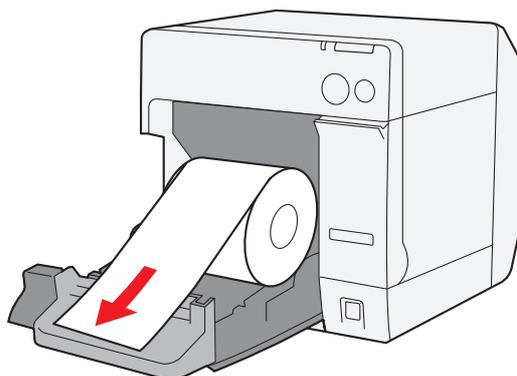
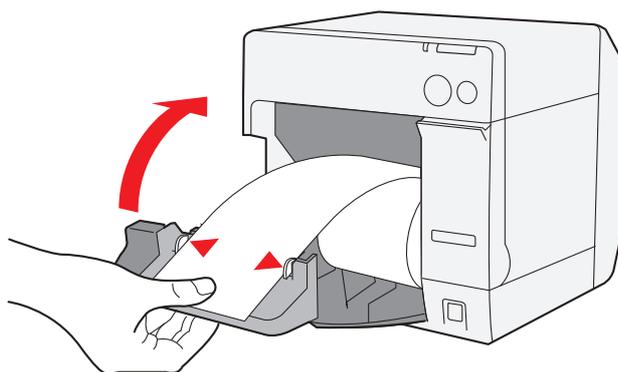
3 ロール紙カバーを閉めます。

2

⑤ ロール紙ガイド / 排紙ガイドの調整

紙幅に変更がない場合、本調整は必要ありません。

1 リリースレバーを手前に引き、ロール紙カバーを開けます。

2 ロール紙ガイドのロックを解除します。

3 左側のロール紙ガイドを矢印方向に押し広げ、印刷面を上にしてロール紙を挿入します。

4 ロール紙ガイドをロックします。

5 排紙ガイドのロックを、先の細いもので解除します。

6 排紙ガイドをロール紙の幅に合わせます。

7 排紙ガイドをロックします。

8 ロール紙カバーを閉じます。

⑥ ロール紙の挿入と電源の投入

手順"⑤ ロール紙ガイド / 排紙ガイドの調整 (80 ページ)"を行った場合ステップ 1 ～ 3 は不要です。

1 リリースレバーを手前に引き、ロール紙カバーを開けます。

2 印刷面が上になるように少し引き出して、ロール紙を挿入します。

3 ロール紙を排紙ガイドに合わせながら、ロール紙カバーを閉めます。

4 プリンタの電源をオンにします。自動的に用紙が送られます。

参考	プリンタドライバの [プリンタユーティリティ] タブの [用紙頭出し動作設定] で、用紙カバークローズ時の用紙頭出し動作を「カットあり」に設定していると、用紙が送られた後、オートカットされます。

以上で、ロール紙のセットは終了です。

ファンフォールド紙のセット

ファンフォールド紙をセットする場合、以下の流れでセットします。

- 初めて用紙をセットする場合：②〜⑤
- 用紙を使い切った場合（同じ用紙をセットする）：①、⑤
- 用紙の形状や種類を変更する場合：①〜⑤

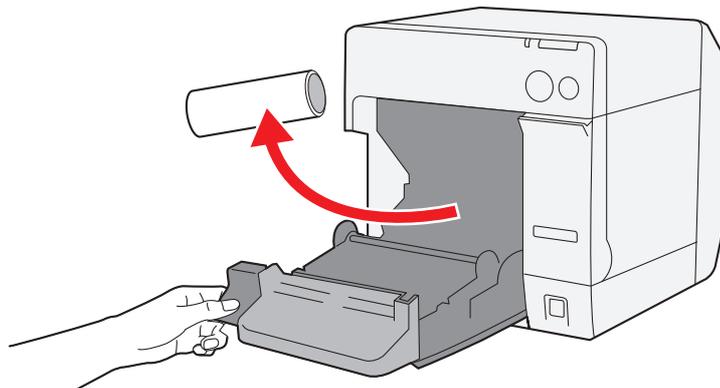
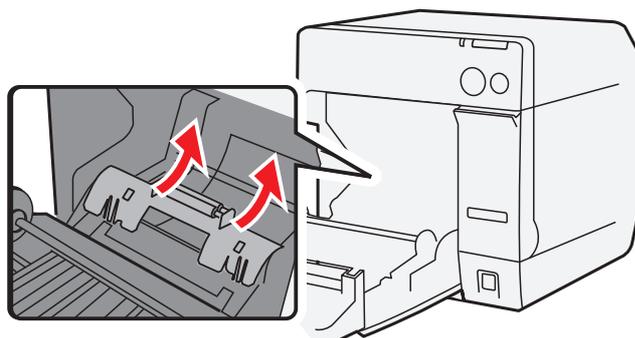
注意

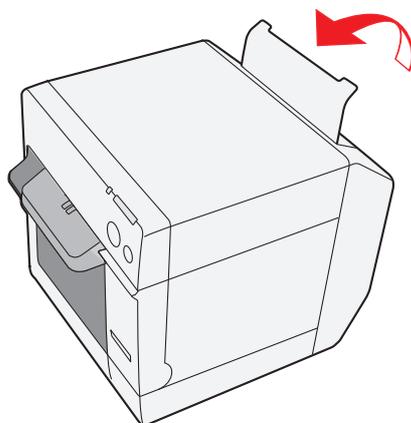
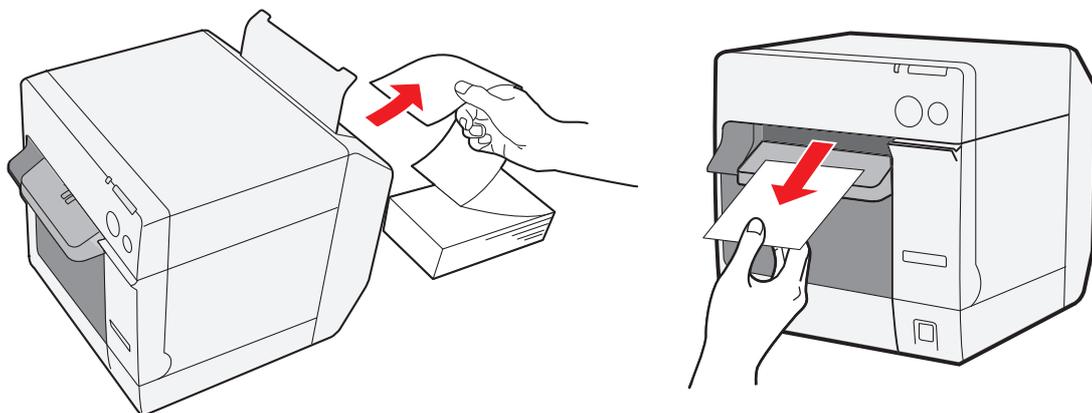
ファンフォールド紙のセットを行う前に、必ずディップスイッチ 3 (用紙の選択) が、ON (ファンフォールド紙) に設定されているか確認してください。ディップスイッチ設定の詳細は、72 ページ「ディップスイッチの設定」を参照してください。

① 用紙の除去

用紙を初めてプリンタにセットする場合、本作業は必要ありません。

ロール紙の場合

1 リリースレバーを手前に引き、ロール紙カバーを開けます。
ロール紙またはロール芯があれば、取り出します。

2 リストバンド専用アタッチメント（OT-WA34）が取り付けられている場合、取り外します。

3 ロール紙カバーを閉めます。

ファンフォールド紙の場合

1 ファンフォールド紙カバーを開けます。

2 残っている紙を取り除きます。

② 用紙位置検出の設定

用紙位置検出設定に変更がない場合、本設定は必要ありません。

注意

- プリンタ内に用紙が残っていると、用紙位置検出の設定が行えません。
  プリンタの電源をオンにする前に、必ずプリンタ内から用紙を取り除いてください。
- 用紙位置検出設定の変更内容は、プリンタの電源をオフしたときにプリンタの内部メモリに保存されます。設定を有効にするため、必ずプリンタの電源をオフにしてください。

1. プリンタの電源をオンにします。
2. プリンタ内の用紙を取り除きます。
3. プリンタドライバを表示させます。（プリンタドライバの表示方法は、147 ページ「プリンタドライバの表示方法」参照）
4. ［**プリンタユーティリティ**］タブの［**用紙位置検出設定**］を、使用する用紙に合わせて変更します。

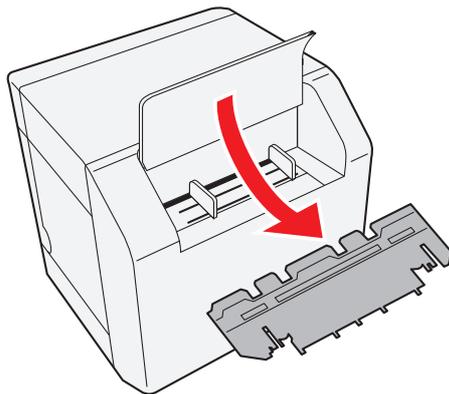
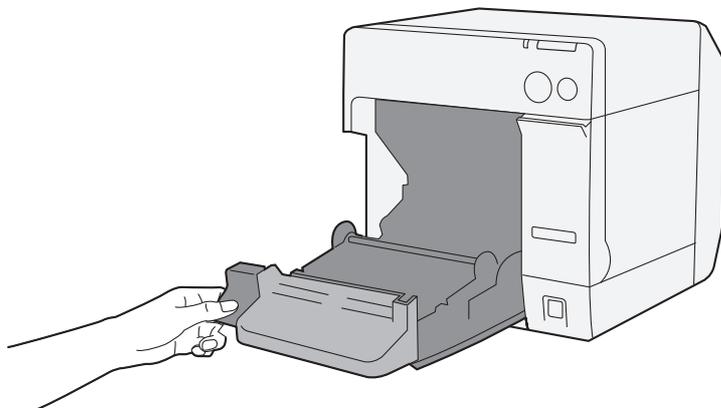
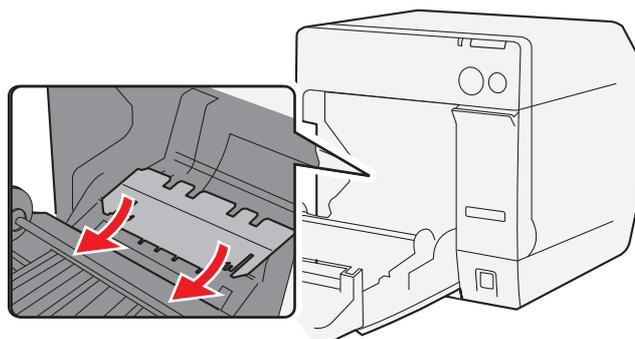
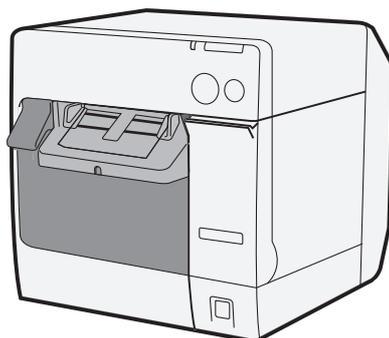
お客様が使用する用紙	用紙位置検出設定
ダイカットラベル（ブラックマーク付き）	ダイカットラベルのブラックマークを検出する
レシート（ブラックマーク付き）	レシートのブラックマークを検出する
ダイカットラベル / ブラックマークダイカットラベル / 透明台紙ダイカットラベル	ラベル間ギャップを検出する

5. プリンタの電源をオフにします。

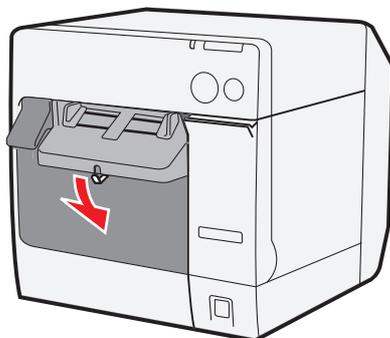
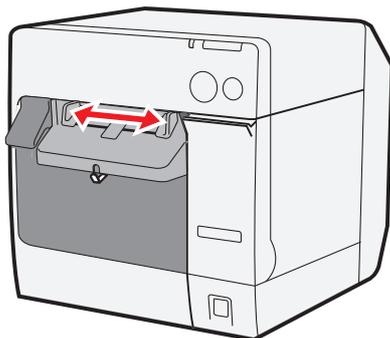
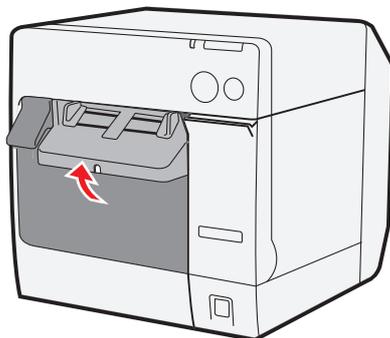
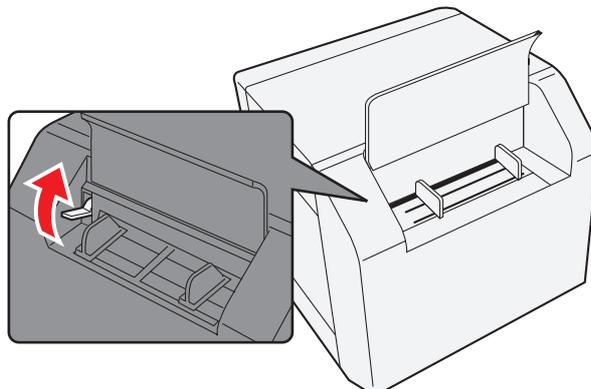
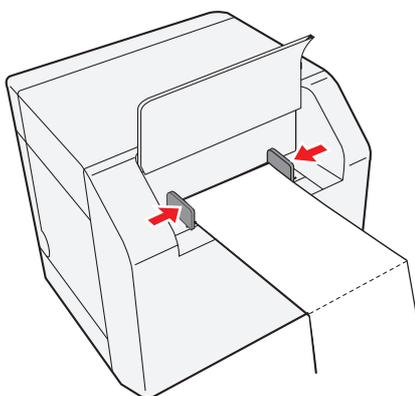
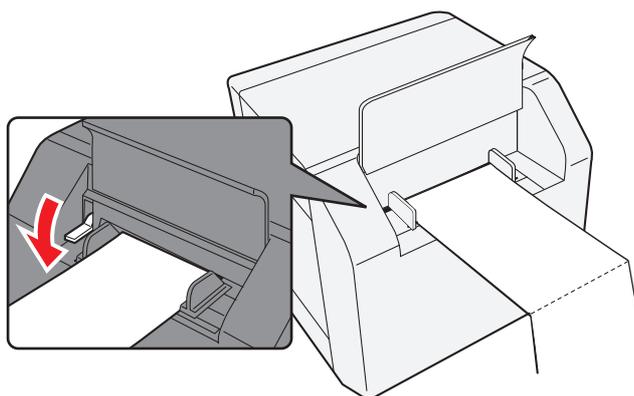
③ 紙送りガイドの取り付け

用紙の形状（ロール紙 / ファンフォールド紙）に変更がない場合、本作業は必要ありません。

注意	ファンフォールド紙を使用する場合、必ず紙送りガイドを取り付けてください。

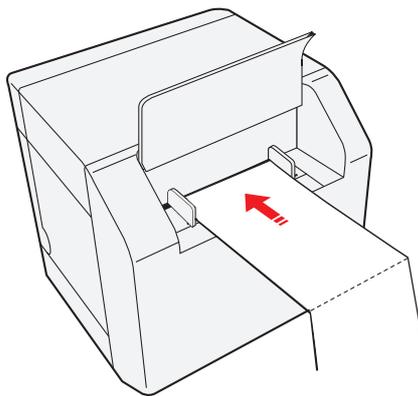
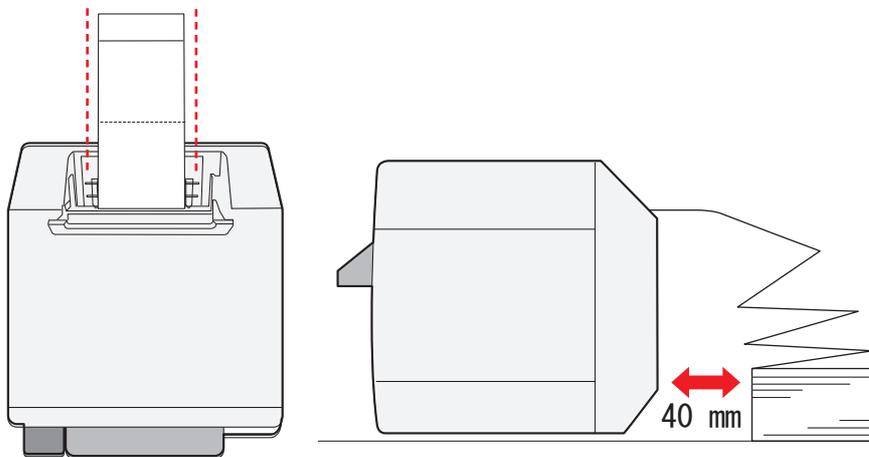
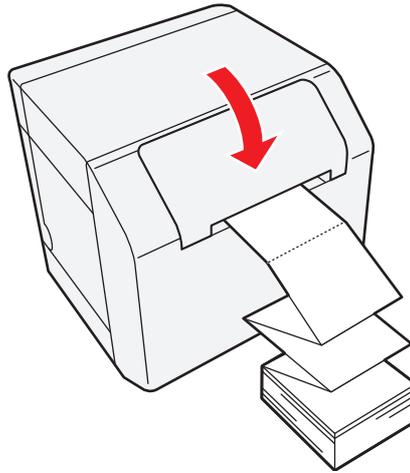
1 ファンフォールド紙カバーを開け、紙送りガイドを取り出します。

2 リリースレバーを手前に引き、ロール紙カバーを開けます。

3 紙送りガイドを、ロール紙カバー内側の溝に差し込み取り付けます。

4 ロール紙カバーを閉めます。

④ 排紙ガイド / ファンフォールド紙ガイドの調整

用紙の形状(ロール紙 / ファンフォールド紙)に変更がない場合、本作業は必要ありません。

1 排紙ガイドのロックを、先の細いもので解除します。

2 排紙ガイドを外側にスライドさせます。

3 排紙ガイドをロックします。

4 ファンフォールド紙カバーを開け、ファンフォールド紙ガイドのロックを解除します。

5 ファンフォールド紙ガイドをファンフォールド紙の幅に合わせます。

6 ファンフォールド紙ガイドをロックします。

⑤ 用紙の挿入と電源の投入

1 プリンタの電源をオンにします。

2 Power LED が点滅から点灯に変わったら、印刷面を上にして、引き込まれるまで（約 100 mm）用紙を挿入します。自動的に用紙が送られます。

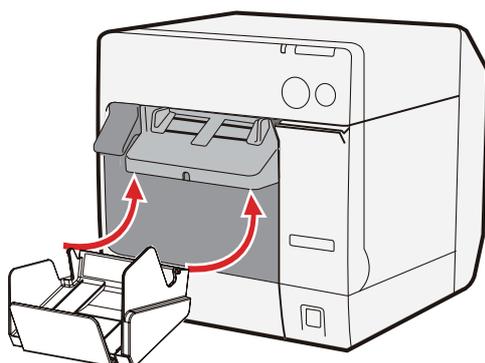
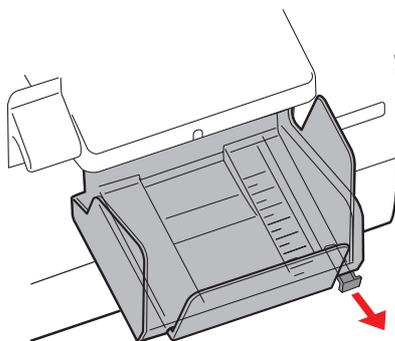
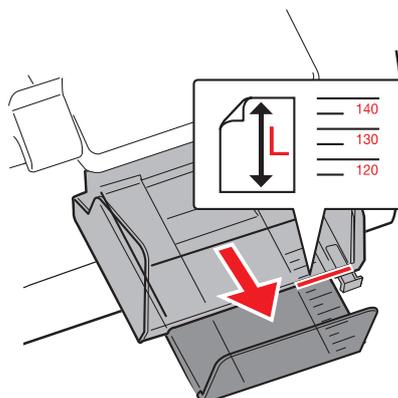
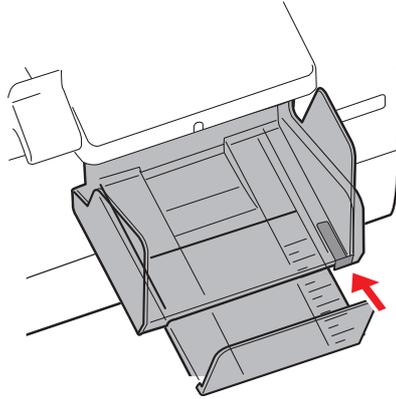
> **参考** プリンタドライバの [プリンタユーティリティ] タブの [用紙頭出し動作設定] で、用紙カバークローズ時の用紙頭出し動作を「カットあり」に設定していると、用紙が送られた後、オートカットされます。

3 プリンタ背面から 40 mm 以上離して、用紙をまっすぐに置きます。

4 ファンフォールド紙カバーを閉めます。

以上で、ファンフォールド紙のセットは終了です。

排紙トレイの取り付け / 調整

排紙トレイを取り付けると、印刷された用紙を排紙トレイに一時的にためておくことができます。
排紙トレイを使用する場合、以下の手順に従って排紙トレイの取り付け / 調整してください。

注意

- 用紙のカール、長さにより、排紙トレイから用紙が落ちる場合があります。
- ファンフォールド紙を使用する場合、複数の用紙を排紙トレイにためておくことができます。
  排紙トレイへの排紙可能枚数は、49 ページ「排紙トレイ」を参照してください。

1 排紙テーブル下側のフックに、排紙トレイを取り付けます。

2 排紙トレイ右下のレバーを引き下げて、ロックを解除します。

3 下側の排紙トレイを用紙の長さに合わせます。

4 排紙トレイをロックします。

電源スイッチカバーの取り付け

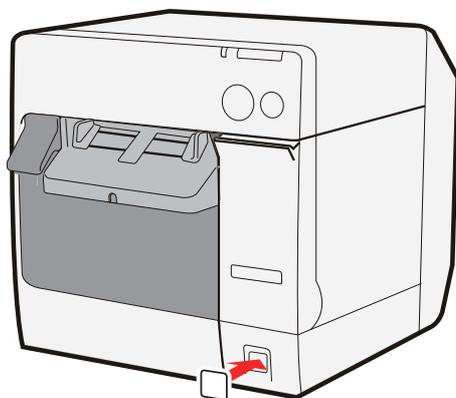
電源スイッチカバーを取り付けると、電源スイッチの誤操作を防止できます。

注意	電源スイッチカバーを取り付ける場合、ディップスイッチ 1 の設定をオンにしてください。(詳細は、72 ページ「ディップスイッチの設定」を参照してください。)AC 入力で電源のオン / オフを行えるようになり、分電盤などで電源を制御できます。その場合、電源スイッチはリセット機能になります。

電源スイッチを操作させない場合

電源スイッチカバーをそのまま取り付けます。

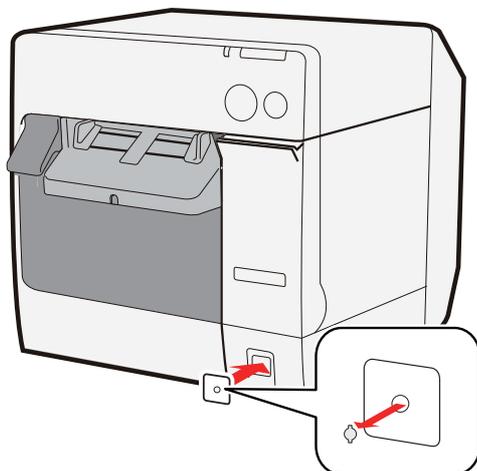
1 ディップスイッチ 1 を ON にしてください。

2 プリンタの電源スイッチの上から、電源スイッチカバーを押し込みます。

先の細いものを差し込んで、電源スイッチを操作する場合

電源スイッチカバーの穴を抜いてから取り付けます。

注意	電源スイッチカバーをプリンタに取り付けてから、穴を開けることはできません。

1 電源スイッチカバーの真ん中を、先の細い硬いもので突いて穴を開けます。

2 プリンタの電源スイッチの上から、電源スイッチカバーを押し込みます。

プリンタドライバの設定

プリンタドライバでは以下の機能を設定できます。

プリンタの設定

- 印刷動作モードの設定
- 通知設定
- 用紙頭出し動作設定
- 用紙位置検出設定
- パネルボタンの設定
- センサー調整

プリンタドライバの設定

- EPSON プリンタウィンドウ !3 の設定
- 印刷後用紙動作設定
- リストバンドを使用する場合の設定

印刷動作モードの設定

印刷動作モードの設定には以下のモードがあります。（初期設定では [誤読なしモード] に設定されています。初期設定で使用する場合、設定の必要はありません）

- 高信頼性モード（無効（Void）画像印刷）
- 高信頼性モード（再印刷実行選択）
- エコノミーモード（無効（Void）画像印刷）
- エコノミーモード（再印刷実行選択）
- 誤読なしモード
- 誤色なしモード

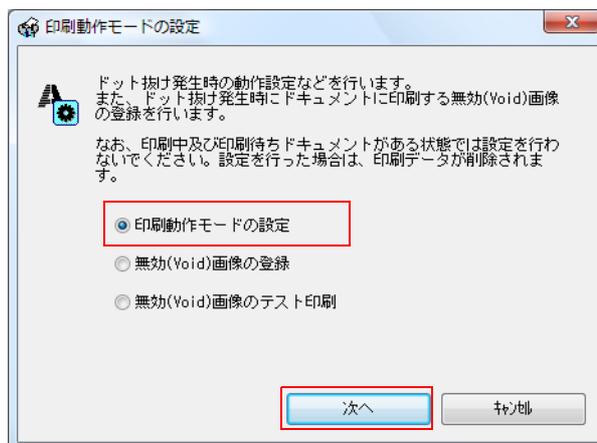
（各モードの詳細は 19 ページ「印刷動作モード」を参照してください）

モードの設定方法

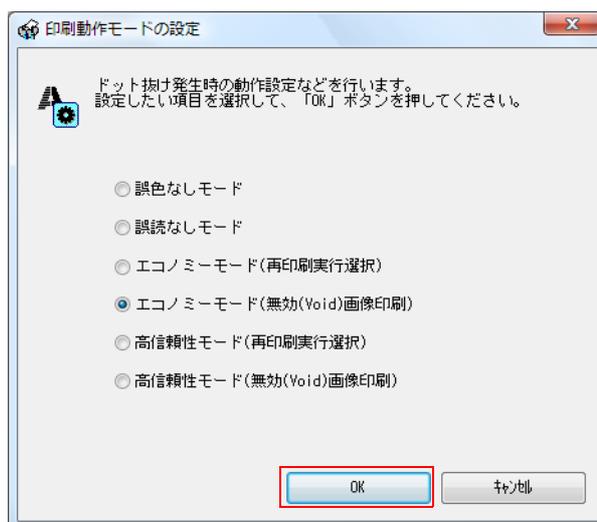
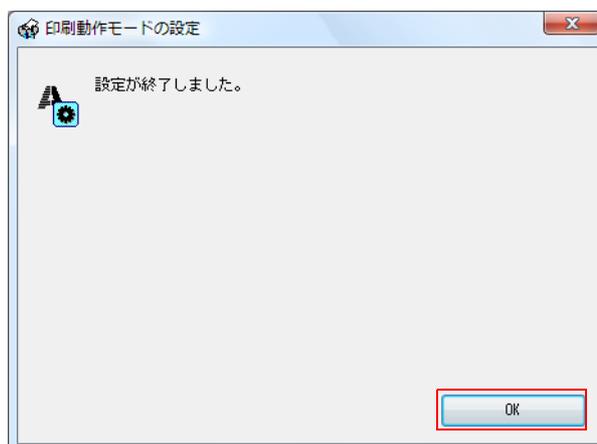
1 プリンタの電源をオンにします。

2 プリンタドライバを表示します。
(プリンタドライバの表示方法は、147 ページ「プリンタドライバの使い方」を参照してください)

3 [プリンタユーティリティ] タブを選択し、[印刷動作モードの設定] をクリックします。

4 「印刷動作モードの設定」画面が表示されます。[印刷動作モードの設定] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

5 設定モードを選択します。どのモードを選択するかは 19 ページ「印刷動作モード」を参照してください。モードを選択後、[次へ] ボタンをクリックします。

参考

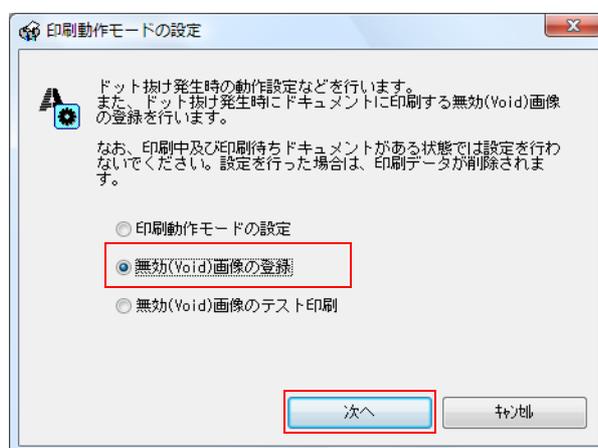
エコノミーモードは、プリンタのファームウェアが Ver.WSN00180 以降の場合に表示されます。

6 設定が完了します。[OK] ボタンをクリックし終了します。

無効 (Void) 画像の登録

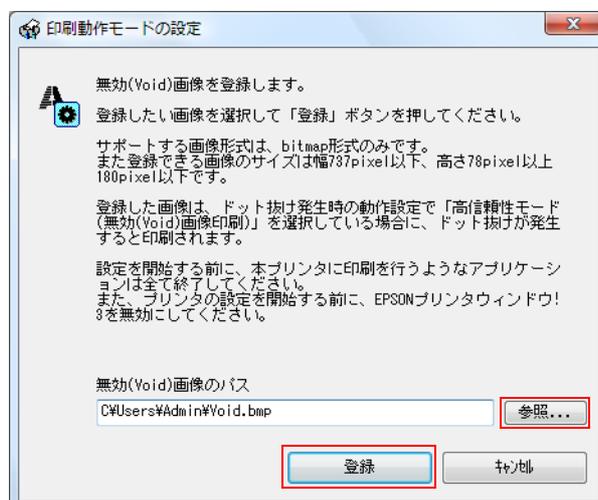
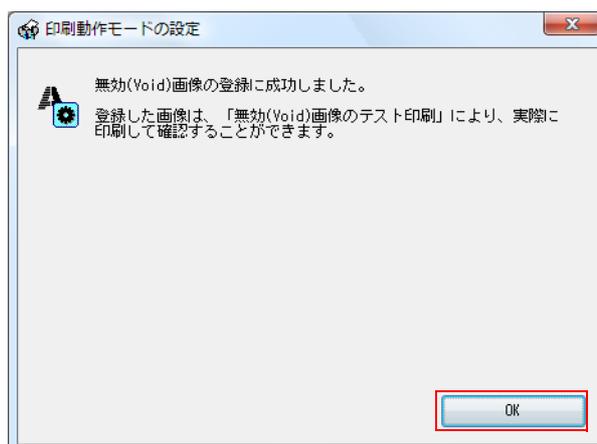
高信頼性モード (無効 (Void) 画像印刷) およびエコノミーモード (無効 (Void) 画像印刷) では、ドット抜けが発生した場合に印刷する画像を指定できます。初期設定では高さ 25.4 mm の黒ベタ印刷です。無効 (Void) 画像の変更できます。

1 プリンタの電源をオンにします。

2 プリンタドライバを表示します。
(プリンタドライバの表示方法は、147 ページ「プリンタドライバの使い方」を参照してください)

3 [プリンタユーティリティ] タブを選択し、[印刷動作モードの設定] をクリックします。

4 「印刷動作モードの設定」画面が表示されます。[無効 (Void) 画像の登録] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

5 [参照] ボタンをクリックし、印刷する画像を選択します。[登録] ボタンをクリックし、印刷する画像を登録します。

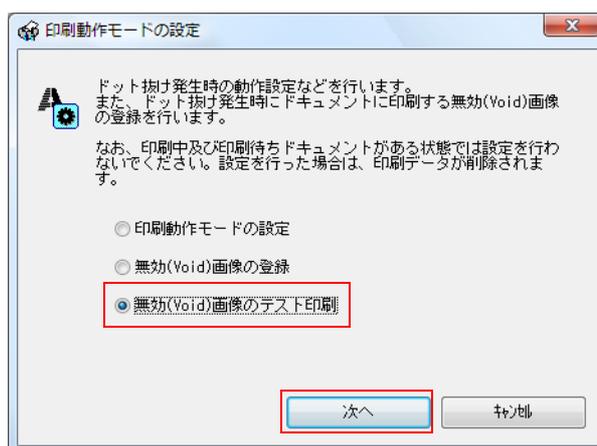
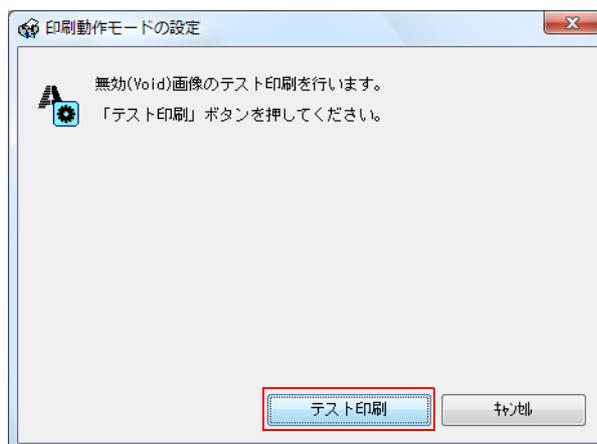
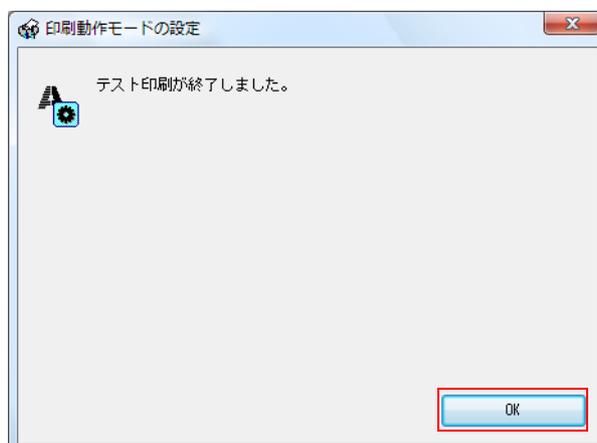
注意　無効 (Void) 画像として登録できるのは、幅 737 pixel、高さ 78 pixel 以上 180 pixel 以下のビットマップ画像です。

6 無効 (Void) 画像の登録が完了します。[OK] ボタンをクリックします。

無効 (Void) 画像のテスト印刷

高信頼性モード (無効 (Void) 画像印刷) およびエコノミーモード (無効 (Void) 画像印刷) で、ドット抜けが発生した場合に印刷する画像をテスト印刷します。

1 プリンタの電源をオンにします。

2 プリンタドライバを表示します。
(プリンタドライバの表示方法は、147 ページ「プリンタドライバの使い方」を参照してください)

3 [プリンタユーティリティ] タブを選択し、[印刷動作モードの設定] をクリックします。

4 [無効 (Void) 画像のテスト印刷] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

5 [テスト印刷] ボタンをクリックし、テスト印刷を開始します。
[キャンセル] ボタンをクリックすると、テスト印刷せずに終了します。

6 テスト印刷が完了します。[OK] ボタンをクリックし終了します。

通知設定

以下の通知設定をします。

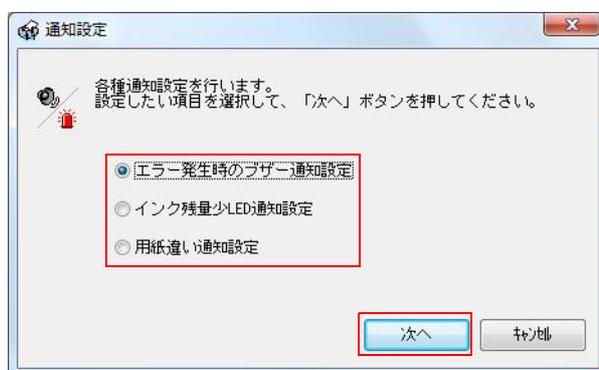
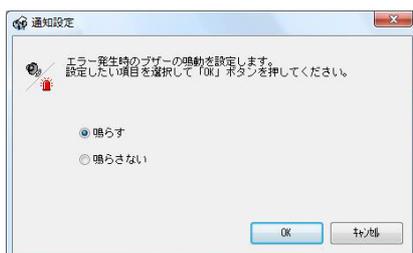
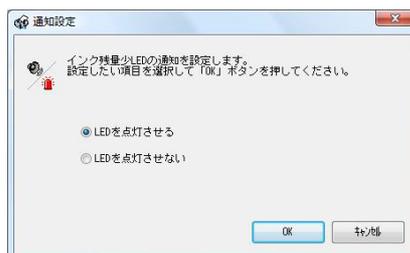
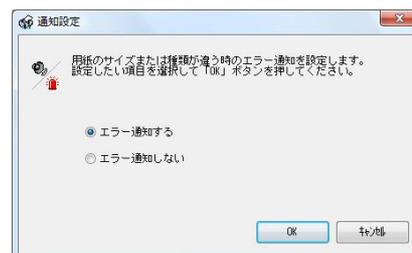
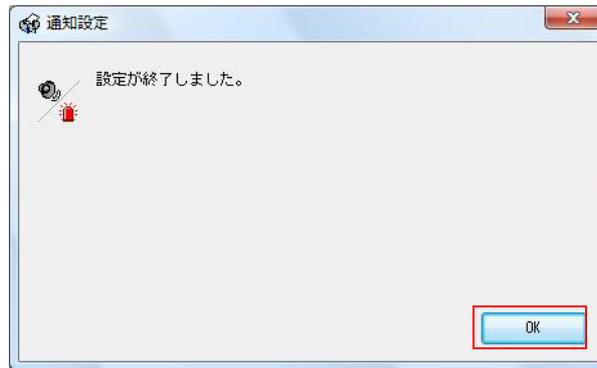
- エラー発生時のブザー通知設定
  エラーが発生したとき、ブザーを鳴らすか / 鳴らさないか設定します。（初期設定は [鳴らす] になっています。初期設定で使用する場合、設定の必要はありません）
- インク残量少 LED 通知設定
  インク残量が少なくなったとき、LED を点灯させる /LED を点灯させないか設定します。（初期設定は [LED を点灯させる] になっています。初期設定で使用する場合、設定の必要はありません）
- 用紙違い通知設定
  用紙サイズエラーを検出するか設定します。エラーを検出すると、Error LED と Paper LED を点灯させ、EPSON プリンタウィンドウ !3 を起動している場合、エラー通知します。（初期設定は [エラー通知しない] になっています。初期設定で使用する場合、設定の必要はありません）

設定方法は以下のとおりです。

1 プリンタの電源をオンにします。

2 プリンタドライバを表示します。
（プリンタドライバの表示方法は、147 ページ「プリンタドライバの使い方」を参照してください）

3 [プリンタユーティリティ] タブを選択し、[通知設定] をクリックします。

4 「通知設定」画面が表示されます。設定する項目選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

5 通知方法を設定し、[OK] ボタンをクリックします。
[キャンセル] ボタンをクリックすると、設定を変更せずに画面を終了します。

エラー発生時のブザー通知設定 **インク残量少 LED 通知設定** **用紙違い通知設定**

6 設定が完了します。[OK] ボタンをクリックし終了します。

用紙頭出し動作設定

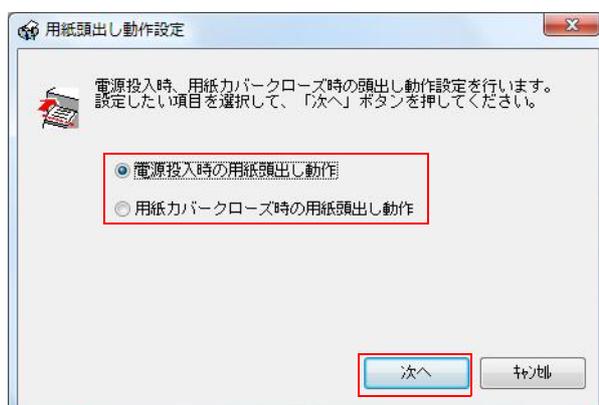
プリンタの電源オン時 / 用紙カバークローズ時の、用紙頭出し動作の設定をします。
プリンタの電源オン時 / 用紙カバークローズ時の、用紙頭出し動作には以下の種類があります。（初期設定は [用紙頭出し動作あり（カットあり）] になっています。初期設定で使用する場合、設定の必要はありません）

設定	内容	電源オン	ロール紙カバー閉
用紙頭出し動作あり（カットあり）	用紙位置検出設定がブラックマーク検出／ラベル間ギャップ検出の場合、電源投入時にブラックマーク検出器、もしくはラベル検出器により、ブラックマーク上端／ラベル上端を検出し、頭出しをします。 位置検出なしの場合、一定量の紙送りをします。終了後にオートカットを行い、待機状態になります。	○	○
用紙頭出し動作あり（カットなし）	用紙位置検出設定がブラックマーク検出／ラベル間ギャップ検出の場合、電源投入時にブラックマーク検出器、もしくはラベル検出器により、ブラックマーク上端／ラベル上端を検出し、頭出しをします。 位置検出なしの場合、一定量の紙送りをします。終了後にオートカットを行わず、待機状態になります。	○	○
用紙頭出し動作なし	電源オン時に紙送りしません。	○	−

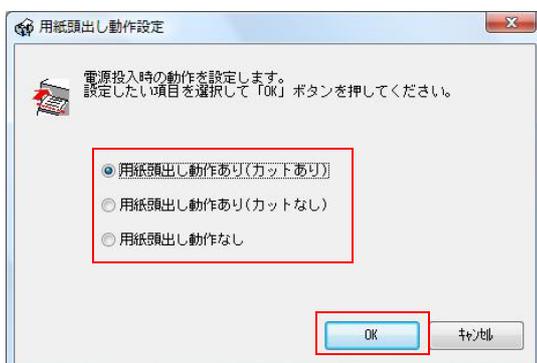
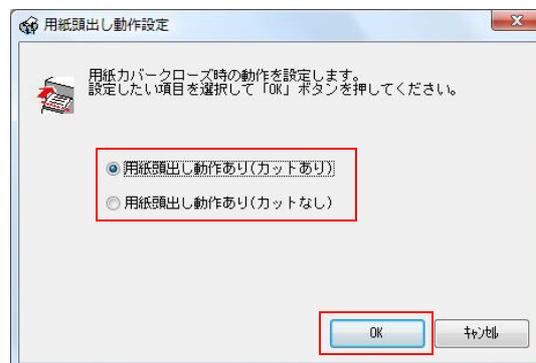
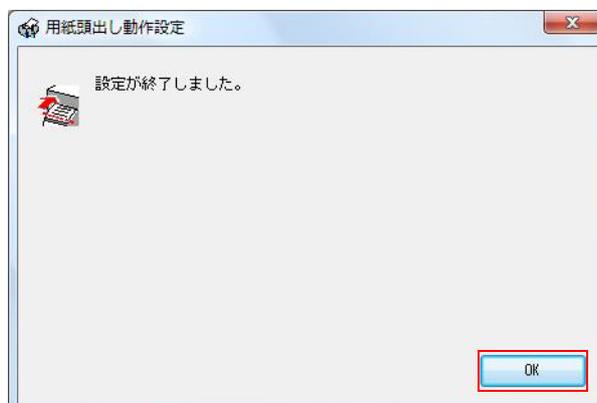
1 プリンタの電源をオンにします。

2 プリンタドライバを表示します。
（プリンタドライバの表示方法は、147 ページ「プリンタドライバの使い方」を参照してください）

3 [プリンタユーティリティ] タブを選択し、[用紙頭出し動作設定] をクリックします。

4 「用紙頭出し動作設定」画面が表示されます。設定する項目を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

5 用紙頭出し動作設定を設定し、[OK] ボタンをクリックします。

[キャンセル] ボタンをクリックすると、設定を変更せずに画面を終了します。

電源投入時の用紙頭出し動作

用紙カバークローズ時の用紙頭出し動作

6 設定が完了します。[OK] ボタンをクリックし終了します。

用紙位置検出

本プリンタは、以下の３種類の用紙位置検出を設定できます。
これはプリンタドライバの［プリンタユーティリティ］－［用紙位置検出設定］で設定します。
プリンタの用紙位置検出設定は、セルフテストで確認できます。詳細は 179 ページ「セルフテスト」を参照してください。

- 位置検出しない
  用紙の有無のみを検出します。用紙に対する位置合わせは行いません。

- ダイカットラベルのブラックマークを検出する
  ブラックマークダイカットラベルを使用する場合、ブラックマーク上端位置に対して、印刷位置、オートカット位置合わせを行います。

- 連続紙のブラックマークを検出する
  ブラックマークレシートを使用する場合、ブラックマーク上端位置に対して、印刷位置、オートカット位置合わせを行います。

- ラベル間ギャップを検出する
  ダイカットラベルを使用する場合に、ラベル上端位置に対して、印刷位置、オートカット位置合わせを行います。

注意 プリンタの設定と用紙の種類が適合しないと印刷ができず、用紙エラーが発生します。以下の表に合わせて設定してください。

お客様が使用する用紙		位置検出しない	ダイカットラベルのブラックマークを検出する	連続紙のブラックマークを検出する	ラベル間ギャップを検出する
ロール紙	レシート	○	-	-	-
	全面ラベル	○	-	-	-
	ダイカットラベル	-	-	-	○
	ブラックマークレシート	-	-	○	-
	ブラックマークダイカットラベル	-	○	-	○
	リストバンド	-	-	○	-
ファンフォールド紙	ブラックマークレシート	-	-	○	-
	ブラックマークダイカットラベル	-	○	-	-

○：使用できます、－：使用できません

パネルボタンの設定

本プリンタのパネルボタンの有効 / 無効を設定します。

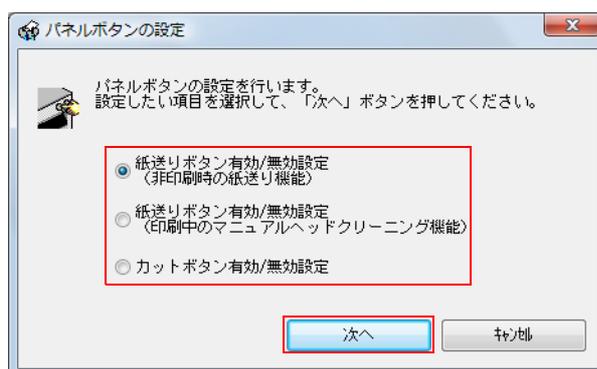
パネルボタン	プリンタの動作	パネルボタン操作時の動作	設定
紙送りボタン	非印刷時	紙送り	有効 / 無効
	印刷中	印刷中のマニュアルヘッドクリーニング	有効 / 無効
カットボタン	−	用紙のカット	有効 / 無効

設定方法は以下のとおりです。

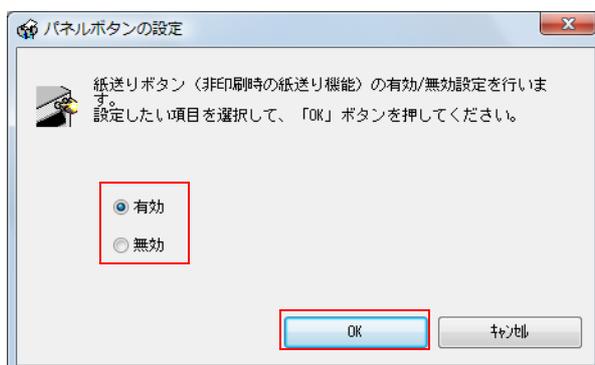
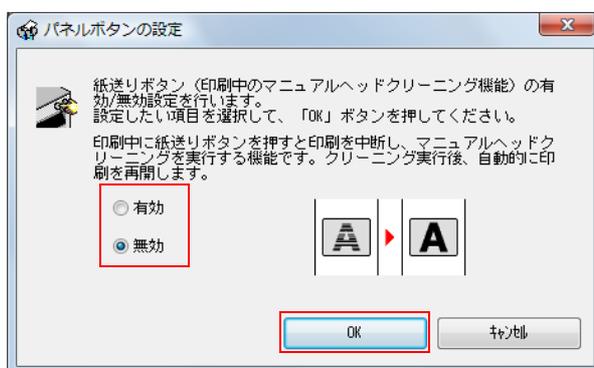
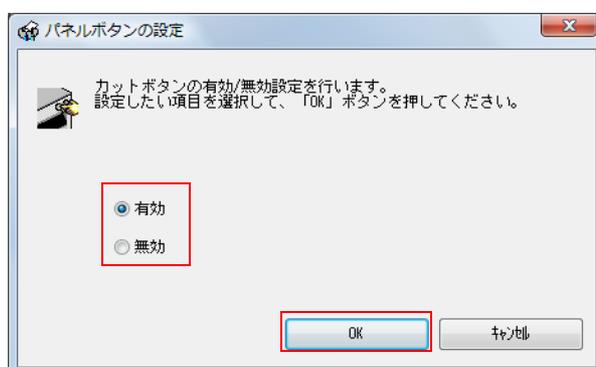
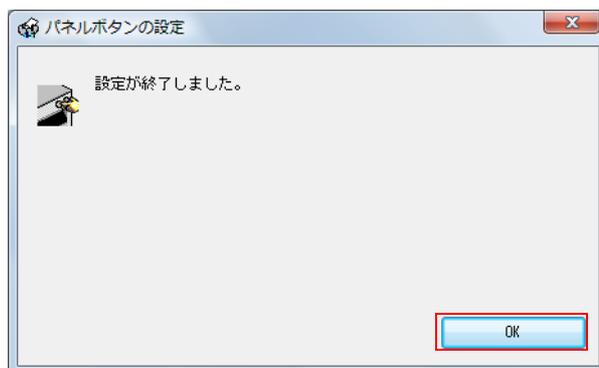
1. プリンタの電源をオンにします。

2. プリンタドライバを表示します。
（プリンタドライバの表示方法は、147 ページ「プリンタドライバの使い方」を参照してください）

3. ［プリンタユーティリティ］タブを選択し、［パネルボタンの設定］をクリックします。

4. 「パネルボタンの設定」画面が表示されます。設定する項目選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

5 パネルボタンの有効 / 無効を設定し、[OK] ボタンをクリックします。

[キャンセル] ボタンをクリックすると、設定を変更せずに画面を終了します。

非印刷時の紙送り設定

印刷中のマニュアルヘッドクリーニング設定

カットボタンの設定

6 設定が完了します。[OK] ボタンをクリックし終了します。

センサー調整

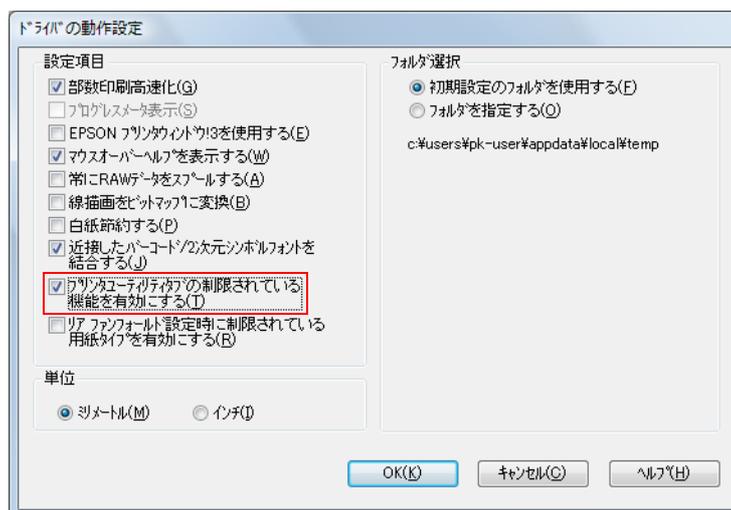
使用する用紙の、ラベル間ギャップやブラックマークセンサーを検出できないときに、センサーの閾値を調整することができます。設定方法は以下のとおりです。

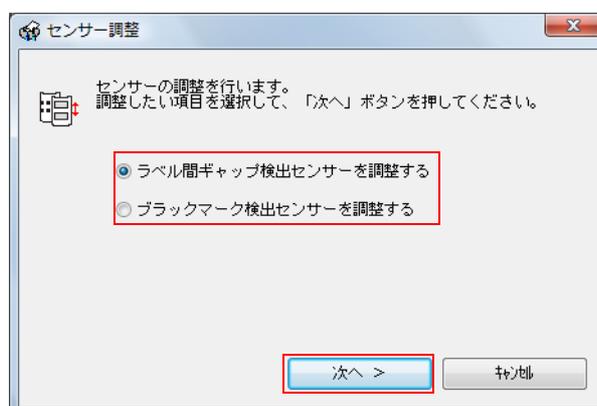
1 設定する用紙を、プリンタにセットします。

2 プリンタの電源をオンにします。

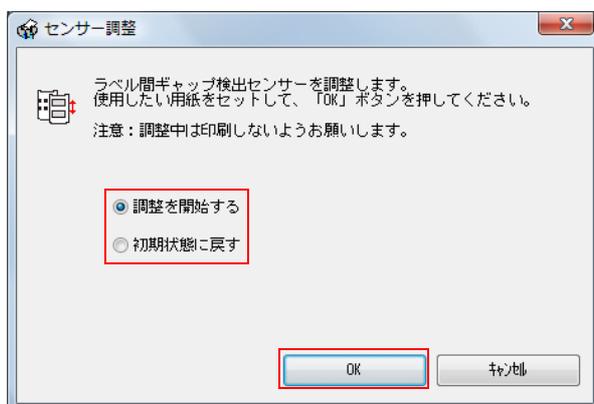
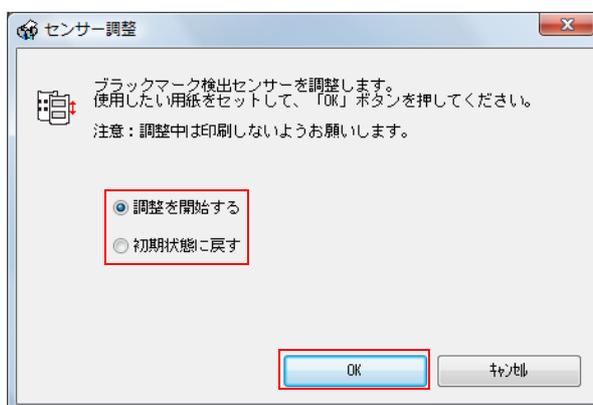
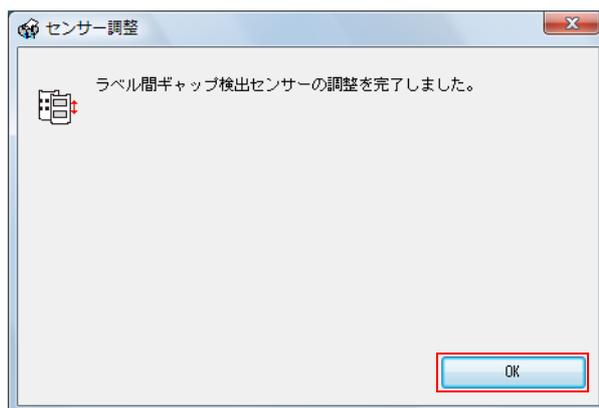
3 プリンタドライバを表示します。
（プリンタドライバの表示方法は、147 ページ「プリンタドライバの使い方」を参照してください）

4 ［ドライバユーティリティ］タブを選択し、［ドライバの動作設定］をクリックします。

5 「ドライバの動作設定」画面が表示されます。［プリンターユーティリティタブの制限されている機能を有効にする］にチェックし、[OK] ボタンをクリックします。

6 ［プリンタユーティリティ］タブを選択し、［センサー調整］をクリックします。

7 「センサー調整」画面が表示されます。調整するセンサーを選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

8 [調整を開始する]/[初期状態に戻す] を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

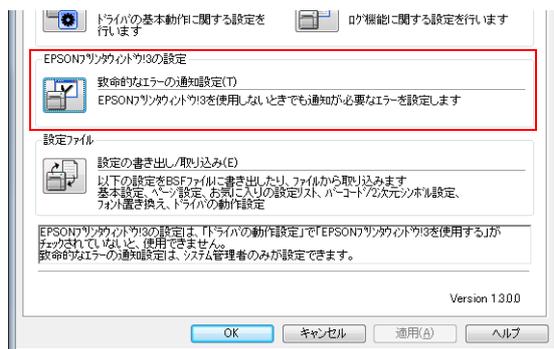
[キャンセル] ボタンをクリックすると、設定を変更せずに画面を終了します。

ラベル間ギャップ検出センサーの調整

ブラックマーク検出センサーの調整

9 調整が完了します。[OK] ボタンをクリックし終了します。

EPSON プリンタウィンドウ !3 の設定

EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用すると、印刷したときに用紙種類やインク残量をポップアップウィンドウで表示します。また、致命的なエラーが発生したときには、エラー画面を表示します。

初期設定では「使用しない」に設定されています。それでも致命的なエラーが発生したときには、エラー画面を表示させることができます。

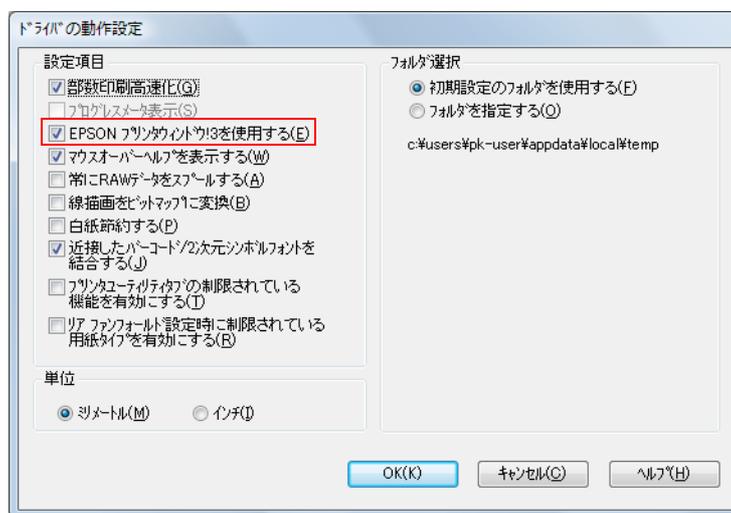
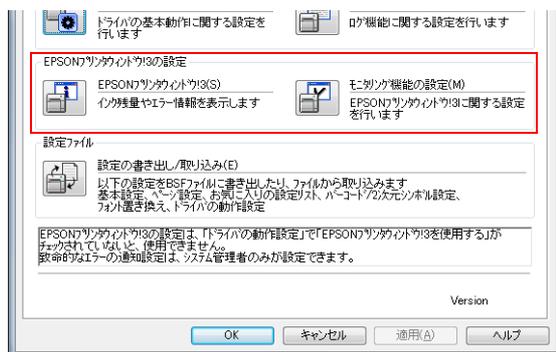
EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する / 使用しない

初期設定では、「EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用しない」になっています。この場合、ドライバユーティリティの EPSON プリンタウィンドウの設定には、「致命的なエラーの通知設定」が表示されています。

「EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する」にする方法は以下のとおりです。

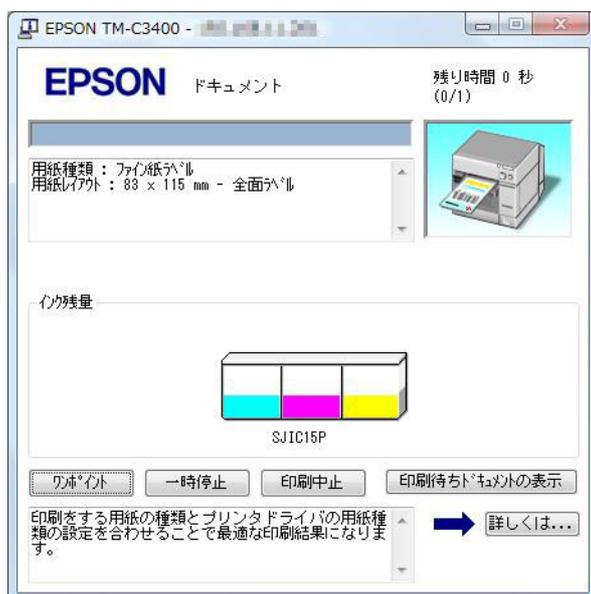
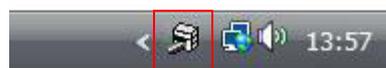
1 プリンタの電源をオンにします。

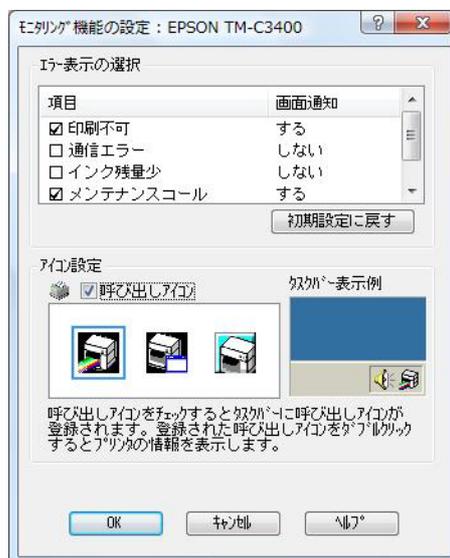
2 プリンタドライバを表示します。
（プリンタドライバの表示方法は、147 ページ「プリンタドライバの使い方」を参照してください）

3 ［ドライバユーティリティ］タブを選択し、［ドライバの動作設定］をクリックします。

4 「ドライバの動作設定」画面が表示されます。[EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する］にチェックし、[OK] ボタンをクリックします。

5 ドライバユーティリティ画面の「EPSON プリンタウィンドウ !3 の設定」には、「EPSON プリンタウィンドウ !3」と「モニタリング機能の設定」が表示されます。

EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する

「EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する」に設定すると以下の動作をします。

- 印刷時に自動的に画面が表示され、プリンタの状態やインク残量を確認することができます。
- 印刷中のプリンタにエラーが発生すると、エラー内容が表示されます。
  印刷していないときは、プリンタがエラーになっても、EPSON プリンタウィンドウ !3 は起動しません。
- タスクトレイの「EPSON プリンタウィンドウ !3」のアイコンをクリックすると、いつでも「EPSON プリンタウィンドウ !3」を表示させることができます。
  （アイコンの表示方法は、115 ページ「アイコンの表示」を参照してください）

EPSON **プリンタウィンドウ** !3 **表示画面**

タスクトレイのアイコン

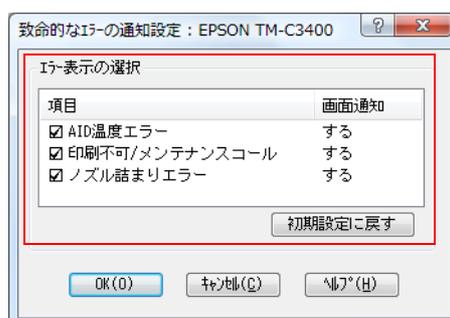
- 「モニタリング機能の設定」では、以下の設定ができます。
  エラー表示の選択
  （113 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用しない場合のエラー通知設定」を参照してください）
  「EPSON プリンタウィンドウ !3」アイコンを、タスクバーに表示させる。
  （115 ページ「アイコンの表示」を参照してください）

EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用しない場合のエラー通知設定

EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用しない場合の、エラー通知方法は以下のとおりです。

1 プリンタの電源をオンにします。

2 プリンタドライバを表示します。
（プリンタドライバの表示方法は、147 ページ「プリンタドライバの使い方」を参照してください）

3 [ドライバユーティリティ]タブを選択し、[致命的なエラーの通知設定]をクリックします。
EPSON プリンタウィンドウ !3 が有効の場合、[致命的なエラーの通知設定] は表示されません。（111 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する / 使用しない」を参照して、EPSON プリンタウィンドウ !3 を無効にしてください。）

4 「致命的なエラーの通知設定」画面が表示されます。エラー発生時に表示させたい項目をチェックし、[OK] ボタンをクリックします。

- AID 温度エラー：　AID 温度上昇時（初期設定：画面通知 [する]）
- 印刷不可 / メンテナンスコール：　印刷不可やメンテナンスコール発生時（初期設定：画面通知 [する]）
- ノズル詰まりエラー：　ノズルが詰まり時（初期設定：画面通知 [する]）

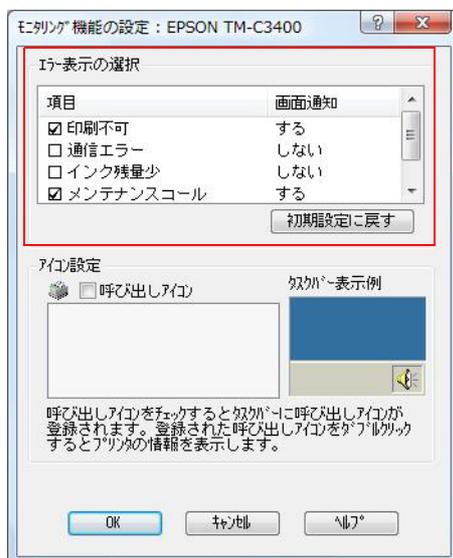
EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する場合のエラー通知設定

EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する場合の、エラー通知方法は以下のとおりです。

1 プリンタの電源をオンにします。

2 プリンタドライバを表示します。
（プリンタドライバの表示方法は、147 ページ「プリンタドライバの使い方」を参照してください）

3 [ドライバユーティリティ] タブを選択し、[モニタリング機能の設定] をクリックします。
EPSON プリンタウィンドウ !3 が無効の場合、[モニタリング機能の設定] は表示されません。（111 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する / 使用しない」を参照して、EPSON プリンタウィンドウ !3 を有効にしてください。）

4 「モニタリング機能の設定」画面が表示されます。エラー発生時に表示させたい項目をチェックし、[OK] ボタンをクリックします。

- 印刷不可：　用紙 / インク交換発生時（初期設定：画面通知 [する]）
- 通信エラー：　プリンタの電源オフ時（初期設定：画面通知 [しない]）
- インク残量少：　インク残量少時（初期設定：画面通知 [しない]）
- メンテナンスコール：　プリンタエラー発生時（初期設定：画面通知 [する]）

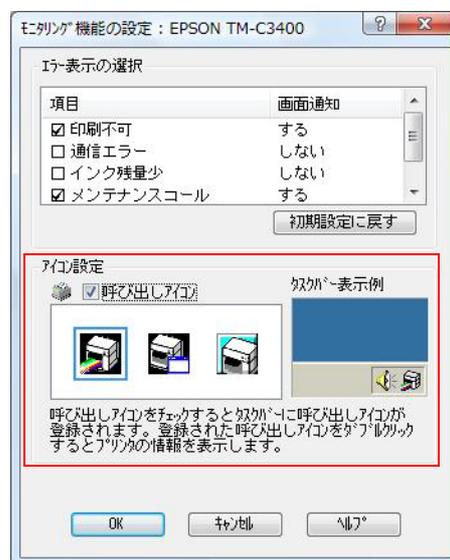
アイコンの表示

タスクトレイにアイコンを常駐させ、プリンタの状態をすぐに確認することができます。初期設定ではアイコンを表示しません。アイコンの表示方法は以下のとおりです。

1. プリンタの電源をオンにします。

2. プリンタドライバを表示します。
（147 ページ「プリンタドライバの使い方」を参照してください）

3. ［ドライバユーティリティ］タブを選択し、［モニタリング機能の設定］をクリックします。

4. 「モニタリング機能の設定」画面が表示されます。［呼び出しアイコン］をチェックし、タスクバーに表示するアイコンの種類を選択します。[OK] ボタンをクリックします。

印刷後用紙動作設定

本プリンタは、以下の印刷後用紙動作を設定できます。
これはプリンタドライバの [基本設定] ー [印刷後用紙動作設定] で設定します。

- オートカットする：ページ毎 / 最終ページのみ / 指定ページ毎
  印刷終了後にオートカットが可能な位置まで紙送りを行い、オートカット後に停止します。
  次の印刷開始時には、逆方向紙送りによる頭出しを行い、印刷動作を開始します。
- オートカットしない
  - ＊ 印刷終了位置で停止
    印刷終了後に紙送りをしないで停止しますが、1 秒以上プリンタが次の印刷データを受信しない場合、オートカットが可能な位置まで紙送りを行い停止します。オートカットは行いません。この場合、お客様がカットボタンを押して、用紙カットします。次の印刷開始時には、逆方向紙送りによる頭出しを行い、印刷動作を開始します。オートカットしない場合、この設定を推奨します。
    「カット位置まで移動」との違いは、複数の印刷物を連続して印刷する場合に、印刷終了までの時間が短くなります。「カット位置まで移動」は、連続して印刷データが送られている場合でも、各ジョブが終了するごとにカット位置まで移動し、また印刷開始位置まで逆戻りするため、印刷開始時間が遅くなります。
  - ＊ カット位置まで移動
    印刷終了後にオートカットが可能な位置まで紙送りを行い停止しますが、オートカットは行いません。
    この場合、お客様がカットボタンを押すことにより、用紙カットを行います。次の印刷開始時には、逆方向紙送りによる頭出しを行い、印刷動作を開始します。
  - ＊ ハクリ位置まで移動
    ダイカットラベル専用の設定です。印刷終了後にダイカットラベルがハクリ可能な位置まで紙送りを行い、停止します。
    この場合、お客様がカットボタンを押すことにより、用紙カットを行います。次の印刷開始時には、逆方向紙送りによる頭出しを行い、印刷動作を開始します。

用紙と用紙カットの方法による、「印刷後動作設定」の設定

用紙の種類と、お客様がどのように用紙カットをするかによって、「印刷後動作設定」を設定します。

USB インタフェースモデル （共有プリンタを除く）

お客様が使用する用紙		プリンタドライバの設定	プリンタの動作			
		用紙カットの方法 印刷後動作設定	オートカットする	オートカットしない		
				印刷終了位置で停止	カット位置まで移動	ハクリ位置まで移動
ロール紙	レシート	プリンタがカット	○	－	－	－
	全面ラベル	プリンタがカット	○	－	－	－
	ダイカットラベル	プリンタがカット	○	－	－	－
		お客様がラベルをハクリ台紙はカットしない	－	－	－	○
		お客様が [カットボタン] で台紙をカット	－	○	○	－
	ブラックマークレシート	プリンタがカット	○	－	－	－
	ブラックマークダイカットラベル	プリンタがカット	○	－	－	－
		お客様がラベルをハクリ台紙はカットしない	－	－	－	○
		お客様が [カットボタン] で台紙をカット	－	○	○	－
	リストバンド	プリンタがカット	○	－	－	－
ファンフォールド紙	ブラックマークレシート	プリンタがカット	○	－	－	－
	ブラックマークダイカットラベル	プリンタがカット	○	－	－	－
		お客様がラベルをハクリ台紙はカットしない	－	－	－	○
		お客様が [カットボタン] で台紙をカット	－	○	○	－
		お客様が、紙のミシン目を手でカット	－	－	－	○

○：使用できます

ー：使用できません

イーサネットインタフェースモデル、共有プリンタ

イーサネットインタフェースモデルや共有プリンタの場合、お客様が用紙切り離しをするときに、他のアプリケーションからの印刷が実行されることがあります。そのとき用紙がプリンタ内部に逆戻りして、紙ジャムする場合があります。これを防止するため、「オートカットする」か、お客様がカットボタンでカットするようにしてください。

お客様が使用する用紙		プリンタドライバの設定	プリンタの動作			
		用紙カットの方法 印刷後動作設定	オートカットする	オートカットしない		
				印刷終了位置で停止	カット位置まで移動	ハクリ位置まで移動
ロール紙	レシート	プリンタがカット	○	－	－	－
	全面ラベル	プリンタがカット	○	－	－	－
	ダイカットラベル	プリンタがカット	○	－	－	－
		お客様がラベルをハクリする。 台紙はカットしない *	－	－	－	○
		お客様が [カットボタン] で台紙をカット	－	○	○	－
	ブラックマークレシート	プリンタがカット	○	－	－	－
	ブラックマークダイカットラベル	プリンタがカット	○	－	－	－
		お客様がラベルをハクリする。 台紙はカットしない *	－	－	－	○
		お客様が [カットボタン] で台紙をカット	－	○	○	－
	リストバンド	プリンタがカット	○	－	－	－
ファンフォールド紙	ブラックマークレシート	プリンタがカット	○	－	－	－
	ブラックマークダイカットラベル	プリンタがカット	○	－	－	－
		お客様がラベルをハクリする。 台紙はカットしない *	－	－	－	○
		お客様が [カットボタン] で台紙をカット	－	○	○	－
		お客様が、紙のミシン目を手でカット *	－	－	－	○

* お客様がラベルをハクリしているときに他のお客様から印刷されると、突然用紙の逆送りが行われるため、紙ジャムのおそれがあります。そのため設定しないでください。

○：使用できます

－：使用できません

リストバンドを使用する場合の設定

リストバンド (WB-S/M/L シリーズ) を使用する場合、プリンタドライバで以下を設定します。

- [用紙位置検出設定]
  これはプリンタドライバの [プリンタユーティリティ] ー [用紙位置検出設定] で設定します。
  詳細は、76 ページ「② 用紙位置検出の設定」を参照してください。
- [用紙種類] と [用紙レイアウト]
  これはプリンタドライバの [基本設定] で設定します。リストバンドの種類によって設定が異なります。
  以下を参照してください。

リストバンドの種類	プリンタドライバの設定 ([基本設定] タブ)	
	用紙種類	用紙レイアウト
WB-S シリーズ	ﾘｽﾄﾊﾞﾝﾄﾞﾀｲﾌﾟ 2	36 x 183.6mm - ﾌﾞﾗｯｸﾏｰｸﾚｼｰﾄ
WB-M シリーズ	ﾘｽﾄﾊﾞﾝﾄﾞﾀｲﾌﾟ 2	36 x 291.6mm - ﾌﾞﾗｯｸﾏｰｸﾚｼｰﾄ
WB-L シリーズ	ﾘｽﾄﾊﾞﾝﾄﾞﾀｲﾌﾟ 2	36 x 291.6mm - ﾌﾞﾗｯｸﾏｰｸﾚｼｰﾄ

アプリケーション開発情報

本章では、本プリンタを使用したアプリケーションの開発に必要な情報について説明しています。

概要

本プリンタを使用するために以下のものを提供しています。

❏ Windows の専用プリンタドライバを用意しています。
プリンタドライバには、再印刷機能を実装しています。エラー（紙なし、紙ジャム、インクドット抜けなど）が発生した場合でも、プリンタドライバが自動的に再印刷を行うので、アプリケーションに再印刷機能を実装する必要がありません。
（プリンタドライバの使い方の詳細は、147 ページ「プリンタドライバの使い方」を参照してください）

❏ 各種ユーティリティとユーザーズマニュアルを用意しています。

❏ TM-C3400 専用サンプルプログラムを用意しています。
アプリケーション開発の参考にご利用ください。

❏ EpsonNet SDK を用意しています。
これは EPSON 製のネットワークプリンタで使用できます。本プリンタでは、ネットワーク設定を参照するために使用します。また EpsonNet SDK にもサンプルプログラムが用意されていますが、本プリンタでは使用しません。

注意　本プリンタは、弊社が提供する APD、OPOS/JavaPOS を使用できません。

プリンタドライバ

プリンタドライバでは以下の機能を実装しています。アプリケーションに実装する必要はありません。

❏ バーコードフォント /2 次元シンボルフォントを実装しています。また .NET 環境の場合でも、実装されているフォント置き換え機能を使ってバーコードフォント /2 次元シンボルフォントを印刷できます。
この機能を使うには、事前にプリンタドライバでバーコードフォント /2 次元シンボルフォントを設定する必要があります。（ 設定方法の詳細は、152 ページ「バーコード印刷」、163 ページ「2 次元シンボル印刷」を参照してください。）
.NET 環境の場合、フォント置き換え機能でバーコードフォント /2 次元シンボルフォントに置き換える TrueType フォントを指定します。アプリケーションからは、置き換えた TrueType フォントを指定することで、バーコード /2 次元シンボルを印刷できます。（ フォント置き換え機能の詳細は、169 ページ「.NET 環境でバーコード / 2 次元シンボル印刷」を参照してください。）

❏ 再印刷機能を実装しています。
印刷中にエラーが発生した場合でも、エラー発生したページから自動的に再印刷します。
再印刷する条件があります。詳細は 19 ページ「印刷動作モード」を参照してください。

サンプルプログラム

本プリンタを使ったアプリケーションの開発に、TM-C3400 サンプルプログラムを参照してください。

❑ TM-C3400 サンプルプログラム使用環境
サンプルプログラムは、使用する OS 環境によってインストールするパッケージファイルが異なります。
以下を参照して、サンプルプログラムをインストールしてください。

使用 OS	パッケージファイル
32 bit/ 64 bit OS	c34smp_xxe.msi
32 bit OS	c34smp_xxe.exe

❑ TM-C3400 サンプルプログラム使用条件

- ダイカットラベル (108 x 174.8 mm) を使用してください。
- プリンタドライバの [用紙位置検出設定] を [ラベル間ギャップを検出する] に設定してください。
- 一部のサンプルプログラムは、SNMP TRAP を使っています。プリンタの Trap 機能の設定は、EpsonNet SDK によってインストール時に設定します。そのため EpsonNet SDK は、Trap を有効に設定してからインストールしてください。詳細は、125 ページ「EpsonNet SDK」を参照してください。
- TM-C3400 用サンプルプログラムは、C++、C#、VB6.0、VB.NET の言語で用意しています。
- 他のプリンタでは使用できません。

注意　EpsonNet SDK を使用したサンプルプログラムは、動作確認済みですが、EpsonNet SDK は、VB6.0, C# および VB.NET を正式にサポートしていません。各言語との組み合わせにおいて、100%動作保証はしていません。

❑ TM-C3400 サンプルプログラムの構成
TM-C3400 サンプルプログラムの構成、使用できるモデルと開発言語は以下を参照してください。

レベル	プログラム名	内容	プリンタモデル		言語			
			USB	イーサネット	C++	C#	VB.NET	VB6.0
基本	Step1. 簡単な文字を印刷	初歩的な印刷プログラムです。	○	○	○	-	○	-
	Step2. バーコードを印刷	事前にバーコードフォントを設定し、それを活用した印刷プログラムです。	○	○	○	-	○	-
	Step3. ビットマップデータを印刷	ビットマップデータを含んだ印刷プログラムです。	○	○	○	○	○	○
	Step4. アプリケーションからプリンタのステータスを確認する	印刷前にプリンタの状態を確認し、エラーハンドリング処理を行うプログラムです。	-	○	○	-	○	-

レベル	プログラム名	内容	プリンタモデル		言語			
			USB	イーサネット	C++	C#	VB.NET	VB6.0
基本	Step5. プリンタからステータスをアプリケーションに通知	プリンタの状態が変化した場合に、プリンタがアプリケーションのイベントを発生させ、エラーハンドリング処理を行うプログラムです。SNMP を使用しています。	-	○	○	-	○	-
	基本完成	Step1 〜 5 をまとめたプログラムです。	-	○	○	○	○	○
応用	プリンタ状態の監視と印刷ジョブのコントロール	ラベル印刷中にインクカバーが開いた場合、エラーを検出し、印刷ジョブをキャンセルするプログラムです。	-	○	○	-	○	-
	Devmode を使用した、印刷設定の変更	90° 回転と印刷部数変更を、アプリケーションで行うプログラムです。	-	○	○	-	○	-
	プリンタの各種情報取得	プリンタのドライババージョン、管理者名、ロケーション、印刷ジョブのステータス、CPU の情報などを取得するプログラムです。	-	○	○	-	○	-
	印刷完了の取得	ラベル印刷完了を取得して、「印刷終了」メッセージを表示するプログラムです。印刷完了を取得できない場合、メッセージを表示しません。	-	○	○	○	○	○

EpsonNet SDK

EpsonNet SDK とは、EPSON ネットワークプリンタ用の API です。本プリンタでもサポートしています。
本プリンタの場合、ネットワーク設定を参照できますが、設定はできません。
本プリンタのネットワークを監視するアプリケーションの開発に使用します。

注意　EpsonNet SDK は Win32 環境で動作します。.NET 環境でも動作しますが、保証していません。

参考　ネットワーク監視ツールの Simple Viewer は、EpsonNet SDK を利用しています。

EpsonNet SDK の環境設定

EpsonNet SDK の環境設定は、EpsonNet SDK をインストールする前に、EpsonNet SDK の setting.ini を編集する必要があります。以下を参照して編集してください。

設定項目	内容	設定値	初期値
TCPIP	イーサネットモデルで EpsonNet SDK の使用を設定します。	使用する :　1 使用しない : 0	1
LOCAL	USB モデルで EpsonNet SDK の使用を設定します。	使用する :　1 使用しない : 0	1
SHARE	共有プリンタで EpsonNet SDK の使用を設定します。	使用する :　1 使用しない : 0	0
TRAP	SNMP TRAP の使用を設定します。	使用する :　1 使用しない : 0	0
EXECTYPE	固定値	TERM	-
SHREAGT	MS 共有印刷でサーバ用通信モジュールの使用を設定します。	使用する :　1 使用しない : 0	0
EPSONNETSDK	固定値	0	-
INSTALL	固定値	0	-

注意　プリンタの状態を EpsonNet SDK で通知するためには、Trap 機能を設定する必要があります。

設定方法

すでに EpsonNet SDK がインストールされている場合、EpsonNet SDK をアンインストールしてください。
以下の手順で EpsonNet SDK の設定をして、再度インストールしてください。

1. EpsonNet SDK の Install Disk にある setting.ini を編集します。

2. EpsonNet SDK をインストールします。

ユーティリティとマニュアル

本製品には、プリンタドライバのほかに、各種ユーティリティおよびマニュアルが用意されています。

名称	パッケージファイル名	マニュアル
プリンタドライバ	c34d32_xxxx.exe c34d64_xxxx.exe	TM-C3400 詳細取扱説明書
簡単セットアップ	EPSetup.exe	なし
Install Assistant	c34ia_xxxj.exe	TM-C3400 Install Assistant ユーザーズマニュアル
Printer Setting	c34ps_xx.exe	TM-C3400 Printer Setting ユーザーズマニュアル
EpsonNet Simple Viewer	ensvxx.exe	EpsonNet Simple Viewer ユーザーズマニュアル
EpsonNet Config	encwxxx.exe	なし
EpsonNet SDK for Windows	EpsonNet-SDK-Verxxx-J.zip	EpsonNet SDK for Windows TM-C3400リファレンス
USB プリンタークラス デバイス置き換えサービス	UsbRepSv_32_xxx.exe	USBプリンタークラス　デバイス置き換えサービス ユーザーズマニュアル
サンプルプログラム	c34smp_xxj.exe c34smp_xxj.msi	なし。 使い方は、サンプルプログラムのメニューページを参照してください。

簡単セットアップ

プリンタドライバのインストールとネットワークの設定を行うためのユーティリティです。

画面表示に従って操作することにより、プリンタドライバのインストールと同時にネットワークの設定が行われるので、プリンタドライバ単体でインストールするよりもセットアップが容易になります。

EPSON プリンタウィンドウ!3

プリンタドライバをインストールすると、同時にインストールされます。プリンタドライバ上で有効にすると、画面上でインク残量やプリンタの状態を確認することができます。

Install Assistant

すでにインストールされているプリンタドライバの設定情報とプリンタドライバのインストーラを、まとめてパッケージファイル化するユーティリティです。

このパッケージファイルを別のコンピュータで実行するだけで、元のコンピュータと同じ設定でプリンタドライバがインストールされます。複数のコンピュータにプリンタドライバをインストールするときに便利です。

参考

- すでにInstall Assistantがインストールされている環境に、Install Assistantを再度インストールする場合、既存の Install Assistant をアンインストール後、インストールしてください。
- コピーできるプリンタドライバの設定は、コンピュータに保存されるものだけです。プリンタの内部メモリに保存される設定はコピーできません。設定できる項目は、129 ページ「プリンタドライバ / ユーティリティ機能一覧」を参照してください。
- 詳細は、「TM-C3400 Install Assistant ユーザーズマニュアル」を参照してください。

Printer Setting

ネットワーク内の複数のプリンタドライバについて、設定を一括で変更できます。また USB モデルの場合、USB シリアルナンバーを編集できます。

本ユーティリティを使用するには、プリンタドライバがインストールされている必要があります。

- 変更できるプリンタドライバの設定は、プリンタの内部メモリに保存されるものだけです。コンピュータに保存される設定は変更できません。設定できる項目は 129 ページ「プリンタドライバ / ユーティリティ機能一覧」を参照してください。
- 詳細は、「TM-C3400 Printer Setting ユーザーズマニュアル」を参照してください。

EpsonNet Simple Viewer

ネットワーク内の複数の EPSON プリンタについて、ネットワーク設定とステータスを確認できます。

- 一部の EPSON プリンタはサポートしていません。
- 詳細は、「EpsonNet Simple Viewer ユーザーズマニュアル」を参照してください。

EpsonNet Config

ネットワーク内の複数の EPSON プリンタについて、ネットワーク設定の確認と変更が行えます。

一部の EPSON プリンタはサポートしていません。

USB プリンタークラスデバイス置き換えサービス

コンピュータに常駐させるサービスです。TM-C3400 を修理などのために置き換えた場合、プリンタの接続を検知してプリンタドライバの出力するプリンタを自動的に変更します。

アプリケーション側の設定を変更しないでもプリンタを置き換えられます。（アプリケーションの出力先をポートに指定している場合は置き換えられません。プリンタドライバを指定している場合に置き換えられます。）

TM-C3400 の USB シリアルナンバーを事前に書き換える必要がありません。

EpsonNet Web Config

Web ブラウザのアドレスバーに、プリンタの IP アドレスを入力して、プリンタのネットワーク情報の設定 / 確認ができます。プリンタ 1 台の設定 / 確認ができます。

EpsonNet SDK

ネットワーク環境でプリンタの状態を取得するためのアプリケーション開発パックです。

サンプルプログラム

EpsonNet SDK を使った TM-C3400 を活用するためのサンプルプログラム集です。(全プログラムを VB.NET、C++ で用意。一部のプログラムは VB 6.0、C# でも用意されています)

ダウンロード

各種ソフトウェアとマニュアルは、弊社ホームページからダウンロードできます。

http://www.epson.jp/support/sd/

プリンタドライバ / ユーティリティ機能一覧

	プリンタドライバ					ユーティリティ					
		ドライバ									
	簡単セットアップ	[ドライバユーティリティ] タブ	[プリンタユーティリティ] タブ	EPSON プリンタウィンドウ!3	インストールパッケージ	Install Assistant	EpsonNet Config	EpsonNet Web Config	Printer Setting	EpsonNet Simple Viewer	EpsonNet SDK
プリンタ (単 : 1 台 / 複 : 複数台)	単	—	単	単	—	—	複	単	複	複	複
コンピュータ (単 : 1 台 / 複 : 複数台)	単	単	—	単	複	複	単	単	単	単	単
設定											
プリンタドライバのインストール	○	—	—	—	○	○	×	×	×	×	×
プリンタドライバの設定	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×
プリンタのネットワーク設定 (詳細は、131 ページ「値の設定」参照)	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×
プリンタの設定 (詳細は、133 ページ「プリンタ本体の設定」参照)	○	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×
取得											
プリンタのネットワーク設定の参照 (詳細は、130 ページ「設定値の参照」参照)	—	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
プリンタのネットワーク設定の変更 (詳細は、131 ページ「値の設定」参照)	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×
プリンタ設定の参照 / 変更 (詳細は、133 ページ「プリンタ本体の設定」参照)	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×
プリンタステータス・エラー情報の表示 (詳細は、134ページ「プリンタステータス取得」参照)	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	○

3

プリンタのネットワーク設定

設定値の参照

		プリンタドライバ					ユーティリティ					
			ドライバ									
		簡単セットアップ	[ドライバユーティリティ]タブ	[プリンタユーティリティ]タブ	EPSONプリンタウィンドウ!3	インストールパッケージ	Install Assistant	EpsonNet Config	EpsonNet Web Config	Printer Setting	EpsonNet Simple Viewer	EpsonNet SDK
基本	IPアドレス	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
	MACアドレス	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○
	ハードウェアバージョン	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×
	ソフトウェアバージョン	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×
	(識別情報)ロケーション	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○
管理情報	ロケーション(設置場所)	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○
	管理者名	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○
	ネットワークステータス	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	○
	ポートタイプ	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×
	インク残量	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	○
	プリンタステータス	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	○
	現在時刻	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×

値の設定

注意　プリンタが工場出荷時の設定の場合、IP アドレスが設定されていないため、EpsonNet Web Config は使用できません。

			EpsonNet Config		EpsonNet Web Config	
			設定	取得	設定	取得
ネットワーク	基本 (有線)	Link Speed & Duplex	○	○	○	○
		ポートタイプ	○	○	○	○
TCP/IP	基本	IP アドレスの設定方法 (手動設定 / 自動取得)	○	○	○	○
		プライベート IP 自動指定 (APIPA)	○	○	○	○
		PING による設定	○	○	○	○
		IP アドレス	○	○	○	○
		サブネットマスク	○	○	○	○
		デフォルトゲートウェイ	○	○	○	○
	DNS	DNS サーバのアドレスを自動的に取得する	○	○	○	○
		DNS サーバ (使用順)	3 コ	○	3 コ	○
		ホスト名とドメイン名を自動的に取得する	○	○	○	○
		ホスト名	○	○	○	○
		ドメイン名	○	○	○	○
		ネットワーク I/F のアドレスを DNS に登録する	○	○	○	○
		DNS サーバに直接登録する	○	○	○	○
	Bonjour	Bonjour を使用する	×	×	○	○
		Bonjour 名	×	×	○	○
		プリンタ名	×	×	○	○
	UPnP	ユニバーサルプラグアンドプレイ機能を有効にする	○	○	○	○
		デバイス名	○	○	○	○
		ロケーション	○	○	×	×

<table>
<tr><td colspan="3" rowspan="2"></td><td colspan="2">EpsonNet Config</td><td colspan="2">EpsonNet Web Config</td></tr>
<tr><td>設定</td><td>取得</td><td>設定</td><td>取得</td></tr>
<tr><td rowspan="2">SNMP</td><td rowspan="2">基本</td><td>Read Only</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>Read/Write</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="4">SNMP</td><td rowspan="4">IP トラップ 1/2</td><td>IP トラップ 1/2/3/4 を有効にする</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>アドレス</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>コミュニティ</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>ポート番号</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>時刻</td><td>基本</td><td>日付 / 時刻 / タイムゾーンなど</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="7">アクセス制御</td><td rowspan="3">印刷 IP アドレス</td><td>IP 印刷へのアクセス制御機能を有効にする</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>アクセス制御</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>アクセス制御リスト</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="4">印刷ポート</td><td>LPR ポートからの印刷を許可する</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>RAW ポート (Port9100) からの印刷 / 分散印刷を許可する</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>RAW ポート (Port2501) からの印刷を許可する</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>FTP ポートからの印刷を許可する</td><td>×</td><td>×</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">タイムアウト</td><td rowspan="2">基本</td><td>LPR</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>RAW (Port9100)</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">管理者設定　ユーザー認証</td><td>ユーザー認証機能 (管理者名)</td><td>×</td><td>×</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>設置場所 (ロケーション)</td><td>×</td><td>×</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">管理者設定　パスワード</td><td>管理者パスワード</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">工場出荷時設定に戻す
(ステータスシートボタンを押した状態で、プリンタの電源をオンし、そのままボタンを 20 秒以上押し続けても工場出荷時設定に戻せます。)</td><td>ネットワーク I/F (リセット)</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">言語</td><td>HTML 言語指定</td><td>×</td><td>×</td><td>○</td><td>○</td></tr>
</table>

プリンタ本体の設定

設定	項目	ドライバ プリンタユーティリティ		Printer Setting	
		設定	取得	設定	取得
ギャップ調整	紙送り調整	○	×	×	×
	双方向印刷調整	○	×	×	×
印刷基準位置調整	打ち出し位置調整 (ロール紙 / ファンフォールド紙)	○	×	×	×
	印刷基準位置 (ラベル間ギャップ / ブラックマーク / オートカッタ)	○	×	×	×
紙送り量調整	オートカッタ位置調整	○	×	○	○
	印刷位置調整	○	×	○	○
用紙頭出し動作設定	電源オン時頭出しモード	○	×	○	○
	ロール紙カバークローズ時頭出しモード	○	×	○	○
通知設定	ブザー有効無効設定	○	×	○	○
	用紙サイズエラー通知設定	○	×	○	○
	インク残量少 LED 表示設定	○	×	○	○
紙送りボタン（非印刷時の紙送り機能）	紙送りボタン有効 / 無効設定	○	×	○	○
紙送りボタン（印刷中のマニュアルヘッドクリーニング機能）	紙送りボタン有効 / 無効設定	○	×	×	×
カットボタン	カットボタン有効 / 無効設定	○	×	○	○
印刷動作モードの設定	ドット抜け発生時の動作設定	○	×	○	○
	無効 (Void) 画像登録	○	×	○	○
	無効 (Void) 画像登録名の取得表示	○	×	○	○
	無効 (Void) 画像のテスト印刷	○	-	×	×
USB シリアルナンバーの設定	USB シリアルナンバー	×	×	○	○
センサー調整	ラベル間ギャップ検出センサーの調整	○	×	×	×
	ブラックマーク検出センサーの調整	○	×	×	×

プリンタステータス取得

		EPSON プリンタウィンドウ !3	EpsonNet Web Config	EpsonNet Simple Viewer	EpsonNet SDK
インク情報	インク色	○	○	○	○
	インク残量	○	○	○	○
エラー	通信エラー	×	×	○	○
	オートカッタエラー	×	×	○	○
	フェータルエラー	×	×	○	○
	カバーオープン	×	×	○	○
	紙ジャムエラー	×	×	○	○
	インク交換時期	×	×	○	○
	用紙なし	×	×	○	○
	用紙サイズエラー	×	×	○	○
	廃インクオーバーフロー	×	×	○	○
	用紙認識エラー	×	×	○	○
	インクカバーオープン	×	×	○	○
	インク交換が必要	×	×	○	○
セルフ印字中	テスト印刷	×	×	○	○
	無効 (Void) 画像印刷	×	×	○	○
プリンタの状態	ビジー	×	×	○	○
	ウェイト	×	×	○	○
	アイドル	×	×	○	○
ワーニング	インク交換時期	×	×	○	○
	メンテナンス時期が近い	×	×	○	○
	廃インクオーバーフローが近い	×	×	○	○
クリーニング状態		×	×	○	○

	EPSON プリンタウィンドウ !3	EpsonNet Web Config	EpsonNet Simple Viewer	EpsonNet SDK
工場出荷状態	×	×	○	○
シャットダウン中状態	×	×	○	○

開発するアプリケーションの仕様

ここでは、本プリンタの印刷アプリケーションの開発に必要な仕様を説明しています。

印刷する文字の大きさ

ドット抜けやインク滴による文字の判別間違いを防ぐため、お客様のアプリケーションで使用できるフォントを、ファームウェアのバージョンおよび使用する印刷動作モードによって、以下のようにしてください。

＊ : Ver.AAExxxxx の「x」は、任意の英数字 1 文字を表します。

ファームウェアのバージョン / 印刷動作モード	Ver.AAExxxxx 以外	Ver.AAExxxxx
高信頼性モード	縦２ドット構成以上のフォント（例 : Arial の場合、8 pt 以上）	
誤読なしモード	縦２ドット構成以上のフォント（例 : Arial の場合、8 pt 以上）	
誤色なしモード	縦３ドット構成以上のフォント（例 : Arial の場合、12 pt 以上）	縦 4 ドット構成以上のフォント（例 : Arial の場合、18 pt 以上）

バーコード / 2 次元シンボルデータをグラフィックデータで印刷

お客様のアプリケーションでバーコード /2 次元シンボルデータをグラフィックデータで生成する場合、以下の入力解像度で用意してください。

用紙	印刷品質	入力解像度 (dpi) (横 x 縦)	画像解像度 (dpi) (横 x 縦)
普通紙 普通紙ラベル	速い	180 x 180	360 x 180
	きれい	360 x 360	360 x 360
ファイン紙 PET フィルム 合成紙ラベル	速い	360 x 360	360 x 360
	きれい	360 x 360	720 x 360

2 次元シンボルが紙送りをまたぐかまたがないかは、印刷プレビュー機能の [紙送り位置表示] - [印刷プレ ビューに表示する] で確認できます。印刷プレビュー機能については、172 ページ「印刷プレビュー」を参照 してください。

きわめて高い信頼性、安全性が要求される場合

以下の機能を推奨します。

- プリンタドライバの自動ノズルチェックシステムでドット抜けを検出する。（19 ページ「印刷動作モード」）
- アプリケーション側でドット抜け検出パターンを作成し、目視によって検出する。
- バーコードは、アプリケーション側でチェックデジット付きバーコードを生成する。

製品の取り扱い

本章では、製品の基本的な取り扱い方法について説明しています。

インクカートリッジの交換

３色のインクのうち、１色でも交換時期になると、印刷ができなくなります。

インク LED が点灯したら、インクカートリッジの交換時期です。以下の手順に従って、インクカートリッジを交換してください。

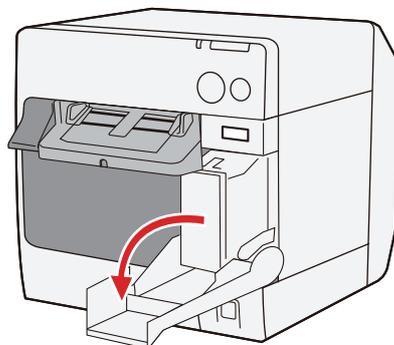
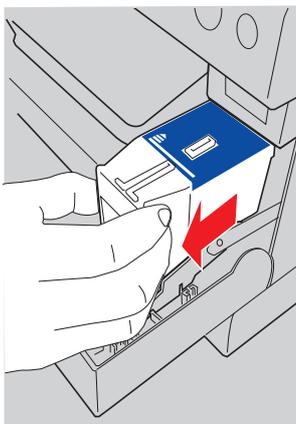
注意

- インクカートリッジは、必ず SJIC15P を使用してください。
- インクカートリッジは、プリンタへの取り付け直前まで開封しないでください。

参考

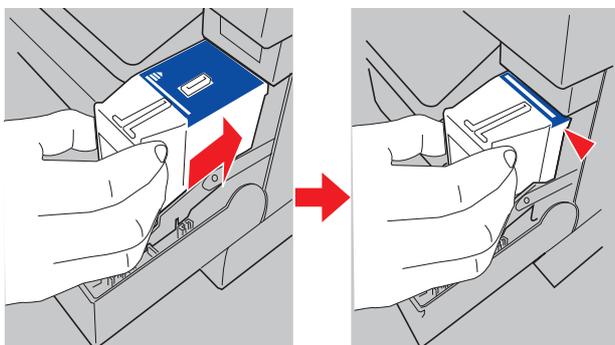
- 初めてインクカートリッジを取り付けたときは、プリンタ内へのインク充てんによりインクが消費されるので、インクカートリッジの交換時期は通常より早くなります。
- インクの消費量は、プリンタの使用環境および使用状況により異なります。
- プリントヘッドの品質を維持するため、カートリッジ内のインクが完全になくなる前にインクカートリッジの交換時期となり、インク LED が点灯します。

1 プリンタの電源をオンにし、インク LED が点灯していることを確認します。

2 カートリッジカバーを手前に引き開けます。

3 使用済みのインクカートリッジを引き抜きます。

⚠ 注意	**インクカートリッジを取り外したままプリンタを放置しないでください。** プリントヘッドが乾燥し、目詰まりします。

4 新しいインクカートリッジを４～５回振り、袋から取り出します。

5 インクカートリッジを、以下のように静かに押し込みます。

矢印を上にしてセットしてください。

6 インクカートリッジカバーを閉じます。

インク LED（赤色）が消灯します。

用紙の交換

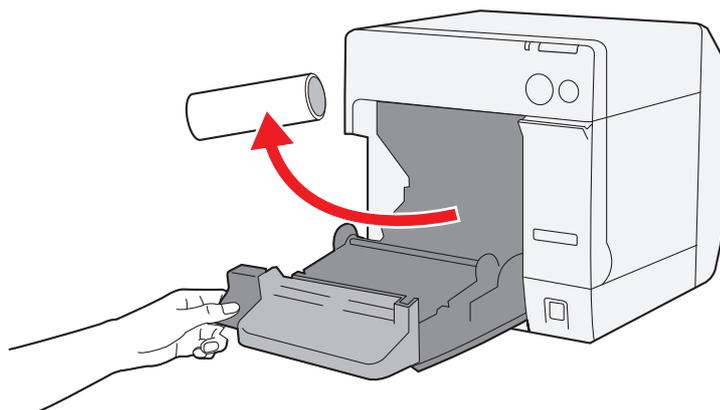
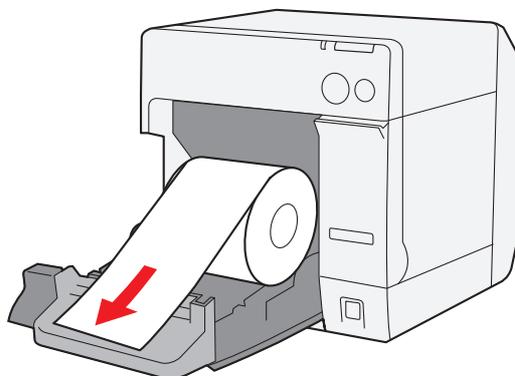
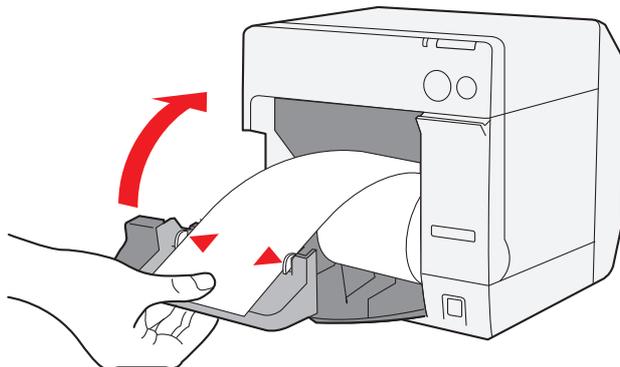
用紙を交換します。用紙の交換方法は、用紙の形状によって異なります。

警告	**印字中はロール紙カバーを開けたり、印刷中の紙に触ったりしないでください。** プリンタが損傷するおそれがあります。

注意	• 用紙はプリンタの仕様にあったものを使用してください。用紙仕様の詳細は、26 ページ「用紙仕様」を参照してください。 • 用紙を初めてプリンタにセットする、用紙の形状（ロール紙 / ファンフォールド紙）、用紙位置の検出設定、または用紙幅を変更する場合は 74 ページ「用紙のセット」を参照してください。

ロール紙の交換

1 リリースレバーを手前に引いて、ロール紙カバーを開けます。

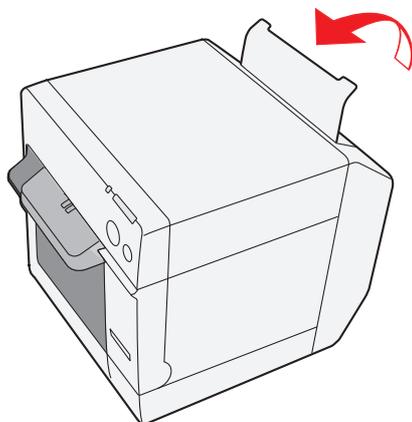
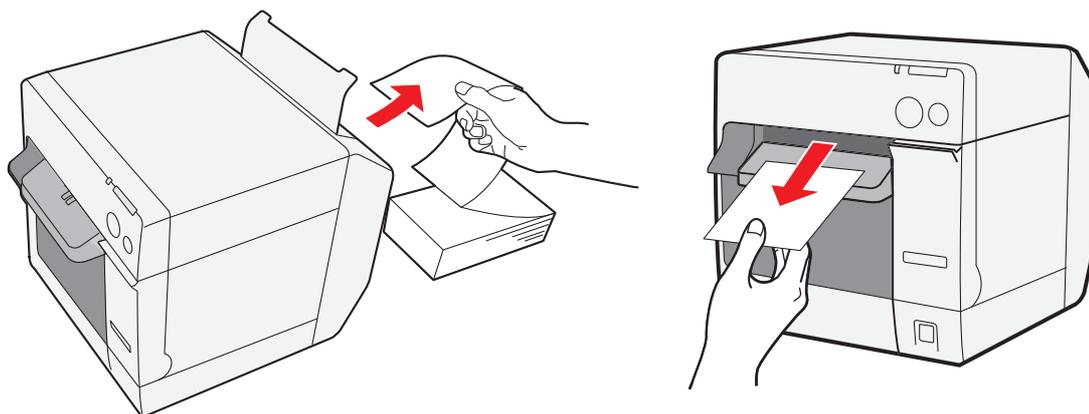
使用済みのロールを取り出します。

2 印刷面が上になるように少し引き出して、ロール紙をセットします。

3 ロール紙を排紙ガイドに合わせながら、ロール紙カバーを閉めます。

4 プリンタの電源をオンにします。

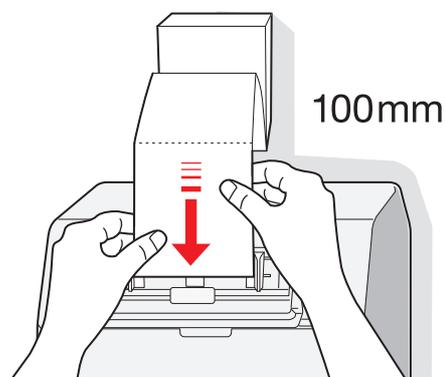
自動的に用紙が送られます。

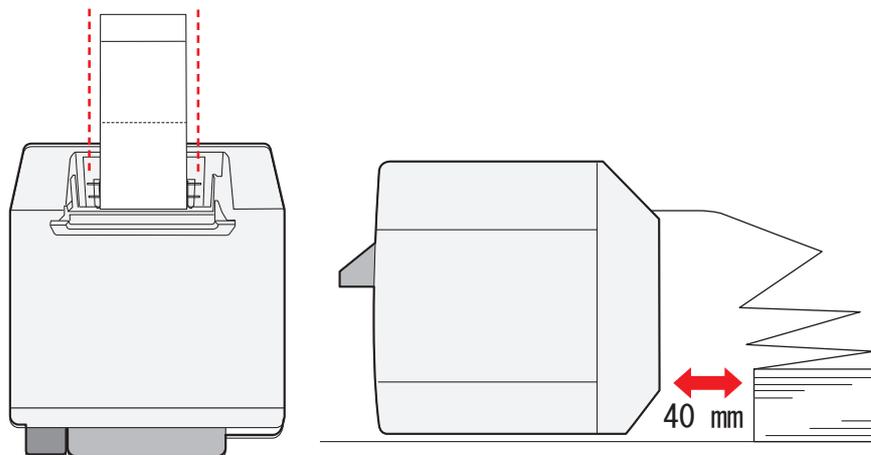
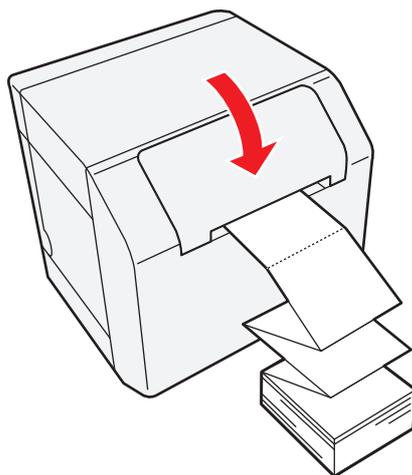
参考	プリンタドライバの [プリンタユーティリティ] タブの [用紙頭出し動作設定] で、用紙カバークローズ時の用紙頭出し動作を「カットあり」に設定していると、用紙が送られた後、オートカットされます。

以上で、ロール紙の交換は終了です。

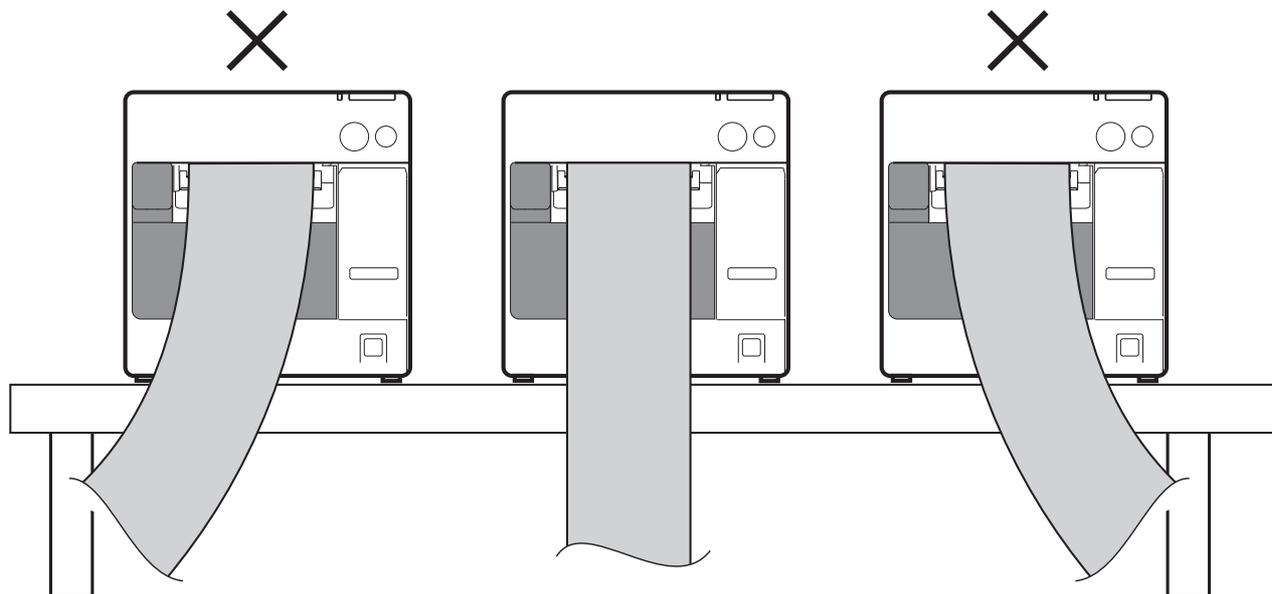
ファンフォールド紙の交換

1 ファンフォールド紙カバーを開けます。

2 残っている紙を取り除きます。

3 電源をオンにします。

4 印刷面を上にして、引き込まれるまで (約 100 mm) 紙を挿入します。
自動的に用紙が送られます。

参考	プリンタドライバの [プリンタユーティリティ] タブの [用紙頭出し動作設定] で、用紙カバークローズ時の用紙頭出し動作を「カットあり」に設定していると、用紙が送られた後、オートカットされます。

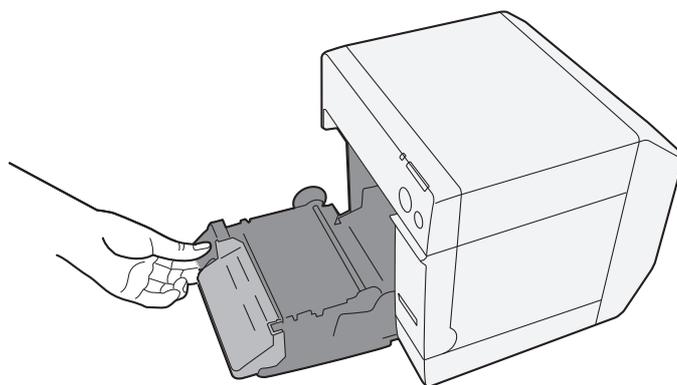
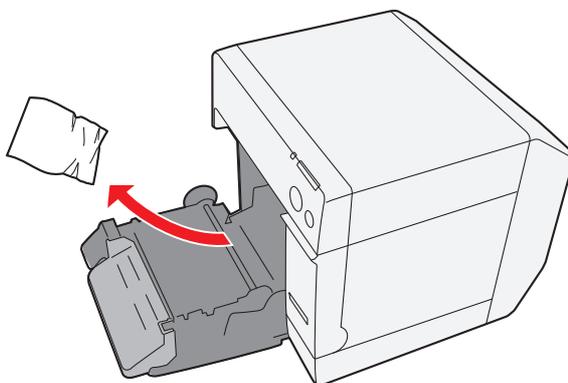
5 プリンタ背面から 40 mm 以上離して、用紙をまっすぐに置きます。

6 ファンフォールド紙カバーを閉めます。

以上で、ファンフォールド紙の交換は終了です。

印刷物の排出経路

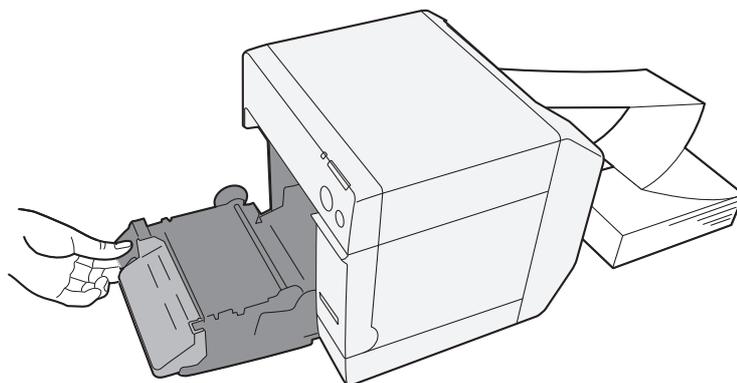
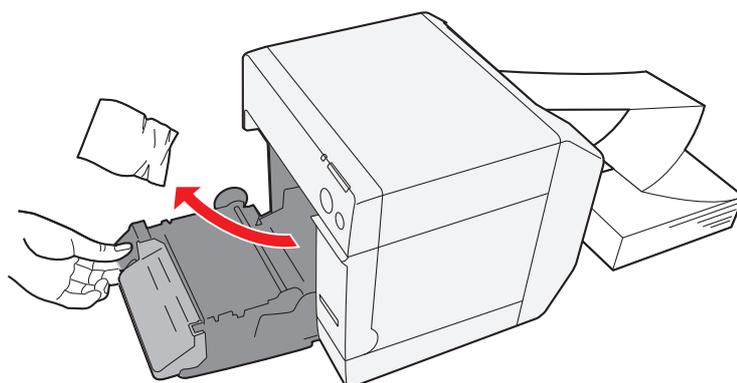
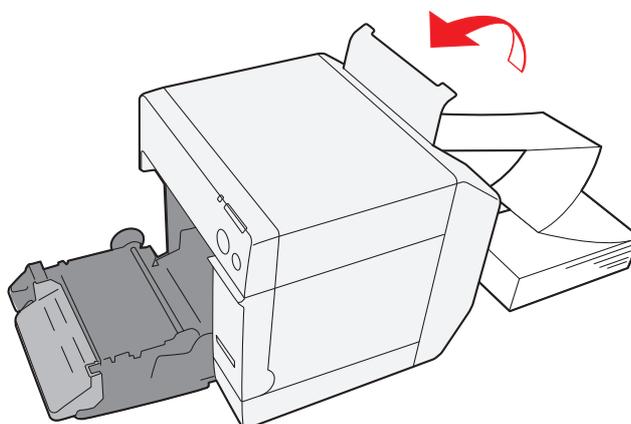
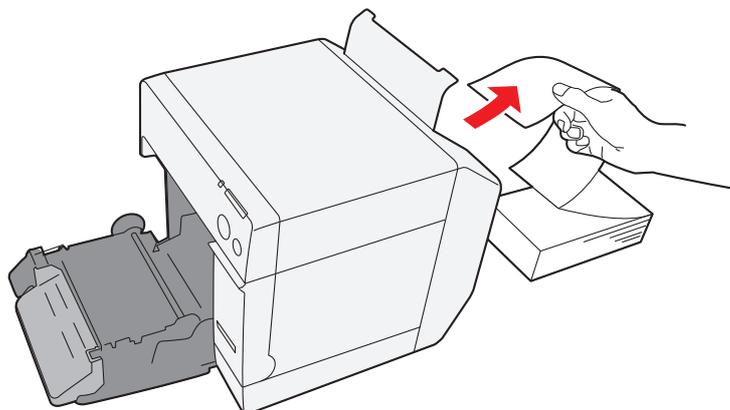
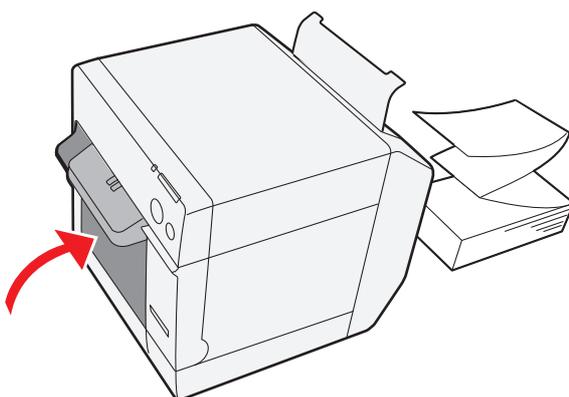
印刷時は、下図のように排紙ガイドに沿ってまっすぐに紙を排出させてください。
障害物などにより、紙がまっすぐに排出されていない場合、印刷が乱れる可能性があります。

紙が詰まったときは

用紙がプリンタ内に詰まったときは、以下の手順に従って、詰まった用紙を取り除いてください。

ロール紙の場合

1. プリンタの電源をオフにします。
2. リリースレバーを手前に引きロール紙カバーを開けます。

3. 詰まった紙を取り除きます。

4. 用紙をセットします。（139 ページ「ロール紙の交換」参照）

ファンフォールド紙の場合

1. プリンタの電源をオフにします。
2. リリースレバーを手前に引いて、ロール紙カバーを開けます。

3. 詰まった紙を取り除きます。

4. ファンフォールド紙カバーを開けます。

5 ファンフォールド紙を取り除きます。

6 ロール紙カバーを閉じてから、用紙をセットします。（141 ページ「ファンフォールド紙の交換」参照）

プリンタドライバの使い方

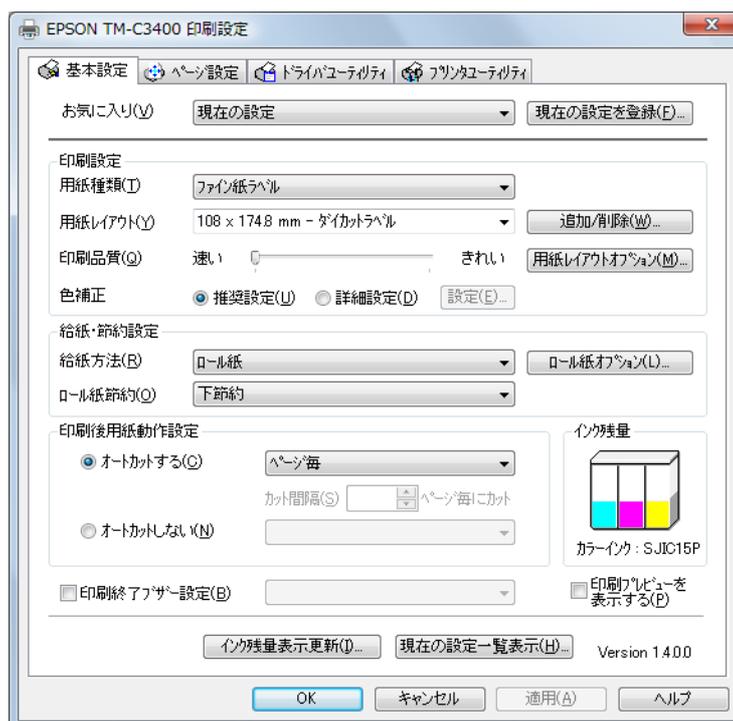
プリンタドライバでは、印刷設定のほかに、プリンタの設定やプリントヘッドのクリーニングなど、各種ユーティリティの機能も利用できます。

プリンタドライバの表示方法

1　[**プリンタと FAX**](または [**プリンタ**]) を開きます。

- Windows 7 の場合：
  [**スタート**] メニューの [**コントロールパネル**] で [**デバイスとプリンター**] をクリックします。
- Windows Vista の場合：
  [**スタート**] メニューの [**コントロールパネル**] で [**プリンタ**] をクリックします。
- Windows XP Professional の場合：
  [**スタート**] メニューの [**プリンタと FAX**] をクリックします。
- Windows XP Home Edition の場合：
  [**スタート**] メニューの [**コントロールパネル**] をクリックし、[**プリンタと FAX**] をクリックします。
- Windows 2000 の場合：
  [**スタート**] メニューの [**設定**] をクリックし、[**コントロールパネル**] をクリックします。
- Windows Server 2003 R2 の場合：
  [**スタート**] メニューの [**プリンタと FAX**] をクリックします。

2　[**EPSON TM-C3400**] を右クリックし、[**印刷設定**] をクリックします。
プリンタドライバが表示されます。

参考	プリンタの登録名が [EPSON TM-C3400] の場合の表示です。

ユーザー定義用紙の登録

「用紙レイアウト」に使用する用紙サイズが登録されていない場合、ユーザー定義用紙を登録します。
登録したレイアウトは、「お気に入り」に登録して、お客様のアプリケーションから使用できます。

参考	リストバンド（WB-S/M/L シリーズ）を使用する場合、119 ページ「リストバンドを使用する場合の設定」を参照してください。

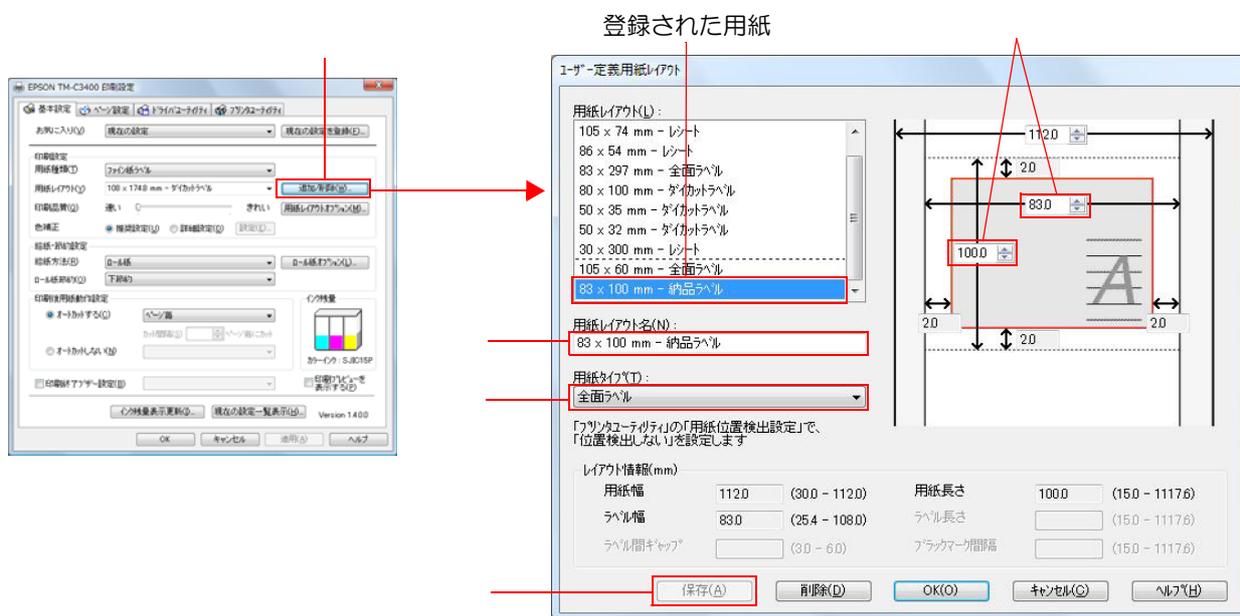
ユーザー定義用紙の登録

1 [基本設定] 用紙レイアウトの[追加/削除]をクリックすると、「ユーザー定義用紙レイアウト」画面が表示されます。

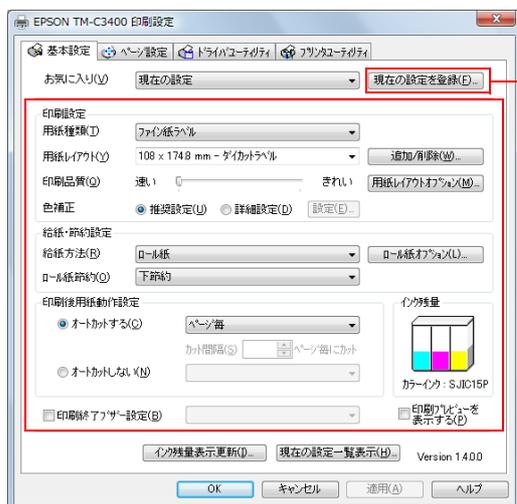
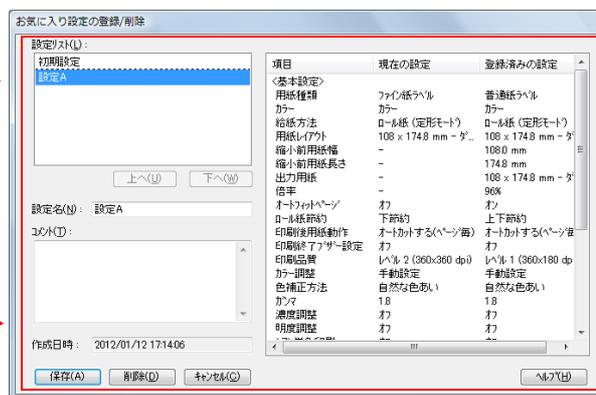
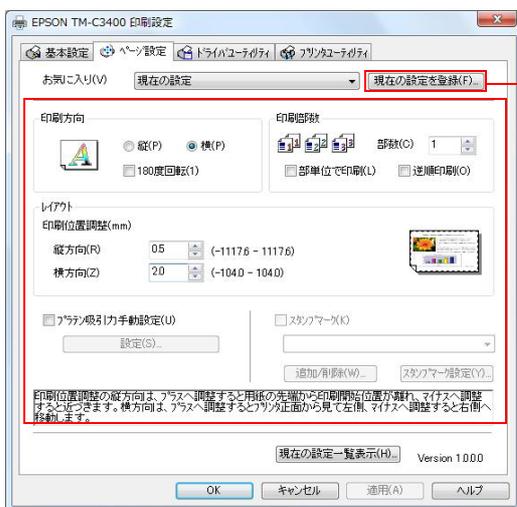
2 「用紙タイプ」を選択します。

3 用紙のサイズ (単位 :mm) を入力します。

4 「用紙レイアウト名」を入力します。
これがユーザー定義用紙名です。

5 [保存] ボタンをクリックします。ユーザー定義用紙が登録され、「用紙レイアウト」リストに表示されます。

お気に入り

「お気に入り」とは、プリンタドライバの印刷設定を 1 まとめにして管理できる機能です。

印刷設定は、［ 基本設定 ］タブと［ ページ設定 ］タブの内容です。用紙の種類、用紙レイアウト（ ユーザー定義用紙を含む）などがあります。

特徴

- アプリケーションから印刷する場合、「お気に入り」で登録した印刷設定を初期値で選択できます。
  そのため、印刷設定をしたら［ 現在の設定を登録 ］をクリックし、お気に入りに登録することをお勧めします。
- 「お気に入り」には、幾つもの印刷設定を登録できます。
  例えば帳票ごとに印刷設定を「お気に入り」登録すると、帳票を変更した場合、「お気に入り」の変更をするだけで印刷設定が完了します。用紙の変更に伴う様々な設定を間違えずにできます。
  （ 帳票を変更した場合、プリンタの用紙位置検出設定を変更する必要がある場合があります。詳しくは第 2 章セットアップを参照してください。）

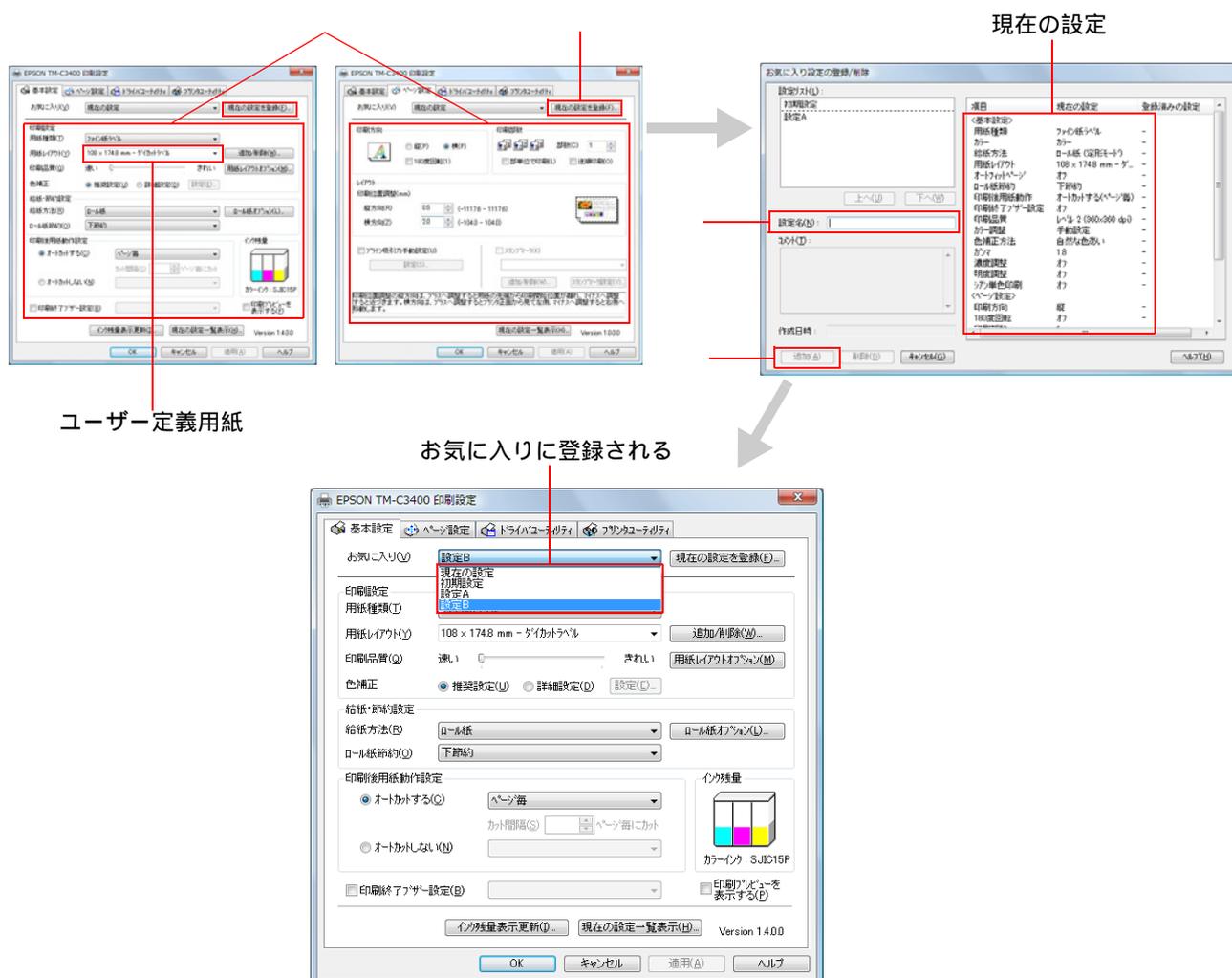
4

印刷設定を「お気に入り」に登録

1 印刷する用紙などに合わせてプリンタドライバを設定します。
[基本設定] タブと [ページ設定] タブを設定します。ユーザー定義した用紙を設定する場合、[基本設定] の用紙レイアウトから選択します。

2 [現在の設定を登録] をクリックします。「お気に入り設定の登録 / 削除」画面が表示されます。
現在の設定が右側のリストに表示されます。

3 印刷設定名を入力します。

4 [追加] をクリックします。
印刷設定が、「お気に入り」に登録されます。

「お気に入り」には、以下の設定があります。

- 初期設定：　プリンタドライバインストール時の初期値です。
- 現在の設定：　[基本設定] タブと [ページ設定] タブに設定されている内容です。
  この内容は「現在の設定一覧」画面と、「お気に入り設定の登録 / 削除」画面の現在の設定に表示されます。
- ユーザーが定義した設定：　ユーザーが定義した印刷設定です。

ユーザー定義情報

ユーザー定義情報には以下のものが含まれます。

- ユーザー定義用紙
- バーコードフォントの登録
- .NET 環境のフォント置き換え

ユーザー定義情報は、クライアントコンピュータごとに1つ設定されます。1台のコンピュータに複数のTM-C3400プリンタドライバがインストールされている場合、これらは共通で使用できます。

バーコード印刷

プリンタドライバは、バーコードフォントを内蔵しています。アプリケーション側でバーコードを生成しなくても、バーコードを印刷できます。

バーコードフォントの設定

バーコードの印刷設定は、[ドライバユーティリティ] タブの [バーコード / 2 次元シンボル設定] で行います。

1 以下の設定を行います。

- 表示： [バーコード] を選択します。
- フォント名： 任意の文字列を入力します。これがバーコードフォント名になります。入力できる文字は ASCII のみです。
- タイプ： バーコードの種類を選択します。選択したタイプにより、表示される設定項目が切り替わります。以下の種類から選択できます。

UPC-A	UPC-E	JAN13(EAN)
JAN8(EAN)	Code39	ITF
Codabar	Code93	Code128
GS1-128M	GS1-128	GS1 DataBar オムニディレクショナル
GS1 DataBar トランケート	GS1 DataBar エクスパンデッド M	GS1 DataBar エクスパンデッド
GS1 DataBar リミテッド		

- 回転指定： バーコードを回転させて印刷するときに選択します。

- Hex 入力モード：　バーコードにするデータを Hex 入力モードで指定するときは、チェックします。
- Composite：　コンポジットシンボル付きのバーコードを印刷するときは、チェックします。

> **参考**
> コンポジットシンボルに指定するデータとバーコードに指定するデータは、「\|」または「|\」で区切ります。データは、コンポジットシンボル、バーコードの順に記載します。
> 入力例：1234567890\|012345678905

- Quiet Zone をつける：　バーコードの左右に、バーコードの読み込みに必要な空白を作るときは、チェックします。

> **参考**
> バーコードの印刷位置は、余白の量だけ移動します。

- モジュール：　バーコードの細いエレメントの幅をドットで設定します。

シンボル	用紙種類	印刷品質	回転指定（*1）	バー幅補正	上段：最小モジュール [360dpi 単位] 下段 ：最小エレメント比		
					ANSI グレード D 以上	ANSI グレード C 以上	ANSI グレード B 以上
UPC-E, UPC-A, JAN13(EAN), JAN8(EAN), Code39, ITF, Codabar, Code93, Code128, GS1-128M, GS1-128, GS1 DataBar オムニディレクショナル , GS1 DataBar トランケート , GS1 DataBar エクスパンデッド M, GS1 DataBar エクスパンデッド , GS1 DataBar リミテッド ,	普通紙 普通紙ラベル	速い	標準 180° 回転	あり	4 dot 2.5	−	−
			90° 回転 270° 回転		6 dot 2.5	−	−
		きれい	標準 180° 回転		4 dot 2.5	−	−
			90° 回転 270° 回転		6 dot 2.5	−	−
	ファイン紙 ファイン紙ラベル 合成紙ラベル PET フィルム リストバンド	速い	標準 180° 回転		3 dot 2.7	4 dot 2.5	
			90° 回転 270° 回転		6 dot 2.5 *2	−*2	−
		きれい	標準 180° 回転		3 dot 2.7	4 dot 2.5	
			90° 回転 270° 回転		6 dot 2.5 *2	−*2	−

−：保証外

*1：回転指定は、[ページ設定] タブの [印刷方向] が " 縦 " の場合の設定です。
[印刷方向] が " 横 " の場合、以下の設定に読み替えてご使用ください。
" 標準、180° 回転 " → "90° 回転、270° 回転 "

″90° 回転、270° 回転″→ ″標準、180° 回転″

*2：特定の用紙種類、バーコードの場合、以下の推奨値になります。

リストバンド、Code128 の場合 ： 5 ドットモジュール、ANSI グレード D

リストバンド、Codabar の場合 ： 4 ドットモジュール、最小エレメント比 2.5、ANSI グレード C

注意

エレメント幅を奇数の値に設定した場合、[用紙種類] や [印刷品質] を変更して解像度が変わると、印刷されるバーコードの大きさが異なってしまうことがあります。
バーコードの大きさは、[サイズ表示] ボタンで確認できます。

- バー高さ： エレメントの高さをドットで設定します。指定したドットは、印刷されたときの実寸法で表示されます。
- バー幅を補正する： エレメントの幅を狭くして印刷します。印刷されたバーコードがにじんで読み取れない場合に設定してください。
- HRI 文字の位置： HRI 文字の印刷位置を指定します。印刷しないときは、[印刷しない] を選択します。

参考

タイプによっては、印刷位置の指定が限定されるものがあります。

- HRI フォント： HRI 文字のフォントサイズを設定します。
- エレメント比： 太いエレメント幅を、細いエレメント幅に対する比率で設定します。
- キャラクタ間ギャップ： キャラクタ間ギャップ (間隔) を、細いエレメント幅に対する比率で設定します。
- シンボル全体幅が最小となるように自動変換する：
  CODE128 の場合に選択できます。与えられたデータ文字列を表現するために必要なシンボルキャラクタ数を最小限に抑える機能です。

2 [追加] をクリックします。

設定したバーコードフォントが登録され、フォントリストにフォント名が追加されます。

参考

- バーコードフォントは、30 個まで登録できます。
- フォントリストのフォント名を選択し、設定を変更してから [保存] をクリックすると、設定したバーコードフォントの設定を上書き保存できます。
- フォントリストのフォント名を選択し、[削除] をクリックすると、設定したバーコードフォントを削除できます。
- [テスト印刷] の入力ボックスにテキストを入力し、[印刷] をクリックすると、設定内容に従ってテスト印刷が行われます。

バーコードデータの指定方法

バーコードデータは以下を参照して指定してください。

コンポジットシンボルについて：

コンポジットコンポーネントの種類は、データの桁数に応じて自動選択されます。
(CC-C は、GS1-128 の場合だけ選択されます。)

コンポジットコンポーネントの種類	エンコード許容桁数
CC-A	1 ～ 56 桁
CC-B	1 ～ 338 桁
CC-C	1 ～ 2361 桁

HRI 文字について：

HRI 文字列がバーコードの全体幅よりも大きくなった場合、HRI 文字列の全体幅がバーコードの幅になります。

UPC-A

❏ ノーマル

- 11 ～ 12 桁のデータを指定してください。
- 1 桁目はナンバーシステムキャラクタですが、チェックはしていません。
- 11 桁の場合、チェックディジットが自動的に付加されます。
- 12 桁の場合、12 桁目をチェックディジットとして扱いますが、検算されません。

❏ コンポジット（ノーマルとの違い）

- 12 桁の場合、12 桁目を無視してチェックディジットが自動的に付加されます。

UPC-E

❏ ノーマル

- データは 6 ～ 8、11 ～ 12 桁で指定してください。
- 6 桁の場合、指定されたデータはそのままで、チェックディジットが自動的に付加されます。
- 7 桁の場合、2 ～ 7 桁がデータキャラクタとなり、チェックディジットが自動的に付加されます。
- 8 桁の場合、2 ～ 7 桁がデータキャラクタとなり、8 桁目のデータをチェックディジットとして扱いますが、検算されません。
- 11 桁の場合、チェックディジットが自動的に付加されます。
- 12 桁の場合、12 桁目をチェックディジットとして扱いますが、検算されません。
- 7 桁以上の場合、1 桁目をナンバーシステムキャラクタとして処理するため、0 を指定してください。

❏ コンポジット（ノーマルとの違い）

- 8 桁の場合、8 桁目を無視してチェックディジットが自動的に付加されます。
- 12 桁の場合、12 桁目を無視してチェックディジットが自動的に付加されます。

JAN13(EAN)

❏ ノーマル

- 12 ～ 13 桁のデータを指定してください。
- 12 桁の場合、チェックディジットが自動的に付加されます。
- 13 桁の場合、13 桁目をチェックディジットとして扱いますが、検算されません。

❏ コンポジット（ノーマルとの違い）

- 13 桁の場合、13 桁目を無視してチェックディジットが自動的に付加されます。

JAN8(EAN)

❏ ノーマル
- ７～８桁のデータを指定してください。
- ７桁の場合、チェックディジットが自動的に付加されます。
- ８桁の場合、８桁目をチェックディジットとして扱いますが、検算されません。

❏ コンポジット（ノーマルとの違い）
- ８桁の場合、８桁目を無視してチェックディジットを自動的に付加されます。

Code39

❏ データは最大 256 桁まで指定できます。

❏ スタート・ストップコード（'*'）を両方または片方指定しなかった場合、自動的に付加されます。

ITF

❏ データは最大 256 桁まで指定できます。

❏ 奇数桁のデータを指定した場合、自動的に先頭に 0 を付加されます。

Codabar

❏ データは最大 256 桁まで指定できます。

❏ スタートコードが指定していない場合、自動的に 'A' をスタートコードとして付加されます。

❏ ストップコードが指定していない場合、自動的にスタートコードと同じものをストップコードとして付加されます。

❏ スタート・ストップコードを小文字で入力した場合、自動的に大文字に変換されます。

Code93

- ❏ 1 ～ 255 桁のデータを指定してください。
- ❏ スタートコード、2 つのチェックディジット、ストップコードは自動的に付加されます。
- ❏ HRI 文字の先頭には、スタートコードを示す文字 (□) を印字されます。
- ❏ HRI 文字の末尾には、ストップコードを示す文字 (□) を印字されます。
- ❏ 制御キャラクタ (00h ～ 1Fh、7Fh) の HRI 文字は、■とアルファベット 1 文字を組み合わせて印字されます。

制御キャラクタ		HRI 文字	制御キャラクタ		HRI 文字	制御キャラクタ		HRI 文字
ASCII	16 進数		ASCII	16 進数		ASCII	16 進数	
NULL	00	■ U	VT	0B	■ K	SYN	16	■ V
SOH	01	■ A	FF	0C	■ L	ETB	17	■ W
STX	02	■ B	CR	0D	■ M	CAN	18	■ X
ETX	03	■ C	SO	0E	■ N	EM	19	■ Y
EOT	04	■ D	SI	0F	■ O	SUB	1A	■ Z
ENQ	05	■ E	DLE	10	■ P	ESC	1B	■ A
ACK	06	■ F	DC1	11	■ Q	FS	1C	■ B
BEL	07	■ G	DC2	12	■ R	GS	1D	■ C
BS	08	■ H	DC3	13	■ S	RS	1E	■ D
HT	09	■ I	DC4	14	■ T	US	1F	■ E
LF	0A	■ J	NAK	15	■ U	DEL	7F	■ F

Code128

- ❏ 2 ～ 255 桁のデータを指定してください。
- ❏ 先頭の 2 桁はスタートコードで、コード選択キャラクタ（CODE A、CODE B、CODE C）のいずれかを指定してください。
- ❏ 特殊キャラクタは、'{' と直後の 1 文字を組み合わせて表現されます。
- ❏ [シンボル全体幅が最小となるように自動変換する]にチェックを付けると、Code128シンボルの全体幅が最小となるよう、自動的に変換します。この機能を使うと、コードセットを指定する必要はなく、シンボルにしたいデータを入力するだけでバーコードが印刷されます。
  チェックを付けない場合は、コードセットを手動で指定する必要があります。
  コードセット C を指定する場合は、生成する 2 桁の数字を ASCII 文字の 10 進数と見なし、該当する ASCII 文字を指定します。
  例）　「37」:「%」と指定します。
  　　　「65」:「A」と指定します。
  　　　「979899」:「abc」と指定します。
- ❏ データが '{' で、直後のデータが以下に該当しない場合、エラーになります。

制御キャラクタ	ASCII	制御キャラクタ	ASCII	制御キャラクタ	ASCII
SHIFT	{S	CODE C	{C	FNC3	{3
CODE A	{A	FNC1	{1	FNC4	{4
CODE B	{B	FNC2	{2	'{'	{{

❏ 特殊キャラクタの HRI 文字は、以下ように表現されます。

制御キャラクタ	HRI 文字
SHIFT	印字しない
CODE A/B/C	印字しない
FNC1 ～ 4	スペースを印字
制御キャラクタ（00h ～ 1Fh, 7Fh）	スペースを印字

GS1-128

❏ 2 ～ 255 桁のデータを指定してください。

❏ アプリケーション識別子の区切りを()で区別します。（HRI文字として印字されますが、エンコードはされません。）

❏ スタートコード（CODE A、CODE B、CODE C）、ストップコードは自動的に付加されます。

❏ スタートコードの次のシンボルキャラクタ FNC1 は自動的に付加されます。

❏ '*' を指定すると、チェックディジットを自動計算して '*' に置き換えられます。

❏ アプリケーション識別子は、連続した 2 桁の数値を指定する必要があります。正しく指定されていない場合、エラーになります。

❏ アプリケーション識別子が (01) の場合、データの 14 桁目はチェックディジットになりますが、チェックディジットが指定された場合は検算されません。14 桁目が '*' の場合、チェックディジットを自動計算して '*' に置き換えられます。

❏ 特殊キャラクタは '{' と直後の 1 文字を組み合わせて表現されます。

❏ データが '{' で、直後のデータが以下に該当しない場合、エラーになります。

制御キャラクタ	ASCII	HRI 文字
制御文字（00h ～ 1Fh および 7Fh）		スペースを印字
FNC1	{1	スペースを印字
FNC3	{3	スペースを印字
'{'	{{	{ を印字
'('	{(	(を印字
')'	{)	) を印字
'*'	{*	* を印字
アプリケーション識別子の左カッコ	(	(を印字
アプリケーション識別子の右カッコ	)	) を印字
チェックディジット位置	*	チェックディジットを印字

GS1-128M

- 38 ～ 66 桁のデータを指定してください。
- アプリケーション識別子の区切りを()で区別します。(HRI文字として印字されますが、エンコードはされません。)
- スタートコード（CODE A、CODE B、CODE C)、ストップコードは自動的に付加されます。
- スタートコードの次のシンボルキャラクタ FNC1 は自動的に付加されます。
- アプリケーション識別子 (30) に続くデータの最後に FNC1 が存在しない場合、FNC1 自動的に付加されます。
- アプリケーション識別子 (10) または (21) に続くデータの最後に、FNC1 は不要なため、FNC1 が存在した場合はエラーになります。
- アプリケーション識別子が (01) の場合、データ部の 14 桁目はチェックディジットになりますが、チェックディジットが指定された場合、検算されません。14 桁目が '*' の場合、チェックディジットを自動計算し、'*' に置き換えられます。
- データが { で直後のデータが 1 でない場合、エラーになります。
- 特殊キャラクタは以下の形式で指定してください。

制御キャラクタ	ASCII	HRI 文字
FNC1	{1	スペースを印字
アプリケーション識別子の左カッコ	(	(を印字
アプリケーション識別子の右カッコ	)	) を印字
チェックディジット位置	*	チェックディジットを印字

- 以下のフォーマットに従っていない場合はエラーになります。

アプリケーション識別子	フォーマット
01	数字 14 桁
10	英数字 1 ～ 20 桁
17	数字 6 桁 (YYMMDD)
21	英数字 1 ～ 20 桁
30	数字 1 ～ 8 桁

GS1 DataBar オムニディレクショナル / GS1 DataBar トランケート / GS1 DataBar リミテッド

- 先頭のアプリケーション識別子 01 はデータに含めません。
- HRI 文字印刷時に、先頭のアプリケーション識別子 01 は、梱包識別コードの前に "(01)" と印字されます。
- チェックディジットをバーコードデータに付加する必要はありません。
- HRI 文字印刷時に、チェックディジットは商品コードの後に印字されます。
- GS1 DataBar リミテッドの場合、先頭 1 桁は '0' か '1' を指定してください。

GS1 DataBar エクスパンデッド M

- ❏ 38 〜 66 桁（'*' を含まない数）のデータを指定してください。
- ❏ アプリケーション識別子の区切りを()で区別します。（HRI文字として印字されますが、エンコードはされません。）
- ❏ アプリケーション識別子 (10) あるいは (21) の前に FNC1 が存在しない場合、FNC1 が自動的に付加されます。
- ❏ アプリケーション識別子 (30) に続くデータの最後に FNC1 が存在しない場合、FNC1 が自動的に付加されます。
- ❏ アプリケーション識別子 (10) または (21) に続くデータの最後にFNC1 は不要なため、FNC1 が存在した場合、エラーになります。
- ❏ アプリケーション識別子が (01) の場合、データ部の 14 桁目はチェックディジットになりますが、チェックディジットが正しくない場合はエラーになります。
（GS1-128 とは異なり、'*' によるチェックディジットの自動計算と付加はされません。）
- ❏ '*' は読み飛ばします。
- ❏ データが { で直後のデータが 1 でない場合、エラーになります。
- ❏ 特殊キャラクタは以下の形式で指定してください。

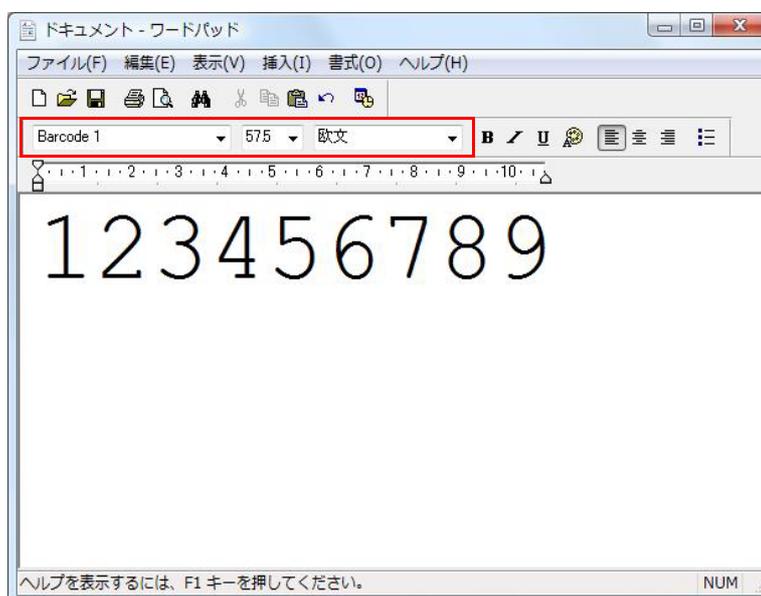
制御キャラクタ	ASCII	HRI 文字
FNC1	{1	印字しない
'('	{(	(を印字
')'	{)	) を印字
アプリケーション識別子の左カッコ	(	(を印字
アプリケーション識別子の右カッコ	)	) を印字
'*'	{*	* を印字
読み飛ばし文字	*	印字しない

GS1 DataBar エクスパンデッド

- ❏ 2 〜 255 桁のデータを指定してください。
- ❏ アプリケーション識別子の区切りを()で区別します。（HRI文字として印字されますが、エンコードはされません。）
- ❏ データに必ず、すべてのアプリケーション識別子を含めてください。
- ❏ 指定されたデータから、アプリケーション識別子、左カッコ、右カッコ、'*' を削除した最初データが 01 の場合、01 の次から数えて 14 桁目をチェックディジットとしてチェックされます。正しくない場合、エラーになります。
- ❏ 01 の次からのデータが 14 桁未満の場合、チェックディジットをチェックされません。
（GS1-128 とは異なり、文字 '*' によるチェックディジットの自動計算と付加はされません。'*' を指定した場合、'*' は無視され、以降のデータは 1 桁ずつシフトされます。）
- ❏ 特殊キャラクタは以下の形式で指定してください。

制御キャラクタ	ASCII	HRI 文字
FNC1	{1	印字しない
アプリケーション識別子の左カッコ	(	(を印字
アプリケーション識別子の右カッコ	)	) を印字
'*'	{*	エラー
読み飛ばし文字	*	印字しない

印刷方法

印刷データに、設定したバーコードフォント、指定ポイント、言語を指定し、印刷します。

注意	バーコードのフォントサイズは、[指定ポイント] の値から変更できません。それ以外の値を指定すると、バーコードは印刷されません。

4

バーコードをシアン単色で印刷する方法

印刷したバーコードが読み取りにくい場合、シアン単色で印刷する設定にします。

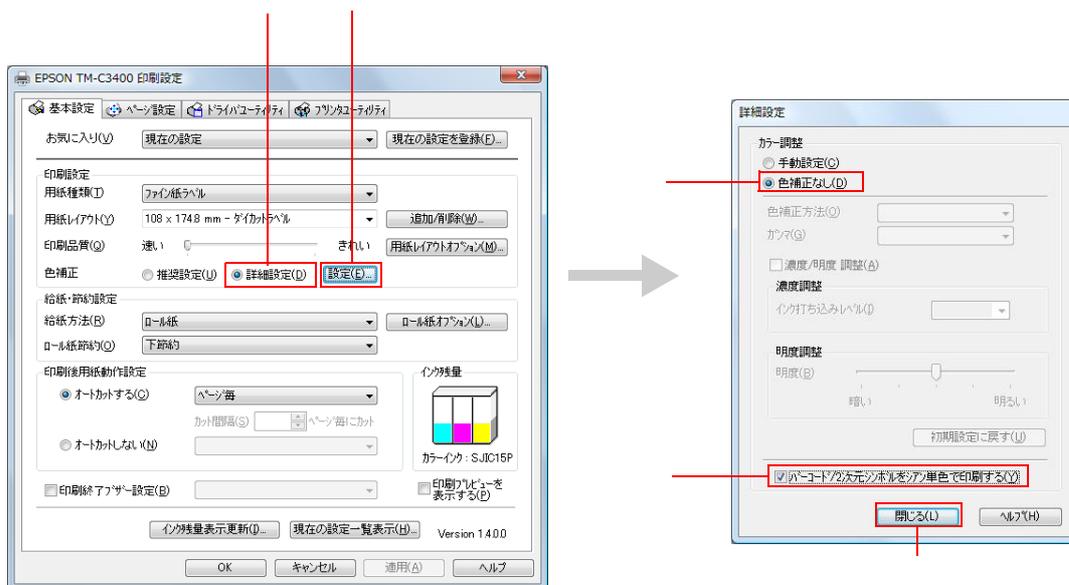
> **参考**　お客様の使用環境によっては読み取れない場合があります。ご確認のうえご使用ください。

1　［基本設定］タブの［印刷設定］-［色補正］を［詳細設定］に選択します。

2　［設定］ボタンをクリックします。
「詳細設定」画面が表示されます。

3　［色補正なし］を選択します。

4　［バーコード / 2 次元シンボルをシアン単色で印刷する］にチェックします。

5　［閉じる］ボタンをクリックします。

2 次元シンボル印刷

プリンタドライバは、2 次元シンボルフォントを内蔵しています。アプリケーション側で 2 次元シンボルを生成しなくても、2 次元シンボルを印刷できます。

2 次元シンボルフォントの設定

2 次元シンボルの印刷設定は、[ドライバユーティリティ] タブの [バーコード / 2 次元シンボル設定] で行います。

1　以下の設定を行います。

- 表示：　[2 次元シンボル] を選択します。
- フォント名：　任意の文字列を入力します。これが 2 次元シンボルフォントのフォント名になります。入力できる文字は ASCII のみです。
- タイプ：　2 次元シンボルのタイプを選択します。選択したタイプにより、表示される設定項目が切り替わります。
- 回転指定：　2 次元シンボルを回転させて印刷するときに選択します。
- Hex 入力モード：　2 次元シンボルにするデータを Hex 入力モードで指定するときは、チェックします。
- Composite：　コンポジットシンボル付きの 2 次元シンボルを印刷するときは、チェックします。

> **参考**
> コンポジットシンボルに指定するデータと 2 次元シンボルに指定するデータは、「\|」または「|\」で区切ります。データは、コンポジットシンボル、2 次元シンボルの順に記載します。
> 入力例：1234567890\|012345678905

- Quiet Zone をつける：　2 次元シンボルの左右に、2 次元シンボルの読み込みに必要な空白を作るときは、チェックします。

> **参考**
> 2 次元シンボルの印刷位置は、余白の量だけ移動します。

2 選択した [**タイプ**] により、設定をします。

- PDF417
  ＊桁数 :PDF417 の桁数を入力します。
  ＊モジュール幅 :PDF417 のモジュール幅を設定します。
  ＊モジュール高さ :PDF417 のモジュール高さを、モジュール幅に対する比率で設定します。
  ＊トランケーションシンボル :PDF417 のストップコードを省いたシンボルを作成するときは、チェックします。
  ＊エラー訂正レベル :PDF417のエラー訂正レベルを選択します。シンボルの一部が破損してもデータを読み取ることができ、数字が大きいほど復元率が高くなります。
- QRCode
  ＊モデル :QRCode モデルを選択します。
  ＊エラー訂正レベル :QRCodeのエラー訂正レベルを選択します。シンボルの一部が破損してもデータを読み取ることができ、レベル L、M、Q、H の順に復元率が高くなります。
  ＊モジュール幅 :QRCode モデルのセル (モジュール) の設定をします。
  ＊バージョン :QRCodeのバージョンを指定します。QRCodeのバージョンによって2次元シンボルにできる文字数が異なります。
- MaxiCode
  ＊モード :MaxiCode のモードを選択します。[**モード 2**]、[**モード 3**] を選択する場合、[**Hex 入力モード**] をチェックします。
- GS1 DataBar の設定
  ＊モジュール幅 :GS1 DataBar のモジュール幅を設定します。
  ＊最大幅 :GS1 DataBar の最大幅を設定します。
- AztecCode の設定
  ＊タイプ :AztecCode のタイプを選択します。
  ＊レイヤーの数 :AztecCode のレイヤー数を指定します。
  [**最小化する**]: 自動的に最小のレイヤー数に最適化します。
  [**サイズを指定する**]: 入力ボックスで指定したレイヤー数にします。
  ＊セルのサイズ :AztecCode のセル (モジュール) のサイズを設定します。
  ＊エラー訂正領域 :AztecCode のエラー訂正領域を以下のどちらかで指定します。シンボルの一部が破損してもデータを読み取ることができ、数字が大きいほど復元率が高くなります。
  [**デフォルト値**]: デフォルト値は 23%+3 コードワードです。
  [**パーセンテージで指定する**]: エラー訂正領域を入力ボックスに入力したパーセンテージで指定します。
- DataMatrix の設定
  ＊セルのサイズ :DataMatrix のセル (モジュール) のサイズを設定します。
  ＊セルの数 :DataMatrix のセルの数を指定します。
  [**最小化する**]: 自動的に最小のセルの数に最適化します。
  [**サイズを指定する**]: 選択したサイズに設定します。
- DataMatrix（長方形）の設定
  ＊セルのサイズ :DataMatrix のセル (モジュール) のサイズを設定します。
  ＊縦方向のセルの数 :DataMatrix の縦方向のセルの数を指定します。
  ＊横方向のセルの数 :DataMatrix の横方向のセルの数を指定します。
  [**最小化する**]: 自動的に最小のセルの数に最適化します。
  [**サイズを指定する**]: 選択したサイズに設定します。

❏ 以下は、2 次元シンボルのモジュールの推奨値です。

- バーコード / 2 次元シンボルフォント設定の推奨値（スタック型 2 次元シンボル）

<table>
<tr><th rowspan="2">シンボル</th><th rowspan="2">用紙種類</th><th rowspan="2">印刷品質</th><th rowspan="2">印刷状況（*1）</th><th rowspan="2">モジュール高さ（*2）</th><th colspan="3">最小ﾓｼﾞｭｰﾙ [360 dpi 単位]</th></tr>
<tr><th>ANSI グレード D 以上</th><th>ANSI グレード C 以上</th><th>ANSI グレード B 以上</th></tr>
<tr><td rowspan="8">PDF417,
GS1 DataBar ｽﾀｯｸ ,
GS1 DataBar ｽﾀｯｸ・ｵﾑﾆﾃﾞｨﾚｸｼｮﾅﾙ ,
GS1 DataBar ｴｸｽﾊﾟﾝﾃﾞｯﾄﾞ・ｽﾀｯｸ ,</td><td rowspan="4">普通紙
普通紙ラベル</td><td rowspan="2">速い</td><td>紙送りをまたがない場合</td><td rowspan="8">3</td><td>6 dot</td><td>-</td><td>-</td></tr>
<tr><td>紙送りをまたぐ場合</td><td>6 dot</td><td>-</td><td>-</td></tr>
<tr><td rowspan="2">きれい</td><td>紙送りをまたがない場合</td><td>6 dot</td><td>-</td><td>-</td></tr>
<tr><td>紙送りをまたぐ場合</td><td>6 dot</td><td>-</td><td>-</td></tr>
<tr><td rowspan="4">ファイン紙
ファイン紙ラベル
合成紙ラベル
PET フィルム
リストバンド</td><td rowspan="2">速い</td><td>紙送りをまたがない場合</td><td>4 dot</td><td>-</td><td>-</td></tr>
<tr><td>紙送りをまたぐ場合</td><td>4 dot</td><td>-</td><td>-</td></tr>
<tr><td rowspan="2">きれい</td><td>紙送りをまたがない場合</td><td>4 dot</td><td>-</td><td>-</td></tr>
<tr><td>紙送りをまたぐ場合</td><td>4 dot</td><td>-</td><td>-</td></tr>
</table>

-：保証外

*1：2 次元シンボルが紙送りをまたぐかまたがないかは、印刷プレビュー機能の [**紙送り位置表示**] - [**印刷プレビューに表示する**] で確認できます。印刷プレビュー機能については、172 ページ「印刷プレビュー」を参照してください。

*2：PDF417 を使用する場合、指定してください。

●バーコード / 2 次元シンボルフォント設定の推奨値（マトリックス型 2 次元シンボル）

シンボル	用紙種類	印刷品質	印刷状況（*1）	最小セルサイズ [360 dpi 単位]		
				ANSI グレード D 以上	ANSI グレード C 以上	ANSI グレード B 以上
QR Code, DataMatrix,	普通紙 普通紙ラベル	速い	紙送りをまたがない場合	6 dot	-	-
			紙送りをまたぐ場合	8 dot	-	-
		きれい	紙送りをまたがない場合	6 dot	-	-
			紙送りをまたぐ場合	8 dot	-	-
	ファイン紙 ファイン紙ラベル 合成紙ラベル PET フィルム リストバンド	速い	紙送りをまたがない場合	5 dot	6 dot（*2）	
			紙送りをまたぐ場合	6 dot	7 dot	-
		きれい	紙送りをまたがない場合	5 dot	6 dot（*2）	
			紙送りをまたぐ場合	6 dot	7 dot	-

-：保証外

*1：2 次元シンボルが紙送りをまたぐかまたがないかは、印刷プレビュー機能の [**紙送り位置表示**] - [**印刷プレビューに表示する**] で確認できます。印刷プレビュー機能については、172 ページ「印刷プレビュー」を参照してください。

*2：QR Code のみ確認しています。

3 [**追加**] をクリックします。

設定した 2 次元シンボルフォントが登録され、フォントリストにフォント名が追加されます。

参考

- 2 次元シンボルフォントは、30 個まで登録できます。
- フォントリストのフォント名を選択し、設定を変更してから [保存] をクリックすると、設定した 2 次元シンボルフォントの設定を上書き保存できます。
- フォントリストのフォント名を選択し、[削除]をクリックすると、設定した 2 次元シンボルフォントを削除できます。
- [テスト印刷] の入力ボックスにテキストを入力し、[印刷] をクリックすると、設定内容に従ってテスト印刷が行われます。

2 次元シンボルデータの指定方法

2 次元シンボルデータは以下を参照して指定してください。

参考　コンポジットシンボルと HRI 文字については、155 ページ「バーコードデータの指定方法」を参照してください。

PDF417

- 桁数と段数が 0 の場合、自動計算されます。
- 0 以外を指定する場合、桁数と段数の積が 928 以下になるように指定してください。

QRCode

- 指定されたバージョンよってサイズが決定されます。指定されたバージョンに収まらない場合、収まるバージョンに自動的に変更されます。

MaxiCode

- モード 2 か 3 の場合のヘッダー、2 次メッセージは省略可能です。
- 特殊キャラクタは以下の形式で指定してください。

制御キャラクタ	16 進数表記
SHIFT	0x7B,0x53
CODE B	0x7B,0x42
CODE C	0x7B,0x43
FNC1	0x7B,0x31
FNC2	0x7B,0x32
FNC3	0x7B,0x33
FNC4	0x7B,0x34

GS1 DataBar スタック / GS1 DataBar スタック・オムニディレクショナル

- データは 13 桁まで指定できます。
- データの先頭にアプリケーション識別子 01 を含めないでください。
- データにチェックディジットを付加する必要はありません。

GS1 DataBar エクスパンデッド・スタック

- GS1 DataBar エクスパンデッドを多段シンボルにしたものです。データの指定方法は GS1 DataBar エクスパンデッドと同じです。（詳細は 160 ページ「GS1 DataBar エクスパンデッド」を参照）

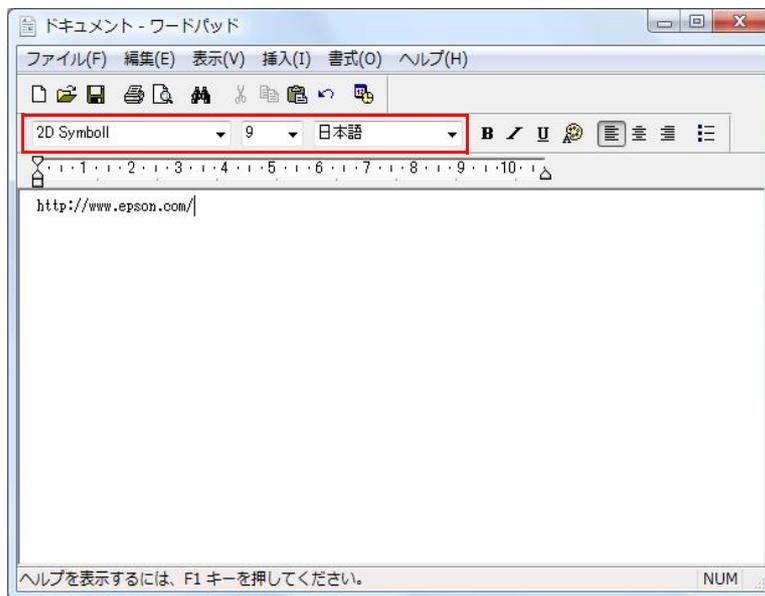
AztecCode

- フルレンジモードとコンパクトモードをサポートしています。

DataMatrix

- ECC200 バージョンの正方形および長方形をサポートしています。

印刷方法

印刷データに、設定した 2 次元シンボルフォント、指定ポイント、言語を指定し、印刷します。

注意	2 次元シンボルのフォントサイズは、[指定ポイント] の値から変更できません。それ以外の値を指定すると、2 次元シンボルは印刷されません。

2 次元シンボルをシアン単色で印刷する方法

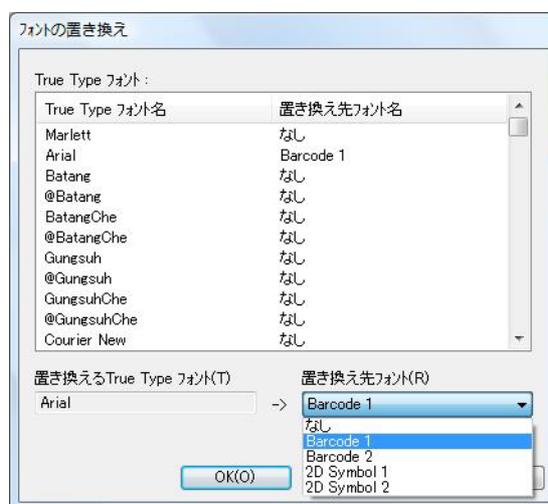
印刷した 2 次元シンボルが読み取りにくい場合、シアン単色で印刷する設定にします。
詳細は、162 ページ「バーコードをシアン単色で印刷する方法」を参照してください。

.NET 環境でバーコード /2 次元シンボル印刷

.NET Framework は、True Type フォントと Open Type フォントだけをサポートしているため、アプリケーションから、プリンタドライバに登録されたバーコード /2 次元シンボルフォントを印刷できません。このため、プリンタドライバのフォント置き換え機能を使って、True Type フォントをバーコード /2 次元シンボルフォントに置き換えます。これにより .NET Framework 環境のアプリケーションからでも、バーコード /2 次元シンボルフォントを印刷できます。

アプリケーションの印刷データはTrueType フォント名ですが、印刷するとバーコード/2次元シンボルになります。

フォントの置き換え

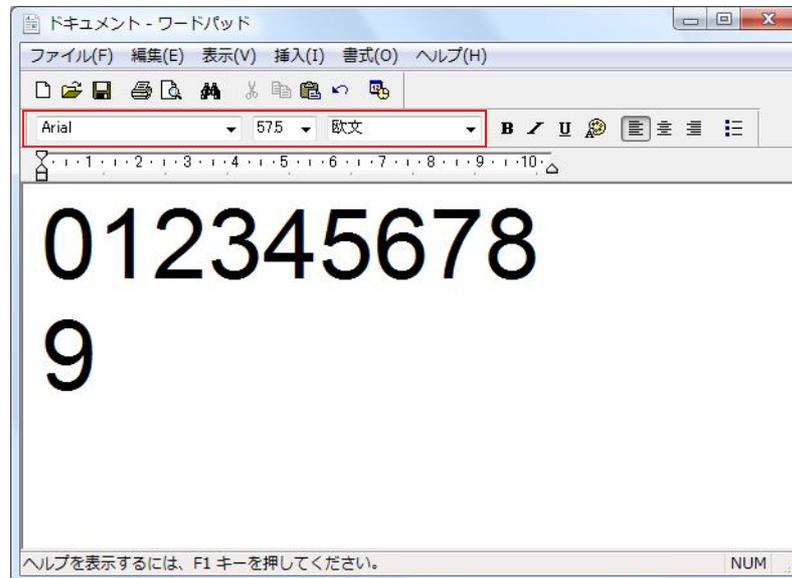
フォントの置き換えは、[**ドライバユーティリティ**] タブの [**フォントの置き換え**] で行います。

1　以下の設定を行います。

- 置き換える TrueType フォント
  ＊置き換え元の [TrueType フォント] を選択します。
- 置き換え先フォント
  ＊置き換える先のバーコード /2 次元シンボルを選択します。

2　[OK] をクリックします。
TrueType フォントが、バーコード /2 次元シンボルに置き換えられます。

4

バーコード /2 次元シンボルの印刷

印刷データに、バーコード /2 次元シンボルフォントに置き換えた TureType フォント、指定されたポイント数 、言語を指定します。

参考

- バーコード /2 次元シンボルのポイント数は決められています。[ドライバユーティリティ]-[バーコード /2 次元シンボル設定] で確認してください。それ以外の値を指定すると、バーコード /2 次元シンボルは印刷しません。
- 置き換え元の TrueType フォントは、バーコード /2 次元シンボルの指定以外は使用できません。このフォントでほかの文字を指定しても印刷しません。そのため、置き換えフォントには印刷に使用しないフォントを選択してください。

プリンタドライバの機能

プリンタドライバには、基本設定、ページ設定、ドライバユーティリティ、プリンタユーティリティのタブがあり、それぞれのタブで各種設定、調整が行えます。

[基本設定] タブ

お気に入り

あらかじめ登録した印刷設定をリストから選択します。これが印刷時の初期値になります。[初期設定] を選択すると、プリンタドライバをインストールしたときの設定に戻せます。

印刷設定

用紙種類、用紙レイアウト、印刷品質、色補正の設定を行います。

用紙レイアウトには、ユーザー定義用紙を登録できます。

印刷品質は「速い」「きれい」から選択できます。印刷の解像度は以下のとおりです。

用紙	印刷品質	解像度 (dpi) (横 x 縦)
普通紙 普通紙ラベル	速い	360 x 180
	きれい	360 x 360
その他の用紙	速い	360 x 360
	きれい	720 x 360

給紙･節約設定

給紙方法、ロール紙節約、ロール紙オプションの設定を行います。

印刷後用紙動作設定

印刷後のオートカット動作、紙送り動作の設定を行います。

設定の必要な場合にオートカッタと紙送りの設定をします。設定の不要な条件 (レシート / 全面ラベルは、自動的にオートカットするなど) ではグレーアウトします。

印刷終了ブザー設定

印刷終了時のブザー設定を行います。

インク残量表示

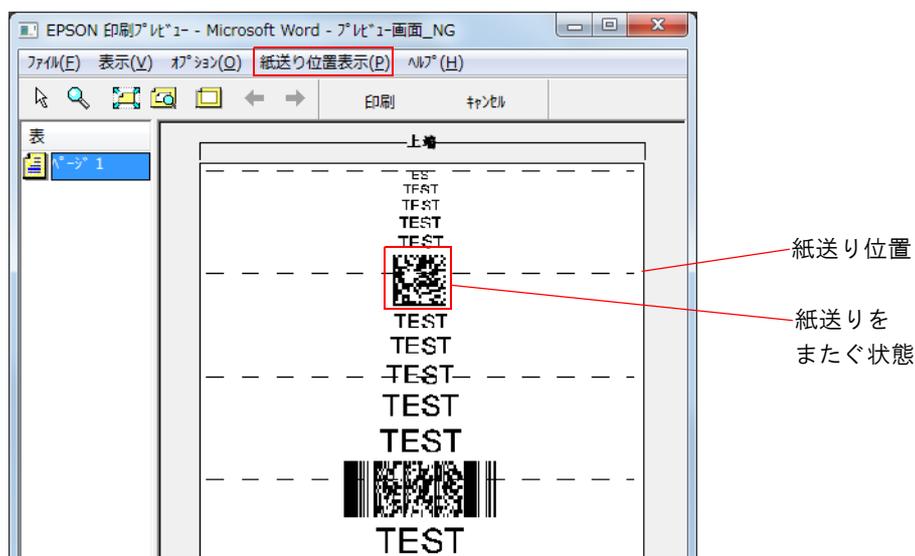
インク残量が表示されます。

4

印刷プレビュー

チェックすると、アプリケーションから印刷したときに印刷プレビュー画面が表示され、印刷前に印刷結果のイメージを確認できます。

二次元シンボルを印刷する場合などに、紙送り位置をまたぐかどうかを確認できます。

参考	二次元シンボルの読み取り率向上のため、二次元シンボルが紙送り位置をまたがないように印刷することをお勧めします。

「紙送り位置表示」では、以下の設定ができます。

項目		説明
紙送り位置表示	紙送り位置の表示	紙送り位置を印刷プレビュー画面に表示します。 初期値は「表示」します。
	紙送り位置を印刷	紙送り位置を印刷します。 初期値は「しない」です。

[ページ設定] タブ

お気に入り

あらかじめ登録した印刷設定をリストから選択します。これが印刷時の初期値になります。[初期設定] を選択すると、プリンタドライバをインストールしたときの設定に戻せます。

印刷方向

印刷方向 (縦、横、180 度回転) の設定を行います。

印刷部数

印刷部数の設定を行います。

レイアウト

印刷位置の調整を行います。

参考　[プリンタユーティリティ] タブの [印刷開始位置調整] とは異なり、印刷ジョブごとに調整する機能です。用紙の特質 (ブラックマークの色が薄いなど) に応じて調整します。

プラテン吸引力手動設定

チェックすると、[調整] が実表示になります。[調整] をクリックすると、[プラテン吸引力手動設定] 画面が表示され、プラテン吸引力を調整できます。チェックを外すと、あらかじめ設定されている初期設定値の吸引力が設定されます。すでに工場出荷時に調整されています。通常お客様に調整していただく必要はありません。

スタンプマーク

チェックすると、印刷データに画像や「重要」などのテキストを重ねて印刷できます。

参考　[基本設定] タブの [ロール紙節約] が節約なしに設定されていないと、チェックボックスがグレーアウトします。

注意　スタンプマークは印刷データの前面に印刷されるため、バーコードとスタンプマークが重なると、バーコードが読み込めなくなります。

[ドライバユーティリティ] タブ

バーコード /2 次元シンボル設定

バーコード /2 次元シンボルフォントを設定します。この設定はユーザー定義情報です。

> **参考**
> バーコード印刷、2 次元シンボル印刷の操作手順は、152 ページ「バーコード印刷」、163 ページ「2 次元シンボル印刷」を参照してください。

フォントの置き換え

.NET 環境で TrueType フォントをバーコードフォント / 2 次元シンボルフォントに置き換える設定を行います。

> **参考**
> .NET 環境で、バーコード / 2 次元シンボルフォントを印刷する場合に設定します。TrueType フォントの 1 つを、バーコード / 2 次元シンボルフォント印刷専用に指定します。

ドライバの動作設定

プリンタドライバの動作に関する各種機能 (印刷の速度や進捗表示など) を設定できます。

EPSON ログファイルの設定

障害発生時などに迅速な解析が行えるようにログの保存方法を設定できます。
この内容については、弊社までお問い合わせください。

EPSON プリンタウィンドウ !3

印刷時に EPSON プリンタウィンドウ !3 の画面が自動表示され、プリンタの現在の状態、インク残量、エラー状態などを確認できます。

> **参考**
> [ドライバの動作設定] 画面の [EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する] にチェックが外れていると、表示されません。

モニタリング機能の設定

プリンタのエラーが発生したときに、EPSON プリンタウィンドウ !3 が表示します。

> [ドライバの動作設定] 画面の [EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する] にチェックが外れていると、表示されません。

致命的なエラーの通知設定

EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用していない場合でも、プリンタの致命的なエラーが発生した時に、画面を表示することができます。

> **参考**
> - [ドライバの動作設定] 画面の [EPSONプリンタウィンドウ!3 を使用する] がチェックされていると、表示されません。
> - 「管理者 ./ Administrator グループのメンバ、権限の昇格を行ったユーザーおよび、Windows XP の Power User グループのメンバ」は、致命的なエラーの通知設定の変更が可能です。

設定の書き出し / 取り込み

プリンタドライバのすべての設定をファイルとして書き出したり、取り込んだりすることができます。プリンタドライバのインストールパッケージを作成するときに、Install Assistant で使用します。

> **参考**
> 複数のプリンタでプリンタドライバの設定を同じにしたいときなどに便利です。

[プリンタユーティリティ] タブ

この項目は、プリンタに設定を行います。

印刷動作モードの設定

印刷動作モードの設定、ドット抜け発生時にドキュメントに印刷する無効画像の登録、無効画像のテスト印刷が行えます。
印刷動作モードの設定には、以下の種類があります。

- 誤色なしモード：　紙送り方向の隣接 2 ドット以上、または任意の 3 ドット以上のドット抜けが発生した場合に、オートヘッドクリーニングを実行します。
- 誤読なしモード：　ドット抜けが発生すると、オートヘッドクリーニングを実行します。
- 高信頼性モード (再印刷実行選択) / エコノミーモード (再印刷実行選択)：
  ドット抜けが発生すると、EPSON プリンタウィンドウ !3 が表示され、次の動作をお客様で選択できます。選択できる動作は、[印刷再開](次のデータを印刷) と [再印刷](オートヘッドクリーニングしてドット抜け解消後に再印刷) です。
- 高信頼性モード (無効 (Void) 画像印刷) / エコノミーモード (無効 (Void) 画像印刷)：
  ドット抜けが発生すると、ドット抜けが発生したことを示す画像を印刷し、同じデータを再度印刷します。無効画像印刷時に用紙高さが 1 インチ以下の場合、無効画像の上端がカットされて印刷されます。

> **参考**
> - [高信頼性モード(無効(Voide)画像印刷)]および[エコノミーモード(無効(Voide)画像印刷)]は、[ドライバユーティリティ] タブの [ドライバの動作設定] 画面の [EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する] にチェックがついていないと、設定できません。
> - 誤色なしモードに設定した場合、誤読となるドット抜けが発生する可能性があります。誤読となるドット抜けを発生させたくないときは、誤読なしモードまたは高信頼性モードの使用をお勧めします。

4

通知設定

エラー発生時のブザーのオン / オフ、インク残量が少なくなったときの LED 通知設定、用紙違いの通知設定を行います。

> **参考**
> ブザー通知のブザー音量 (大 / 小) は、プリンタのディップスイッチ 8 で設定します。(72 ページ「ディップスイッチの設定」参照)

パネルボタンの設定

プリンタ本体のパネルスイッチのうち、カットボタン、および紙送りボタンの有効 / 無効を設定します。

用紙位置検出設定

印刷する用紙の種類に応じて、プリンタの用紙位置検出設定をします。

> **注意**
> プリンタの設定と用紙の種類が適合しないと印刷ができず、用紙エラーが発生します。ここの調整は、74 ページ「用紙のセット」を参照してください。

用紙頭出し動作設定

電源投入時、カバークローズ時の用紙頭出しおよびオートカット動作を設定します。

センサー調整

ラベル間ギャップやブラックマークを検出するセンサーを調整します。

マニュアルヘッドクリーニング

お客様が、ヘッドクリーニングを行えます。クリーニングの結果は、ノズルチェックパターン印刷で確認できます。

> **参考**
> マニュアルヘッドクリーニングの操作手順は、182 ページ「マニュアルヘッドクリーニング」を参照してください。

ノズルチェック

プリントヘッドの目詰まりを確認するパターンを印刷します。

紙送り量調整

カット位置や印刷位置の紙送り調整をします。印刷結果のカット位置や印刷位置がずれている場合に調整します。

ギャップ調整

縦罫線やバーコードのずれと紙送りのずれを調整します。

製品に同梱されているロール紙で、調整量を確認するための機能です。工場出荷時には調整されていますので、通常お客様に調整していただく必要はありません。

印刷基準位置調整

同梱されているロール紙で、頭出し位置、打ち出し位置を調整します。工場出荷時には調整されていますので、通常お客様に調整していただく必要はありません。

動作時間の設定

データの待機時間やプラテン吸引動作の休止時間を設定します。

プリンタドライバのアンインストール

以下の手順でプリンタドライバのアンインストールを行ってください。

1 コンピュータで行っている、他のすべての作業を終了します。

2 [プログラムのアンインストール](または[プログラムの追加と削除][アプリケーションの追加と削除]) を開きます。

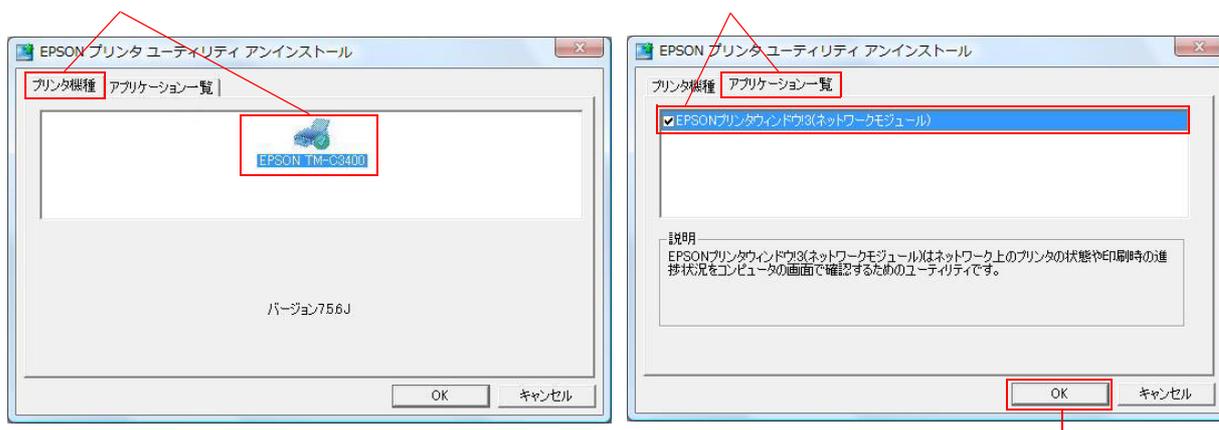
- Windows 7 の場合：
  [スタート] メニューの [コントロールパネル] で [デバイスとプリンター] をクリックします。
- Windows Vista の場合：
  [スタート] メニューの [コントロールパネル] で [プログラムのアンインストール] をクリックします。
- Windows XP Professional の場合：
  [スタート] メニューの [コントロールパネル] で [プログラムの追加と削除] をクリックします。
- Windows XP Home Edition の場合：
  [スタート] メニューの [コントロールパネル] で [プログラムの追加と削除] をクリックします。
- Windows 2000 の場合：
  [スタート] メニューの [設定] で [コントロールパネル] から [アプリケーションの追加と削除] をクリックします。
- Windows Server 2003 R2 の場合：
  [スタート] メニューの [コントロールパネル] で [プログラムの追加と削除] をクリックします。

3 [EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ] を選択し、[アンインストールと変更] をクリックします。

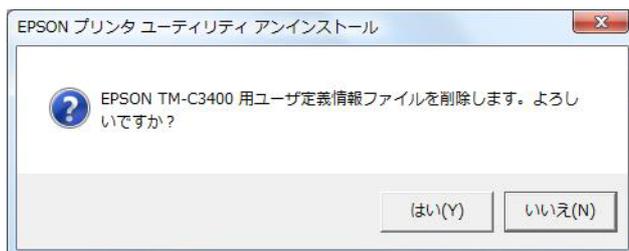
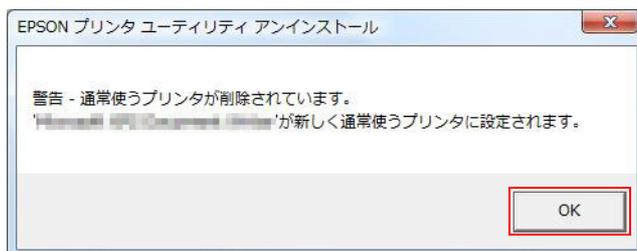
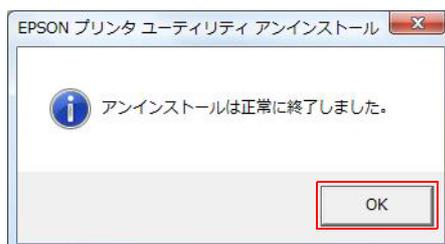
4 アンインストール画面が表示されます。
[プリンタ機種] タブからアンインストールするプリンタドライバを選択します。

5 [アプリケーション一覧] タブから [EPSON プリンタウィンドウ!3(ネットワークモジュール)] にチェックします。

注意	[EPSON プリンタウィンドウ !3 (ネットワークモジュール)] は、EPSON 製の他のプリンタでも使用している場合があります。その場合、チェックを外してください。

6 [OK] をクリックします。

7 アンインストール確認画面が表示されます。[**はい**] をクリックします。

8 ユーザー定義情報の削除の確認画面が表示されます。

ユーザー定義情報を削除する場合、[**はい**] をクリックします。残す場合は [**いいえ**] をクリックします。

9 TM-C3400 を通常使うプリンタに設定していた場合、アンインストール後の通常使うプリンタが表示されます。[OK] をクリックします。

10 アンインストール完了画面が表示されます。[OK] をクリックします。

参考	アンインストールを行なっても「EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ」のプリンタ機種一覧に表示が残っている場合、コンピュータを再起動して再度アンインストールを行なってください。

設定状態の確認

プリンタの各種設定状態を確認するために、通常印字のほかにセルフテストとステータスシートの印刷 (Ethernet インタフェース仕様のみ) を行うことができます。

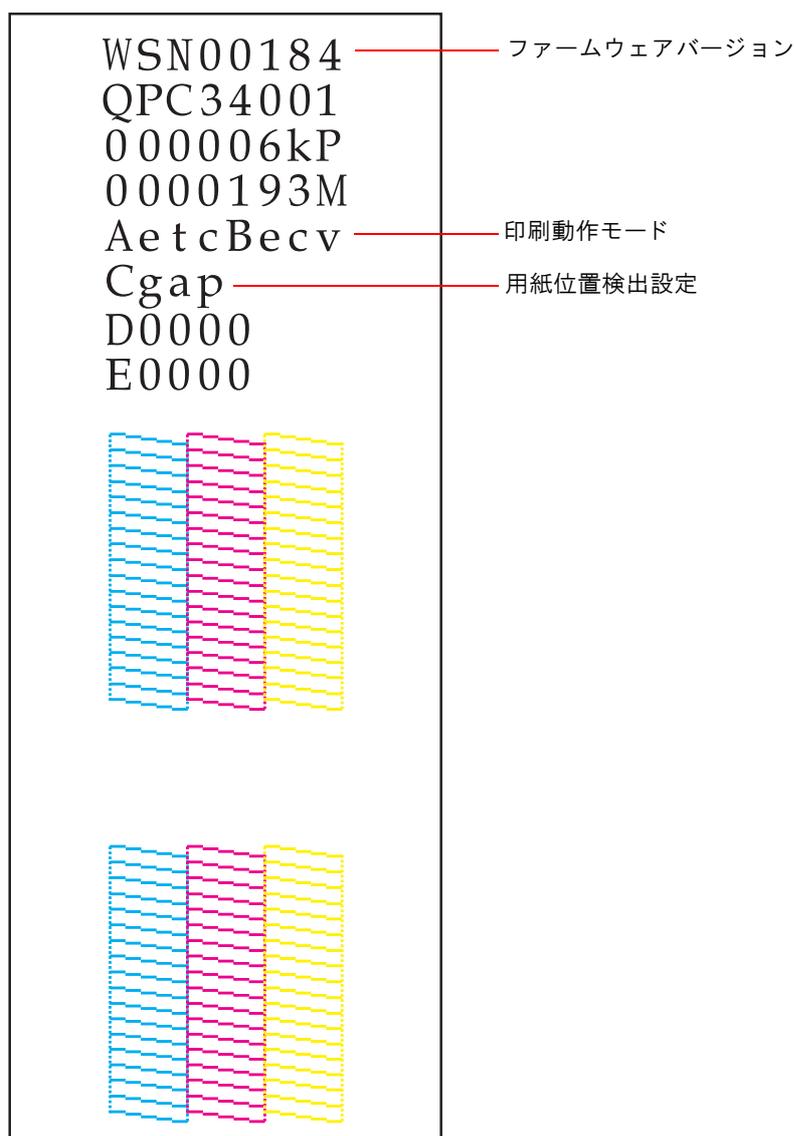
セルフテスト

セルフテストを行い、ドット抜けなどの印字不良が発生していないか確認できます。また、ファームウェアのバージョン、印刷動作モード、用紙位置検出設定を確認できます。

セルフテストの方法は以下のとおりです。

1. 長さ 90 mm 以上のダイカットラベル、レシート、または全面ラベルをセットします。

2. **紙送り**ボタンを押しながら電源スイッチをオンにします。(電源 LED が点滅を始めるまで電源スイッチを離さないでください。)
   以下のテストパターンが印刷されます。

4

ステータス		説明
ファームウェアバージョン	WSN00180 以降	エコノミーモードサポート
	WSN00180 より前	エコノミーモード未サポート
印刷動作モード	Aamc Boff	誤色なし
	Aamr Boff	誤読なし
	Ahrr Boff	高信頼性モード（再印刷実行選択）
	Ahrv Boff	高信頼性モード（無効(Void)画像印刷）
	Aect Becr	エコノミーモード（再印刷実行選択）
	Aect Becv	エコノミーモード（無効(Void)画像印刷）
用紙位置検出設定	Cnod	位置検出しない
	Cbmd	ダイカットラベルのブラックマークを検出する
	Cbmc	連続紙のブラックマークを検出する
	Cgap	ラベル間ギャップを検出する

ステータスシートの印刷（Ethernet インタフェース仕様のみ）

Ethernet インタフェース仕様では、ステータスシートの印刷を行い、ネットワークの設定状態を確認できます。
プリンタ背面のステータスシートボタンを押すと、以下のステータスシートが印刷されます。

参考 ステータスシートボタンを押しながら、プリンタの電源をオンし、ボタンを押した状態で 20 秒ほど待つとネットワーク設定が初期値に戻ります。

ヘッドクリーニング

本製品は自動ノズルチェック機能を搭載しており、通常は自動でヘッドのクリーニングを行います。
ただし、印刷動作モードの設定によっては、プリントヘッドの目詰まりにより、インクはあるのに印刷がかすれたり、通常とは異なる色で印刷されたりします。そのような場合、ヘッドのクリーニングを行ってください。ヘッドのクリーニングは、プリンタドライバのプリンタユーティリティ機能から行います。

参考

印刷動作モードの設定は、プリンタドライバの [プリンタユーティリティ] タブの [印刷動作モードの設定] で行います。(97 ページ「印刷動作モードの設定」参照)

マニュアルヘッドクリーニング

マニュアルヘッドクリーニングを実行すると、プリンタがノズルの目詰まりを確認し、目詰まりしている場合は自動的にクリーニングを行います。

注意

マニュアルヘッドクリーニングにはインクを消費しますのでインク残量が少ない場合、インクエンドになる場合があります。

以下の手順に従って、クリーニングを行ってください。

1 プリンタの電源をオンにします。

2 プリンタドライバの印刷設定画面を表示します。(プリンタドライバの表示方法は、147 ページ「プリンタドライバの使い方」参照)

3 [**プリンタユーティリティ**] タブの [**マニュアルヘッドクリーニング**] をクリックします。
ノズルの目詰まりを確認し、目詰まりしている場合は自動でクリーニングが行われます。クリーニングは最大で 5 回繰り返されます。

4 ノズルチェックを実行して、クリーニング結果を確認します。

印刷中のマニュアルヘッドクリーニング

印刷中に印刷がかすれたり通常とは異なる色で印刷された場合に、紙送りボタンを押すことで印刷中にマニュアルヘッドクリーニングをすることができます。この機能は出荷時には無効に設定されているので、プリンタドライバでパネルボタンの設定を変更する必要があります。(107 ページ「パネルボタンの設定」参照)

注意

- 印刷中に紙送りボタンを押してもマニュアルヘッドクリーニングが始まらない場合は、数秒後に再度紙送りボタンを押してください。
- この機能は、BSF ファイルや PrinterSetting の設定ファイルで他のプリンタにコピーすることはできません。プリンタ毎に設定する必要があります。

ノズルチェック

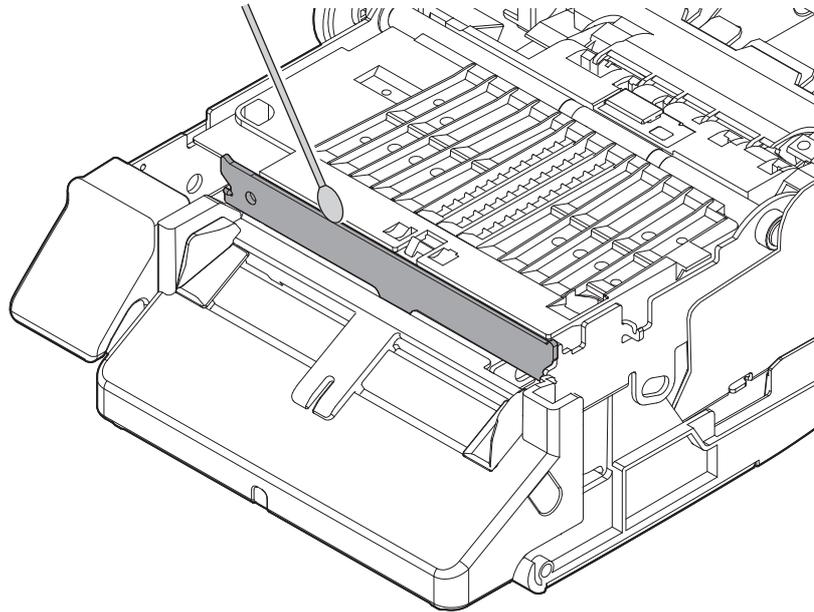
ノズルチェックでは、ノズルの状態を確認するためにパターンを印刷し、そのパターンを見てノズルが目詰まりしていないかを確認します。

ノズルチェックの方法は以下のとおりです。

1. プリンタの電源をオンにします。
2. 長さ 90 mm 以上のダイカットラベル、レシート、または全面ラベルをセットします。
3. プリンタドライバの印刷設定画面を表示します。（プリンタドライバの表示方法は、147 ページ「プリンタドライバの使い方」参照）
4. ［**プリンタユーティリティ**］タブの［**用紙位置検出設定**］をクリックし、用紙に合わせて用紙位置検出設定をします。
5. ［ **ノズルチェック** ］をクリックします。
6. ［ **印刷** ］をクリックします。
7. 印刷されたノズルチェックパターンを確認します。
   目詰まりしている場合は、マニュアルヘッドクリーニングを実行してください。

オートカッタのクリーニング

オートカッタ固定刃にラベル紙の粘着剤が付着して切れ味が鈍くなる場合があります。
以下の手順でクリーニングしてください。

1. プリンタの電源をオフにして、コンセントから AC ケーブルを外します。
2. ロール紙カバーを開き、用紙を取り除きます。
3. ロール紙カバー側のオートカッタ固定刃に付着した粘着物を取り除きます。
アルコールを含ませた綿棒などで取り除いてください。

 注意

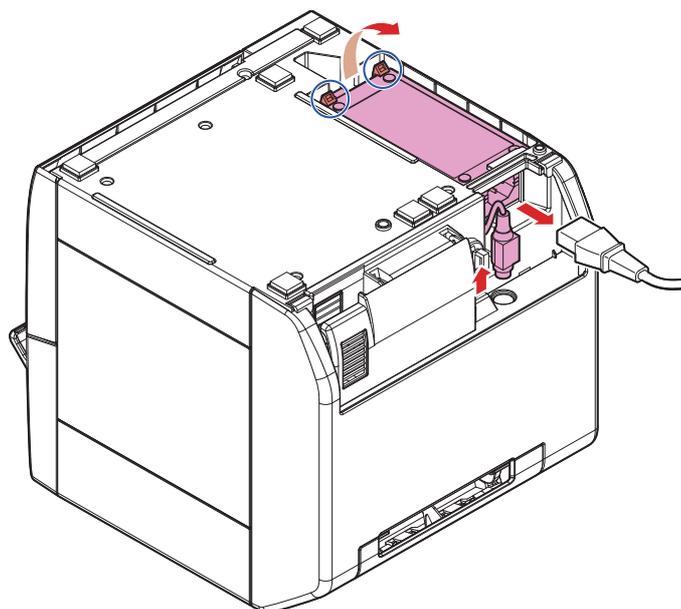
オートカッタ固定刃のエッジ部分に、指を直接触れないでください。
指をけがするおそれがあります。

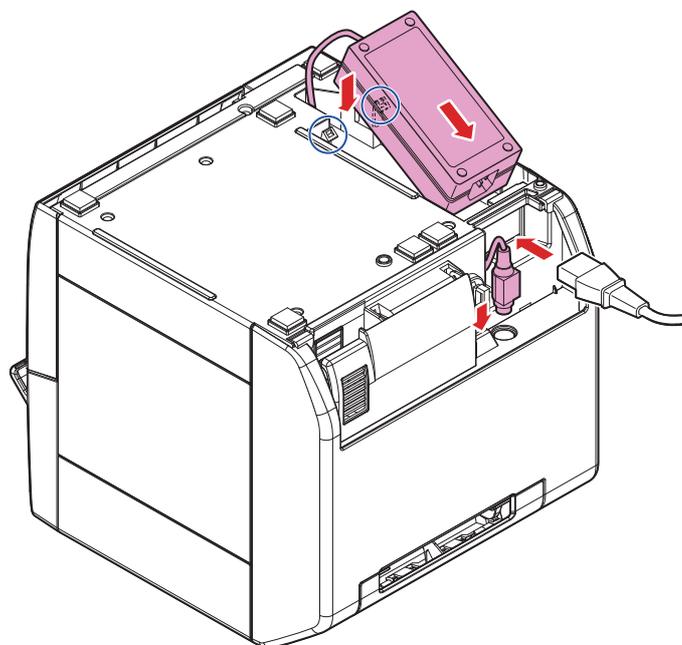
AC アダプタの取り外しと取り付け

プリンタに取り付けられている、AC アダプタは取り外すことができます。

注意	AC アダプタを取り外し / 取り付ける場合、TM-C3400 の電源スイッチを押し、電源 LED が消えていることを確認してください。 電源スイッチを押さずに電源をオフすると、インクが漏れるおそれがあります。

AC アダプタの取り外し

1. プリンタから、AC ケーブルを取り外します。
2. プリンタの底面が上になるように置きます。
3. プリンタから、AC アダプタのコネクタを抜きます。
4. プリンタ前面側のフック (2 箇所) を解除し、AC アダプタを持ち上げます。
5. AC アダプタをプリンタから取り外し、AC アダプタのケーブルも抜きます。

AC アダプタの取り付け

1. プリンタの底面が上になるように置きます。
2. AC アダプタのコネクタをプリンタに接続し、ケーブルをプリンタにセットします。
3. AC アダプタのプラグ側を、プリンタに入れます。
4. ACアダプタのケーブル側をプリンタに押し込み、プリンタのフック(2箇所)がロックされることを確認します。
5. プリンタを底面が下になるように置きます。
6. AC ケーブルを接続します。

輸送時の処置

プリンタを輸送する場合、以下の手順に従ってください。

輸送するときは、インクカートリッジを取り付けたままの状態で、移動、輸送してください。
インクカートリッジを取り外したままプリンタを放置すると、プリントヘッドが乾燥し、目詰まりするおそれがあります。

1. 電源をオフにします。
2. (電源)LED が消灯したことを確認します。
3. 用紙を取り除きます。
4. 上下方向を維持したまま梱包します。

トラブルシューティング

Error (エラー) LED 点灯 / 点滅

Error(エラー)LED が点灯 / 点滅している場合、以下の方法でエラーを取り除きます。
(LED の点灯 / 点滅の組み合わせは、17 ページ「ステータス / エラー表示」を参照してください。)

- ロール紙カバー、インクカートリッジカバーが閉まっているか確認します。
  カバーが開いている場合は閉めます。
- Paper LED が点灯していないかを確認します。Paper LED が点灯している場合、紙詰まりがないか確認し、139 ページ「用紙の交換」を参照しながら、用紙を正しくセットします。
- プリンタの電源をオフ/オンします。Error LEDの点滅が続く場合、管理者または保守担当者に連絡してください。

TM-C3400 の管理

本章では、TM-C3400 の管理者向けに、プリンタドライバの配布やプリンタの追加 / 交換など、システムの中で TM-C3400 を管理するために必要な情報を説明します。

プリンタ管理者に知っていただきたいこと

ここでは特にプリンタ管理者に知っていただきたい内容を説明します。
TM-C3400 は、用紙の種類や TM-C3400 の動作を、プリンタに設定する必要があります。
プリンタへの設定は、プリンタドライバから設定する項目と、プリンタのディップスイッチから設定する項目があります。プリンタドライバから設定する項目については、設定用ファイルを作成して、他のプリンタにコピーすることができます。

プリンタドライバの機能

TM-C3400 プリンタドライバには、以下の機能があります。

❏ 印刷

❏ プリンタドライバの設定

- 印刷設定
- お気に入り設定
- ユーザー定義情報の設定
- ドライバの動作設定
- EPSON プリンタウィンドウ !3 の設定

❏ プリンタドライバ設定の保存 / 取り込み

- 印刷設定、お気に入り設定、ユーザー定義情報、プリンタドライバの動作設定を BSF ファイル (拡張子 .BSF) に書き出せます。BSF ファイルから設定を取り込んで、プリンタドライバ設定することもできます。
- 別ツールの Install Assistant では、このファイルを使ってプリンタドライバのインストールパッケージを作成します。

注意

BSF ファイルの書き出しは、現在の設定から行ってください。標準の設定から行うと、プリンタドライバの画面の内容と異なる内容が書き出されます。

現在の設定：
プリンタドライバのプロパティ -[全般]-[印刷設定]-[ドライバユーティリティ]
-[設定の書き出し / 取り込み]

標準の設定：
プリンタドライバのプロパティ -[詳細設定]-[標準の設定]-[ドライバユーティリティ]
-[設定の書き出し / 取り込み]

❏ プリンタの設定

- 印刷するための設定
- メンテナンス用の設定
- 別ツールの Printer Setting では、プリンタ設定用ファイルの書き出しや、取り込みができます。

プリンタドライバ設定の保存先

プリンタドライバの設定項目のうち、ファイル保存できる項目を記します。

5

プリンタの設定

プリンタの設定をするのは、以下の場合です。

- プリンタを新たに設置した場合
- 印刷用紙の種類を変更した場合
  用紙位置検出設定が必要になります。（106 ページ「用紙位置検出」参照してください）
- プリンタのメンテナンスが必要な場合
  ヘッドのクリーニング、ギャップの調整など

プリンタの設定は、プリンタドライバと Printer Setting で設定します。設定できる項目が異なります。

項目	プリンタドライバ	Printer Setting
コンピュータに Printer Setting のインストール	不要	必要
プリンタの設定を参照する	×	○
プリンタに設定を行う	○	○
印字位置の微調整、ヘッド クリーニングを行う	○	×
プリンタの設定を、設定ファイルに保存する	×	○
設定ファイルから設定を読み込む	×	○
プリンタの設定を他のプリンタにコピーする	×	○
複数のプリンタに同じ設定を行う	×	○
無効（Void）画像の選択	○	○
無効（Void）画像ファイルの指定	×	○
USB シリアルナンバーの編集	×	○

プリンタドライバと Printer Setting の設定項目

プリンタドライバ　　　　　　　　Printer Setting

＊ パネルボタンの設定の、印刷中のマニュアルヘッドクリーニング設定は
　Printer Setting では設定できません。

1 台のクライアントコンピュータに複数のプリンタドライバをインストール

1 台のクライアントコンピュータに複数の TM-C3400 プリンタドライバをインストールする場合、プリンタドライバごとに設定できる項目と、TM-C3400 プリンタドライバ共通の設定項目があります。プリンタドライバ共通の項目は、1 つのプリンタドライバで修正すると他のプリンタドライバに反映されます。

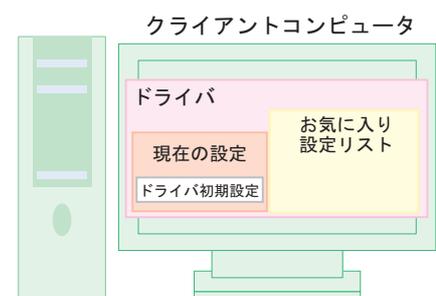
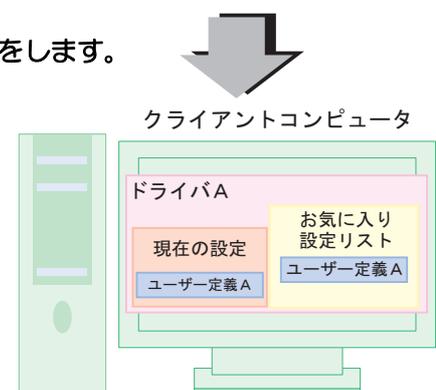
項目	内容	プリンタドライバごと	プリンタドライバ共通
印刷設定	「基本設定」（ユーザー定義用紙を含む） 「ページ設定」	○	-
「お気に入り」の設定リスト	印刷設定を「お気に入り」に登録したリスト	-	○
ユーザー定義情報	ユーザー定義用紙 バーコードフォント フォントの置き換え	-	○
ドライバの動作設定	-	○	-
EPSON プリンタウィンドウ!3	-	○	-
EPSON ログファイル *	-	-	○

* Windows XP/Windows Server 2003 のみ反映されます。

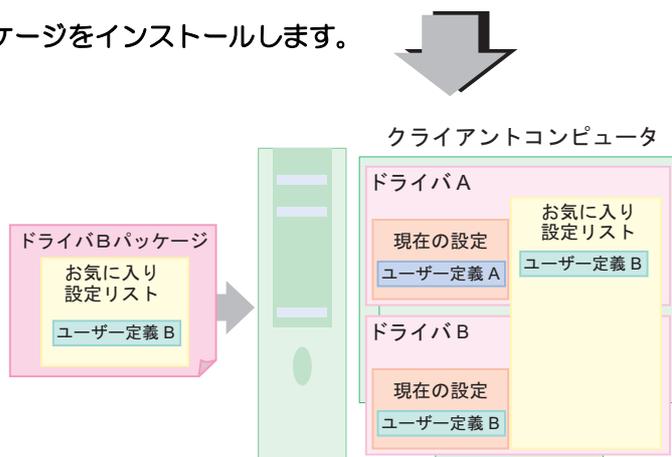
インストールパッケージからプリンタドライバを追加

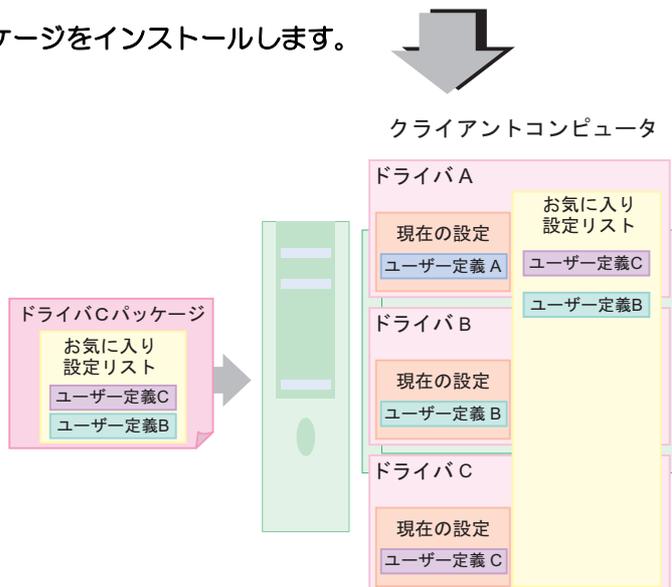
Install Assistant で作成したインストールパッケージからプリンタドライバを追加した場合、既存のプリンタドライバの「お気に入り」の設定リストと「ユーザー定義情報」が変更されます。

以下は、プリンタドライバの印刷設定と「お気に入り」の設定リストがどのようになるかを説明しています。

1. プリンタドライバをインストールします。
   インストールした時点では、ユーザー定義情報はありません。プリンタドライバの「現在の設定」は、プリンタドライバの初期設定です。

2. プリンタドライバの画面から、印刷設定 (ユーザー定義 A) をします。
   設定すると、「現在の設定」はユーザー定義 A になります。
   [現在の設定を登録] で、「お気に入り」の設定リストにユーザー定義 A を登録します。

3. プリンタドライバＢのインストールパッケージをインストールします。

インストールパッケージの「お気に入り」の設定リストはユーザー定義 B だけなので、設定リストが上書きされ、ユーザー定義 A は消えます。

ドライバＡの「現在の設定」は、ユーザー定義 A のままです。

4. プリンタドライバＣのインストールパッケージをインストールします。

インストールパッケージの「お気に入り」の設定リストの最上位はユーザー定義 C なので、設定リストが上書きされて、設定リストの順番が変わります。

5. 「現在の設定」はプリンタドライバの画面から簡単に変更できます。

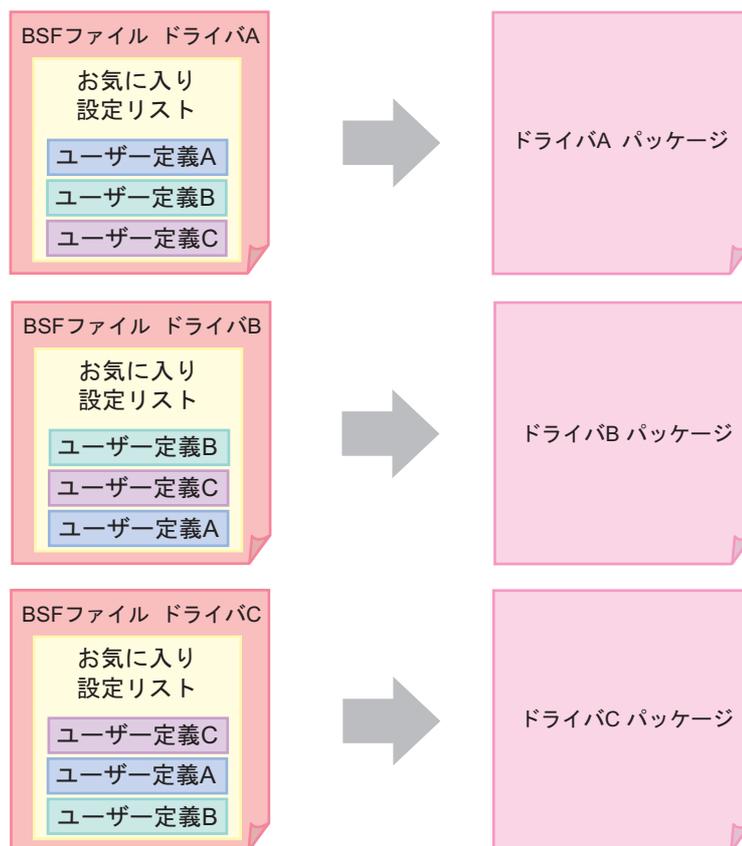
ユーザー定義 A を「お気に入り」に保存するためには、ドライバＡで「お気に入り」に再登録します。

インストールパッケージの作成

インストールパッケージを作成する場合、以下の方法をお勧めします。

1 クライアントコンピュータにインストールされているプリンタドライバのすべての印刷設定を、「お気に入り」の設定リストに登録して BSF ファイルを作成します。

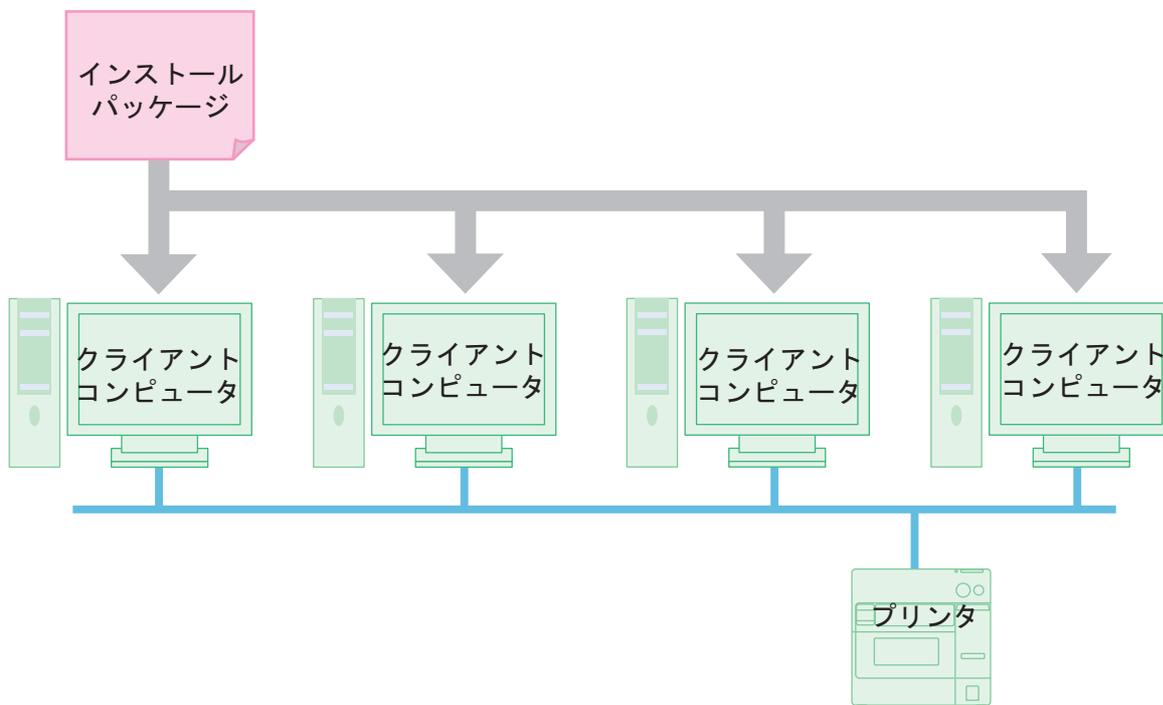
プリンタドライバごとにファイルを作成します。設定リストの最上位にプリンタドライバの設定を配置します。

2 プリンタドライバごとにインストールパッケージを作成します。

プリンタドライバファイルからプリンタドライバを追加

プリンタドライバファイル「c34d32_xxxx.exe」からプリンタドライバをインストールした場合、既存のプリンタドライバの「お気に入り」の設定リストと「ユーザー定義情報」は変更されません。

プリンタドライバファイルの印刷設定には、プリンタドライバの初期設定のみ登録され、「ユーザー定義情報」は登録されていないためです。

複数のクライアントコンピュータから､1 台のネットワークプリンタを使用

複数のクライアントコンピュータから、1 台のネットワークプリンタを使用するには、プリンタ用のインストールパッケージを 1 つ作成して、それをクライアントコンピュータにインストールします。

プリンタドライバのバージョンアップ

プリンタドライバをバージョンアップすると、プリンタドライバの初期値の設定になり、既存の設定が消えてしまいます。そのため、以下の手順で対応をしてください。

1 プリンタドライバの既存の設定を BSF ファイルに保存します。(190 ページ)

2 プリンタドライバをバージョンアップします。新しいプリンタドライバのパッケージファイルを実行し、プリンタドライバをバージョンアップします。

3 プリンタドライバに BSF ファイルの設定を取り込みます。(190 ページ)

参考 事前に BSF ファイルを保存した場合、プリンタドライバのバージョンアップ後、再度 BSF ファイルを取り込んでください。(190 ページ)

Windows 2000 で、プリンタドライバがインストールできない場合

Windows 2000 の環境で、インストールパッケージを実行してもプリンタドライバがインストールできない場合、プリンタが「不明なデバイス」として登録されていることが考えられます。
以下の手順で「不明なデバイス」を削除して、インストールパッケージを実行してください。

1. 「マイコンピュータ」のプロパティを開き、「ハードウェア」タブを選択します。
2. 「デバイスマネージャ」ボタンをクリックし、デバイスマネージャーを起動します。
3. 「その他のデバイス」にある以下の「不明なデバイス」を削除します。
4. 「デバイスマネージャー」の「OK」ボタンをクリックします。
5. プリンタの電源をオフしてください。
6. インストールパッケージを実行してください。
（インストールパッケージの実行方法は、「TM-C3400 Install Assistant ユーザーズマニュアル」を参照してください。）

Windows 2000 で、すでにプリンタドライバがインストールされている場合

Windows 2000 で、すでにプリンタドライバがインストールされている場合、インストールパッケージのプリンタドライバとバージョンが異なると、既存プリンタドライバの設定が変更される可能性があります。（TM-C3400 以外のプリンタドライバには影響ありません。）
既存の設定を保持したい場合、事前に設定を保存し、インストールパッケージを実行後、設定を戻す必要があります。
以下の方法があります。

❏ 既存環境のインストールパッケージを作成し、インストール後に実行する
（「TM-C3400 Install Assistant ユーザーズマニュアル」を参照してください。）

❏ 既存環境の BSF ファイルを作成し、インストール後に作成したBSFファイルを既存プリンタドライバに取り込む

プリンタドライバの配布とプリンタの設定

プリンタドライバの配布方法とプリンタの設定方法を説明します。

ユーティリティ

クライアントコンピュータ用のインストールパッケージの配布や、プリンタの設定をするため、以下のユーティリティを使用します。

❏ Install Assistant（詳細は「TM-C3400 Install Assistant ユーザーズマニュアル」を参照してください。）

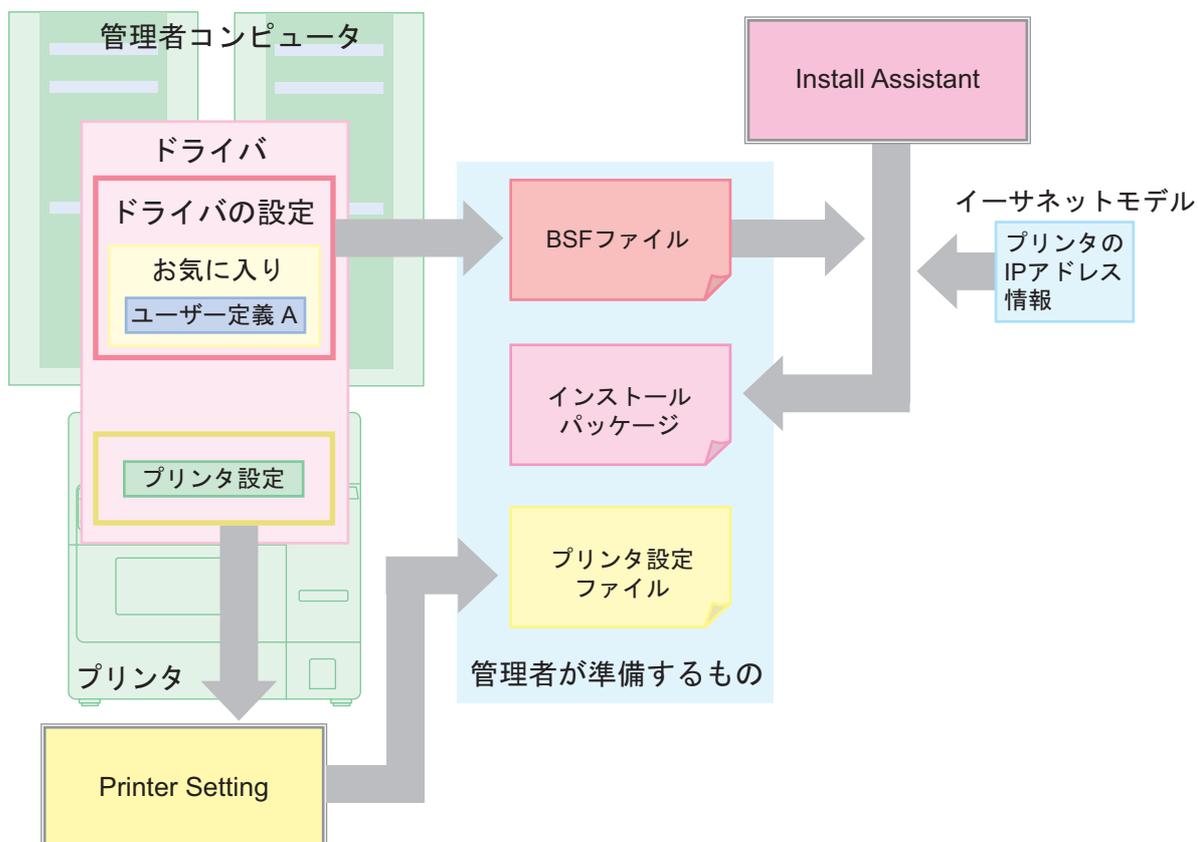
- プリンタドライバのインストール・プリンタドライバの設定・通信ポートの設定（ネットワーク設定を含む）のインストールパッケージを作成します。
- インストールパッケージを起動したクライアントコンピュータでは、自動的にプリンタドライバのインストール / プリンタドライバの設定 / 通信ポートの設定をします。
- イーサネットインタフェースモデルの場合、プリンタ 1 台ごとにインストールパッケージを作成します。
- USB インタフェースモデルの場合、プリンタドライバの設定ごとに、インストールパッケージを作成します。

❏ Printer Setting（詳細は「TM-C3400 Printer Setting ユーザーズマニュアル」を参照してください。）

- プリンタの設定をします。設定用ファイルやマスターとなるプリンタから、複数のプリンタにコピーできます。
- Printer Setting は、プリンタドライバがインストールされていない環境では使用できません。

❏ EpsonNet Config（詳細は EpsonNet Config のヘルプを参照してください。）

- イーサネットインタフェースモデルのネットワーク設定ができます。
一度に複数のプリンタの設定ができます。

管理者の準備

管理者は以下を用意してください。

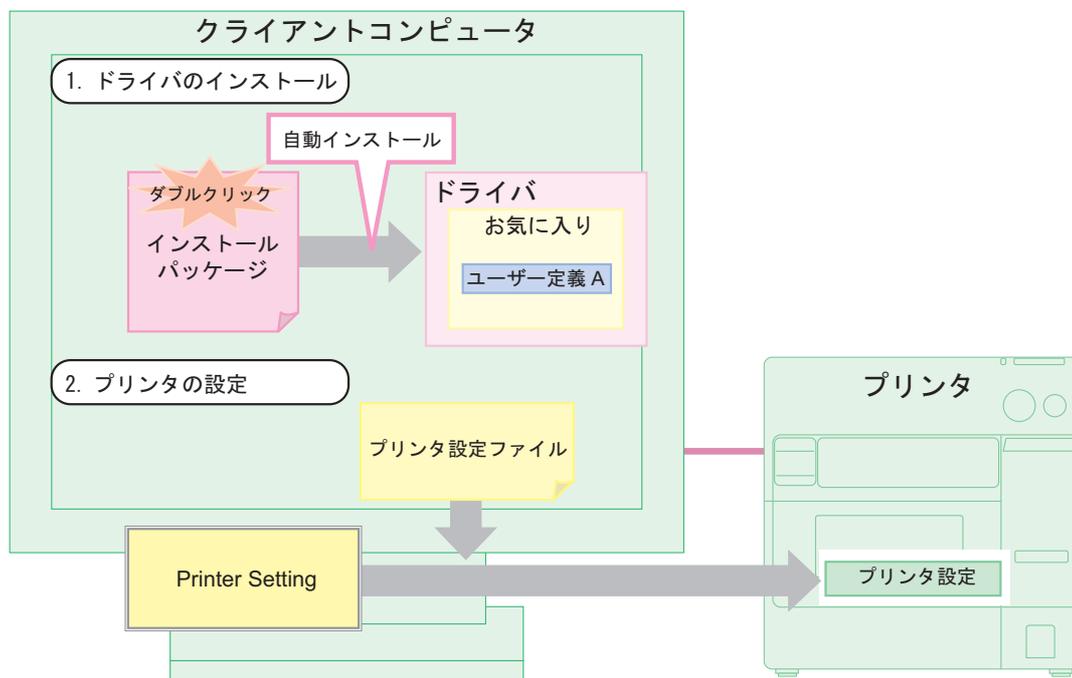
❏ TM-C3400 プリンタドライバ
- インストールパッケージ /BSF ファイルを作成するときに必要です。

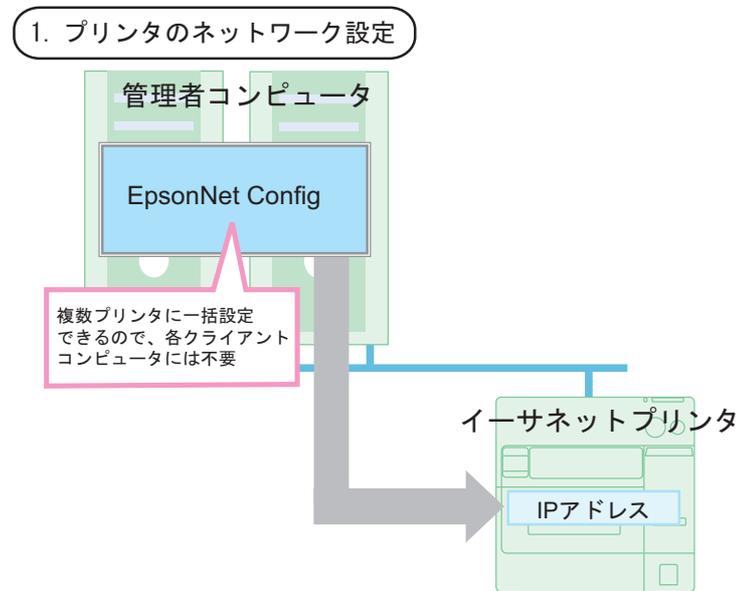
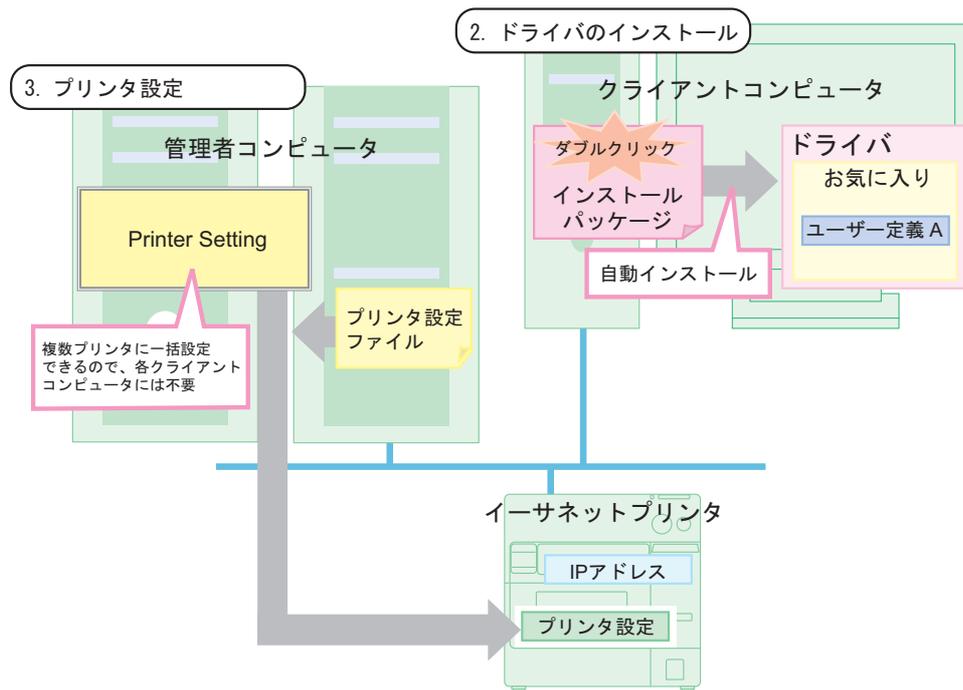
❏ BSF ファイル
- プリンタドライバの設定ファイルです。
- TM-C3400 プリンタドライバで作成します。
- 1 台のコンピュータに複数のプリンタドライバをインストールする場合、以下の点を留意してください。
  全プリンタドライバのユーザー定義を含めてください。
  全プリンタドライバの印刷設定を「お気に入り」の設定リストに登録してください。
  プリンタドライバごとにファイルを作成します。ファイル作成時には、設定リストの最上位に、作成するプリンタドライバの印刷設定を配置してください。

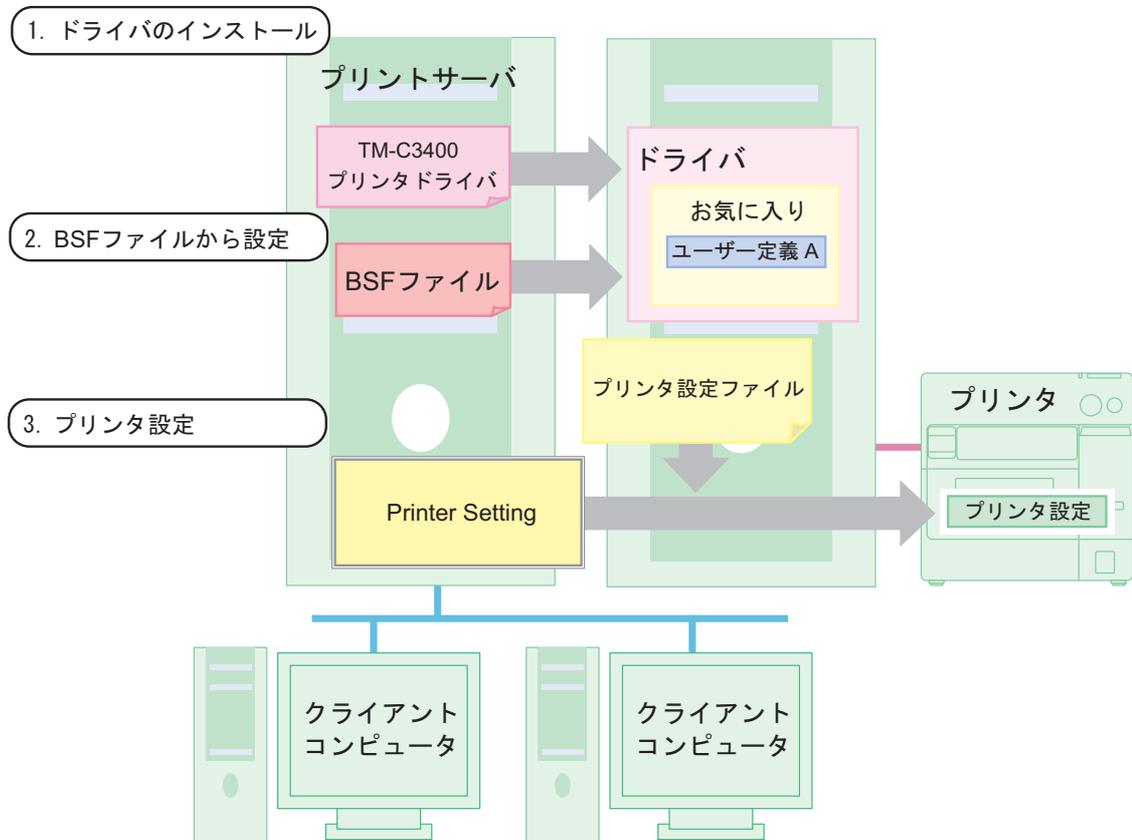
❏ インストールパッケージ
- プリンタドライバのインストール / 設定 / ポート設定を自動的に行うパッケージです。
- Install Assistant で、BSF ファイルと TM-C3400 プリンタドライバを使用して作成します。
- イーサネットモデルの場合、プリンタごとにインストールパッケージを作成します。

❏ プリンタ設定ファイル
- プリンタの設定をするファイルです。
- Printer Setting で作成します。

配布方法:USB インタフェースモデル

配布方法の大まかな流れは以下のとおりです。

配布方法:イーサネットインタフェースモデル

配布方法の大まかな流れは以下のとおりです。

配布方法:共有プリンタ

配布方法の大まかな流れは以下のとおりです。

注意　共有プリンタの場合、プリントサーバには TM-C3400 プリンタドライバからインストールしてください。インストールパッケージからはインストールしないでください。

5

セットアップ手順

プリンタの設置から、印刷できる状態にするまでのセットアップ手順は以下のとおりです。

1 プリンタの設置（59 ページ）

2 プリンタの電源を接続（60 ページ）

3 プリンタに同梱されているロール紙を、プリンタにセット（80 ページ）

4 イーサネットインタフェースの場合、プリンタをネットワークに接続（64 ページ）

5 インクカートリッジの取り付け（61 ページ）
プリンタの電源をオンにしてからインクカートリッジを取り付けてください。
また、インクの充てんに約 8 分かかります。インクの充てんが完了すると、電源 LED が点滅から点灯に変わります。

6 イーサネットインタフェースの場合、EpsonNet Config で IP アドレスなど、プリンタにネットワークを設定

7 USB インタフェースの場合、プリンタをクライアントコンピュータに接続（63 ページ）
プリンタの電源をオフにしてからクライアントコンピュータに接続してください。

8 クライアントコンピュータに、プリンタドライバ（インストールパッケージ）のインストールと設定

9 USB インタフェースの場合、クライアントコンピュータに Printer Setting をインストール

10 イーサネットインタフェースの場合、プリンタにアクセスできるコンピュータ（管理者コンピュータまたはクライアントコンピュータ）に Printer Setting をインストール

11 クライアントコンピュータまたは管理者コンピュータの Printer Setting を使って、プリンタを設定

12 プリンタのディップスイッチを設定（72 ページ）
プリンタの電源をオフにしてから、ディップスイッチを設定してください。

13 用紙のセット（74 ページ）
ディップスイッチに合わせて、用紙をセットします。

14 テストページの印刷

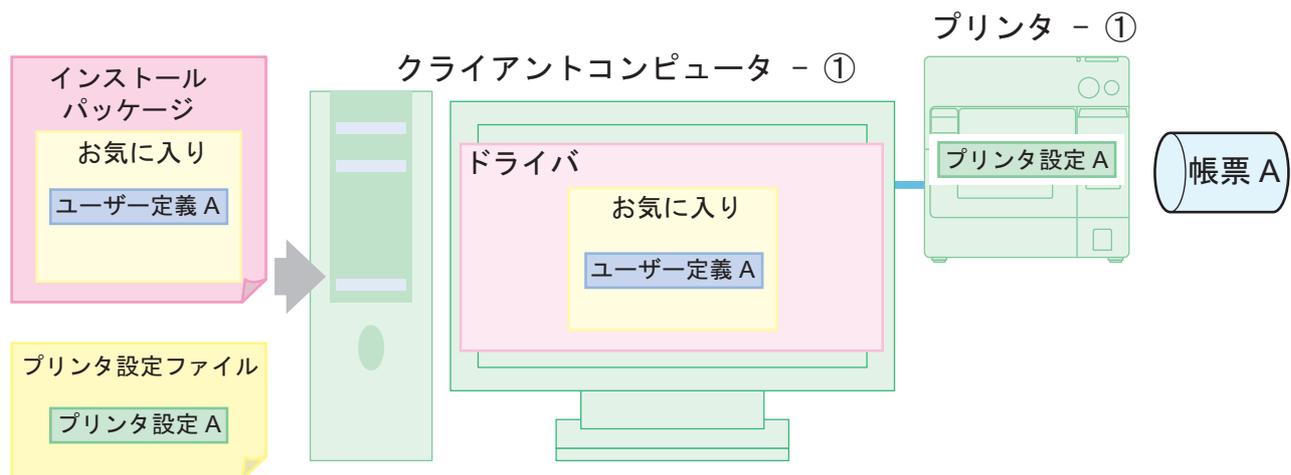
ユースケース

ここでは、プリンタドライバの配布とプリンタの設定作業をどのように進めるかを、ユースケースで説明します。
管理者が事前に準備する段階と、実際に配布する段階を説明します。

❏ USB インタフェースモデル
- ケース 1:1 台のクライアントコンピュータに、1 台のプリンタを接続。
- ケース 2:1 台のクライアントコンピュータに、2 台のプリンタを接続し、別々の帳票を印刷。

❏ イーサネットインタフェースモデル
- ケース 3:2 台のクライアントコンピュータに、1 台のイーサネットモデルを接続。
- ケース 4:2 台のクライアントコンピュータに、2 台のイーサネットモデルを接続し、共通の帳票を印刷。
- ケース 5:2 台のクライアントコンピュータに、2 台のイーサネットモデルを接続し、別々の帳票を印刷。

USB インタフェースモデル

ケース①
1 台のクライアントコンピュータに、1 台のプリンタを接続

準備段階：管理者コンピュータに Install Assistant、Printer Setting とプリンタドライバをインストール後、以下の作業をします。

① プリンタドライバの設定 (お気に入り設定リストに、帳票の設定をします)

② BSF ファイルの生成 (ドライバ設定 .BSF)

③ Install Assistant でドライバ設定 .BSF をインポートし、インストールパッケージを生成 (インストールパッケージ)

④ Printer Setting で設定ファイルの生成 (プリンタ設定ファイル)

配布段階：

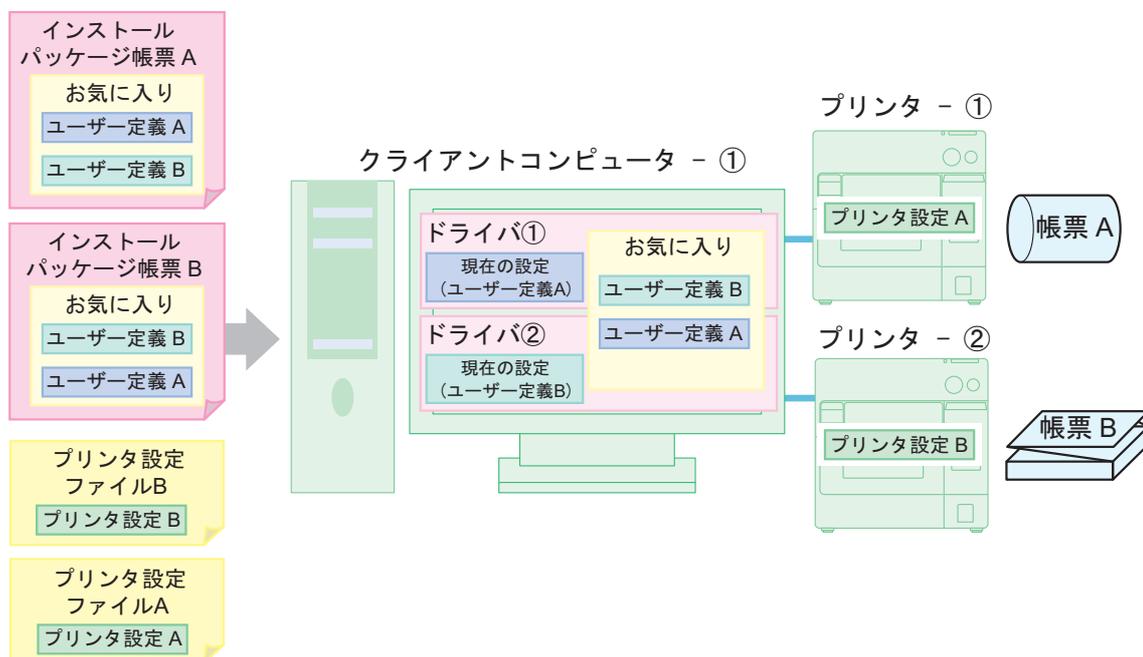
① クライアントコンピュータとプリンタを用意。

② インストールパッケージをコピーし、ダブルクリック。自動的にプリンタ － ①のプリンタドライバがインストール、設定されます。

③ プリンタ - ①を接続して電源をオンにする。

④ クライアントコンピュータに Printer Setting をインストール

⑤ Printer Setting でプリンタ設定ファイルを使ってプリンタを設定 (プリンタ - ①の設定)

ケース②
1 台のクライアントコンピュータに、2 台のプリンタを接続し、別々の帳票を印刷

準備段階：管理者コンピュータに Install Assistant、Printer Setting とプリンタドライバをインストール後、以下の作業をします。

① プリンタドライバの設定 - 帳票 A
（お気に入り設定リストに、帳票 A の設定をします）

② BSF ファイルの生成 (ドライバ設定 _ 帳票 A.BSF)

③ Install Assistant でドライバ設定 _ 帳票 A.BSF をインポートし、インストールパッケージを生成
(インストールパッケージ帳票 A)

④ Printer Setting で設定ファイルの生成 (プリンタ設定ファイル A)

⑤ プリンタドライバとプリンタの設定 - 帳票 B

⑥ BSF ファイルの生成 (ドライバ設定 _ 帳票 B.BSF)

⑦ Install Assistant でドライバ設定 _ 帳票 B.BSF をインポートし、インストールパッケージを生成
(インストールパッケージ帳票 B)

⑧ Printer Setting で設定ファイルの生成 (プリンタ設定ファイル B)

配布段階：

① クライアントコンピュータとプリンタを用意。

② インストールパッケージ帳票 A をコピーし、ダブルクリック。自動的にプリンタ - ①のプリンタドライバがインストール、設定されます。(お気に入りリストの「現在の設定」は、「ユーザー定義 A」)

③ プリンタ - ①を接続し、電源をオンにする。

④ クライアントコンピュータに Printer Setting をインストール

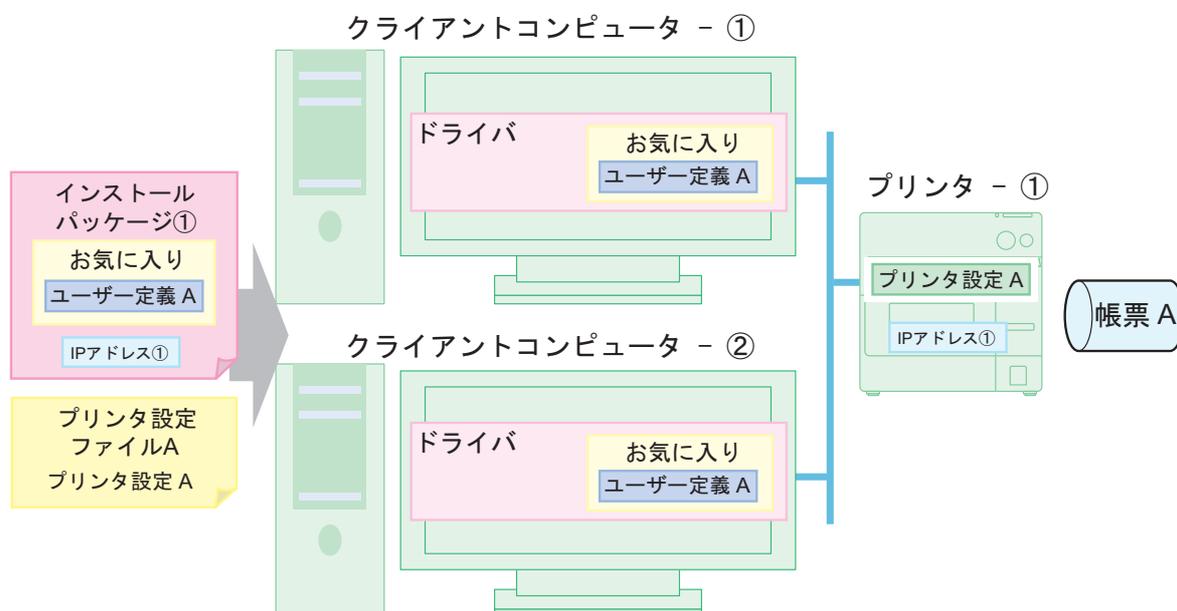
⑤ Printer Setting でプリンタ設定ファイル A を使ってプリンタを設定 (プリンタ - ①の設定)

⑥ インストールパッケージ帳票 B をコピーし、ダブルクリック。自動的にプリンタ - ②のプリンタドライバがインストール、設定されます。(お気に入りリストの「現在の設定」は、「ユーザー定義 B」)

⑦ プリンタ - ②を接続し、電源をオンにする。

⑧ Printer Setting でプリンタ設定ファイル B を使ってプリンタを設定 (プリンタ - ②の設定)

参考	プリンタの設定を、帳票 A と帳票 B で変更しない場合 (例 : どちらもブラックマークダイカットラベルで、用紙サイズが違う場合)、プリンタ設定ファイルは共通で使用できます。

イーサネットインタフェースモデル

ケース③
2 台のクライアントコンピュータに、1 台のプリンタを接続

準備段階：管理者コンピュータに Install Assistant、Printer Setting とプリンタドライバをインストール後、以下の作業をします。

① プリンタドライバの設定 (お気に入り設定リストに、帳票 A を設定)

② BSF ファイルの生成 (ドライバ設定 .BSF)

③ Install Assistant でドライバ設定 .BSF をインポート、プリンタの IP アドレス①を設定し、インストールパッケージを生成 (インストールパッケージ)

④ Printer Setting で設定ファイルの生成 (プリンタ設定ファイル A)

配布段階：

① クライアントコンピュータ、プリンタとネットワーク接続の管理者用コンピュータ (クライアントコンピュータと共用可能) を用意。

② プリンタをネットワークに接続。

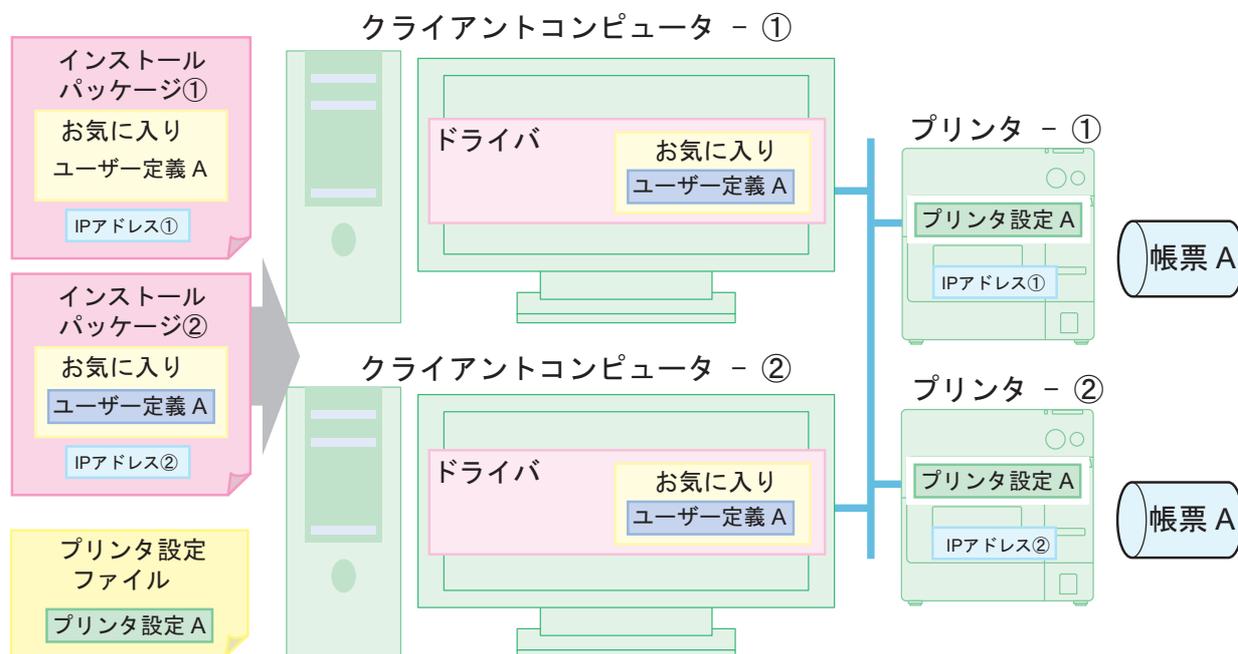
③ 管理者用コンピュータの EpsonNet Config を使って、プリンタに IP アドレス①を設定

④ クライアントコンピュータ①にインストールパッケージをコピーし、ダブルクリック。自動的にプリンタドライバがインストール、設定されます。

⑤ クライアントコンピュータ②にインストールパッケージをコピーし、ダブルクリック。自動的にプリンタドライバがインストール、設定されます。

⑥ 管理者用コンピュータの Printer Setting でプリンタ設定ファイル A を使ってプリンタを設定 (プリンタ - ①の設定)

ケース④

2 台のクライアントコンピュータに､2 台のイーサネットモデルを接続し、共通の帳票を印刷

準備段階：管理者コンピュータに Install Assistant、Printer Setting とプリンタドライバをインストール後、以下の作業をします。

① プリンタドライバの設定 (お気に入り設定リストに、帳票 A を設定)

② BSF ファイルの生成 (ドライバ設定 .BSF)

③ Install Assistant でドライバ設定 .BSF をインポート、プリンタの IP アドレス①を設定し、インストールパッケージを生成 (インストールパッケージ①)

④ Install Assistant でドライバ設定 .BSF をインポート、プリンタの IP アドレス②を設定し、インストールパッケージを生成 (インストールパッケージ②)

⑤ Printer Setting で設定ファイルの生成 (プリンタ設定ファイル A)

配布段階：

① クライアントコンピュータ、プリンタとネットワーク接続の管理者用コンピュータ (クライアントコンピュータと共用可能) を用意。

② プリンタ - ①、プリンタ - ①をネットワークに接続。

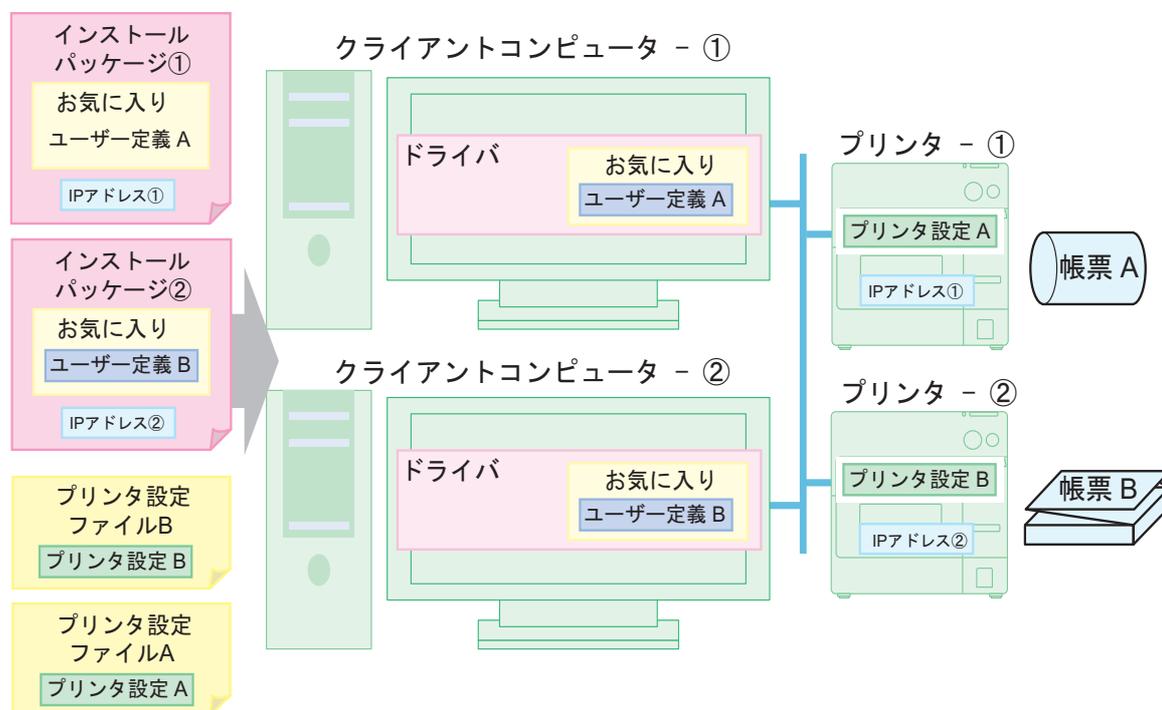
③ 管理者用コンピュータの EpsonNet Config を使って、プリンタ - ①に IP アドレス①、プリンタ - ②に IP アドレス②を設定

④ クライアントコンピュータ①にインストールパッケージ①をコピーし、ダブルクリック。自動的にプリンタ - ①のプリンタドライバがインストール、設定されます。

⑤ クライアントコンピュータ②にインストールパッケージ②をコピーし、ダブルクリック。自動的にプリンタ - ②のプリンタドライバがインストール、設定されます。

⑥ 管理者用コンピュータの Printer Setting でプリンタ設定ファイル A を使ってプリンタを設定 (プリンタ - ①、プリンタ - ②を一括設定)

注意	イーサネットモデルは、プリンタごとに IP アドレスを設定するため、プリンタごとにインストールパッケージが必要です。

ケース⑤
2 台のクライアントコンピュータに、2 台のイーサネットモデルを接続し、別々の帳票を印刷

準備段階：管理者コンピュータに Install Assistant、Printer Setting とプリンタドライバをインストール後、以下の作業をします。

① プリンタドライバの設定 (お気に入り設定リストに、帳票 A を設定)

② BSF ファイルの生成 (ドライバ設定 A.BSF)

③ Install Assistant でドライバ設定 A.BSF をインポート、プリンタの IP アドレス①を設定し、インストールパッケージを生成 (インストールパッケージ①)

④ Printer Setting で設定ファイルの生成 (プリンタ設定ファイル A)

⑤ プリンタドライバとプリンタの設定 - 帳票 B

⑥ BSF ファイルの生成 (ドライバ設定 B.BSF)

⑦ Install Assistant でドライバ設定 B.BSF をインポート、プリンタの IP アドレス②を設定し、インストールパッケージを生成 (インストールパッケージ②)

⑧ Printer Setting で設定ファイルの生成 (プリンタ設定ファイル B)

配布段階：

① クライアントコンピュータ、プリンタとネットワーク接続の管理者用コンピュータ (クライアントコンピュータと共用可能) を用意。

② プリンタ - ①、プリンタ - ①をネットワークに接続。

③ 管理者用コンピュータの EpsonNet Config を使って、プリンタ - ①に IP アドレス①、プリンタ - ②に IP アドレス②を設定

④ クライアントコンピュータ①にインストールパッケージ①をコピーし、ダブルクリック。自動的にプリンタ - ①のプリンタドライバがインストール、設定されます。

⑤ クライアントコンピュータ②にインストールパッケージ②をコピーし、ダブルクリック。自動的にプリンタ - ②のプリンタドライバがインストール、設定されます。

⑥ 管理者用コンピュータの Printer Setting でプリンタ設定ファイル A を使ってプリンタを設定 (プリンタ - ①を設定)

⑦ 管理者用コンピュータの Printer Setting でプリンタ設定ファイル B を使ってプリンタを設定 (プリンタ - ②を設定)

メンテナンス

ここでは以下の内容を説明します。

❏ クライアントコンピュータの追加（イーサネットモデル）(208 ページ)
❏ プリンタの追加 (208 ページ)
❏ 用紙の追加 / 印刷設定の変更 (209 ページ)
❏ プリンタの置き換え (210 ページ)

クライアントコンピュータの追加（イーサネットモデル）

クライアントコンピュータを追加する場合、以下の手順でプリンタドライバをインストールし、設定します。

❏ 管理者の準備

- 既存プリンタのインストールパッケージ
（プリンタのネットワーク情報を含んだインストールパッケージを用意してください。）

❏ 配布後の作業

- クライアントコンピュータでインストールパッケージをダブルクリックし、プリンタドライバをインストールします。

プリンタの追加

既存のプリンタと同じ用紙に印刷するプリンタをシステムに追加する場合、以下の手順で追加します。

USB モデル

❏ 管理者の準備と環境

- 既存プリンタドライバの BSF ファイル
- 既存プリンタのプリンタ設定ファイル
(USB シリアルナンバーの設定は含めないでください。コンピュータがプリンタを認識しなくなります。)
- 既存プリンタのディップスイッチ設定情報

❏ プリンタ追加時の作業

- クライアントコンピュータにプリンタを接続し、プラグアンドプレイ機能を使ったドライバのインストールとプリンタの設定をします。このときに、既存プリンタドライバの BSF ファイル、プリンタ設定ファイル、ディップスイッチ設定情報を使います。(202 ページ「セットアップ手順」を参照)

イーサネットモデル

❏ 管理者の準備と環境

- 追加するプリンタのネットワーク情報
- プリンタドライバ
- 既存プリンタドライバの BSF ファイル
- 既存プリンタのプリンタ設定ファイル
  追加するプリンタのネットワーク内に既存のプリンタがある場合、プリンタ設定ファイルを用意する必要はありません。
- 既存プリンタのディップスイッチ設定情報
- EpsonNet Config を管理者コンピュータ、またはクライアントコンピュータにインストール

❏ プリンタ追加時の作業

- プリンタをネットワーク上に接続し、EpsonNet Config を使ってネットワーク設定します。
  設定後、クライアントコンピュータから Windows のプリンタの追加機能でプリンタを追加し、プリンタの設定をします。このときに、プリンタドライバ、既存プリンタドライバの BSF ファイル、プリンタ設定ファイル、ディップスイッチ設定情報を使います。(202 ページ「セットアップ手順」を参照)

用紙の追加 / 印刷設定の変更

新しい用紙を追加したり、印刷設定を変更したりする場合、以下の手順で、各クライアントコンピュータのプリンタドライバに印刷設定を変更します。

❏ 管理者の準備

- 既存プリンタドライバの BSF ファイル
  以下の手順で BSF ファイルを作成してください。
  ① 既存プリンタドライバで新しい用紙の印刷設定を設定し、「お気に入り」に登録します。
  「お気に入り」に、既存用紙の印刷設定も登録されていることを確認してください。
  ② 「お気に入り」の設定リストの最上位を、新しい用紙の印刷設定にします。
  ③ BSF ファイルを書き出します。

❏ 配布後のクライアントコンピュータの作業

- プリンタドライバに、BSF ファイルを取り込みます。

注意	既存用紙の印刷設定も「お気に入り」に登録してください。登録しない場合、BSF ファイルの取り込み時に、プリンタドライバから既存用紙の印刷設定が消えてしまいます。

プリンタの置き換え

プリンタの故障などでプリンタを置き換える場合、新しいプリンタと単純に置き換えても使用できません。ここではクライアントコンピュータのアプリケーションの変更をしないで、プリンタを置き換える方法を紹介します。

USB モデル

USB モデルのプリンタの置き換えのために、2 つの方法を用意しています。

❏「USB プリンタークラス デバイス置き換えサービス」を、クライアントコンピュータに常駐。(推奨)

❏ プリンタの USB シリアルナンバーを合わせる。
アプリケーションの出力先をプリンタのポートに指定している場合、こちらの方法を使います。

参考	通常、USB モデルの新しいプリンタを接続すると、クライアントコンピュータには新しいプリンタドライバ(プリンタキュー)が生成され、新しい USB ポートが生成されます。クライアントコンピュータのアプリケーションから新しいプリンタに印刷するには、ポートの変更が必要になります。

USB プリンタークラス デバイス置き換えサービス

「USB プリンタークラス デバイス置き換えサービス」は、新しいプリンタが接続されたことを検知し、Windows に登録されたプリンタドライバのプロパティ情報を書き換えて、出力するポートを自動的に変更するソフトウェアです。これをクライアントコンピュータに常駐させると、アプリケーション、プリンタドライバや OS の設定が不要です。ただし、プリンタの設定は必要です。

注意	この方法の場合、プリンタのポートは既存のポートが残ります。そのため、アプリケーションの出力先をプリンタのポートに指定している場合は、プリンタの USB シリアルナンバーを変更する方法で置き換えてください。

❏ 事前準備

- クライアントコンピュータに「USB プリンタークラス デバイス置き換えサービス」をインストール
- 既存プリンタのプリンタ設定ファイル
(USB シリアルナンバーの設定は含めないでください。)
- 既存のプリンタのディップスイッチ設定情報

❏ プリンタの置き換え手順

① クライアントコンピュータから既存のプリンタを取り外します。

② クライアントコンピュータに新しいプリンタを接続し、電源をオンします。「USB プリンタークラス デバイス置き換えサービス」が新しいプリンタの接続を検出し、既存プリンタドライバに新しいプリンタのポートを設定します。

③ プリンタに既存プリンタの設定をします。このときに、既存プリンタのプリンタ設定ファイル、ディップスイッチ設定情報を使います。(202 ページ「セットアップ手順」を参照)

プリンタの USB シリアルナンバーを合わせる

既存のプリンタと新しいプリンタの USB シリアルナンバーが同じ場合、クライアントコンピュータのアプリケーションやプリンタドライバの設定を変更しなくても、プリンタを置き換えられます。ただし、プリンタの設定は必要です。アプリケーションの出力先をプリンタのポートに指定している場合は、この方法を推奨します。

USB シリアルナンバーは、プリンタ設定ファイルで登録するか、Printer Setting で編集できます。

ここでは、管理者コンピュータで新しいプリンタの USB シリアルナンバーを変更して、クライアントコンピュータのプリンタを置き換える方法を説明します。

❏ 事前準備

- 既存プリンタのプリンタ設定ファイル
  (USB シリアルナンバーの設定を含めてください。)
- 既存のプリンタのディップスイッチ設定情報

❏ プリンタの置き換え手順

① 管理者コンピュータに新しいプリンタを接続して電源をオンします。

② プリンタに既存プリンタの設定をします。既存プリンタのプリンタ設定ファイルの USB シリアルナンバーが、新しいプリンタの USB シリアルナンバーになります。また既存プリンタのディップスイッチ設定情報に合わせて、プリンタのディップスイッチを設定します。(202 ページ「セットアップ手順」を参照)

③ クライアントコンピュータから既存のプリンタを取り外します。

④ 新しいプリンタをクライアントコンピュータに接続して、電源をオンします。

イーサネットモデル

既存プリンタの IP アドレスなどのネットワーク設定と既存プリンタの設定を、新しいプリンタに設定します。
クライアントコンピュータのプリンタドライバを設定する必要はありません。

❏ 事前準備

- 既存のプリンタのネットワーク設定情報 (IP アドレスなど)
  既存のプリンタのステータスシートを印刷してください。(181 ページ「ステータスシートの印刷 (Ethernet インタフェース仕様のみ)」)
- 既存のプリンタのプリンタ設定ファイル
- 既存のプリンタのディップスイッチ設定を確認

❏ 置き換え手順

① 新しいプリンタのディップスイッチ設定を、既存のプリンタのディップスイッチ設定に合わせます。

② 新しいプリンタをネットワークに接続し、プリンタの電源をオンします。

③ EpsonNet Config などで、新しいプリンタに印刷したステータスシートに合わせて、ネットワークを設定します。

④ Printer Setting で、プリンタ設定ファイルを使ってプリンタを設定します。

プリンタの管理

ネットワークプリンタの監視

ネットワークプリンタの管理用に、EpsonNet Simple Viewer が用意されています。管理者コンピュータからネットワークプリンタのステータスを監視できます。
（詳細は、「EpsonNet Simple Viewer ユーザーズマニュアル」を参照してください。）

取得できる情報

- 情報の中には、モデル名· IP アドレス·場所· MAC アドレス·管理者名·ステータス詳細があります。
- TM-C3400以外のEPSON製ネットワークプリンタの情報も取得できますが、プリンタの機種により情報を取得できなかったり、取得できる情報に制限があったりします。

お問い合わせ確認

本プリンタについての技術的な質問、疑問あるいは、障害がある場合、以下の情報を確認のうえ、販売店もしくは、弊社開発者向けヘルプデスク (http://www.epson.jp/support/sd/) にお問い合わせください。

注意

- 弊社への技術的な質問、疑問の問い合わせ内容については、弊社のプリンタに関することに限らせていただきます。それ以外の Microsoft Corporation ないしはその他の会社が所有する技術に関する内容については、それを所有する会社にお問い合わせください。
- 障害が発生した場合、お問い合わせの前に、物理的な障害 (接続、電源等の問題) がないかを確認してください。

- ❏ 問い合わせ分類：障害 / 質問
- ❏ 日付：
- ❏ 御社名：
- ❏ 部署名：
- ❏ お名前：
- ❏ お電話 /FAX/Email：
- ❏ コンピュータ情報：
  - 製造メーカー
  - CPU
- ❏ OS(サービスパックも含む)：
- ❏ 対象プリンタ機種名：
- ❏ プリンタドライバ：インストール済み（OS 標準 /EPSON カスタム）/ インストールしていない
- ❏ 対象プリンタ接続形態：USB / イーサネット / MS 共有 (クライアント / サーバ)
- ❏ インストールプロトコル / サービス：NetBEUI / NetWare Client(Novell(Ver.　) / Microsoft (Ver.　))
/ TCPIP / OS 標準 SNMP エージェント / その他
- ❏ 印刷ツール：ローカル (LPT/USB) / OS 標準 Standard TCPIP / OS 添付 LPR / EPSON 製 TCPIP 印刷 (名称)
/ 自社カスタムアプリケーション / その他 (製品名 /Ver)
- ❏ ファイアウォール：OS 標準 / パーソナル (製品名 /Ver)/ 無し
- ❏ 御社アプリケーション情報：
  - Windows サービス動作 / 通常 EXE 動作
- ❏ 弊社アプリ動作状況：EpsonNet WebManager / EpsonNet Log Browser / EpsonNet Simple Viewer
/ EpsonNet SDK for Windows / Printer Setting / その他 (名前)
- ❏ 障害の現象 (or 質問内容)：
- ❏ システム構成：コンピュータ、ネットワークなどハードウェア構成と、ソフトウェアモジュール構成
- ❏ 障害の再現手順：操作手順、関数実行手順、現象を発生させた関数とその引数の値
- ❏ 障害の再現性：再現する (　　回中　　回)/ 再現しない